## 夏目漱石における「伝統」と「近代」: 儒学・禅と西洋思想の交わり

藤本,晃嗣

https://hdl.handle.net/2324/2236001

出版情報:九州大学, 2018, 博士(比較社会文化), 課程博士

バージョン: 権利関係:

## 夏 漱 儒 に 学 お け 禅 る と 西 洋 統 思 想 の わ近 り

藤 日 C本 S 社 本 1 会 O 文 O 化 晃 1 専 2 攻 嗣 T

3

序 1

第 部

「自己本位 に お け る 儒 学 の 影 9

ん緒 9

第

自 己 本 位 に けるイプセ 儒

漱 石 のお 「イ ブ 七 ン 流と 書 簡 をめぐっ て

は じ め に 14

 $\neg$ 野 分しに おけ る 1 プ セ ン  $\mathcal{O}$ 言 及 16

石  $\mathcal{O}$ イプ セ ン 受 容 に 0 11 て 18

注 六 五 四 三 二 一 文 学 論 とイ プ セ ン  $\neg$ 社 会 ての 敵 21

人 であること を  $\otimes$ < 0 26

1 ブ セ 流 と 維 新  $\mathcal{O}$ 志 士

29

記 32

章

そ れ か . ら \_ に お け る 誠

日 本 近 世

> じ  $\otimes$ に

中は 玉 思 想 に お け る 誠

39

36

四 三 二 誠 日 本 自 近 世 然 儒学 天 思 49 想 と

誠

43

注 記 53

部

晚 年 に お け `る禅 ^ の 接 近 ح

近 代 の 関 わ ŋ に つ い て

60

緒 60

14

第三

漱 石 の 禅 認 識 と 禅 門 法 語

66

は じ  $\Diamond$ に 66

夢

+

夜

第二

夜」

0)

褝

描

写

と

 $\neg$ 

褝

門

法 語

68

三二 悟 り  $\mathcal{O}$ 認 識 لح 褝 71 坐

兀 禅と 言 葉 78

注 記 79

儒 学 の 伝 統 36

## 四 章

## 行 人 に お け る 褝

## 公 案 と の 関 わ ŋ か ら

86

は ľ  $\Diamond$ に 86

五四三二 珍 漢 囈 語 88

郎 と公案 95

厳撃

竹

92

行 人 に お け る 褝  $\mathcal{O}$ 可 能 性 97

注 記 99

## 第 五 章

## 行 に お け る 褝

## W ジ エ 1 ム ズ、 Η べ ル ク ソ ン の 交 わ

ŋ

実 行 的 な 僕 を め ぐ つ て 105

は じ 8 に 評 105

四 三 二 0) 価 と 日 本 に お け る オ イ ン 0) 受 容 108

石 0) 文学 · 観 と W ジ 工 イ ム ズ 111

121 中 味 形 式 0 背景と 行 人 117

注 記

## 結 129

## 引 用 書 誌 報 0 て

- 月 新 ( 版 漱 平  $\mathcal{O}$ 石 成  $\mathcal{O}$ 十 作 漱 六 石 品 全 集 書  $\bigcirc$ 簡  $\bigcirc$ 岩 四 評 波 論 年 書 +店 講 月) 演 平 等 カン 成 0 5 五. 引  $\mathcal{O}$ 用 b は  $\mathcal{O}$ 九 全 で 九 て あ  $\equiv$ 岩 る。 波 年 書 + 店 最
- 載 朝 評 は 日 論 漱 新 は 石 東 聞  $\mathcal{O}$ 京 朝 11 朝  $\mathcal{O}$ < 日 日 両 0 新 新 方 聞 か 聞 に 社  $\mathcal{O}$ 掲 入 例  $\mathcal{O}$ 載 社 外 み さ 以 を と れ 降 除 L て  $\mathcal{O}$ 1 て て、 新 1 る 聞 る。 が 紙 東 上で 京 本 朝 論 発 日 表さ 文 新 で 聞」、 れ は た 初 作 出 大 品  $\mathcal{O}$ 阪 記 Þ
- 引  $\mathcal{O}$ 形 用 儒 式 学 元 Þ 関  $\mathcal{O}$ 語 連 t 句  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ Þ 資 仮 藤 料 名 は、 本 遣 に 11 ょ 書 に る き 違 Ł 下 11 し  $\mathcal{O}$ が など を 見ら 引用 が れるが 混 し た。 在 L 統 そ て 11 0) L る 際 て た V 異  $\otimes$ な な そ る
- 異 せ 囲 施 11  $\otimes$ た。 で な な L 褝 た 関 示 V そ る ŧ 引 す  $\mathcal{O}$ 連 に 形 用  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ま と ど と た 式 資 元 書 現 Þ 料  $\mathcal{O}$ き  $\otimes$ 語 に 代 ŧ た。 句、 下 0 語  $\mathcal{O}$ L V B 訳 を て、 注 は 仮 藤 載 記 名 本 せ 本 に 褝 遣 に た。 籍 ょ お V 文にお に る  $\mathcal{O}$ 11 そ 違 て 性 ŧ  $\mathcal{O}$ *\* \ は 質 0) 11 際、 を考 て な が は、 見 ど 漢 書 文 え 5 が き 漢 لح れ 混 下 現 論 る 在 文 L に 代 に が L に 必 統 て 句 語 0 要 読 訳 11 V) るた な L 点 を て、 て 範 載 を
- に 付 全 7 し  $\mathcal{O}$ 他 引 は 用 省 に 略 0 L 7) た。 て、 旧 字 ŋ 体 が は な 新 は 字 必 体 に ح 改 思  $\otimes$ わ た。 れ る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 4
- ŋ が 引 用 な に 1 限 付 ŋ L 全 た て 傍 藤 線 あや、 本 に ょ 番号 る Ł 付 0) き で  $\mathcal{O}$ あ 傍 る。 線 波 線 は 特 に 断

て 学 化 た 漱 + 前 年 さ す に を 来 に る 変 夏 石 年  $\mathcal{O}$ L 早 る 化 至 明 慶 目 ŧ 生 伝 置 T 0 そ な を 統 る 治 応 漱 < 伝 を 11 ど、  $\mathcal{O}$ 経 生 ま た < 統 لح 敏 的 石 よう ま で 作 的 る 感 な 時 11 年 う 漢 家 代 な れ 西 に 文 に な لح 時 生 た 洋 読 化 詩 社 八 人 さ 代 六 福 的 4 Þ を 思 会 ま 文 生 取 思 作 想 か を 七 沢 な れ れ 明 を 価 ŋ 想 ŋ 家 て 5 生 5 諭 論 歩 き لح 西 で お 大 吉 値 之 洋 た W が 観 大 強 ま あ ŋ 正 九 概 だ 学 た を  $\mathcal{O}$ 人 五 11 る 略 لح 物 習 六 明 参 で 関 漱 技 年 緒 言 治 得 英 禅 幼 術 で わ 石 に 言 え 文 あ 期 ŋ を は 没 L 11 は る 学 0 7 頃 ま す  $\mathcal{O}$ が 経 思 V を あ 験 12 さ 想 た 知 る 明 専 漢 に 識 0 る す を 治 明 と と 学 人 た 攻 る そ 取 維 11 治 と 表 を 塾 0) L な ŋ う 新 期 現 漱 Ł ど 流 ょ  $\mathcal{O}$  $\neg$  $\sim$ V 0 L 石 英 に 通 う 前 れ れ 日 た 身 ょ 玉 維 に  $\mathcal{O}$ て 年 11 本 ŋ 中 が に  $\sim$ 時 新 近 に は 三 留 代 以 ま L 晩 に 代 あ

旧

 $\mathcal{O}$ 

想 が で は あ 高 さ そ L れ 0 漢 学 た て 学 力 漱 に イ لح を 石 ギ 所 持 は 自 IJ 謂 た 身 ょ ス 文 < な ŧ 学 留 知 11 学 t 5  $\mathcal{O}$ と れ 0  $\mathcal{O}$ 成  $\mathcal{O}$ て ょ 果 英 う V 0) 語 る。 な 漢 結 に 文 自 晶 学 そ 所 5 謂 を  $\mathcal{O}$ Ł 文 に 味 背 言 学 は わ 景 え う に る ک 0) 漢 極  $\overline{\phantom{a}}$ لح 籍 差  $\Diamond$ 文 異 が に 7 学 で か 0 意 論 5 き V 識 2 構 的 て

> لح 統 半 < た 余 لح に け に 日 て 9 れ あ 7 れ 意 自 5 0 に L 的 た 分 本 お が 0 カ 識 5 ŋ 来 将 け た う て な 海 は に L る な が て 自 価 陸 日 L  $\mathcal{O}$ お た 来 た ľ あ 自 < 思 過 そ 覚 5 値 両 本 て 1 西  $\mathcal{O}$ 教 む ŋ 索 7 洋 れ が を 観 11 去 仕  $\mathcal{O}$ 養 棲 だ な た 語 لح た B 持 を 事 B لح で あ 動 カ が 思 0 作 0 中 に 文 が 5 な 方 る 5 物 لح 想 た 化 T 心 影 で 近 品 < は 反 将 で で が ŧ 代 に 1 と 0 響 別  $\mathcal{O}$ き 面 来 味 0) 的 わ 大 た L あ て す 影 な 近  $\mathcal{O}$ 文  $\mathcal{O}$ る Š で た 代 な カン き 意 る 響 11 英 لح 芸と 文 力 章 る。 あ 価 な 義 لح 的 近 ŧ  $\mathcal{O}$ 文 か き 影 学 る 値  $\mathcal{O}$ 代 大 1 な  $\mathcal{O}$ え に 道 ま 東  $\mathcal{O}$ 響 大 き 5 学 観 に  $\mathcal{O}$ 0 は は 徳 た、 洋 不 を き 思 残 さ 違 問 と 0 7 さ、 美 与 想 念 を 和 B 足 V 0 異 <u>5</u> 術 余 を え B な 感 感 文 て 両 私 人 中 义 が 者 7 そ 価 が じ 化 感 は  $\mathcal{O}$ 種 な 途 譜 現 じ て そ に 11 L 値 を 頭 ら  $\mathcal{O}$ F, 半 た 在 学 ま る T 観 11 L 漢 は 海 端  $\mathcal{O}$ と  $\mathcal{O}$ そ た て た カコ が わ び 籍 半 0 言  $\mathcal{O}$ 頭 が に が 幼 な 11 分 れ 向 لح と が 0 葉 教 0 明 祖 を لح 時 う 同 6 西 う ŧ は 育 支 が カコ 6 V が 治 カン 先 程 洋 を لح 存 7 11 期 述 5  $\mathcal{O}$ 配 読 5 度 で 受 伝 カン  $\mathcal{O}$ ベ 持 身 が 強 \$ 4 0

な る 評 11 7 作 家 な る تلح 家 る 知 活 伝 人 論 لح 6 活 統 物 動 0  $\sum_{}$ 関 動 を لح ょ れ 0 追 る 近 Š 悼  $\mathcal{O}$ 連 を L \_\_ に す 始 7 代 人 文 ょ 方 う 8  $\mathcal{O}$ る VI لح 漱 中 な で た る 東 言 石 と لح 傾 西 に え は そ لح 向 が き 両 ŧ る 見 は  $\mathcal{O}$ ŧ か 文 明 作 作 5 化 る あ た 治 評に 死 家 品 ŋ だ لح لح 活 が 精  $\mathcal{O}$ 価 L 動 そ う が 前  $\neg$ 口 さ 通 俳 変 で 後  $\mathcal{O}$ ン n L  $\mathcal{O}$ 句 開 ド た 中 き  $\mathcal{O}$ 7 化 る 時 始 ン 11 存 で  $\mathcal{O}$ 期 時 Þ た 帰 在 Ł 激 に 期 n لح 漱 11 l 褝 < お か  $\mathcal{O}$ 大 し 石 11 学 0 け 6 英 7 時 は 文 る 指 講 代 カコ を 摘 東 学 師 す を さ 洋 者 時 で 象 例 大  $\mathcal{O}$ 示 量 れ 画 لح 代 に ょ 徴 う す  $\mathcal{O}$ 7 L に 作 す

る Verzweifelter ŧ に 趣 主 味  $\mathcal{O}$ 絞 L て と لح は 首 れ 生 に な L 大 台 田 て 養 体  $\mathcal{O}$ 長 Humor 親 わ に ユ 江 ħ 於 お L 氏 た て モ ま か が ア れ 上 首 L 必 漱 に 肯 た 4 死 石 だ 氏 L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 氏 得 لح に 外 ユ ユ 0 る と 玉 か Ì ユ 文 所 1 0 干 七 学 だ て S T ア モ t で は T ? 自 は ک  $\mathcal{O}$ だ を 常 然 が n لح 評 識 儒 な な で か 本 教 11 あ て、 と 位 思 と Galdenhumor る で  $\mathcal{O}$ 想 言 لح 大 英 لح 0 あ な て 文 部 る 俳 学 諧 カュ 11 分

## (石山徹郎「夏目漱石氏の芸術」 (⑥)

か 特 同  $\mathcal{O}$ 氏 俳 は 観 諧 人 的 趣 t 味 知 に 観 る カゝ 取 5 如 L 西 < 洋 て 英 此 文 京 明 処 に に 乃 留 至 学 同 氏 は 中 独 泰 予 特 西 て 0  $\mathcal{O}$ 涵 詩 思 養 的 想 さ 才 人 れ 筀 生 た 観 を 東 以 を 洋 冷 て 独

先づ『倫敦塔』を書き(後略

(「猫の主人公 夏目漱石先生逝く」

合 る 然 人 L 致 Ł あ L  $\mathcal{O}$ 云 7 0 人 7 0 あ た る ユ た B 七  $\mathcal{O}$ う ア 点 に は は あ 鴎 あ 0 外  $\mathcal{O}$ 人 人 さ 独 に W 特 ŧ 於 0 似 7 ŧ た 東  $\mathcal{O}$ لح 西 で  $\mathcal{O}$ あ ろ 趣 0 が 味 た あ が

融或

る

(徳田秋声「書斎の人」^®

声 L そ لح 様 あれ 追修  $\mathcal{O}$ 漱 表 る V た 現 た  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 々 ŋ 悼 養 7  $\mathcal{O}$ が 石 中 ŧ 文 t 産 長 比 な  $\mathcal{O}$ に L れ 趣 に た 谷 で 較 1 深 東  $\mathcal{O}$ 4 お 5 味 東  $\mathcal{F}_{\circ}$ Ш ŧ لح は さ 洋 لح 出 1 は 西 落 が 思 さ لح 天 い ツ 同 T 漱  $\mathcal{O}$ う ク 想 U 東 渓 自 語 英 語 n が 間 石 P 然 点 が B 文 5  $\mathcal{O}$ 誌 た 西 述 0 題  $\mathcal{O}$ 学 で 見 俳 次 主 れ 神 上  $\mathcal{O}$ ベ な 晚 伝 諧 0 義 漱 11 を る 髄 に と 趣 ら شل 年 統 だ は を 載 が 味 漱  $\mathcal{O}$ 石 れ  $\mathcal{O}$ Ł と 代  $\mathcal{O}$ せ 禅 ľ そ 掴 沭 て 石 0 が 面 L 近 る B 表 独  $\Diamond$  $\mathcal{O}$ ま た ベ 11 論 で < 代 的 自 道 لح 他 れ 中 5 融 は る は ر ح ل ح 義 た な 0 L に 村 n 合 東 死 と 観 特 以 論 位 た ŧ 星 て £ 西 直 客 置 い 念  $\mathcal{O}$ 湖 致 降 西 に 11 両 後 う \_ لح づ は 洋 る  $\mathcal{O}$ に 漱 0 徳 洋 に 観 評 け 9 文 L 言 文 石 L 田  $\mathcal{O}$ 出 点 学 と 章 7 が 同 及  $\mathcal{O}$ ま 秋 思 価 さ で 漱 う 時 L B 同  $\mathcal{O}$ で た そ 声 0 想 れ 捉 た カュ 代 西 時 表 は  $\mathcal{O}$ 原 石 を た لح え t 洋 代 現 に ŧ 型 が  $\mathcal{O}$ 受 え る 0 思  $\mathcal{O}$ で 漱  $\mathcal{O}$ 独  $\mathcal{O}$ Ł を ŧ 他 け لح な 評 石 徳 に  $\mathcal{O}$ 見 論 る  $\mathcal{O}$ 想 自 入 で る 争 が 作 き に 論 そ に 田  $\mathcal{O}$ は れ ŧ 家 が 触 秋 Þ  $\mathcal{O}$ 0 あ

とができるものと思われる。

と ŧ 各 は 人 W 流 日 現 さ 究 は 自 れ 0) 本 在 B n  $\Diamond$ 英 は 込 日 文  $\mathcal{O}$ て 文 な  $\lambda$ 本 う 学 日 学 で に 11 凡 n  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 本 た。 てこ に 来 今 思 当 文 精 て 学  $\mathcal{O}$ は に ħ 通 に は 文 赴 を れ 中 学 5 さ な 居 る < 代 略 界 のれ る 可 0  $\mathcal{O}$ 表 て がに ŧ は き L 7 漢 居 は  $\mathcal{O}$ 学 其 を る 吾 居 正 悉  $\mathcal{O}$ 姿 れ 色 夏 5 L 皆 素 で が Þ 目 れ 11 調 養  $\mathcal{O}$ さ 道 あ る 和 が る 向 日 W を لح 굸 深 融 才 で 指 L て < 和 口 示 Š し あ 其 か 統 ツ る L ょ パ 自 上 合 て ŋ る 分 褝 に さ  $\mathcal{O}$ لح 居 は 0) 文 夏 思 れ 6 굸 学 ず 目 ŧ 潮 ふれ 寧 0 を さ が ろ  $\mathcal{O}$ た

若 0 す た れ ば 仮 ŋ 東 に 西 東 文 西 学 文 明 を 綜 を 綜 合 合 L T L 居 7 た 居 人 る が  $\mathcal{O}$ 吾 が が 吾 夏 日 目 本 さ で W あ で る あ لح

(「故夏目漱石氏の根本思想」 (三)

< 1 で 養 漢 外 う 賞 調 が 天 学 玉 賛 和 深 渓 < B لح  $\mathcal{O}$ < は 之 が 褝 文 7 L 漱 を 学 影 た 文 V 石 ま 自 学 響 る 存 を を 分 た 在  $\mathcal{O}$ 智 L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 場 識 T は لح 英 Ш. 褝 合 的 1 L 文 と に に る 漱 て 文 学 肉  $\mathcal{O}$ 見 学 頭 石 於 に に る。 て で に  $\mathcal{O}$ を 精 L あ 入 死 ŧ ŧ 通 て ろ れ  $\mathcal{O}$ 論 究 人 う。 之 て 追 敵  $\emptyset$ す 格 を 覚 悼 で る 的 ま ゑ 単 と t と た、 に そ に て L あ لح 統 居 L て 0 他 ŧ て た 遍 5 書  $\mathcal{O}$ に さ 漱 0 れ カン لح れ 趣 る 石 れ こころ れ  $\neg$ て 0) 5 味 た を 漢 居 で 全 学 0 文 に たし、 章 て 上 は  $\mathcal{O}$ は な لح ま を 素

> 究 以 لح 説 東 あ 5 課 近 降 で り カ 西 題 代 0 れ に は そ と 漱 0 7 わ な さ 思 た < 石 11 て  $\mathcal{O}$ る れ 想 る そ 評 思 て B 知 れ  $\sum_{}$ 11 論 価 識 想 が < そ に 値  $\mathcal{O}$ B 明 ŧ お 観 天 思 0 治  $\mathcal{O}$ 1 渓 想 ŧ を 期 で て  $\mathcal{O}$ を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ あ 血. 論 0 日 る L に 自 妙 لح 本 ば 肉 見 分 諦  $\mathcal{O}$ に 5  $\mathcal{O}$ を L 問 ば Ł 取 れ 題 る 容 繰 て  $\mathcal{O}$ で ょ n れ あ 身 う 返 لح 7 ると さ な 居 に L 0 6 れ て 1 け 漱 れ V う た た た 重 石 指 要 が 作 摘 لح な 家 伝 は 統 が 研 で

能 究 店 成  $\mathcal{O}$ ょ 例 は 対 ŋ え  $\neg$ ば 次 象 لح  $\mathcal{O}$ 決 さ ょ 定 漱 5 版 石 n に 7  $\mathcal{O}$ 述 漱 死 11 ベ < 石 か て 時 全 5 期 1 集 +る が 漱 年 出 ほ 石 تلح  $\mathcal{O}$ さ 弟 れ 経 子 5 0) 漱 石 昭  $\mathcal{O}$ 和 人 で 作 + 品 年 あ 0 が に 岩 文 た 学 安 波 書 倍 研

題 生 的 に 労 西 る 想 漱 き 拡 に を 洋 と で 石 あ て 見 げ 重 西 に 的 居 7 ね 洋 る て れ 於 た 我 は た は 的 け 明 が 東 漱 英 自 情 る 治 玉 洋 吉 石 5 操 重 時 に 文 自 利 東 及 要 代 独 化 身 的 洋 び な 特 思 を لح  $\mathcal{O}$ 的 テ 特 な 西 生 想 全 洋 徴 き 文 لح 7 学 般 漢 づ 文 た  $\mathcal{O}$ 0 け 的 化 問 詩 彼 لح 問 と 題 る  $\mathcal{O}$ 的  $\mathcal{O}$ 0 題  $\mathcal{O}$ で 間 生 重 は で 交 あ に 活 要 俳 な あ 渉 る 立 句 に 東 意 ŋ لح  $\mathcal{O}$ 9 的 於 洋 4 て 的 義 11 な け 殊 Š な る 情 を 有 に 5 親 交 操 ず 文 漱 渉 及 L 文 L 学 化 < で た 石 び 史 苦 لح 思 間  $\mathcal{O}$ 更 あ

安倍能成「『夏目漱石』を読む」(三)

東 洋 的 情 操 及 び 思 想 漢 詩 的 俳 句 的 لح

安

倍

は

題 た 洋 間 的 題 情 で あ 操 لح ŋ 及 び L 思 明 そ 想 治  $\mathcal{O}$ 時 問 代 題 英 が 吉 と 広 利 11 < 的 う は 日 本 لح 我 近 が  $\mathcal{O}$ 代 玉 交 に 渉 に お 独 を け 漱 特 る 石 な 重 全  $\mathcal{O}$ 要 般 な 的 生 的問 問 き

n 漱 た 石 ま 研 た 夏 究 第 目 が そ 次 漱 世  $\mathcal{O}$ 石 中 界 必 大 携 心 لح 戦 に な 後 お 0 て 1 日 本 て 11 < 近 中 代 吉 文 で 田 学 精 昭  $\mathcal{O}$ 氏 和 研 は 兀 究 次 十 が 0) 本 ょ 年 格 う に 化 に 出 L さ 述

な 題

構

义

に

お لح

1

て べ

天 る。

渓

لح

同 0)

型

0 5

Ł な

 $\mathcal{O}$ 評

で

あ

る

で

あ

る

述

ょ

価

0

あ

V)

方

は

そ

 $\mathcal{O}$ 

基

本

1

度 ぞ 意 で に 融 題 あ で  $\Delta$ 0) 漱 が ħ 味 は 身 لح す 0) 0 日 た 典 0 に コ る 本 彼 石 0 型 は そ 深 あ 鴎 体 ス 0 ほ か 0 تلح 的 鴎 0 さ る 外 干 と は L 近 渾 な 外 人 が 近  $\mathcal{O}$ て ポ 11 代 間 代 11 IJ う 然 と V 東 文 ر ح لح 0 そ 文 る タ 西 学 لح わ 深 本 t 思 L 化 ゆ カゝ = 両 で 7 る لح ズ 足 に 想  $\mathcal{O}$ 洋 な ま 創 あ 0 11  $\Delta$ を 11 た を る ど 文 深 造 う 的 L 学 ろ 存 4 深 に 本 自  $\mathcal{O}$ 近 者 に 参 لح 己 ょ で 在 11 足 11 代  $\sqsubseteq$ ? で 照 لح 加 で 0) 1 う 思 に ツ あ 作 応 あ 思 カュ L  $\mathcal{O}$ 想 ク 0 家 す ろ え 学 る 想 え 調 に た。 る ス と で な 者 と n 和 と と L L  $\mathcal{O}$ 11 文 両 L ば つ L て、 人 ナ た 東 て 混 者 7 例 洋 0 ľ で  $\mathcal{O}$ シ あ 両 あ تلح は 上 7 ŋ 者 彐 る 最 0 0 方 0 ナ ま 西  $\mathcal{O}$ ょ あ 大 V て、 IJ だ れ 洋 意 11 11 そ 程 は  $\mathcal{O}$ لح 味  $\mathcal{O}$ け 度 ズ 混 で n 間

L か 彼 0 場 合 0) 東 洋 لح は 主 لح 7 中 玉 を 意

味

す る

## 吉 田 精 漱 石 に お け る 東 洋 لح 西 洋

۲ た、 が う 両 る。 者  $\mathcal{O}$ る な う 吉 後 を 大 捉 田 東 典  $\mathcal{O}$ え き 氏 洋 型 方 深 本 な は 的 観 論 は V に な لح 点 に 0 日 お 天 か 1 本 ろ 渓 5 11 て 本  $\mathcal{O}$ で Þ て 足」 近 老 安 3 漱 特 代 荘 倍 ツ 石 に 的 文 思 ク  $\mathcal{O}$ を 存 学 ス 鴎 想 評 中 在 外 B 価 L 玉 な لح と 儒 た لح لح 学 共 例 1 0 L L 通 ŧ 思 لح 近 褝 に 想 L 特 た 代  $\mathcal{O}$ B L 東 に 思 Ł て 影 文 漱 洋 響  $\mathcal{O}$ 11 لح 想 化 石 る。 で 西 を を に 検 洋 0 あ 強 0 る。 間 討 調 に 11 0) ま 題 て L ょ て ま た لح

せ 本  $\mathcal{O}$ 留 書 ラ に が て 論 学 並 ン 注 は 昭 11 時 3 和 0) ス 期 文 0 に 末 五. 漱 漱 学 た 対 لح + 尾 加 石 石 لح 褝 L に え 七 と と 7 て 年 11 は に と 江 英 う 緊 0 に 11 戸 文 指 漱 発 迫 11 う 漱 学 摘 L 石 て 石 行 論 が た に さ 論 が 文 漱 あ 関 ľ お n と 石 漱 る け た 係 古 5 لح لح  $\widehat{14}$ を る 石 れ 今  $\neg$ Ł 謡 と 古 保 た 講 لح に 亜 今 座 ち 尚 東 と 米 東 西 11 漱 利 0 郎 西 夏 0 加 0 石 目 氏  $\mathcal{O}$ た لح 文 لح 漱  $\mathcal{O}$ 文 学 タ 老 そ L 石 論 化 \_ 1 荘 れ て 文 B 1 5 が  $\mathcal{O}$ 学 を 1 ル 禅 漱 第 あ 識  $\mathcal{O}$ 五. ŋ ギ 熟 石 IJ لح 巻 成 論 覚 ス 文 え フ 13 さ そ

考 上 き た で 察 لح す  $\mathcal{O}$ 極  $\otimes$ 言 る ょ Š て え る 重 に 要 は な そ 漱 課 漱 L 石 題 T 石 を と 東 0 さ  $\mathcal{O}$ 作 西 れ 点 品 両 て 洋 は を き 理 た 広 解 伝 < す 統 لح 日 る た 本 近  $\mathcal{O}$ 8 代  $\mathcal{O}$ لح 近 代 前 11 提 う 化 لح 観 を さ 考 点 え れ か 7 6

V

ク で れ 書 え 俳 石 IJ え 0 に 5 て 句 は 力 る は漱 画 11 を に 様 が を 文 小 ょ て 多 石 漱 学 作 説 5 好 ŧ 岐 Þ を な だ ア な 石 む  $\mathcal{O}$ る に 伝 和 研 لح け  $\mathcal{O}$ لح 4 メ 人 わ 統 漢 究 لح で IJ は 小 لح な た لح 洋 が 説 5 Ł な 力 る。 近 ŧ 0 に あ に に ず に < 代 三 + る な 西 t 比 لح 世 W 洋 例 あ 若 1 世 較 い 界 な 紀 う 6 え る 文  $\mathcal{O}$ 1  $\mathcal{O}$ ば 学 か 印 時 時 カ  $\mathcal{O}$ 観 文 初  $\mathcal{O}$ 象 絵 期 期 0 研 点 化 影 た 頭 究 派 画 に カュ カュ に 者 響 絵 に は 6 に 6 通 英 考 を 画 晚 15 は  $\mathcal{O}$ 0 ľ لح 与 Ł 11 詩 年 西 平 え 指 洋 ||え 好 て を に る 自 T Ł 作い 摘 に 祐  $\lambda$ だ。 成 た す t 在 弘 11 に る 南 る る 中 氏 L そ ょ 玉 文 そ 画 7 ま が لح B で う 筀 L 11 に て に を る 漢 ŧ 漱 は 江  $\vdash$ 戸 詩 T Š 石 上。 す そ  $\mathcal{O}$ 加 B 漱 フ る に ツ

る 代 す 統 主 カュ 論 表 で た 6  $\mathcal{O}$ 伝 あ す 明 明 思  $\mathcal{O}$ 確 は 認 0 は る 治 明 ょ 5 想 Š 的 た 思 L 維 治 カ 的 広 た 想 な な 新 維 に 背 そ 研 教 < 家 ょ 以 新 す 景 5 後 究 養  $\mathcal{O}$ 日 لح 以 る を 漱 本 さ に に  $\mathcal{O}$ 前 流 石 近 れ 流  $\mathcal{O}$ لح 伝  $\mathcal{O}$ 代 7 n 新 漱 入 東 を 統 作 た  $\mathcal{O}$ お 石 L を 洋 課 に 品 問 り は て 踏 を 題 作 ま 流 Þ 題 き 中 لح え、 評 を そ 家 た 入 心 す 近 L 論 考  $\mathcal{O}$ で 西 る لح 代 本 察 て 作 あ 洋 L き な す 品 る を 論 た本  $\mathcal{O}$ B と 中 文 た る 11 思 論 交 と て 評 心 は 近 想 文 代 لح £ لح わ 漱 論 を に ŋ 的 儒 に  $\mathcal{O}$ に L 石 お 学 と 意 た  $\mathcal{O}$ な 0 V 思 B な 義 眀 思 沂 V 作 7 う 治 想 代 想 褝 が を 品 観 が لح る 考 期 を Þ 点 評 ŧ) え を 指 伝 は

も西の

らのの

る品景えよ有

カコ ょ لح Š に う 交 点 わ を V) 明 5 吉 か 田 に 氏 す  $\mathcal{O}$ る 指 摘 す る ? ツ ク ス が 行 わ れ

た

لح る り 研 関 < Þ L あ 洋 淵 n 石 い  $\mathcal{O}$ 究 わ す 広 0 思 源 究 連 作 7 ŋ で 評 な る 7  $\mathcal{O}$ 西 ス 0 ま に 影 ウ 論 る 本 < 0 想 を 11 書 を た 品 Ł 洋 お で 研 に 文 作 そ 探 響 思 究 0 論 西  $\bigcirc$ な が 論  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 1 11 あ 飛 学 受 を 想 7 中 文 洋 品 L る あ じ 背 作 フ る が  $\mathcal{O}$ 11 ケ 作 に 文 容 ŧ た 論 景 ょ を 論 ŋ 面 家 1 は あ 0 て 谷 学 創 と  $\mathcal{O}$ 文 U に لح B 具 う 西 品 お 杉 る 美 P そ 古 0 漱 で な そ た 関  $\mathcal{O}$ デ 体 がな 洋 Þ 11 11 田 穂 的 思 T 思 7 石 う あ Ŀ  $\mathcal{O}$ 弘 小 す  $\mathcal{O}$ 影 イ < 的 漱 子 想 想 側 ŋ Ł 他 倉 ŧ 響 ケ 文 Ł 11 が 子 る は な 分 石 書 1= 数 事 研 と 関 ン 板 作 量 脈  $\mathcal{O}$ 西 面 脩  $\mathcal{O}$ \_ 漱 لح ズ を 具 流 洋 か ま 多 典 究 係 垣 品 的 思 を 漱 石 明 明 体 لح 文 た < 類 直 相 想 れ 5 ŧ な を に 石  $\neg$ 0) 的 学 指 5  $\mathcal{O}$ を 日 あ で 夏 0 ス 子 互. 多 的  $\mathcal{O}$ 源 中 た テ な 前 漱 本 る  $\mathcal{O}$ 目 漱 摘  $\mathcal{O}$ 11 背 カゝ カン  $\neg$  $\neg$ 泉 に 文 指 に 文 提 西 漱 作 さ イ 漱 関 景 に 石 石  $\mathcal{O}$ 猫 学 す 章 洋 0 L 位 لح 摘 石  $\mathcal{O}$ 品 れ 石 連 は لح 17 置 思 作 史 B ジ る が ブ 文 を 西  $\mathcal{O}$ L n لح E 7 V B  $\widehat{18}$ 学 指 そ 照 づ 想 品 5 著 明 ン 洋 う エ 11 = 見 لح け لح を 思 書 6 ソ  $\mathcal{O}$ 摘 思 問 0 応 漱 は 1 る 6 想 لح ン 背 を る 石 問 捉 す 想 題 意 で ム か チ れ 題 史 作 = ズ に ま な 景 義 ŧ t 0 え L る B に 工 る 漱 作 意 る に 品 て ] 受 さ た 比 文 を لح  $\mathcal{O}$ 0 ょ 16 学 チ 容 較 考 石 لح 品 識 \$ お Þ ま 19 n 沂 VI う 工 に  $\mathcal{O}$ ŧ を を  $\mathcal{O}$ け 思 لح な لح て 年 数 文 لح 7 に للح る 想  $\Diamond$ لح 多 学 共 で 作 11 に ょ

品る

漱お

ŋ

研

<

関

多

 $\mathcal{O}$ 

業 評  $\Diamond$ لح 典 に 石 に た n ょ 5 さ 0 لح う 光 ま あ が 論 は れ 0 ħ l 11 文 が 彼 で لح 多 B L 言 に て 20 方 7 る 7 学 当 6 が < た 西 作 11 11 に 儒 で で 11 て が 残 品 成 難 活 き 分 る < 洋 学 あ 小 果 5 さ 漱 動 最 内 V 量 が 必  $\mathcal{O}$ に る 説 ŧ 的 に れ 初 に ħ  $\mathcal{O}$ 石 要 思 0 が 作 あ に 7 褝 褝 に 儒 て が お お が 想 品 い ŋ V に 学 獲 11 11 に ŧ 褝 あ 例 に て 得 決 لح な T る 関 0 P て る 文 は え お そ か L 編 22 わ VI L  $\mathcal{O}$ 老 化 ば け 0 た 関 0 者 る 7 7 漢 荘 0 亚 沂 る 関 た 知  $\mathcal{O}$ 近 部 ŧ 多 連  $\mathcal{O}$ 文 受 世 伝 わ 成 観 が 分 < 影 年 を Щ 脈 容 ŋ 日 統 兀 が 果 加 П 発 لح は 굸 響 が 文 面 本 年 た 直 行 禅 藤 Þ を あ な が 常 カゝ で 化 に す 孝 書 受 る L さ < 果 に P 大 5 発 た れ 氏 لح 郎 る け 注 た  $\mathcal{O}$ き 東 行 23 役 は た  $\mathcal{O}$ + 評 て  $\neg$ 目 L な 洋 4 لح 割 さ 対 漱 V 分 者  $\neg$ さ た 影 思 語 指 文 漢 比 石 る れ に に は れ 意 響 想 ら 学 摘 0 文 な لح 研 少 た て 義 力 لح れ L 11 者 脈 褝 究 な と  $\neg$ き を  $\mathcal{O}$ 7 が 夏 を 7  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ さ 11 は た ょ  $\widehat{21}$ 関 ち す ŧ お は 功 漱 目 n ŧ ŋ で わ n ح 0 績 石 ベ を 7 般 漱  $\mathcal{O}$ 明 + あ き は き あ た n は に 石  $\mathcal{O}$ 作 た 漱 分  $\mathcal{O}$ U 事 لح 12 確 る 知 0

兀

洋 位 思 具 想 に 体 お لح 的  $\mathcal{O}$ け な 関 る テ わ 儒 1 り 学 7 で  $\mathcal{O}$ لح あ 役 L る 割 7 本 そ 論 L 文 7 で 漱 取 石 n 睌 上 年 げ  $\mathcal{O}$ る 禅  $\mathcal{O}$ は  $\mathcal{O}$ 接 自 近 لح 己 西 本

点 を 漱 大 石 لح ま 儒 カコ 学 に ま  $\mathcal{O}$ 関 لح  $\otimes$ 係 る に لح 0 以 11 て、 下 0 ょ 従 う 来 に  $\mathcal{O}$ な 研 究 る  $\mathcal{O}$ 初 中 期 で  $\mathcal{O}$ 重 視 \_ さ 野 分 れ る

> す  $\mathcal{O}$ た 容 全 儒 P L れ し  $\mathcal{O}$ 近 た る な 学 そ 確 倫 0 る 根 代 虞 立. 理 ۲ 漢 道 を 底 知 本 上 れ 美 لح 学 に لح 論 で 徳 旧 に 識 カコ 人 儒 文 が 観 お 0) は 来 は 人 5 草 学  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 穑 多 が  $\mathcal{O}$ \_\_ 11 \_ 思 第 極 明 形 道 問 以 て < 貫 に 儒 想 的 治 成 徳 題 降 L は 学 لح さ 部 期 を 7 が  $\mathcal{O}$ な 漱 思  $\mathcal{O}$ に 意 石 以 れ 代 儒 前 作 封 共 お に 降 表 学 想 義 7 面 品 建 诵 が V が お す 的に に に い 的 性 果 て 語 け お る る な 出 お な を 5 る لح b 道 さ た い い 道 指 西 漢 て 見 徳 l れ  $\mathcal{O}$ れ て 徳 摘 学 た 洋 る 衰 る لح 観 る す 的 に 退 L が ょ そ 積 0 る لح 残 う 極 な 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 主  $\sum_{}$ は \_\_ 般 そ に 的 n ょ 11 張 لح 自 少 て に 続 な う な 途 れ が で 役 己 な ŧ, を に け る な 読 割 た 儒 ょ 関 11 た 4 0 を 西 تلح 学 ŋ L を 心 取 自 ح 明 中 洋 0 を 漱 す が カゝ 己 n 5 思 心れ た 中 石 な L 薄 本 る か لح に 想 لح 心  $\mathcal{O}$ わ れ 位 が 受 さ そ 対 لح 健 5 L

V が禅 接 る لح لح 沂 沂 次 で 代 لح そ  $\mathcal{O}$ L に 本 た Ł 論 ħ 接 晚 ح 漱  $\mathcal{O}$ に 文 は 近 思 لح 年  $\mathcal{O}$ 単 は 石 純 近 لح  $\mathcal{O}$ 想 睌 第 は 褝 لح 年 な 代 作 褝 歩 に 前 に 品 部  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を お に 時 対 Þ 関 接 あ け お 代 す 様 係 沂 わ る 的 る で い Þ  $\mathcal{O}$ せ 禅 て な 反 な あ 意 た 発  $\sim$ は ŧ 資 る 義 t 0 لح 料 0 が L を  $\mathcal{O}$ 接 漱 か 再 で 0 て 5 漱 近 石 考 口 捉 あ が  $\mathcal{O}$ 指 石 す 褝 帰 え 摘 が 0 る た 認 と 5 さ 睌 西 見 年 洋 識 れ n لح に を る る て に を 明 ベ t お 11 お 指 け き  $\mathcal{O}$ 1 5 る る で で 7 摘 か す に は あ 褝 す る に る 反 な 0

【注記】

 $\widehat{1}$ 

福 沢 諭 吉  $\neg$ 文 明 概 略 引 用 は 文 明 論 之 概 略

- 2 年 五. 初 月 出 は 文 学 論 大 倉 書 店 明 治 兀 + 九 〇 七
- 3 月 初 五. 出 日 は 東 京 朝 日 新 聞 明 治 兀 十 三 九  $\bigcirc$ 年
- 4 月)。 初 出 は 学 生 タ イ  $\Delta$ ス 明 治 兀 十 九  $\bigcirc$ 七 年
- 5 明 講 演。 もとも 治 兀 文章とし +兀 لح 明 治 て 九 兀 は、 +兀  $\neg$ 年 朝 年 目 八 +講 月 + 演 月 集 八 日 (朝 に に 集 大 目 録 阪 新 市 聞 で 合 行 資 会社 わ れ た
- 6 引 セ 用 ン 帝国文学」 ター は 平 ) 平 敏 成三 夫編 大 正 『夏 五. 九 目 九 漱 九 一 石 研 年 六 究 五. 資料 月 年 兀  $\mathcal{O}$ 集 月 第二 成 5 同 巻 日 年 に 本 六 ょ る。 义 月 書
- 7 は 中 夏目 央新 漱石研究資 聞 大 正 料 五. 集  $\widehat{\phantom{a}}$ 成 九 0) 第二 六 一巻によ 年 十二月 る + 日 引 用
- 8 漱 石 新 研 小説」 究 資 料 大 集 正 成 六  $\mathcal{O}$ 第 九 三 巻 七) に ょ る。 年 月、 引 用 は  $\neg$ 夏 目
- 漱 新小 研究 説 資 料 大 集 正 成 六  $\widehat{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 第 九 三 巻に 七) よる 年 月 引 用 は 夏 目
- 10 用 時 夏 事 目 新 漱 報 石 研 大 究 正 資 五. 料 集 成 九 六  $\mathcal{O}$ 第二 年 巻 + に ょ 月 る。 + 六 日 引
- 11 思 想  $\mathcal{O}$ 第 昭 九 巻に 和 十 三 ょ る。 年 九 月。 引 用 は 夏 目 漱 石 研 究 資
- 12 夏 目 漱 石 必 携 学 灯 社 昭 和 兀 十 兀 九 六 九

年

料

兀 月

- 13 間と  $\equiv$ 好 雄 有 好 斐 他 閣 編 昭 講 和 座 五. +夏 七 目 漱 石 九 八 第 五 巻 年 兀 漱 月 石  $\mathcal{O}$ 知 的
- 14 講 座 夏 目 漱 石 第 五. 巻 へ 漱 石  $\mathcal{O}$ 知 的 空 間  $\succeq$ 133 頁
- 15 成二十 平 Ш 兀 祐 弘  $\stackrel{\frown}{=}$ 内 と 外 から 年 七  $\mathcal{O}$ 月 夏 目 漱 頁 石 河 出 書 房 新 社 平
- 16 九 五 板 六) 垣 直 年 子 七 月 漱 石 文学  $\mathcal{O}$ 背 景 鱒 484 書 房、 昭 和  $\equiv$ +
- 17 大学 飛 出 ケ 谷 版 会、 美 穂 平 子 成  $\neg$ + 漱 兀 石  $\mathcal{O}$ 源  $\bigcirc$ 泉  $\bigcirc \\ \vdots \\$ 創 造 年 +  $\mathcal{O}$ 月 階 梯 慶 應 義
- 18 周 辺 小 倉 脩三 有 精 堂 夏 平 目 成 漱 元 石 ウ 九 1 八 ij 九 ) ア ム • 年 ジ 月 エ A ズ 受 容
- 19 撼 杉  $\bigcirc$ 田 L た 弘 年二 近 子 代  $\neg$ 月 日 漱 本 石  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 知  $\neg$ 性 猫 た とニ 5 ڪَ ] 白 チ 水 社 エ 平 稀 成 代  $\mathcal{O}$ + 哲 学 者 に
- $\widehat{20}$ 三 好 年 四 行 月 雄 編  $\neg$ 夏 目 漱 石 事 典 学 灯 社 平 成 兀 九 九
- $\widehat{21}$ 加 藤 郎 漱 石 لح 禅 翰 林 書 房、 平 成 十 九 九 九

年十月

22  $\mathcal{O}$ 研 た 松 そ 篇 句 究 本  $\mathcal{O}$ に 常 具 平 限 0 彦 成 体 11 界 + て、 的 を 漱 八 に 探 石  $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ 対 る لح 郎 比 た 褝 す が め  $\bigcirc$ に る 希 六 求 作 ŧ 業 す 年 行 が る 人 + = 褝 不 一禅 可 的 月)  $\mathcal{O}$ 欠 的 場 文 世 に 合 لح 脈 界 11 を 行 (T) う 人 旦 内 指 実、 は 褝

0

塾

月、204(23) 山口直孝編『漱石と漢文脈』翰林書房、平成三十年三ある。

# 「自己本位」における儒学の影響

る 0 り は ま 次 <u>\</u> 此 ょ  $\mathcal{O}$ 場 L 自 < よう たし に 己 知 0 本 5 と、 な 11 位 れ る 反 て と 口 省 述 ょ 1 う に べ Š ド に ょ て 言 ン る V 葉 漱 留 る。 ŧ 石 を 学 0 は 自 中 ۲ で 分 に 私 あ  $\mathcal{O}$ 0) 到  $\mathcal{O}$ る。 手 達 個 自 に し 握 人 己 た自 主 本 0 義 て 位 5 か 1 0) は ら に 自 大 自 お 5 己 変 V に 強 本 て 位 < 対 す な 私

は 西 指 て は に を 今 暗 に 丸 洋 す 漸 で 迄 其 で そ た 人 0) 自 < は 評 考  $\mathcal{O}$ で ħ 分 気 5 全 を を 作  $\mathcal{O}$ が  $\otimes$ < す ず 触 物 理 酒 付 に 他 に、 れ を が を 11 漂 人 中 散 評 非 人 た ょ 本 略 に 6 自 L で 0 0 位 か 分 た Ł 飲 で て で 譬 さう す。 す  $\mathcal{O}$ 0) あ W 0) 腑 を で た 根 ば で 読 だ 貰 私 に カコ  $\mathcal{O}$ す。 あ لح 落 W 0  $\mathcal{O}$ 5 な 5 だ る て L 1 西 B と て ۷ 駄 萍 す 洋 う 仕 後 に 目  $\mathcal{O}$ る が 人 舞 他 Þ か で と、 が Š 5 う 落 人 あ 5 甲 其 本 所 に 0 ま 其 と 謂 品 位 た 評 11  $\bigvee$ 評 لح لح 其 が  $\mathcal{O}$ Š 真 を 所 11 11 当 似 S 同 聴 S VI 無 否 じ を 11 0) 事 5

(「私の個人主義」

漱

石

0

自

己

本

位

は

他

人

本

位

か

5

 $\mathcal{O}$ 

脱

却

で

あ

ŋ

た 論 ょ 0 لح を る ż 支 0) 評 他 え れ 価 人 序 る る Þ لح 口 価 ŧ 2 ン 値 は  $\mathcal{O}$ が ド 観 と 何 あ ン は で ょ り 留 あ ŋ 何 学 で 0 Ł た。そ そ 中 ま あ ず、 0) 0) 0 経 自 た れ 緯 5 当 0) で が を 時 カコ は 次 振 支 ŋ 0 配  $\mathcal{O}$ 自 ょ 返 的 لح 己 う 0 で き 本 に た あ 0) 位 語 t 0 漱 5 0) た 石 に を 西 れ  $\mathcal{O}$ 獲 7 洋  $\neg$ 文 得 自

し己

にそ

る学

語 為 悪 於 語 5 翻 る け ず 異 に 8  $\mathcal{O}$ に 0 種 所 な か る 於 て 類 謂 b < そ け 然 思 0 ず 迄 文 れ る t Š 学 ŧ W に に 知 余 に  $\mathcal{O}$ لح ば 岐 劣 識 は 余 た あ n は カコ は 充 は 5 到 5 る ŋ 無 分 漢 ざ ず لح 底 論 之 ۷ 籍 る 同 は は 深 を に 可 思 味 定 換 両 L 於 か 義 言 者 は لح S 7 5  $\mathcal{O}$ す  $\mathcal{O}$ ず 굸 得 左 0 ず 下 れ 性 Š る 程 に ば 質 学 可 Ł 根 漢  $\mathcal{O}$ 力 か  $\mathcal{O}$ 底 括 学 そ は 5 لح あ ざ に 同 自 n る l 得 所 程 程 る 信 学 る 謂 に 度 ŧ す 力 べ 文 異 لح あ 学 な 漢 か L 余 る と る て 籍 が 5 に X" 英 が 好 に 英 あ

(『文学論』「序」

漱 石  $\mathcal{O}$ 自 己 を 支 え る Ł 0) と L て、 西 洋 的 な 感 性 لح は

異

11 東 な 洋 る 的  $\mathcal{O}$ な 東 趣 洋 序 味 的 を な そ 感 が 書  $\mathcal{O}$ 性 が カュ ま ま あ れ た 0 自 た 年 己 ほ لح لح تخ は 確 前 4 に な カン で は L 次 7 あ  $\mathcal{O}$ る い る ょ 5 ŧ わ に け to ろ 述 で ベ は ん て な

る

る 来 身 サ カン で 凡 随 け て カ 分 れ 5 で テ 或 あ 0 て で ば 単 た 自 定 措 は る 馬 鹿 な に 趣  $\Diamond$ あ n カコ て 東 を る 西 が 味 5 ね 西 自 判 気 b ツ た カ め 洋 自 لح 得 ば を 己 断 話 5 0 分 が 来 な 7 通 が す で な ソ 批  $\mathcal{O}$ 標 IJ ľ 標 0 5 る あ بنح ウ 評 標 準 た め た 準  $\mathcal{O}$ る ۷ 解 家 準 لح 趣 標 لح れ 標 لح 昔 V 釈 が な 味 5 準 な 準 な と、 言 る  $\mathcal{O}$ る は Š L カ Ł た る  $\mathcal{O}$ 5 有  $\mathcal{O}$ 世  $\mathcal{O}$ 0 あ < た  $\mathcal{O}$ で 今 無 5 لح は 西 で 事 で う は 洋 日 に あ 時 ح な を あ に る لح 西  $\mathcal{O}$ 拘 洋 そ る 文 至 は 然 を 11 れ 化 る 千 に が 0 が 6 L 問 西 ま 然 吾 カン ま ず 茲 古 心 は る で 標 に 酔 洋 ۷ 人 b 所 ず に を  $\mathcal{O}$ 自  $\mathcal{O}$ 進 に 貫 現 人 L た が 解 そ 標 カコ 歴 は は < 在 釈 準 そ 標 Ł 言 れ 6 史 自 が を  $\mathcal{O}$ 0 L で が  $\mathcal{O}$ 分 れ 準 標 た 棄 得 中 自 لح で な あ は 進

戦 後 文 界 0 趨 勢

が  $\mathcal{O}$ る 0 歴 ま 風 漱 あ 史 ま 潮 石 受 に 0  $\mathcal{O}$ け 中 そ 対 売 す  $\mathcal{O}$ か  $\mathcal{O}$ ŋ る 言 5 支 す 葉 自 Ł え る  $\mathcal{O}$ は か لح 5 で L と 得 あ 当 て を 来 る 時 否 0 0 漢 定 た 学 す 趣 西 る 味 カコ 洋 姿 5  $\mathcal{O}$ 昔 勢 が 批 カゝ 存 に 西 評 5 漱 在 洋 家 今 石 L 人 日  $\mathcal{O}$ た  $\mathcal{O}$ を に 受 価 自 至 と け 値 己 る 観 売 本 応 ま を ŋ 位 で そ す は

と

な う ま 思 لح 惟 見  $\Diamond$ が 極 る 影  $\otimes$ 響 7 لح を 西 が 与 洋 で え 的 き て な る 11 価 る 値 注 と 観 目 1 を L う ŧ た 点 と V で に  $\mathcal{O}$ あ L は る た 言 自 葉 己 に 本 ŧ 位 東 洋 لح 的 V

ベ 年 す 有 兀 な が 漢 る に 年 る 0 形 漱 ょ 学 に で は ょ 7 石 う う 見 漢 を は لح に に 学 漢 漢 籍 る 午 学 学 W は 後 漢 漢 で 塾 لح لح 沢  $\mathcal{O}$ 詩 籍 で が  $\mathcal{O}$ 11 Ш 日 る。 を は で 関 あ 読 課 書 漱 る き わ W と 11 後 る ŋ 石 だ 7 L 0 年 松 は ŧ 7 11 教 学 幼  $\mathcal{O}$ 漢 る そ 養 舎 元 11 で 詩 形 頃  $\mathcal{O}$ 来 に あ を 成 生 僕 入 か る 作 0) 学 涯 は 5 ŋ 基 漢 漢 L 0 ま 盤 学 籍 あ す 落 と が に 5 第 な 好 年 親 ゆ 5 0 で ほ L る لح た。 随 تلح 4 時 書 分 で 期 لح 駔 簡 ま は 明 味 で た 口 あ 治 様 述 睌 想 を る +

あ、 き と 儒 を え が 山れ 言  $\mathcal{O}$ る 中 ば 仕 読 で 学 漢 7 及 若 心 方 籍 が あ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ W 11 11 لح 影 吾 な 許 だ な 乏 0 ょ 時 う 輩 た 響 L あ ŋ 11 L 聖 \_ 0 な た る は 0 で 読 لح V カコ 堂 儒 猫 な な あ 漢 か ら W あ 先 で 学 で تلح で ど に る 学 る に 朱 لح に を な あ 此 0  $\mathcal{O}$ が 触 子 漢 تلح 11 修 る Ł  $\mathcal{O}$ れ 資 た ょ 学 籍  $\Diamond$ カュ 語 文 ح 料 て だ る た カ た 5  $\mathcal{O}$ 5 明 的 は 教  $\mathcal{O}$ 談 0 人 迷 れ 開 な 漱 養 話 何 中 物 る。 江 亭 定  $\mathcal{O}$ 化 制 石 漢 か 味 لح 戸 中  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 約  $\mathcal{O}$ が 籍 落 に 時 研 学 で、 L 台 世 ŧ 第 凝 L て 究 代 詞  $\mathcal{O}$ W あ に 1) て に に で 中 ŋ が だ 1 特 で 固 0 儒 メ 正 儒 0) に あ に ま 11 は 学 1 学 な 学 漢 + る 重 て、 0 に ジ لح 漢 学 ŧ が 視 た あ 分 関 漢 す さ 学 に 者 に  $\mathcal{O}$ تلح す 4 考 連 る れ 漢 者 籍 明 0 0 べ に  $\mathcal{O}$ L た 学 な 6 ょ き だ لح 朱 7 う 者 は を た 0 か 漱 ŧ か 書 が 子 で た 見 に 石 な  $\mathcal{O}$ 5 z 処 沢 さ ŧ 学 例 る  $\mathcal{O}$ が

が は 朱 を カン 中 子 な 学 ŋ 心 لح が 0 L 語 量 た 5 を \$  $\mathcal{O}$ て 8 で 11 7 あ る 1 0 が た لح لح V 方 が う で 予 指 漱 想 摘 石 さ Ł  $\mathcal{O}$ n る あ 儒 る 学  $\mathcal{O}$ ま 教 養 が 陽 眀 で

い深

ょ 陽 に な を ŧ تلح 孟 る 明 聞 漱 ま 子 ŧ 学 を 11 Þ た 石 テ た は  $\mathcal{O}$ を が ŋ で 信 松 何 丰 لح を 文 充 学 あ 奉 ス 章 が 分 0 学 1 舎 L に 規 語 た て に で W 明 だ 範 5 漱 6 1 用 5 L た カゝ 1 れ 石 11 が は 7 7 か が 荘 お に 行 تبلح 断 さ そ 子 ŋ 定 わ  $\mathcal{O}$ \_ れ で ょ  $\mathcal{O}$ れ 当 て う テ き T  $\neg$ 時 1 書 な 丰 な 11 0) な た 経 教 ス 11 中 11 لح  $\vdash$ 育 洲 ち さ 0) を 0 多 な れ 韓 受 落 講 < 4 る 非 け 第 義 7 は に 子 た が が 朱 中 か で 子 洲 に 論 0) 自 具 0 中 講 語 注 身 体 庸 V 義 的 て は に

لح 薄 义 白 簡 書 < 潔 書 語 で そ 5 籍 館 読 な で  $\mathcal{O}$ 句 れ 他 W < て 通 だ 浅 が で \_ 締 11 0 薄 日 る Þ て で 0 本 漢 な て  $\neg$  $\mathcal{O}$ 文 思 < る 徂 近 で る。 徠 11 て 世 は  $\mathcal{O}$ 出 ょ 儒 享 蘐 す 安 11 学 保 ر ح 0 遠 井 に 時 +息 ま 代 0 な 筆 た 軒 11  $\mathcal{O}$ Fr, を 林  $\mathcal{O}$ 徂 7 無 鶴 文 は 徠 10 暗 梁 は で  $\mathcal{O}$ 今 に 派 余 写 Ł  $\neg$  $\mathcal{O}$ 子 L 鶴 時 が 文 供 梁 取 Þ 文 章 0) 全 章 0 読 が た 時 集 に む 好 聖 が 裨 き な 堂 ŧ 益 だ Ľ  $\mathcal{O}$ 面 軽 せ

代 と た を 5 持 れ 7 が 0  $\mathcal{O}$ 受 だ ょ は  $\mathcal{O}$ け ろ Š 全 単 儒 う に に 体 学 た 思 幼 を カン ے 少 通 想 じ 形  $\mathcal{O}$ 渡 期 L て ょ 辺 成 に  $\mathcal{O}$ う 和 儒 0 素 な 靖 学 直 養 要 接 幼 氏 を 学 素 体 少 は لح 験 لح 期 ん 11 明 だ لح 11  $\mathcal{O}$ う う 儒 治 L 12 言 لح 学 7 維 لح 葉 新 は 彼  $\mathcal{O}$ سلح で 学 前 5 ま  $\mathcal{O}$ 表 び 後 体 5 現 精 を に 11 ず L 生 神 か た 直 ま な  $\mathcal{O}$ 接 内 少 上 n 3 奥 年 で 体 た 意 時 験 人 味

> そ 治  $\mathcal{O}$ る < 期 n 思 11 獲  $\mathcal{O}$ は 想 得 日 t 形 さ to 成 本  $\mathcal{O}$ n  $\mathcal{O}$ ろ ょ に た 知 W 大 う 漱 き 識 な ŧ 人 石 な 儒 0 に だ 影 学 لح あ け 響  $\mathcal{O}$ 沭 て を  $\mathcal{O}$ べ 問 素 は 与. ま 題 え 養 そ る で た 0 問 は 影 が 題 な لح  $\langle$ で が 漱  $\mathcal{O}$ あ 予 石 大 0 次 想 に き た 0 さ お さ ょ れ 11 を う る て 指 \$ に 摘 広 そ そ L て 0

明て後

要 で 度 頃 之 学 生 学 ま 11 に わ う あ て な あ か に ず る 0  $\mathcal{O}$ を が そ そ 特 点 転 前 受 る 際 0 教 5 11 福 わ 玉 た。 7 容  $\mathcal{O}$ n 質 育 で 儒 沢 向 半 n に を を は 学 は 諭 L に わ 眼 を 彼 L お 0 鏡 お 形 そ 受 で 人 吉 て お た n け 5 に け 致 鍛 等 成 L 1 人 が る が 11 に 映 な 幼 L て た L え ょ る 7 た 留 哲 た て 5 0 漢 5 意 学 少 0 0 11 学 そ れ 7 ず た た  $\mathcal{O}$ L V 西  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ れ 歴 西 頃 す  $\mathcal{O}$ か る は れ 周 経 な  $\overline{\phantom{a}}$ に ط そ 洋 な 多 Ł 歴 H 史 か Ł しい 仏 彼 少 そ < لح  $\mathcal{O}$ 津 で n 的  $\mathcal{O}$ わ 6 わ 教 哲 が そ 後  $\mathcal{O}$ う に あ ば ば 身 ち 5 田 特 と 学 違 で 真 宋 ろ 質 儒 は に な 彼 わ れ 1 う。 学 を が は 彼 蘭 1 道 6 に 教 0 5 あ う 理 け ま 6 学 は る。 な لح は 玉 0 别 解 0  $\mathcal{O}$ P あ を 彼 11 た 西 に 西 1 V 0 学 Š 儒 洋 お た 生 英 2 そ 村 5  $\mathcal{O}$ て L 眼 眼 < 学 て  $\mathcal{O}$ 茂 び ょ 教  $\mathcal{O}$ け 涯 は は 考 鏡 う 鏡 的 異 に に t 理 樹 え 哲 る が لح を 教 学 哲 質 お 転 由 中 ず 最 る 加 養 学 な U B 途 初 場 L を 11 幼 加 n 受 わ た お で  $\mathcal{O}$ 教 T た 少 動 藤 で ŧ に 合 容 لح 0  $\mathcal{O}$ 主 育  $\mathcal{O}$ 機 弘 洋 哲

小坂国継「日本の近代化と哲学」(ユ)

己 能 え 性 لح 本 明 位 が 見 治 触 5 知 0) れ れ 識 考 5 る 人 え ŧ  $\mathcal{O}$ れ 方 7 0 に 1 に 儒 Ł る 教 想 儒 的 定 学 同 教 さ 様 が 養 れ  $\mathcal{O}$ 深 る 事 < か 5 態 浸 透 は す る 見 先 に 西 と 見 洋 で 的 た 漱 変 な 石 容 思 想  $\mathcal{O}$ す る Þ 自 可 考

取 見 そ セ て 品 家  $\mathcal{O}$ 我 0) 問 ン 0) ŋ 5 0 代  $\mathcal{O}$ か 第 1 う 代  $\mathcal{O}$ 関 5 13 れ 代 題 流 て  $\mathcal{O}$ 上 とし れ 助 日 げ る 表 を 考 そ 確 部 日 わ と 作 自 考 本 て ょ 察 立 で 0 る ŋ れ 己 う 11 近 き て لح 察 す 5 は か う た 受 に L る。 世 千 す が と  $\mathcal{O}$ 5 主 言 る。 儒 容 て 漱 価 0) 11 漱 代 人 検 本 葉 学 知 意 さ 西 ま 0 値 石 石 公 討 章  $\mathcal{O}$ 思 義 洋 5 明 観 れ ず  $\mathcal{O}$ た  $\mathcal{O}$ 0 で す に る。 背 的 想 を を て れ 治 第 中 問 告 あ お 景 ど る 兀 自  $\mathcal{O}$ な 題 否 11 で 白 る 11 を 影 定す た。  $\neg$ + 章 に 代 次  $\mathcal{O}$ 11 己 は て 考 響 自 人 年 に 本 か 0 ょ 助 に は を 形 ごろ 察 に る 5 本 己 お 11 位 は 第 す 自 読 に 章 0) 1 変 て 代 ること 4 己 近 で を 家 に て、 容 B 捉 章 助 込 誠 え は 主 流 代 L 西 作 で 0 自  $\widehat{A}$ W 的 た 張 行 漱 て 洋 品 は 行 を で 我 に 知 か 漱 す 的 L 石 1 内 Doll's動 通 1 代 た る 識 と 石 0) < な で  $\neg$  $\mathcal{O}$ L 人 そ 0 表 書 が イ 思 11 か 0 背 て、「 さ 確 れ う 新 プ 簡 と 想 イ House)景 点 立 で れ カコ プ L セ  $\mathcal{O}$ 1 を 自 に 5 「イ 受 る を セ う 己 あ 自 と 思 は、 容 儒 己 ŋ ン 点 誠 L 旧 を 学 作 想 に ブ 12 L 自

## 注記

ŧ لح は 大 正  $\equiv$ 年 +月二 + 五. 日 に 学 習 院 で 行 わ ħ た

> 録 文 演 集 章 実 業 之 7 世 は 界 大 孤 蝶 正 馬 兀 場 勝 九 弥 氏 立. 五. 候 年 補 三 後 援 月 に 現 集 代

- 2 れ  $\neg$ た。 文学 (明 論 治 三十九  $\mathcal{O}$ 序 は 九  $\bigcirc$  $\neg$ 六 文 学 年 論 +に 月 先 兀 だ 日 0 て に 掲 読 載 売 さ 新
- 3 初 出 は 新 小 説 明 治 三十 八 九  $\bigcirc$ 五. 年 八 月
- 初 出 は 中 学 文 芸 明 治 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 六

4

月。

5 龍 之 大 介 正 宛 五 簡 九 六 年 八 月 + 日 久 米 正 雄

芥

Ш

- 6 朝 文 佐 社 古 純 平 成 郎  $\equiv$ 夏  $\widehat{\phantom{a}}$ 目 九 漱 九 石  $\bigcirc$  $\mathcal{O}$ 文 年 学 五. لح 月 陽 明 学 漱 石 究
- 7 平 け 成 る 冏 三十 部 漢 和 学 正 =者 漢 山 学 八 塾  $\Box$  $\mathcal{O}$ 年 直 な  $\equiv$ 孝 カン 月 編  $\mathcal{O}$ 漱 漢 石 文 脈 0 漱 漱 石 石 初 期 翰 文 林 芸 書 に 房 お
- 8 要」 海 亚 老 田 成 += (=00 輝 巳 夏 目 漱  $\bigcirc$ 石 لح 年二月 儒 学 思 想 九 州 女 子 大 学 紀
- 9 初 出 は 文 章 世 界 明 治三十 九 九 0 六) 年 三 月
- 10 月 初 出 三十 +は 九 日 東 回 カン 京 に 6 朝 わ 明 日 た 治 新 兀 て 聞 + 断 兀 明 続 的 治 に 兀 九 掲 + 載 年二 九 月二  $\bigcirc$ + 年 日
- 11 力 ン 渡 社 辺 和 昭 靖 和 五. Ι 十 三 方 法 論 九 的 七 考 八 察 年 明 月) 治 思 想 史 ~ IJ

13 12 とまとめてい ŋ 〇六) て、 家 を る な 老 ア (「イブセン と日 ŋ, 析せ も、「新しい 藤 道 1 書 小 具 房、 徳 で 木 プ 坂 年七 象的 宏幸 本 を る 高 玉 新 セ 近 置 権 安 代 平 継 ン に 代文学 月 成二 月 氏 カン  $\mathcal{O}$ 威  $\neg$  $\mathcal{O}$ を 示 る。 要 に 郊  $\lambda$ 近 は、 死 思想家」として衝撃をも 吊 し、 服 と述べてい +と 求 は 代  $\mathcal{O}$ ふ」(「早稲 (「イプセン」 「イプセンが 八 す を せ 日 イ 直 哲 ざる  $\widehat{\overline{\cdot}}$ 解 プ る 本 第 理的 後 三巻 者 セ 哲 L 学 な 者 ン に 早 る。 ŋ 精 な を 0) 説かず 六 田 9, 稲 な 一君 神 口 文学」 こ の  $\mathcal{O}$ 田 L  $\mathcal{O}$ カン ( 福 シ とり 年 文 腐 か 上 は  $\mathcal{O}$ ア L 学 九 よう ŧ に、 道 田 敗 西 て、 月、 明 光  $\bigcirc$ 田 抽 せ 徳 北 0 劇なイ 治三十 て 治 家の 象 真 る 哲 欧 劇 7 1学』 ミ 他 迎 的に 的情 形 な 1 ええら り、 編 家 プ に  $\mathcal{O}$ 式 南 8 とし セ九 を プ 論 上  $\neg$ 提 欧 ン受容 破 ぜ セ ネ に し 欧 れ 出 篇 た ず 米  $\mathcal{T}$ す 新 る か ン ル 九 作 ょ し な 者 ŧ ヴ

教

育

出

版

セ

ンター、

昭

和

五.

+

(一九七六)

年

月

- 13 -

# 「自己本位」におけるイプセンと儒学

# ――漱石の「イブセン流」書簡をめぐって

はじめに

な Š さうと ŧ 部 事 只 き 分 は す カゝ 生 れ る لح 活 1 が に 思  $\mathcal{O}$ に 矢 張 う 意 は ふ どうし つ V) 義 で < 今  $\mathcal{O}$ 草 何 L 0 7 枕 分 < 世 ŧ 界 暮  $\mathcal{O}$ 様 か 5 に イ ブ な 知 す 生 5 即 セ 存 主 ン 人 め 5 公 が 流 7 詩 自 で 矢 に 人 張 的 出 分 は ŋ  $\mathcal{O}$ に な 11  $\langle$ ょ け 極 < な 7 8 5 て す 所 1 は لح を 僅 11 け 通 あ 少

ころ とす 気 る L 如 違 て < な 維 此 で < ん 喜 閑 カゝ 新 る 点 ŧ ŧ ら で  $\lambda$ 文 て 0) カコ ざ 居 で 字 入牢でも  $\mathcal{O}$ 5 は 当 る 駄 な る 居 に 11 様 敵 目 志 5 る 帰 Š だ ば が で 着 と 何 単 す 単 5 前 は 然 士 でもする了見 る う に 後 到 に 勤 L と思 美 左 底 大 美 王. な 家 لح 右 動 俳 的 چ ° が 1 に カ る 句 な あ 世 困 Š せ 趣 文 る。 丈 な 学 間 苦 0) 味 でなくて 違 で 中 を 11 は は 0 0 は な は 荷 此 昔 たら め 満 ŧ 然 カコ 閑  $\mathcal{O}$ 足 た 文 Ł 文 学 ۷ は 学 字 神 様 出 大 る 者 に 文学 経 な 来 を 小  $\mathcal{O}$ が 衰 以 了 な 動 中 天 冷 者 弱 見 て 地 1 か に 評 に 生 さ に で 逍 に L な ŧ な 命 Ľ 寐 遥 た 丁

れまいと思ふ。(中略)

て 僕 死 は め 面 か に 生 於 き る て 俳 か 諧的 命 文  $\mathcal{O}$ 学 B に ŋ 出 と ŋ 入 すると を す る 同 様 時 な 維 に 新 0 面 志 に 於 士

 $\mathcal{O}$ 

如

き

烈

L

11

精

神

で

文学

をや

つて見た

社 ン  $\mathcal{O}$ か 0) を で れ 会 野 流 て 自 研 あ ら 野 きた。 立 分」 イブセ 究に る。 一志 問 分 <sup>(4)</sup> れ 題 と は が (6)などと注 士的 V お に 漱 う言 「イプセン ١, ン か E 漱 石 てもこの 文学」へ」いや「文明 流 か が 石 お 葉 わ が け 0 Ł لح 明 0 る て 目されてきた。 治 ま 表 書 作 流 た、 *ر* ر 書 現 簡 三 風 0 簡 + < L に 問 0) その は、 たことは 九 側 お 題小 変 年 面 11 化 草 よう て、 に を 説」行と述べ に 鈴 強 枕」②か あ 批評 な流 そしてここで ょ 調 自 木 わ  $\stackrel{\cdot}{\equiv}$ す < 5 せ 知 る 家とし 重 れ 0) て、 吉 ŧ  $\mathcal{O}$ 5 文 5 学 5 に 中 0) れ 「「草  $\equiv$ で、 て 宛 と れ に て 0) 0) 百 て 1 対 るように、 た イ る。 作 枕 て た +す 日 と 家 る 書 捉 え 簡 ブ 漱 否 姿 え 従 3 ば 定 セ 石 来 勢

後 述するよう に、 ے 0) ころ 漱 石 は 談 話 などでイプ セ ン に 0

ン そ て 11 Š 0) 見  $\mathcal{O}$ て 11 作 代 識 る 言 強 品 表 を 及 1 に 者 ŧ L 親 自 に 0 例 て 和 5 た 1 لح お 性 作 0 プ n 文 を セ 者 て 感 学 ン に 1 は じ に を ょ プ て 対 举 る 談 セ 11 す げ 話 ン た る 7  $\mathcal{O}$ 種 姿 文 作 V  $\mathcal{O}$ لح 勢 る。 学 品 勧 が لح 談 に 善 当 わ 共 妆 懲 カュ 通 時 L 悪」 る に  $\mathcal{O}$ て L た 漱 お 高 で ŧ 石 11 あ 評 0) が て る を 文 価 学 見 イ を 述 を る プ 与 べ لح セ え 高

自 る L る 然 理 か 作 主 文 想 品 義 L 芸  $\mathcal{O}$ が が  $\mathcal{O}$ 偏 方 あ 哲 真」 げ で 重 学 5 的 と を 漱 れ 基 て L 描 石 礎 11 て < は 批 る 1 9 لح プ 判 に セ す  $\mathcal{O}$ お ン る 4 11 作 上 を て 品 で 重 視 を そ す 否 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 定 頃 代 風 的 興 表 潮 に 隆 と を ŧ L 語 L 真 て 7 0 に て イ き プ 対 た V

た ダ を で 頭 竟 イ ŋ ブ 徹 は ず セ 尾 ガ け る な 苦 不 ブ た カュ に 氏 愉 レ 6 只  $\otimes$ で 快 ル う 真  $\mathcal{O}$ た あ な لح は か لح ŋ り 女 云 枚 لح 云 ま 思 で、 挙 S Š 馬 す 理 女 に S 鹿 此 ま は 遑 想 に 不 何 あ す 丈 L 5 を 愉  $\mathcal{O}$ た 不 ざ 標 快 現 り、 足 る 代 潍 な t 程  $\mathcal{O}$ に 女 75 を だ 作 な L ど 書 5 物 7 11 い 11  $\mathcal{O}$ う に 作 真 た لح 至 物 に 似 0 考 る に を لح は 人  $\sim$ 対 B る。 を 有 る、 す 名 欺 此 る

弊 為

必

(「文芸の哲学的基礎」第十八回

な徹いへ

る。 徹 漱 頭 石 徹 は 0) ょ 尾 う 不 な 愉 ツ 快 ダ 真 な 女 ガ 0 ブ ラ لح 偏 重 L 1 て と そ 11 (Heddaう  $\mathcal{O}$ 嫌 1 プ 悪 gabler)セ 感 を ン 0 あ 特 6  $\mathcal{O}$ 徴 わ ^ に は ツ L ダ 例 7 を え 11

> る。 プ لح 1 セ で た 通 セ 典 を ば 由 れ 般 セ ン 型 来 プ で に あ る ン 長 11 定 す そ ン う セ 流 ŧ 理 0 流 的 谷 程  $\emptyset$ 11 る 作 自 た れ ン あ 解 に な た Ш لح で 品 に え さ さ لح Ł 5 1 天 1 対 L 7 漱 プ 芸  $\mathcal{O}$ は に  $\mathcal{O}$ れ n 淫 プ V で 対 姿 す 7 鈴 る る セ 術 石 う が セ ے あ 勢 る 表 木 1 は ほ ン L 言  $\mathcal{O}$ ろ て を 高 現 三 自 ど  $\mathcal{O}$ プ 理 代 幻 0) 葉 う 親 感 述 11 L 重 セ 5 が 解 表 滅 作 評 か 和 じ べ た 吉 ン が 1 と 時  $\mathcal{O}$ 品 て た 価 性 と に  $\mathcal{O}$ 否 プ 代 L は 考 に か 自 特 定 セ 0 て は 1  $\mathcal{O}$ 当  $\mathcal{O}$ ン で 5 た は え 5 色 的 芸 イ 1 時 ょ 強 作 لح ŧ 5 で に あ プ  $\mathcal{O}$ プ 術  $\mathcal{O}$ う ど 文 扱 品 0 セ セ 1 れ あ 日 た 学 な ン 親 ま る Š る  $\mathcal{O}$ 10 文 本 ے 表 受 和 5 に 1 を で 作 学 人 現 性 め そ 対 لح プ 容 当 品 論 者  $\mathcal{O}$ で 埶 す を セ 時 真 0  $\mathcal{O}$ U  $\mathcal{O}$ 間 に 大 ど 存 当 る 知 ン が は て 実 社 で ま ŋ  $\mathcal{O}$ 其 0 在 時 姿 高 は 숲 読 ょ が  $\mathcal{O}$ 勢 な 特 ま カ 先 的 0 ま う 考 漱 先 が 徴 0 な  $\mathcal{O}$ ょ を 物 参 À が た 意 れ な 石 加に 6 う に イ 5 時 て 点 が 見 味 1 に 基 12 た そ れ 1 ブ \_\_ 代 が ブ に 11

11 受 使 セ に 1 11 を け す た ン プ 0 ま セ 取 と て 流 た る لح て ン n 様 11 ح を 作 لح る ま な る ず 例 維 推 品 表  $\mathcal{O}$ は え 測  $\mathcal{O}$ 新 書 L 現 ば さ 中 カ そ  $\mathcal{O}$ す 簡  $\mathcal{O}$ 次 に  $\mathcal{O}$ 志 せ L 言 る で  $\mathcal{O}$ る 意 士 葉 لح は ょ 維  $\mathcal{O}$ 気 0) لح 自 は ح Š 点 込 如 新 Ł 5 な 4  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は き に  $\mathcal{O}$ 死 B 指 時 志 そ 烈 文 め 摘 期 覚 士 n L 学 カュ 維 が だ 11  $\mathcal{O}$ 悟 0 生 新 あ け 精 漱 لح  $\mathcal{O}$ 姿 き  $\mathcal{O}$ る に 強 神 石 通 勢 る志 底 لح さ で  $\mathcal{O}$ を 文 تلح を カコ 士 す 語 ま 学 志 る 表 る す を 命 と 5 士 ŧ 上  $\mathcal{O}$ 0 ず B 11 で 5 的 を  $\mathcal{O}$ 0 B 7 ŋ 感 لح 言 な 漱 見 لح 意 じ 石 し 葉 1 7 た n ブ 7 が

ま 独 に 近 そ V な Þ  $\mathcal{O}$ Ł 俳 自 代 れ た 自 詩 れ W 0 左 諧 思 そ な 例 が 意 文 玉 的 後 輪 0 想 識 を  $\mathcal{O}$ 史 文 者 郭 自 لح 彼 n  $\mathcal{O}$ 範 士: 漢 学 百 か を 然 対  $\mathcal{O}$ が 処 لح 大 十 5 与 主 内 漱 理 す 夫  $\mathcal{O}$ 決 日 え 義 部 石 P る 的 史 は L 初 て 的 0 に に 静 文 ŧ 書 猪 期  $\neg$  $\neg$ ょ お 的 L 漾 V な 0 人 類 野  $\mathcal{O}$ 野 亚 う け な的 < 虚 < は 謙 俳 分 B る 要 は  $\mathcal{O}$ 面 実 自 集 旬 写 漢 玉 で は < 己 素 高 B な Þ 士 あ 実 カコ は 学 凝 は 度 日 晩 ど 0) 的 0 え ぐ  $\mathcal{O}$ 視 な 本 \_ 年 0) 草 て 域 < 要 0 意 0 社  $\mathcal{O}$ 素 思 枕 を て ま 味  $\mathcal{O}$ 面 会 漢 志 そ 方 に 前 越 れ で 的 想 に 詩 士 な 連 者 え  $\mathcal{O}$ て あ 向 お 倫 家 が ど 的 な カン ゆ に た 近 0 11 理 あ  $\mathcal{O}$ 文 5 代 < 結 ŋ 的 漱 7 b 学 11 は ま 的 西 てバ そ 批 石 わ 0 な 欧 そ わ 0  $\mathcal{O}$ 判  $\neg$ れ 唐 坊 た 内 的 L 13 る。 ゆ が 11 強 性 宋 る 生 5 < 容 な 7 て 烈 を

が な 学 る 作 る を n 5 が 品 はば 幼 志 で を 小 受 士 は で 容 先  $\mathcal{O}$ 漱 的  $\mathcal{O}$ す 頃 石  $\mathcal{O}$ 文 書  $\mathcal{O}$ カゝ る 学 坊 漢 上 教 簡 5 学 5 で 養  $\mathcal{O}$ 0) لح Þ  $\mathcal{O}$ 教 は し  $\lambda$ 根 1 育 \_\_ 主 ブ 定 底 に に 漢 関 に  $\mathcal{O}$ セ 儒 学 影 あ わ ン 百 学 流 る 響 る + を لح 儒 ŧ を 指 日  $\mathcal{O}$ 学 لح 与  $\mathcal{O}$ す 関 的 で  $\neg$ え t 野 わ 維 あ た な  $\mathcal{O}$ n 分 可 Ł 新 0 لح が た 能  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 考 が 志 指な 性 え لح が 士 摘 الملح 7 想 1 を さ ょ 考 いれの 定 プ  $\mathcal{O}$ さ セ 0 え 作 7

本 章 に お 11 7 は ま ず 先 0 書 簡 に 関 わ る 点 を 中 心 に イ プ

セ

ンなる儒い品

れ

そ る  $\mathcal{O}$ 姿 受 上 勢 容 で に 0 お 様 そ V 相  $\mathcal{O}$ 7 を 1 考 1 プ プ 察 セ セ L た ン 作 作 上 品 品 で 受 が 与 容  $\mathcal{O}$ え  $\mathcal{O}$ 背 た 時 景 期 影 響 لح  $\mathcal{O}$ L を 漱 明 て 石 5  $\mathcal{O}$ 儒 文 か 学 に 学 思 す に 想 る 対 す 0

## $\neg$ 野 分 ۱ に お け る イ プ 乜 ン ^ の 言 及

関

わ

n

を

論

U

る

そ 同 あ  $\mathcal{O}$ る 年  $\neg$ 言 + 野  $\neg$ 葉 1 分 月  $\mathcal{O}$ ブ 意 セ は 義 ン を 流 日 明 問 治 う ろ と 三 上 V に + で う 擱 九, 格 言 筀 年 好 葉 L +  $\mathcal{O}$ を た 材 実 لح 月 料 践 考 九 と え L 日 言 た 12 5 え 作れ 執 る。 品 筆 る が لح 考 先 開 え  $\mathcal{O}$ 始 書 6 さ れ簡 れ に

ح 理 己 t た かか宛 己 代 7 レ 想 < て  $\mathcal{O}$ ジ を  $\mathcal{O}$ を な 5 野 ス、 自 た 道 樹 青 像 発  $\mathcal{O}$ か < 分 年 \_ 己 展 演 又 書 也 77 野 = に L 説 は 簡  $\mathcal{O}$ せ に + 分 で を 告 て 7 其 演 W に お チ <u><</u> 強 は 主 示 中 お 説 が 11 工、 さ 調 意 期 為 に 11 て、 に 篇 明 を れ L を て 0  $\Diamond$ ブ そ 見ること 0 て カコ 治 小 11 に ラ  $\mathcal{O}$ そ 兀 説 1 1 11 存 た て ウ た る。 Ł プ 5 + に ブ は 在 =  $\Diamond$ 現 そ セ 年 L セ づ し ン 代 が Ł た  $\neg$ を ン < た グ 現 で  $\mathcal{O}$ 野 0) 1 が  $\mathcal{O}$ 5 6 青 き 代 分 七 当 則 لح  $\mathcal{O}$ 演 と と ね る。  $\mathcal{O}$ 年 + チ 思 時 لح 名 説 ば 青 に 執 る S 0)  $\mathcal{O}$ 前 ŧ な 年 告 筆 フ 青 に ま ŧ は 6 に た と す ぐ 前 代 年 足 と で ぬ あ る な لح に に 表 る 道 \_ げ 1 諸 0  $\widehat{14}$ لح 者 ベ な 対 也 b プ + 君 て 高 لح す き لح 云 0  $\mathcal{O}$ セ れ た る は 過 11 あ ふ 浜 演 7 る 文 大 虚 去 る て 説 は 思 に 章 0 と は 子 る لح に メ 自  $\mathcal{O}$ 自 何 ま を 現

お人 5 n り ね ナ る ば 断 な 先 5 例 ぬ 断  $\mathcal{O}$ 0 片 な  $\widehat{+}$ 11 モ 明 社 治 会 三 に 代 十 表 生 1 九 ま と 年 L れ セ て た لح ŧ イ は プ 1  $\mathcal{O}$ 自 う は セ 己 考 ン が え 自 為 捉 カュ が メ え 5 述 先 6 牛 例 5 存 れ を て れ セ 作 11 7

セ  $\mathcal{O}$ t ま لح た 0 名 と 同 な 前 様 が 0 に あ た 道 げ لح 也 5 考 0 え 文 れ て 5 章 n 11 で る。 る あ る 断 片 解 脱  $\mathcal{O}$ لح 拘 メ 七 泥 に お に 関 11 7 L 7 1 プ そ

だ

学  $\mathcal{O}$ 0 考の

人

る

ル (一) 中 シ テ 略 人 他 七 ガ 人 目 ガ 自 ヲ イ 峙 分 ク 丈 テ ラ ` 拘 拘 モ 泥 泥 シ セ 耳 テ ズ ヲ モ 聳 = 自 勝 t 分 カ 手 = シ 拘 テ 振 泥 舞 モ セ フ 冷 評 ヌ デ コ シ 1 ア テ デ ル 七 罵 ア

つを

確 重

チ ポ 力 己 工 ア ガ 右 オ ル エ 人 ラ 解 イ ブ 脱 イ 学 セ 人 方 者 ン 太 1 閤 ノ デ 若 ウ モ 主 デ ク チ 唱 七 ハ ス 他 日 宗 (-)イ ル 教 ヲ 理 念 家 自 想 ガ デ 頭 己 ガ ハ Y モ = コ 置 本 ル 解 或 ク 位 デ 脱 必 デ ア 外 ア 法 要 ル デ 部 ル ア ナ 権 ル 1 非 程 常 威 = 者 ナ ナ 権 イ 自

> に 5 に

 $\lambda$ 

断 片 明 治  $\equiv$ + 九 年

> と  $\mathcal{O}$

た (-)0 L る  $\mathcal{O}$ て 内 名 説 前 لح 容 眀 が は が 挙 さ 明 げ 6 れ 野 6 か 分 そ で れ て  $\mathcal{O}$ あ に 代 11 ŋ お る。 表 11 そ 者 7 لح れ 道 L が 也 て  $\mathcal{O}$ = 自 主 己 張 チ ガ す 本 る 工 と 位 لح デ 解 ŧ T 脱 に ル イ 法 プ Ł 12

 $\mathcal{O}$ あ

セ

لح 道 で お な 考 要 大 7 え 自 11 ぬ 立  $\mathcal{O}$ 主 う 也 居 そ が え 性 趨 切 1 5 5 義 1  $\mathcal{O}$ 굸  $\mathcal{O}$ る。 言 Ł て 勢 さ  $\mathcal{O}$ り る 経 を た n  $\mathcal{O}$ + 葉  $\mathcal{O}$ 緯 説 を 風 ば 自 な ょ  $\mathcal{O}$ る 中 15 で 妻 う で を 16 主 に 11 凡 要 1 潮 何 4.14 己 Ł 君 な あ 述 て な 張 を  $\sum$ 的 ガ て で お に لح تلح 表 志  $\mathcal{O}$ 道  $\mathcal{O}$ 11 す 批  $\mathcal{O}$ な 11 本 あ ħ Ł 説 現 士 世 也 理 る に 思 ば た る 判 て 位 る 蚊 < さ لح 界  $\mathcal{O}$ 想 t お Ł L で 自 想  $\neg$ 道 さ れ し に 姿 は ۲ 文 0) 己 لح 英 لح 1 4  $\mathcal{O}$ 勢 也 学 ら 7 7 L は 自  $\mathcal{O}$ て で 自 本 玉 لح 盲 に に 11  $\mathcal{O}$ 夫 は 論 て う 己 あ 5 位 留 言 従  $\neg$ そ 同 道 لح 自 学 る  $\mathcal{O}$ 自 り  $\mathcal{O}$ 語 言 L え  $\mathcal{O}$ じ 也 魂 己 L 妻 意 中 る。 己  $\mathcal{O}$ て は 0 葉 時 ま ŧ 7 君 で  $\mathcal{O}$ 事 見 た 本  $\mathcal{O}$ カ 威 ま 期 な  $\mathcal{O}$ は 序 標 実 を 当 あ そ 体 位 張 に 活 準 11 道 常 漱 確 時 自 る 験 L 漱 也 に か が 17 石 立 己  $\mathcal{O}$ か 漱 て さ 石 う 此 を を  $\mathcal{O}$ 1 は L 本 b 石 私 が 5 プ 書 そ 外 単 れ 確 西 形 位 が ħ 0 て <u>\( \frac{1}{2} \)</u> は 純 ょ セ 11 談 れ 洋 成 後 は 個 と、 学 な 11 ŋ ン て す 話 を لح さ 年 自 人 人 世 る لح 11 る 貫 0)  $\mathcal{O}$ 者 出 れ  $\neg$ 己 主 くこ 野 関 لح 界 ね 漱 る 戦 志 11 私 本 義 لح 士 L に さ ば 分 石 後 連 以  $\mathcal{O}$ 位 Š لح لح て 住 文 5 な  $\mathcal{O}$ 事 が 後  $\mathcal{O}$ 

見 勢 O V 先 7 لح 姿 た 勢 0 11 通 1 る 底 が ブ 1 す そ セ 0 る ブ で  $\mathcal{O}$ 核 作 セ あ 品 ろ 自 に う に 流 己 あ カコ 本 る 対 位 لح す な 考 る تلح 親 を え  $\mathcal{O}$ 和 5 言 イ 性 プ れ 葉 £ セ る 12 見  $\check{\underline{\ }}$ 作 で 6  $\mathcal{O}$ 品 は n ょ る、  $\mathcal{O}$ う سلح 漱 な  $\mathcal{O}$ 漱 石 ょ は 石 白 う 自 が 己 な 6 感 本 点  $\mathcal{O}$ じ 位 姿

7

て

る。 ようにまとめ ここで 漱 石 が は 読 ま 5 ず  $\lambda$ だ れ 漱 る 1 石 18 プ  $\mathcal{O}$ セ 1 プ ン セ 作 品 ン 受 と そ 容 0)  $\mathcal{O}$ 時 あ 期 ŋ 方 に に 0 V 0 て V) て は 検 討 次 0) す

〈購入時期、読書時期ともに留学時〉

- 『ヘッダ・ガブラー』〈傍線あり〉
- もにあり〉 Ghosts, and An Enemy of Society)〈書き込み、傍線ともに会の柱・幽霊・社会の敵』(The Pillars of Society,
- 『人形の家』 (A Doll's House)
- 『ブラン』(Brand)〈但し、読書時期は不明)

明 年 治三十 中 頃 か 九 5 後半頃 九〇六) に かけて読 年頃に 書〉 購 入、 明 治 兀 + 九 () 七)

- 線ともにあり〉・『棟梁ソルネス』(The Master Builder)〈書き込み、傍
- もにあり〉・『小さなエイヨルフ』(Little Eyolf)〈書き込み、傍線と
- Awaken)〈書き込み、傍線ともにあり〉・『私たち死んだものが目覚めたら』(When We Dead
- Borkman)〈傍線あり〉・『ヨーン・ガブリエル・ボルクマン』(John Gabriel

(明治 匹 + 九  $\bigcirc$ 七 年 に 購 入、 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$ 七) 年

・『ロスメルスホルム・海の夫人』(Rosmersholm and

the

Lady from the Sea)

後

半

頃に

読書

ŧ に V 言 る 漱 0) 次 ŧ ŧ 及 石 に ĺ 併 全  $\mathcal{O}$ 評 て 集 記 を 論 V 時 B l た。 るも 期 0) 談 ごとに 調 話 0) 査 に を お は まとめ、その全体的 以 もとに、 71 て、 下 0) 漱 如 漱 石 石が くである。 が評論や イプセ な傾 ンに直 小 談話 説 向 で を でイプセン 触 接 確認する。 言 れ 及 て して 7 る

(明治三十九 (一九〇六) 年)

- 談話「夏目漱石氏文学談」(八月)
- ・ 談話「文学談」(九月)
- 小説『草枕』(九月)

(明治四十(一九〇七)年)

- ・ 小説 『野分』 (「ホトトギス」 (一月)
- ・評論(もとは講演)「文芸の哲学的基礎」(五月~六
- 『文学論』(もとは講義)(五月)

月)

• 評論「虚子著『鶏頭』序」(十二月)

## 明治四十一 (一九〇八) 年)

- ・ 談話「愛読せる外国の小説戯曲」(一月)
- ・ 評論(もとは講演)「創作家の態度」(四月
- 談話「近作小説二三に就て」(六月
- 小説『三四郎』(「東京朝日新聞」九月~十二月)
- 談話「文学雑話」(十月)

## 明治四十二 (一九〇九) 年)

す 話 る 作 予 品 0) 希 望 は 月) 独 立 せ る 作 品 也 予  $\mathcal{O}$ 描 カコ W لح

## 明治四十二(一九〇九)年〉

小 品 随 思  $\mathcal{O}$ 出 す 事 な تخ ك + 月 5 캪 年二 月

## 明治四十五(一九一二)年》

談話「ノラは生るゝか」(二月

## 大正三 (一九一四) 年》

・ 評論(もとは講演)「模倣と独立」(一月)

ことで 言 る。 及 が れ ح あ 主 5 る れ に を 明 見 5 ま 治 て は た ま < + ず ح 九 0 わ カゝ  $\mathcal{O}$ 年 か 時 か る こと 要 期 5 因 明 に が 治 は 1 考 プ 兀 え セ + 漱 6 ン 石 作 年  $\mathcal{O}$ れ る。 品 頃 1 を に プ 集 数 ま セ ず 多 中 ン に < L 単 読 て 対 す 純  $\lambda$ 11 で る る に

> +年 を V 討 三 考 る す 九 0  $\mathcal{O}$ る え 年 月 だ 時 上 ろ ろ 期 7 頃 に で、 う 11 か 朝 に に 5 日 た 1 お す 新 ブ 11 イ そ て ブ で 聞 L セ セ  $\mathcal{O}$ に 漱 社 カゝ ン ン ょ 大 0 L が 石 作 う 学 専 ŧ は 品 談 な 5 を 属 種 が ろ 中 辞 作 話  $\mathcal{O}$ 参  $\lambda$ Þ 8 家 ブ 考 講 自 لح そ て 1 に 5 作 な れ 演  $\Delta$ さ  $\mathcal{O}$ 家 る だ لح 0 機 れ 文 لح 漱 け な た 学 会 L 石 で 0  $\mathcal{O}$ が た に て で は で 生 多 対 あ な あ す き カ لح る V る。 る 0 て が t た。 考 V 明 影 くこ Ż 明 治 響 ま 治 兀 を L +

そ う 己 う 作 う 也は 触 本  $\mathcal{O}$ 5 ĺZ ع 位 0 品 愛 本 豪 作 n 漱 で 位 観 其 す V 読 品 た 石 \_ る 三 点 物 予 を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 漱 せ \_ لح 姿 野 0) 石 か を 作  $\mathcal{O}$ 高 重 る 1 勢 姿 が 5 作 品 描 述 < 吉 プ 外 分 لح 勢 セ 感 ŋ に カコ べ 評 1 玉  $\sim$ 関 関 に ľ プ 上 W て 価 0 ン が  $\mathcal{O}$ げ に 連 関 て セ L と 書 す 書 11 小 て、 ン る。 L る る か わ 11 欲 説 簡 対 た る た 作 を す ょ す  $\mathcal{O}$ ħ 戱 る う る ŧ · た 明 ŧ イ 品 目 ま 曲 他 何  $\mathcal{O}$ プ を 的 作 た な に 評  $\mathcal{O}$ 者 に で 品」 談 セ 高 と 20 言 £ 価 治  $\mathcal{O}$ 0 は、 葉 漱 あ < L 話 三 に 支 21 11 +0 作 評 て を 石 お 配 て た。 品 価 作 で 予 述 は 九 命 V 検 年 L 6 は  $\mathcal{O}$ べ 1 貫 に 令 て し 討 ここで て れ て プ 対 希 頃 ŧ 漱 する 11 セ て す 7 た 漱 望 を 拘 石 る る。 作 る。 ン 高 中 石 は 束 は は、 に 親 品 か は 独 t 心 先 和 自 7 例 0 0  $\neg$ 受 ر لح 1 性 に 5 せ え V た け 見 ば て は 述 る ブ  $\mathcal{O}$ n ず た べ 書 セ 談 先 自 5 作 に ょ 自 品 ン 話 そ 12  $\mathcal{O}$ 

価 t  $\mathcal{O}$ 0 評 談 0 論 7 中 Þ 話 11 で、 る 談 は ま 話 最 لح ず に Ł が お 古 語 漱 VI 11 5 石 て が £ れ 漱 0 島 石 は そこ 崎 が 藤 イ 夏 プ カゝ 村 目 セ 5  $\mathcal{O}$ 漱 漱 石氏 に 破 石 関 は 戒 文学 L 文 て を 談 学 非 言 は 常 及 22 進 L に で 高 7  $\otimes$ あ ば < る。 11 進 る

そ オ L は 0 IJ て  $\mathcal{O}$ n る 和 ほ ょ ジ 捉 て ど 殆 歌 う ナ え あ تلح あ な 個 IJ 同 7 な な تلح る 間 テ ょ 様 意 لح 性 題 1 1 で 味 لح だ لح لح Š لح L ろ 述  $\mathcal{O}$ 於 ŧ 11 う 関 て べ 0 7  $\mathcal{O}$ 5 連  $\mathcal{O}$ て t 個 は  $\mathcal{O}$ 明 で 漱 1 人 個 は るこ 1 石 瞭 的 作 人 プ は に な 者 性 漱 と セ 作  $\mathcal{O}$ 石 者 ン か 0  $\mathcal{O}$ 名 で が に 5 0 で 重 を 個 0 ŧ あ 要 消 た 文 人 る 11 性 学 性 L لح て 作 を て に 者 と لح 次 指 見 ば  $\mathcal{O}$ お  $\mathcal{O}$ 1 摍 れ 日 う ょ け Š ば う る 個 £ 本 て بخ に 作  $\mathcal{O}$ え 性  $\mathcal{O}$ お 者 言 が n 旧 を ŋ لح 現  $\mathcal{O}$ ŧ 述 及 派

進 と た 人 人  $\mathcal{O}$ 主 0 主 ま で 義 Ł < 義  $\mathcal{O}$ 義 t に け ま 0 ま L で 0 相 لح 7 な 対 で せ 11 せ < 置 す テ 反 0 Ł Š لح 言 か た る 個 デ Þ L を た め れ 1 自 ば 傾 を P う ヹ か 0 シ 覚 少 向 平 う な IJ L 自 セ に ] が 均 傾 ン 現 由 グ に 1 は 妙 L な 向 を  $\mathcal{O}$ Þ な が 0 + 対 0 面 0 描 う テ L て 白 具 て あ 文 分 い لح 7 合 る 明 ŧ 0 12 た 事 す て デ 個 に る が 与 人 無 並 る 又 人 が 物 主 シ 7 論 W 9 個 云 な で 般 ま 方 義 悟 人 働 تلح さ  $\mathcal{O}$ 1) 進  $\mathcal{O}$ ŋ 的 に か が う 平 矛 と 傾 於 強 な W L 盾 1 で で 向 傾 衡 て 7 11 を S す 行 لح 烈 向 見  $\mathcal{O}$ 自 0 ば L 傾  $\mathcal{O}$ な لح 覚 V で  $\mathcal{O}$ 11 か 向 個 け L ヹ は 個 で  $\mathcal{O}$ 個 ŋ 人 n

頃

と

け 主 L

る

す

違

ば

あ

性 で

主

夏 目 漱 石 氏 文 学 談

> た 方 0 る 要 あ ン れ な け 談 と な る に لح ] 11 を 画 る て  $\mathcal{O}$ で に 自 問 意 共 で 話 が 見 画 1 加 化 平 で 自 己 題 文 義 7 通  $\mathcal{O}$ 工 る 漱 学 本 き 頫 え 5 で を 11  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 衡 石 n n 0 位 あ لح 間 文 的 る を は に 23 0 に 評 0 1 で 題 漱 が 明 傾  $\mathcal{O}$ 反 繰 た 個 プ لح す  $\mathcal{O}$ 価 は 石 論  $\mathcal{O}$ 間 向 す ŋ セ 基 重 人 ま L が と 題 る 返 個 準 要 先 性 ン ず 0) て 指 と لح لح 0) に 傾 さ 性 で 人 を に 作 漱 摘  $\mathcal{O}$ ŧ 0 向 لح れ 性 確  $\mathcal{O}$ t  $\mathcal{O}$ 品 石 工 L 出 に t 個 ٧١ T <u>\f</u> 指 触 問 を が は IJ て 来 て L 11 と す 題 自 後 な 摘 れ 通 近 9 主 中 て る。 た る た は L 5 で  $\vdash$ る 11 代 義 11 村  $\mathcal{O}$ う لح 裏 Þ て  $\mathcal{O}$ Ł 対 社 必 西  $\neg$ 都 う 要 洋 文  $\mathcal{O}$ 説 主 見 大 L 面 会  $\mathcal{O}$ 史 V لح 性 学 当 明 張 る 衆 と な 重  $\mathcal{O}$ 0) 子 ヹ に す ょ そ 傾 評 論 時 L  $\mathcal{O}$ L 要 を 氏 IJ う に て る 7 個 性 0 漱 価 対 向 は に <u>\f</u> に に  $\mathcal{O}$ お 文 人 11 石 11 グ お け 学 重 的 漱 個 0)  $\mathcal{O}$ 7 が る 0 述 序 る 点  $\mathcal{O}$ 要 葛 石 性 解 草 存 は t 枕 テ べ 漱 な 藤 لح 0 放 ね に 在 7 平 T る に 石 注 個 指  $\mathcal{O}$ 1 を お 問 準 指 目 人 摘 プ

化 そ お 摘 ン

題 セ

そ う で る V L あ 意 そ 7 て 味 る れ 述 そ 訓 Ł で で 文 を 0) 小  $\mathcal{O}$ は 与 説 学 た 個 に 談  $\mathcal{O}$ Š 文 る は 人 時 に 学 性 期  $\mathcal{O}$ 道 24 は 義 徳 に 矢 作 務 で 漱 上 参 張 者 が あ 石 に 照 ŋ は あ 渉 る が L 我 強 る 9  $\mathcal{O}$ 種 た 作 調 た か カゝ 0) V 物 す ら 勧 に لح そ る 善 漱 ょ 作 を れ 懲 石 0 書 者 か 個 悪 は て は か ら 凡 世 で な 性  $\mathcal{O}$ 人 間 < ケ あ 談 を 月 لح 0 る て 話 人 導 は 後 は で す な  $\mathcal{O}$ ょ る。 5 談 何 な 何 話

そ 性 0 発 る 0 理 1 露 لح 代 想 V لح 捉 表 لح て ŧ 1 え لح V 高 を う 5 L う 自 強 7 点 れ  $\mathcal{O}$ 己 調 る。 学 を イ が  $\mathcal{O}$ す 挙 間 見 る。 セ げ 道 識 0) 博 そ 徳 に を そ ょ < 上 負 举 う  $\mathcal{O}$ T げ カュ に 代 判 め  $\mathcal{O}$ 7 表 漱 断  $\mathcal{O}$ 問 様 V  $\mathcal{O}$ 石 力 題 る。 に は 道 に 文 0 勝 徳 す لح 学 お 上 け る L  $\mathcal{O}$ れ カゝ る て 道 7  $\mathcal{O}$ 6 لح 徳 居 イ 先 性 個 を プ 5 勧 に 強 セ 人 ね 善 4 性 ン 調 ば 懲 た 個 を 悪 な 捉 性 で 個 5

人

え  $\mathcal{O}$ あ

て

11

る

に な は

に 漱 11 る 石 た 間 次 氏  $\mathcal{O}$ そ 題  $\mathcal{O}$ 文 か れ は ょ 学 う لح は に 談 漱 V あ う 石  $\mathcal{O}$ 0) る 問 が ょ 内 う 題 1 容 プ で な に ŧ セ 高 対 あ ン いく 応 る。  $\mathcal{O}$ 見 す 文 識 る ک 学 に Ł のの ょ  $\mathcal{O}$ 点 意 る と に 義 を 個 0 て سلح V 人 て  $\mathcal{O}$ 性 文 ょ 学 う 先 0) 論 に 意  $\mathcal{O}$ 1 捉 義 1 夏 え で  $\vdash$ 目 7 あ

精 平 伐 ナ 文 人 ハ 々 天 神 和 ナ IJ 芸 下 界 文 ル 学 弊 ア モ ヲ individual ヲ ヲ ル  $\vdash$ 志 ヲ ナ 拯 ヲ 教 IJ 感 他 フ 起 フ ル サ ゼ ベ 文 ヲ 学 棄 ナ シ シ シ ム 趣 ル ツ  $\Delta$ ベ べ 名 味 ハ シ ヲ 力 シ 所 利 吹 ラ 要 = Þ 壺 齷 丰 ズ =時 中 齰 込 述 弊 ベ タ A 惰 天 ル ベ 弱 タ シ IJ 適 地 七 1 殺 = 人 ス  $\equiv$ 伐 =ル 独 而 ハ ナ 住 シ =T ス 名 ル 雄 テ 利 者 皆 IJ ル 壮 者 以 = 有 上 殺 = ハ 益 又

故 = 又 外 他 玉 之 賞 = 賞 ス 反 翫 抗 ル セ ス 方 ラ 必 ル ル 文 ズ 学 シ 者 モ 必 妙 必 ズ ズ ナ シ ラ 生. モ ザ ズ 可 べ ル ナ ヲ シ ラ 知 是 ズ ル 人 1 間 ベ 知 性 ル 情 弊 ベ

> ヲ 満 足 ス ル 二 必 要 ナ レ バ ナ IJ Ibsen 文 0) IJ Tolstoi

芸

あ L ŋ 抗 注  $\mathcal{O}$ 評 る L 決 て ス 目 価 で 漱 L ル す は は 石 て べ 人 な は 単 き イ t Þ プ 1 純  $\mathcal{O}$ は プ セ 0 لح な 弊 ょ 点 ン セ 個 L ヲ 文 ŋ を が て 人 芸 拯 土 高 広  $\mathcal{O}$ 捉  $\mathcal{O}$ フ 台 い < 見 え に 見 社 個 5 解 Ł L 識 会 人 と れ  $\mathcal{O}$ た を 性 性 て 1 と ŧ 持 を う 11 L  $\mathcal{O}$ 0 持 を ŧ る て لح た 0 0) 点 が 考 考 作 Ł 単 で で え え 家  $\mathcal{O}$ な は あ 弊 5 で لح 5 る な る れ あ 捉 利 れ 極 る る え 己 て 7 لح て 的 11 個 V バ る 時 な 人 11 V 弊 性 う る Ł 之 漱  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 =

ま 適 は 反

## 文 学 ح イ プ セ ン 社 会 の 敵

四

石 で と

け に 藤 た 漱 ツ うに に 言 思 ダ 与 る 見 尾  $\neg$ 石 以 た を 葉 え 所 わ 野 が 上 迄 れ 漱 分 ガ で た を ツ 嫌 ブ 影 行 る 石 ま ŧ ラ な ダ <  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ず 響 لح ま 共 を を に 女 0 次 思 た 感 考 が に い  $\mathcal{O}$ 徹 が 察 具 と 人  $\neg$ 執 浮  $\sim$ 生 ブ 述 筆 頭 す 体 カュ ラ れ ベ 徹 る 的 で さ Š 尾 な ン 5 あ れ ŧ で る 不 0 1 文 た  $\mathcal{O}$ あ 愉 に 作 殺 プ 脈 は  $\neg$ ろ 快 品 セ 0 L を 虞 う。 +て な  $\neg$ 11 に ン ŧ 美 女 て 人 作 لح あ 11 人 L 形 る る に は 品 草 か لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 1 L 艬 考 と 家 道 嫌 う プ 27 先 え 5 る 也 を 悪 セ に で 考  $\mathcal{O}$ が る し ン 見 覚 演 え 7 自 作  $\mathcal{O}$ た 悟 説 は る 我 お ラ 己 品 ょ B 0 り で 的 を が う せ 外 女 と 漱 行 先 ま れ V 石

る な は 0 分 な は カコ が 6 社 な 漱 会 石 11 同 0 0 ک 敵 所 لح 蔵 れ (An述 書 5 に 0) 7 Enemy 線 う 1 引 5 る き of Society) 点 Þ  $\neg$ 野 書 に 分 き込 近 11 と Ł 4 で 0 ŧ 0 関 を あ な る。 係 < 感 で 明 ľ 確 注 目 な 1 さ で لح ŧ n

込 七 0 4 主 力 部 漱 要 が 所 石 分 で な 見 旧  $\mathcal{O}$ あ 思 線 5 蔵 る <sup>29</sup>。 引き 書に 想 れ を る。 所蔵 語 が あ 0 ý , され たと考 れ 5 てい ま 0) えら た、 うち る そのうち 一社 れ 注 る 目 スト 会の敵』 す べ ツ き ク 力 は、 を 7 所 調 ン に  $\neg$ 社 0 漱 査 演 숲 石 す 説 0) 0 る 書 敵 と、 0 き 次

crew that lie behind us. Pulsating life has nothing more to be right that the foolish should rule over the wise! [Noise of a country? It is the wise men or the foolish? I think we cannnot gainsay me. The and shouts Yes, must but right it has not. I and wide world over. But, devil take it, it can surely never must rebel. majority is never right. Never, I say. That is one agree that the conventional lies against which a free, thoughful overwhelming is always right. . Who yes, you can shout me down, but you foolish are they that make majority all around majority has might narrow-chested, folk are, at present, I have said that I will not few others are right. The up the and unhappily about majority 1n su

> them in do borne into the world's consciousness to have won over the snmajority advance with them. These and there they have that the compact majority has not yet reached men stand, made But I do all as it think of the fight for truths that are too lately the new, germinating truths were, at few individuals among the outposts,

(An Enemy of Society (R))

とに 0 小 数 Þ は すことは う が ŧ 圧 下 多  $\mathcal{O}$ は ぼ 倒 さ で か 賢 否 世 数 あ ے 多 ことを 派 < き 定 的 界 は る 0) 数 な な ! 7 多数 な 人間 中 どう 人間 で W 0 世 が 話 だ。 どこだって、 ょ し できるだろう、 き に 正 ぜ V 騒 な を占 を す Š か だろう。 V な 11 ぎ は L 支 L ځ う 5 び 0 ぜ 1 1 な 中 こっ 配 人 そ ŧ め だろう。 な 11 叫 略) 息を ŋ 数 正 すること て 間  $\lambda$ W び て てこと L 多 だ な は 0) 1 す ر ح る V 数 僕 ? L 1 あ て、 で たたち L 間 は 0 ま 0) L 賢 る あ、 0 は だ で 力 ほ は は 虚 か か 11 ど を 愚 た 言 け は し、 私 0 人 信 偽 決 L 君 < 0 だ。 ŧ 馬 ま 間 して た な カゝ じ  $\mathcal{O}$ たよ たち ち 鹿 ーつ わ な な 0 ぼ な カコ 11 りで ない。 < げ 人 0) 正 7 0 V だ。 間 う だろ う 0) は たこと た V L 正 愚 恐ろ に だ、 L 僕 る カ 彼 1 L 言うことに 1 う。 を ろ **,** \ な 決 5 0 自 怒 そ して!そ あ が 愚 は 0 人 由 鳴 あ 6 は 不 か れ V) 間 玉 で 11 幸なこ ŋ る 判 は る 常 な は ほ カコ 民 بلح ? だ だ に ぼ 反 負 人  $\mathcal{O}$ 断 心 ろ 間 0) 0 < 対 カコ れ 目 大 力

点 ち は ち 捧 ぼ 打 れ 早く で、 は た 決 げ < つ ば L る が 鼓 彼 到 て カゝ 期 動 1 5 達 ŋ 追 わ わ 待 0 は、 L ば れ  $\mathcal{O}$ 1 す ょ 真 7 最 わ Š 0 る 実 大衆 くこと 1 前 れ な 0 る 線 0) は た に 中 生 に め 受 が 1 0) を 新 け に る た 期 で 少 戦 そし き 入 数 な 待  $\mathcal{O}$ ِ ئ ا れ な で 0) 未 す て、 5 あ 来 る 1 人 ょ 間 ŋ を ے ح れ うな だ。 な そ め 0) ざ は 11 絶 ょ そ は 対 L t う う る 多 て は 0) な か 数 真 B 世 進 遠 0  $\mathcal{O}$ 実 に W < 連 た に 理 だ。 中 人 生 だ に 身 ま 地 11 に た を

ぜ た 小 terribly overwhelming majority all around and about us 0 て、 そ め は V 漱 数 る V 息  $\mathcal{O}$ 石  $\mathcal{O}$ スト か 遠 ては をし 戦 間 後 は 5 \_ 人 0) 初 間 て、 ツ < 0 8 That is one of those conventional lies クマン とされ over.  $\mathcal{O}$ もとに まとめ は、「 ま う The majority is で は、 新 ろに 進 て 横 0) あることを述べている。 て たな未 4 お 部分に下線を付し、 真 V に傍線 「この ŋ 実が常に多 る 来 をめ Ł 世に を付 方 never 0) とされ ざして真 生ま 多 数ではなく、 てい 数 right.] れたば 0 てい る。 ま 連 実 特にそのよ た、 中 に身を捧 る。 ۲ 0) か ŋ 賢 0) 以 部 は 下 0 か 明 部 分 真 分  $\mathcal{O}$ 5 な げ、 ううな 実 に 部 そ ぜ 小少 1  $\mathcal{O}$ お 分

Besides, what I want is so simple, so clear ar

ま

た

つ、

ک

れ

لح

関

連

L

て

次

0)

部

分も

注

目

す

べ

き

Ł

0

わ

れ

straightforward. I only want to drive into the heads of these curs that the Liberals are the worst foes of free men; that party-programmes wring the necks of all young living truths; that considerations of expediency turn morality and righteousness upside down, until life is simply hideous.

 $(An\ Enemy\ of\ Society^{(\overline{a})})$ 

とだ。 ことだ、 義者 者 息 **「**ぼ ほ 0) ど、 根 ほ 雑 < を が お 種 陰 道 と 連 B 徳 ろ で 8 中 自 Þ る う 組 由 0) ځ 織 生 正 ŧ な 頭 活 義 0) が 人 に し は を 間 た て は L 逆 た V 1 な  $\Diamond$ に <u>寸</u> ま 11 9 と き る と わ ち け 0 込 0) L さ 1 る て  $\lambda$ は 1 せ うことだ、 規 最 で るも B 律 単 Ł 悪 0 ŋ 純 ほ 0 た に ど、 敵 明  $\mathcal{O}$ 快、 な は 1 は る。〕 将 1 0) な は、 簡単 な 11 来 لح 便  $\mathcal{O}$ لح なこと 宜 真 自 11 う 実 由 主 1 う 義 0) 主

う と、 こと こで と ず を L て、 阻 迫 う 記 漱 点 害 L 漱 が 害 は 石 「興 に て し、 白自 は 石 述 数 漱 れ V) べ が ۲ 論 . T る。 真 石 5 由  $\mathcal{O}$ 1 が が 0) 実 主 横 れ 云 周 ること 注 ス  $\neg$ を 義 0) て 井 目  $\vdash$ 者 社 犯 部 1 者 か L る。 し、 分に ツ 会 5 を考 B 7 ク 為 0) 理 V マ 敵 道 「組 数 = 解 漱 た え 徳 ン 行 如 · と 思 る さ 石 B 0) に 織 ま 何 れ 資 な لح 言 関 正 ることな わ 料 6, 動 す 義 Þ め 圧 ħ が る を て 迫 文学 滅 便 先 周 メ 傍 セ モ 囲 0 茶 宜 線 ラ < 論 に 苦 主 を か ル 真 5 茶 義 付 ` 排 受 実 西 者 L に 力 斥 0 け す 洋  $\vdash$ て ヲ さ た 入 見 る が 1 と る。 8 れ 幣 れ を 日 見 る に 5 V 自 戦 れ لح る う 由

学 論 注 目  $\mathcal{O}$ す べ 天 き 才 は 的 意 識 0 ょ に う お な V 考 て え 見 5 方 れ  $\mathcal{O}$ 基 る لح 本 的 11 う な 構 لح 义 で が あ る。  $\neg$ 文

異 識  $\mathcal{O}$ ょ Š 集  $\neg$ に 合 能 を 文 説 才 的 説 学 明 的 F 明 論 L 意 L で、 T 識 7  $\mathcal{O}$ 11 1 る。 天 漱 る 第 才 石 33 五 的 は 編 そ 意 代 識  $\mathcal{O}$ は に 中 三 お で 集 種 け 合 第 る 類 的 に 集 F 合 章 分 け 的 لح 意 L そ 識 代 て を に れ ぞ 模 於 F 擬 る れ 三 次 的  $\mathcal{O}$ 差 意 種 0

後 て と 7 し 遵 倣 他 ŧ て す を L を 11 模 従 て 優 そ う、 る る 模 擬 勢」 此 的 0 れ 倣 7 は لح 0 意 L 意 社 で に 行 ま 識 て 識 会 < 単 満 n を は لح 起  $\mathcal{O}$ だ 保 評 あ に 足 る は 大 け 数 す 守 価 る £ 多 字  $\mathcal{O}$ 的 す る が 0) 数 嗜 存 な れ 0) 意 \_ 好 を 在 考 ば 上 識 創 構 9 に で に で え 造 於 成 ま あ を 其 於 あ 力  $\sqsubseteq$ n て る 持 勢 る。 7 す 他 (ori 力  $\mathcal{O}$ 0 4 る そ  $\mathcal{O}$ 主 た 頗 iginality) ŧ 義 後 る な 大 n 多 貧  $\mathcal{O}$ は に に 5 لح 従 於 ず 数 弱 さ 只 0 で 大 て 抵 7 あ で  $\mathcal{O}$ れ 従 あ 多 は て 経 ŋ 来 る 寡 実 11  $\mathcal{O}$ そ 験 他 لح を 力 る 習 に れ さ に 者 本 慣 を 於 位 於 模 れ そ に 7  $\mathcal{O}$ 

的 識 に 識 W 意 数 ょ づ  $\mathcal{O}$ 次 に 識 先  $\mathcal{O}$ る 才 上 ょ 進 子 り 性 で 歩 意 番 優 を 進 識 目 は لح 位 認 及 で  $\mathcal{O}$ W 評 に  $\Diamond$ ば だ あ 能 l あ な 意 才 る T る そ 識 的 V 11 £ n t 0) 2 意 る。  $\mathcal{O}$ ま 識 に  $\mathcal{O}$ لح لح 従  $\mathcal{O}$ り لح 漱 で L は Š て 石 \_ 次 あ は 捉 لح 第 ŋ 般 え 大 波 か に て 衆 5 模 漱 動 11 擬  $\mathcal{O}$ を づ 石 意 る は 勢 的 形 ۷ 力 意 識  $\sum_{i}$ 成 天 は 識  $\mathcal{O}$ す 下 と 模 意 が る L  $\mathcal{O}$ 7 擬 識 模 能 公 擬 才 的 を 衆 は 模 的 意 的 に 機 擬 意 識 意 先

そ

L

7

最

後

0

天

才

的

意

識

で

あ

る

が

れ

は

周

囲

に

比

L

て

あ

1) 石 に は 次 前  $\mathcal{O}$ に ょ 淮 う 4 に 過 説 ぎ 明 た L 意 7 識 で 11 る あ る。  $\mathcal{O}$ 天 才 的 意 識 に 0 1

て

漱

ま

ょ 先 せ ŋ あ な る 其  $\mathcal{O}$ 頑 天 を 愚 ŋ 5 見 る 所 成 穾 実  $\mathcal{O}$ 6 才 現 赫 頑 て ざ を لح 熟 飛 に ħ 0 す 関 灼 愚 天 る 常 7 な  $\mathcal{O}$ な 意 才 る せ  $\mathcal{O}$ な ょ 態 期 る 識 る た ず  $\mathcal{O}$ 光 る は り と に を は ま を Ł 尤 す み は 達 以 数 中 < る 只 放  $\mathcal{O}$ t せ T に 略 自 0 変 頑 其 を ざ 危 於 其 に じ 己 愚 所 以 る 険 7 独 然 至 思 に て 遠 0 な て  $\mathcal{O}$ 創 れ る 偉 強 る を あ 虞 < 的 Ŀ 烈 烈 実 世 た 最 Ł 前 而 価 ŧ な  $\mathcal{O}$ 現 俗 0 な Ł ŧ 値 天 る せ لح て 者 な 多 る 彼  $\mathcal{O}$ 才 人 ず 衝 早 L 意 に 自 社  $\mathcal{O}$ 格 突 < W 及 識 身 会 意 と ŧ ば L 既 に 多 ば は に な 識 左 巳 て に < ず L 偉 認 ŋ は 俗 右 其 ま  $\mathcal{O}$ 烈 8 ず 夭 非 物 場 せ 且 5 に 頑 念 折 常  $\mathcal{O}$ 合 5  $\sim$ 関 る 其 愚 す に 蹂 れ  $\mathcal{O}$ 此 せ て  $\mathcal{O}$ 実 点 る 強 躙 於 特 ず Þ 之 頭 現 烈 す ょ に 7 色

かに 馳擅 t L 7 に 天 b L 11 多 漱 理 す 才 て る 石 天 的 解 る は 才 さ 意 互. 能 そ 天 的 識 れ 1 は 多 才 れ 意 ず ざ に < 的 は は 識 容 る そ  $\mathcal{O}$ 意 そ 時 る  $\mathcal{O}$ 場 識  $\mathcal{O}$ が  $\mathcal{O}$ に  $\angle$ 4 前 合 を あ ょ は 事 な  $\mathcal{O}$ ま Š 排 俗 其 能 5 部 ŋ に 斥 ず 特 は 物 分 に さ ざ 社  $\mathcal{O}$ 色 に 先 時 会 れ る 蹂 0 に か る  $\mathcal{O}$ لح 躙 穾 進 天 と 不 L す 飛 5 み 才 排 V 幸 7 る な す は的 うこと 所 る 斥 に ぎ F さ 会 لح を た は す 代 な れ 以 結 声 で  $\mathcal{O}$ る 7 ょ 果 لح 誉 う あ 好 危 لح る 尚 を لح あ 険 俗 俗 る لح 指 其 L 物 ょ 相 流 摘 虞 カン う 反 に

タリ

Custom

思 意 識 を 実 を 現 持 せ 5 ず W あ ば < 已 ま ま で ず そ \_ れ لح を V 貫 う < ょ ょ Š Ž に な 激 自 L 己 11  $\mathcal{O}$ 個 性 強 烈 を 持 な る 0

た

存

在

لح

L

て

捉

え

5

れ

て

11

る

1 係  $\mathcal{O}$ 心 を 4 لح 入 لح 前 れ 11 カゝ 主 う る 大 模 ょ n 線 わ 5 に  $\mathcal{O}$ が 多 張 5 そ 姿 排 が あ 小 倣 Š 0 で に れ す れ 勢 斥 た る 数 さ す ょ き 11 0 る る な る 中 さ  $\Diamond$ 0 な 模 う 漱 が な ス  $\mathcal{O}$ に 0) 擬 な 1  $\mathcal{O}$ n 人 石 V 1 間 そ で 少 方 ぜ 4 的 义 は る ょ 新 数 世 と لح ツ 0) あ 可 天 VI 意 式  $\neg$ う 0 た ぜ ٤, 文 ク ょ  $\mathcal{O}$ 能  $\mathcal{O}$ 才 11 識 ŋ 11 な 世 な 学 7 う う 人 性 中 的 う 11 は は に な 未 ン 間 意 論 絶 が  $\mathcal{O}$ 意 息 先 る 生 だ。 来  $\mathcal{O}$ 進 常 味 あ を 0) 対 識 ス 大 か ま 考 を で、 ] 多 る 多 ん 識 に 1 L ス 遠 れ だ 地 そう えと  $\emptyset$ 数 が Þ て 数 0 ツ 1 1 < た  $\neg$ ざ ク を 0) 慣 1 ツ 社 ば に 重 L 12 点 連 1 あ 習 て 7 う 形 ク 숲 か 1 な で、 中 0 T 次 < لح は ン L 成 7 0 ŋ 5 0 た 真 ろ 0 に ま 反  $\mathcal{O}$ L 敵 0 てく 早 実 彼 ょ は 人 で L 見 に 0 あ \_ 真 < た う に 自 5 決 解 ま 11 他 発 に 実 る 到 身 に 5 そ ŋ は L 5 と る  $\mathcal{O}$ 言 お 0 で 達 て を  $\mathcal{O}$ 書 は を に 非 連 意 と け た あ 大 L 追 捧 貫 た 進 常 中 を 識 る  $\Diamond$ ろ て 7 衆 1 げ き 8 4 12  $\mathcal{O}$ 見 に に 11 0 わ る に す 近 لح あ 1 通 比 あ 戦 受け る。 る。 くこ ば ぎ L す 凡 11  $\mathcal{O}$ n べ . う \_ 最 لح 人 関 て 方 7 わ 7

3  $\exists$ 藤 IJ = 本 Pillars ア 注 七 ラ 却 ザ 等 ツ テ ル B 作 ヲ 其 思 ヲ 読 Ł 余 3 ザ ガ ル 所 1 社 ガ 見 丰 숲 為 1 余  $\mathcal{O}$ 此 柱 益 大 如 文 悲 ク لح 観 豪 現 ノ 1 世 社 戸 度 ヲ 会 ヲ 見 ジ  $\mathcal{O}$ 高 丰 ル 敵 ヲ メ

> と が 先 そ な 鹿 を が 5 に 世 な  $\mathcal{O}$ 恃 漱 わ 0 進 た  $\mathcal{O}$ ŋ W 石 *\* \ カゝ 8 中 む で は る。 て 少 に  $\mathcal{O}$ 松 < 数 漱 見 人 山 玾 ٤, る 石 方 を 時 想 大 が は 馬 代 を 多 後 漱 鹿 に 高 数 ろ 社 石 お に < لح カュ 会 が す け せ  $\mathcal{O}$ 11 5 ŧ る る ょ 時 敵 لح う 勿 構 に ŧ 愚 لح n は に لح 义 見 述 そ 持 に お 数 べ  $\mathcal{O}$ け 0 強 則 て 馬 て ょ る 11 鹿 お 共 う 強 V 35 ŋ は 感 な 烈 た に 百 を 少 な ŧ お 先 覚 数 個 人  $\mathcal{O}$ V に 寄 لح え を 性 7 見 て 排 を 言 0 た 7 え 斥 持 11 ょ 多 た L ち る Ł な う 馬 勢

程 に 11 な 人 え 葉 言 あ ば え る 事 於 る 々 は そ 行 36 0 ょ け 低 て を を L ے 0) て る 1 流 L + ころ 下 所 ŧ そ 7  $\mathcal{O}$ 俗  $\neg$ 野 迄 0 ょ し る 等 ょ る う ŋ 漱 分 行 \ て لح < لح 手 高 石 な す 見、 を لح は 構 執 11 0 + る 引 と ょ L 义 筆 考 1 自 て、 彼 狩 を 時 う え て ŧ 信 5 野 期 な  $\neg$ が 亨 と L  $\mathcal{O}$ 姿 と 敵 ま て に 高 吉 書 勢 た を 11 居 衆 V し が に 簡 う 打 方 を 宛 た る に 大 発 \_ ち 恃 て ŧ 見 言 11 導 野 斃 流 4 た  $\mathcal{O}$ 5 に な 分 V 俗 勢 書 لح n る す 0 考 7 ょ に 簡 る こと 理 な B  $\mathcal{O}$ え n 乗 で 漱 想 が る 高 道 6 じ 石 也 を 0 0 け て 世 n  $\mathcal{O}$ て を が れ  $\mathcal{O}$ 宣 失  $\mathcal{O}$ る 激 Ł 言 礼 中 責 ば 11 L 任 る 0 高 人 L 千 た 11 لح て 格 て 万 لح で 0 言 11

を L てここに て < る だ け あ る 0) ょ 意 う 識 な と 自 L 5 7 を 0) 大多 進 W 数 だ と 意 対 識 立. さ لح せ る 後

うな こと 識〉 < 在 七 か お え 基 う 性 ン さ 口 に 其 進 れ が V を 盤 を  $\mathcal{O}$ 捉 見 あ 所 遅 が と て 解 て と え 感  $\lambda$ 尤 で L ŧ 0 思 れ わ だ 7 釈 な 方 じ て 比 Ł た。 る。 あ た 7 て 1 を か 意 を 較 る は る 深 る。 たこ 実 大  $\mathcal{O}$ 識〉 与 文 的 11 Ł と 多 現 芸 た そ 大 ま 当  $\mathcal{O}$  $\sim$ さ < لح 多 のこ 数 て لح 所 n せ そ と 0 で 時 れ 以 が لح ず に 数 役 ま  $\mathcal{O}$ あ  $\mathcal{O}$ L ろ て 同 と で  $\lambda$ ょ 上 割 0 0 漱 て 平 尤 お で、 0 0) あ 1 様 ば 1 0 は た た 石 民 ŧ り、 已 7 う る 漱 形 プ 0) 0 作 に 広 لح 者 ま 構 捉 セ ŧ 漱 石 文 で 文 生 そ ず え 考 成さ 芸 ン 述 学  $\mathcal{O}$ 石 と  $\mathcal{O}$ 存  $\mathcal{O}$ 0 V え 作 0) 方 文 を 家 べ に  $\mathcal{O}$ ょ と 学 5 品 れ は た 対  $\neg$ が ろ 意 うな文芸 理 後 れ る 自 に す に 社 **,** \  $\mathcal{O}$ 義 想」 る。 う そ を 会 己 対 る 如 文 対 漱 を 世 -つ 強 L 0) 本  $\mathcal{O}$ す 芸 考 何 石 教 俗」と を んる考 *\* \ 烈 根 敵 え て 位 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\sim$ 家 て 実 漱 な 幹 生 哲 文 に る は くる 現 え 学 に を 学 石  $\mathcal{O}$ き お \_ 衝 事 一尤 す ス 自 は、 な に 的 に が て 突 だ る お 強 1 己 L 然 基 対 7 ŧ L 第二 そ て け 存 ツ 1 る 礎 す 1 新 て て、 ク  $\mathcal{O}$ 0) 在 ベ る そ 親  $\mathcal{O}$ 11 ŧ 和 7 存 ょ た 意 لح +き に 考  $\mathcal{O}$ 

れ

## 五 「一人」であることをめぐって

時 先 ン 実 に に そ は 船 繰 中 あ 対 れ で げ す で ŋ た る は 返 人 強 何 す 狩 心 野 故 ま 11 親 に 亨 に 11 誓  $\check{\underline{\ }}$ 吉 和 と 宛 性  $\mathcal{O}$ 9 あ た て が 当 見 0) 時 ŋ 5 تلح 書 ħ 漱 W 簡 漱 る な に 石 石 事 お  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ か。 留 が 1 と 学 あ て つ てこ 5 体 0) う 僕 験 こと と 0) が は ŧ 洋 重 ょ に + 行 う 要 つ な な 年 カン ポ 前 5 イ て イ  $\mathcal{O}$ 帰 ブ は 事 る セ

> 係 ブ さ 卜 L に か セ n で 0 L ン る あ 流 11 留  $\mathcal{O}$ 0 て、 \_ ح たこ 学 が 時 語 لح Ł 期 文学 る 5 が 0 時 少 考 漱 論 期 L え 石 لح 考 5 を  $\mathcal{O}$ ほ 察 問 れ ぼ を る。 5 序 進 前 致  $\otimes$ そ 0) に L て L 執 て \_ て 筆 V 社 そ が ると 숲 0  $\mathcal{O}$ ょ 漱 1 敵 う 石 うこと な が لح 点 自 漱 5 か で 石 5 を あ 0 「イ 注 関 目

つ、 は 先 次 に 漱 漱 0) 石 部 石 が  $\mathcal{O}$ 分 で 非 あ 常 社 に 会 る 注  $\mathcal{O}$ 目 敵 L 0) た と 線 考 引 え き 5 に 0 れ 11 る لح て Š ろ れ が た あ が る ŧ そ う

who You stands see, the most fact alone 1° that the strongest man noqu s. he

(An Enemy of

ま 0 知 た 0 < て 独 る ŋ か で 1 <u>\\</u>  $\sum_{}$ 0 て  $\mathcal{O}$ 1 世 る で 男 V で 5 あ ば る  $\lambda$ لح 強 1 1 うことを。〕 人 間 そ れ は

うこ 7 が alone 漱 Splendid! 石 漱 11 る لح 0 石 こ の 点 が  $\mathcal{O}$ は 0 で 言 <sup>f</sup>the 部 あ 言 葉 つ あ 分 強 葉 で strongest man upon 1 に 注 に 0 人 下 対 ぱ 目 間 す 線 す れ \_ る べ を と 共 き 付 と L 感 点 L ま て 0 は で 積 深 さ earth 書 極 さ き 的 独 が 5 ŋ う 込 に な ıs. 意 で  $\lambda$ か 下 he 立 で 味 が 0 who える づ 0 11 余 て る。 け 白 stands を 11 わ 0) ر د را 与 る け 部 え で most と 5 あ 分 か 11 る 5 に

好 先 尚  $\mathcal{O}$ と 天 相 才 反 馳 的 意 て、 識 互. に い お に V 容 て る £ 事 そ 能 n は が ざ る 時 0) と 不 幸 7 に は 会 す 代

0

Society (57)

< 為 平 と 人 面 也 £ る に  $\Diamond$ 説 な は 面 0 結 に 明 で 5 に 転 11 び あ 居 さ ば う Þ 八 人 لح 人 る 0 る n 人 لح け ŧ 坊 す لح て لح 自 て で る 0 が V 上 1 1 5 信 道 述 る あ 0 う る 周 な 也 ょ L 7 る 言 b 开  $\mathcal{O}$ な う < 葉 で が لح そ れ に か る に せ 5  $\mathcal{O}$ 7 6 平  $\mathcal{O}$ う。 。 そ 理 渞 い 社 価 面  $\mathcal{O}$ た。 解 人 也 会 で 値 ま 然が が に を す に ま 得 そ 語 そ 受 L 0 9 る け 人  $\mathcal{O}$ れ 5 い 八 な が 平 れ は 入 て  $\neg$ 認 が れ め 面 لح る  $\Diamond$ を 人 理 6 思 と 認 君 坊 11 て 解 れ う 想 <  $\Diamond$ は を 0 を ず ょ て 人 で ち 得 れ う る < ょ あ は る 排 高 に様 ŋ る 崇 11 れ 斥 な な 高 高 さ 平 11 V 道 な な れ

価 な 7 な 値 淋 か 11 11 本 づ と L 来 け < そ 1 7 う 道 9 れ て は V 也 人 る لح は む V 0 を け L で で  $\mathcal{O}$ ろ ま あ あ 自 ょ 高 せ る。 る 5 う 柳 W と が な  $\mathcal{O}$ \_ 11 ょ 六 う う 高 に 11 人 لح لح 平 \_ 嘆 自 で 面 < 体 人 に 誰 ょ 居 坊 に か う は 5 0 る  $\sqsubseteq$ な £ ち £ 特 理  $\mathcal{O}$ لح  $\mathcal{O}$ 様 别 解 لح で な な を 得 あ 気 L 価 る。 て 5 が 値 n L は

で 序 に お け る 漱 石  $\mathcal{O}$ 英 玉 留 学  $\mathcal{O}$ 口 顧 に 注 目 L た

加 余 < は 倫 英 敦 玉 に あ は 紳 住 れ 士 4 な 暮  $\mathcal{O}$ 生 間 6 に L を あ た 営 0 る み 7 た 狼 年 り 群 は に 尤 Ł 伍 中 す 不 略 る 愉 快 兀  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 75 年 < な 犬 n  $\mathcal{O}$ 

ŧ> 余 帰 は 朝 日 後  $\mathcal{O}$ 本  $\equiv$ 0 年 臣 民 有 半 活 な n ŧ 亦 不 不 愉 愉 快 快 な  $\mathcal{O}$ る 三 が 年 故 有 半 に な 日 本 ŋ を 去去 る れ سلح 0

> る 光 n 以 な 之 が 切利 Ŧī. 玾 栄 上 る を 本 ŋ な を 千 由 か لح  $\mathcal{O}$ 意 五. 玉 詰 支 万 を 余 権 意 志 千 を め持 認 れ  $\mathcal{O}$ 人 中 8 と 利 意 志 に 万 去 らせ 云 を 志 あ る に は 分 れん Š 支 以 5 ىل 生  $\mathcal{O}$ た 日 持 上 ず に 挙 る 欲 息 余 本 に 時 す 口 す  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ る 意 意 余 復 出 7 臣 が づ 志 志 せ 為 余 此 民 るは 少  $\otimes$ は を 意 W 光 た 余 以 志 事 能 余 栄 < に る て 以 を は が لح に 光 上 努 ず 存権 如 命 如 £ 栄  $\mathcal{O}$ む 在 利 五. 何 U 何 لح 意 ベ を な 7 寧 を 権 ŧ ろ る 志 否 五. 万 利 不 す な 力 定 千 日 分 を る  $\mathcal{O}$ 愉 本 ŋ 是 L 万 有 0 能 継  $\mathcal{O}$ 快臣 れ 分 を 民 は 余 余 < 若 光 栄 た ざ が が 限 < 以 4 意 微 避 る る ŋ は 下 は < な 志 少 余  $\mathcal{O}$

(『文学論』「序」)

な 汁 千 況 為 な 見 る 分 姿 تبلح る 勢 n を は 万 が注 矢 に 粒 لح は 目 兀 自 لح 是 重 余 張  $\mathcal{O}$ 野 す 5 当 が ŋ 油 な が ħ 分 ベ と \_ 時 で 異 を 0 意 余 き す  $\mathcal{O}$ き 例 て が  $\mathcal{O}$ 種  $\mathcal{O}$ 志 は る る。 え な < 以 微 漱 類 高 て カゝ る 上 少  $\mathcal{O}$ 柳 石 ま 高 狼  $\mathcal{O}$ 11 点 0 な  $\mathcal{O}$ 動 と た 柳 群 意 る 書 物 る で  $\mathcal{O}$ が あそ に 意 簡  $\mathcal{O}$ 志 如 滴 感 伍 る な は 志 と L 何 ح 0) ľ す て に 0 カコ な 水 て れ ま る に な 帰 余 あ る 5 た V が \_\_ 玉  $\mathcal{O}$ 5 Þ 不 など ず た 兀 る 人 後 意 愉 同 疎  $\mathcal{O}$ 坊 Ł  $\mathcal{O}$ 志 白 快 じ は 外 0 漱 む 余  $\mathcal{O}$ を シ を 部 感 ち < で 以 が 石 t ŧ 分 犬 に 意 あ で 0) て 音 ツ 避 で 同 居 決 如 志 n < 楽  $\mathcal{O}$ 漱 と 何 以 様 0 意 会 る 石 لح 上 自  $\mathcal{O}$ た が V 点 な は ŧ ŧ 0 道 0  $\mathcal{O}$ 6 で  $\mathcal{O}$ か す 意  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ で 也 た n 自 墨 五 状 を あ  $\mathcal{O}$ 

序

二人 0 さ 柳 そ 75 換 人 能 を 個 坊 لح れ 道 れ は 4 は 道 ざ 人 0 る を 也 る 主 ち る が 也 積 لح こと 義」 同 同 な  $\mathcal{O}$ 極 لح 姿 ŋ ľ 的 様 は 11 で 勢 で な 0) < う け لح 語 あ  $\mathcal{O}$ 姿 状 つ る。 5 人 違 述 人 勢 況 L れ べ 0) 坊 1 に て た لح لح る 違 0 対 的 L 点 変 5 11 カ す 外 他 て な 換 を で る 5 れ تلح 人 表 あ す 生 姿 で 本 現 は 4 ŋ る 倫 勢 は 位 さ だ な 漱 敦  $\mathcal{O}$ あ れ L が 石 で 違 る カュ さ て て 5  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 1 ま 5 に 11 是 姿 孤 11 で 1 る 程 る が 77 あ と考 自 道 違 ŧ L る 己 <u>چ</u> 0) た 本 え 野 0) ここに 状 八) 5 位 分 た そ、 況 れ 8 カン  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ に 5 転 私 لح 高 進

> ょ لح す

れ

次 さ 0 ょ 5 う に に 文 述 学 ベ 論 て 11 0) る 序 で、 漱 石 は 自 6  $\mathcal{O}$ 状 況 に 0 15 て

 $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ Þ 書 み 人 0) を 英 玉 Þ 言 本 に Š 玉 人 所 に は 対 に 致 余 7 は L を 偽 て 目 感 謝 ŋ 余 L な を て  $\mathcal{O}$ 神 意 か 狂 を 気 経 る 表 ベ な 衰 す L ŋ 弱 と る と 云 能た 云 ゞ は  $\sim$ る ざ 不 ŋ る 敏 由 あ を に 遺 賢 る L 憾 て 明 日 な 本 لح す 是 る 人 る 等 は 人

る す Ł な 深 猫 余 0) ŋ 帰 得 地 す 朝 た を な 5 謝 親 後  $\mathcal{O}$ ŋ 草 き 戚  $\mathcal{O}$ لح を 之 意 0 余 を 思 知 を ŧ ŧ 表 漾 る 是  $\mathcal{O}$ 依 す ば 虚 認 す 然 た る 集 5 す と 0) 余 る L 神 至 は を 之 て 以 経 当 此 出 を 上 神 衰 な 神 は 是 経 弱 る 本 認 経 衰 に 又 を す 衰 人 弱 L 信 弱 た る に て ず。 鶉 と る に L 狂 狂 籠 余 似 て 気 た  $\mathcal{O}$ 兼 な と を 弁 ŋ 狂 る に 公 解 人 が け を 親 対  $\mathcal{O}$ 為 に 費 L 戚 ょ て す B 0 L

> 5 た

て

に 前 留 る 強

11

*ک*, Surely と る。 る 学 ス テ う 示 Ł 中 る 1 は れ カュ 11 0 ころ そ 中 } ル な す 続 ح つ 0) 人 に て 親 社 am. کے 間 と 0) ŧ た 文 れ 事 ツ で 周 11 生 戚 会 社 で you're 漱 ク 排 囲 た 神 を に 章 ほ 実  $\mathcal{O}$ ま 自 で  $\mathcal{O}$ 会 ک 漱 7 そ に で 逆 تلح 石 斥 カン 経 5 対 カン す れ あ 敵  $\mathcal{O}$ さ لح 石 0) ン れ あ 衰 手 ま b 0 す 6 て 5 あ 大 天 not は 姿 0) は 周 理 る は 弱 に 小 る 読 で れ き 多  $\mathcal{O}$ 才 لح 开 が 夏 لح 姿 る 説 解 漱 4 そう 0 such  $\neg$ た 自 ス 数 る 大 文 同 に ま か 自 さ 目 な と、 が 石 と 分  $\vdash$  $\mathcal{O}$ が 学 様 つ 5 己 ۲ 鏡 تلح 漱 そ だ れ  $\mathcal{O}$ れ 馬 を an ツ 忌 Splend を、 た 排 0 子 論  $\mathcal{O}$ 0 石  $\mathcal{O}$ ず 憤 る よ 鹿 自 神 む ク ŧ <  $\mathcal{O}$ よう 斥 文 V  $\mathcal{O}$ ŋ 0) arrant ŧ 5 神 所 経  $\mathcal{O}$ 章 と、  $\mathcal{O}$ 独 さ 逆 語 ツ 発 7 は 0 が 経 と答 لح 神 衰 id! J に 先 テ な を ŋ れ に 想 ン 0 な 衰 経 fool な 弱  $\mathcal{O}$ 見 で な 価 見 た ル 周  $\mathcal{O}$ ŧ 0 え、 神 猫 弱 る لح 衰 る 立 が 値 を 転 神 井 5 か 経 弱 Þ 全 経 天 0 6 づ 漱 貼 換 が asn 1 対 「fool」 衰 لح لح 才 幅 て け る 石 6 で 衰 自 all 立. 弱 漾 述 畸 狂 的 が  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ れ あ 弱 11 ょ 分 す  $\underline{\overset{\widehat{40}}{-}}$ 虚 狂 人 ベ 形 う る。 意 で 共 る  $\mathcal{O}$ は 思 を る 集」、 7 児 人 を き 男 世 لح S そ B 識 感  $\neg$ 玾 市 \_ 狂 と لح 11 す る を で ま 出 れ 漱 解 自 本 長 لح لح 認 11 る を 0) ょ لح 1 る さ 5 石 人 狂 L L う か L 39 当 説 せ 主 精 が 気 鶉 7 す で 5 に が な 11 う لح 問 5 て る 神 そ 帰 籠 排 る に そ 明 は 張 ば な 11 お 見 تلح さ に 斥 な す で 玉 W  $\mathcal{O}$ 留

ツ ょ が 後 学

あ

 $\lceil Now \rceil$ に 5 う ス of てし 言 1 葉 the ツ で ま sent Þ ク 0 表 people〔人民 7 た。 「mad」 現す her mad ン 0) -41 \_ る。 とし が とス ス too! ス  $\vdash$ 0) 1 て  $\vdash$ 敵 ツ 排 ツ ク ツ お ク <u>42</u> 斥 ク 7 お さ ン マ ン れ と ŧ ン あ に る 罵ら た ま V 賛 た、 自 ち 0 同 5 れ、  $\mathcal{O}$ は 群 0) 行 女 る 動 状 周 衆 房 か を 況 用 ま 5 「mad」 を 0) 長 気 価 人 値 々

け

T

いくの

であ

る

だ 0 < ょ ŋ 漱 ム う ろ ŧ 宿 石 لح そ  $\mathcal{O}$ 0 は て ツ で 全 は V 力 か  $\vdash$ 高 に な る を 5 柳 擬 1 死 傾 発 لح せ 0) と け 同 で 狂 5 る た 様 気 0 れ それ と、 2 死 て 0 ま 0) 1 と るこ は 彼 ŋ 主 狂 0) 義 気  $\neg$ と 虞 現 漱 を  $\mathcal{O}$ 実 想 美 か 石 批 5 人  $\mathcal{O}$ あ 念 草 ŧ, 評 内 え を は 部 自 て う  $\mathcal{O}$ け 現 身 に カゝ 甲 0 偏 実 b L 執 が 野 抱 さ て V  $\mathcal{O}$ 対 11 え  $\lambda$ 置 て つ る が と L お

## (越智治雄「野分」(4))

 $\mathcal{O}$ 極 自 0 的 存 5  $\mathcal{O}$ 右 な £ 在 は 0) は 現 で 大 狂 漱 きな 実 は 気 石 批 な 0 評 意 1 周 \_ 味 狂 囲 とす を 気 と カュ 持 転 5 0 る لح 換 理 て 越 そ す 解 1 智 0 る 上 さ た 治 れ 0) 雄 現 で、 で ず 氏 実 排 あ  $\mathcal{O}$ 批 る 斥 指 評 プ さ 摘 セ れ で が ン る あ  $\overline{\phantom{a}}$ る。 状 け 社 況 会 を、 漱 0 て二 石 敵 積 が

## 六 「イブセン流」と「維新の志士」

た 積 当 題 性 セ 7 ことを 極 時 を が V 書 的 見 あ 0) た 簡 神 な て る 1 0) 経 指 لح 個 1 プ 現 衰 摘 ることを L 人 セ 1 弱 実 て 性 L ブ た 批 作 セ Þ たこ 評 品  $\mathcal{O}$ 明 主 に 流 狂  $\sim$ と、 5 張 対 人 لح カコ す لح に 転 と に そ る 単 11 L L 親 換 L な う た。 す て 言 る 和 て る上で 先 利 性 葉 排 さ 駆 己 を に 斥 5 ż 性 的 起 見 に、 大 ゆ な 点 5 れ き え Ł に n る  $\neg$ な  $\mathcal{O}$ る、 自  $\mathcal{O}$ 社 役 孤 で 漱 5 会 割 <u>\\</u> は 石 漱  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を لح な が 石 状 敵 < が 果 11 況 Š 感 た を、 が 社 1 問 슾 プ

あ で 教 て そ る 注 養 儒 次 学 目 は れ 維 で L 0) に ど 新 お た 0 は 言  $\mathcal{O}$ 葉 け 11 ょ 志 で る  $\mathcal{O}$ う 士 は な あ 0) 意義 狂 ょ る と う 儒 11 に 学 が な に あ う 漱 0 言 *\*\ お 0 石 た け 葉 て  $\mathcal{O}$ で る と 1 考 表 ま プ 狂 え 現 ず セ さ 6 見 ン  $\mathcal{O}$ る れ れ 作 精 べ る る 品 だろ 神 ょ き  $\mathcal{O}$ で う 捉 は あ Š な え  $\neg$ 論 か 儒 方 学 に 語 的 お に な V

者 子 は 日 < 進 4 て 中 取 行 ŋ を 得 狷 て 之に 者 は 為さ 与 せ ざ ず る W 所有 ば る 必 な ず Þ 狂 狷 狂

((『論語』「子路」(4))

う 中 者 な 道 中 行 に 行 L 1 狷 が 7 と 正 者」 で は き L と と る 11 過 人 理 ぎるこ 想 を ŧ 得 的 に 5 な 行 لح れ 行 動 Ł な 1 す な 11 るこ <u>4</u>5 時 は 0) と 及 が とで ば 説 狂 な カゝ 狷 あ 1 れ る る。 لح 0 が ま ŧ ŋ そ 狂 な 者  $\mathcal{O}$ 1 狂 ょ

る。 は 説 掩  $\mathcal{O}$ 日 然 捉 者 物 さ た لح わ 本 え 狷  $\neg$ ず に ŋ さ 者 進 れ 方 0 孟 大 れ み 語 が て 子 ま 47  $\widehat{46}$ き 11 う は 集 る 7 ŋ と、 る な け 注 に 影 為 0 狂 お 響 志 志 が さ  $\mathcal{O}$ で 1 を ざ が  $\mathcal{O}$ لح れ 註 لح て は 高 与 大 る で 0 L 1 11 え き ŧ 所 7 は つ う た な 狂 が 進 有 あ 狷 朱 行 人 る 取 論 ŋ 狂 狂 動 子 物  $\mathcal{O}$ 語 と 者 者 方 が 学 لح لح 気 \_ L に は を さ あ お 風  $\mathcal{O}$ て に 見 \_\_ 1 れ る  $\mathcal{O}$ 志 0 定 る る 0 が あ 進 極 な 11 0 11 る 狷 み  $\Diamond$ 5 て 価 て ま 人 者 た、 ば 7 て 値 11 般 物 其 取 高 が لح な に لح 朱 < 江  $\mathcal{O}$ ŋ お لح さ 1 は 熹 志 戸 人 L カ 慎 ŧ) n 朱 لح 物 て 時 れ 重 に 7 と 行 代 嘐 1 な ま 子 解 嘐 う V  $\mathcal{O}$ 11 狂 人

学 5 さ  $\mathcal{O}$ 0 祖 姿 5 勢 に を 王 陽 語 幕 明 る 末  $\mathcal{O}$ 上  $\mathcal{O}$ で 言 日 本 次 行 0) 録  $\mathcal{O}$ ょ 志 で う あ 士 た に る ち 述  $\neg$ ベ 伝 に 習 大 た ے 録 き لح な に が 影 は 響 記 さ を 王 与 れ 7 陽 え 明 た 11 る が 陽 自 明

 $\mathcal{O}$ L 是 人 是 し は 僕 0) 奚 んこ て を 5 誠 ぞ 心 以 に 為 لح 笑 恤 其 を て 天 を Š  $\mathcal{O}$ を 痛 斯 必 0 5 計 る 是 思  $\Diamond$  $\mathcal{O}$ ず 霊 る に  $\mathcal{O}$ Š 民 此 に に 足 其  $\mathcal{O}$ に 頼 如 是 暇 5 き 亦  $\mathcal{O}$ 陥 由 0 狂 自 あ W 身 溺 を 7 0 を \$ 6 て 見 5  $\mathcal{O}$ を 病 ん 其 不 念 偶 而 我 4 遂  $\mathcal{O}$ 肖 Š る 7 疾 心 量 を 毎 良 に 後 痛 を 相 を 忘 に に 知  $\mathcal{O}$ 喪 与 知 天 n  $\mathcal{O}$ 体 Š 5 則 下 学 に て 0 に ざ 5 非 得 を 切 人 笑 る 此 之 て 見 0 な 者 を が る L 治 る 4 て な 以 為 む 有 に 之 ŋ 7 に 可 方 を 之 戚 L 嗚 ŋ と。 詆 天 を 然 以 呼 て 下 救 لح 為 斥

> 共 に 行 开 る ま れ 通 ŋ は う 人 0 決 す 姿  $\mathcal{O}$ 人 意 詆 勢 る 排 非 で 社 Þ が 斥 ŧ 会 が 笑 斥 カゝ 語 は  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を 主 5 5 さ さ を 状 張 計 れ れ 斯 見 れ 況 さ る 是 る 0 る て に を 狂 そ れ ŧ, ک 民 L 変 る 暇 を 0 と 0 ま 革 あ 病 自 陥 が う ح す 5 み b 嗚 溺 لح で る  $\mathcal{O}$ W 心  $\mathcal{O}$ 呼 き 思 11 王 Þ を 行 を る う 陽 喪 11 是 動 見 カゝ 明 と Š を 奚 L 先 5  $\mathcal{O}$ ぞ  $\mathcal{O}$ そ 自 て  $\mathcal{O}$ 行 人 恤 天 自 0)  $\mathcal{O}$ 動 6 下 Š 状 ス す 0 5 る  $\mathcal{O}$ る 姿 が 況  $\vdash$ に 人 勢 す と を ツ が 足 べ ク 0 救 5 7 進 意 き 非 0 お W ま Š 取 義 笑 Þ لح づ لح V) 0 け を z 周 す あ

述 そ 物 節 有 べ で لح さ  $\mathcal{O}$ 主 あ る n  $\mathcal{O}$ そ 著 ょ ŋ る ŧ 5 れ で な に あ ま  $\mathcal{O}$ た で 対 る す 多 あ 狂  $\neg$ < 講 0 る 孟  $\mathcal{O}$ た  $\mathcal{O}$  $\neg$ 箚 志 ک 価 孟 لح 士 値 子 記 た づ が 5 で 推 け  $\mathcal{O}$ に 測 言 は 葉 先 影 さ に 響 を れ 維 引 を る 解 新 用 与 説 0 L え 志 志 L た た 士 7 士 吉  $\mathcal{O}$ に 代 次 論 田 お 語 表  $\mathcal{O}$ 松 11 的 ょ 陰 7 う のは な ŧ 人 共

す 者 何 世 孟 ベ を ぞ 獧 子 重 其 棄 者 0)  $\mathcal{O}$ 物 W 任 لح 任  $\mathcal{O}$ 孔 ľ な 子 を 士 至 لح る 狷 負 を 重 雖 者 荷 得 至 然 تلح を す 大 ŧ 之 る れ こと に سلح 亦 其 必 同 次  $\mathcal{O}$ Ł ず を 盛 じ ぎ 気 此 得 業 力 郷 0) 抑 W を 雄 道 原 Þ  $\angle$ 羽 健 を 翼 を 負 悪 是 余 す 狂 荷 大 む を る 者 罪 以 L  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ 心 非 て て 余 事 孟 ず 性 を 天 子 質 W 下 永 忖  $\mathcal{O}$ ば 堅 度 狂 忍 <

ベ ば 悪 尊 其 異 لح 今 是 に に 世 لح 帰 か む び 0) は な 能 0) に 5 吾 孔 5 能 な 時 せ 天 は 伝 ば ざ 地 と 夷 が W ず に は ず る  $\mathcal{O}$ 変 輩 孟 P 当 W 則 何  $\mathcal{O}$ 誣 異 を を 故 لح ぞ み 端 程 罔 憂 見 且. ち 此 に 7 欲 郷 に 曲 る 其 0 此 す S 0 原 然 陥 説 朱 郷  $\mathcal{O}$ 道  $\mathcal{O}$ 中 る لح を れ ŋ を 原 狂 を 道 臣 道 悪 ど 外 鬼 唱 守 節  $\mathcal{O}$ 獧 を  $\mathcal{O}$ 至 む 狂 道 を る 興 道 蜮 害 を 士 n に 者 義 邪 励  $\mathcal{O}$ 渇 に す  $\mathcal{O}$ て 足 魔 ま 如 身 今 望 はに 遽 0 5 す 獧 荊  $\mathcal{O}$ < に 猶 は L カコ は る W 者 榛 古 獧 に 如 敢 を を 忠 0 者 得 L 人 蛇 狂 て と 材 蝎 信 如 者 網 生 に 羅 ず を  $\mathcal{O}$ L 非 に か せ ざ ざ  $\mathcal{O}$ 育 廉 亦 非 る 如 5 説 す 潔 其 进 れ ざ ざ る 是 勢 熄 る な 0 孔 ば 所 n を ま 人 守 ば 11  $\mathcal{O}$ 玉 飾 は な ず る 興 中 禁 説 体 り 孟 V) 道 ず W を を لح す 古  $\Box$ 

 $\neg$ 

講 孟 箚 記 巻 0 兀 下 49

> 学 神

لح る 物 人 は 郷 لح 孔 は 0) さ 原 1 れ لح ま 孟 村 で れ 鬼 と は 0) る ŋ は 蜮 対  $\overline{\phantom{a}}$ 思 程 お П 社  $\mathcal{O}$ に  $\neg$ い そ で ŋ 如 会 な 孟 L は 朱  $\mathcal{O}$ る 子 Š そ 7 <u>\forall .</u> を 敵 形 さ  $\mathcal{O}$ 松 派 唱 蛇 で を 任 蔭 な W に 蝎 高 解 を は お  $\mathcal{O}$ 1 < 説 لح 負 身 11 評 如 を に す つ 5 n 7 < 価 る 7 5 言 は 11 が 形 行 う 忠  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 与 the 見 動 信 意 で 人 え て 味 を 物 表 Liberals 6 排 起 が 廉 で、 面 狂 n 斥 潔 的 て 者 す そ 自 に を 1 る う are 5 は 飾 る。 道 で  $\mathcal{O}$ the لح す ょ 徳 る 獧 は を う 的 ょ 者 る 郷 worst Š 述 者 に な 口 原 た な に が 人 人

ち 々

> る <  $\mathcal{O}$ Þ カコ 敵  $\mathcal{O}$ が 5 進 は 排 取 な 斥  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ さ 気 11 松 勢 れ 蔭 る 12  $\mathcal{O}$ 富 構 自 言 义 む と 由 葉 人 あ が か 物 る 義 5  $\neg$ が 者 狂 読 と ほ 4 時 لح ど لح لح 代 相 1 れ に 似 自 う る 容  $\mathcal{O}$ 由 言 n 主 な 葉 張 5 人 に れ で 間 込 ず あ に  $\Diamond$ と る 5 凡 つ 庸 志 7 れ て な が 高 人

7 7 文 う はれ  $\neg$ 字 と 0 講 者 た ま 経 講 な は に で た 孟 衰 L 孟 維 弱 た  $\mathcal{O}$ が 箚 な 孟 箚 新 こと ŋ で 子  $\neg$ 記 n 記 神 大  $\mathcal{O}$ に 0 t ま 経 罪 つ、 当ずの を は に 気 は い 衰 見 違 講 罪 لح はこ 弱 余 積 志 6 義 لح 思 で 松 大 極 さ れ Š Ł を 蔭 Þ 0) 罪 的 入 士 ŧ れ が る  $\neg$  $\mathcal{O}$ な 牢 勤 ょ لح 来 لح 講 気 余 意 う に 王 そ 航 で 述 孟 違 義 に ŧ 家 書 n し べ 箚 永  $\mathcal{O}$ 何 か に た 6 記 < あ  $\neg$ 儒 T で を れ ょ n 世 る 入 学 ŧ た る メ 例 7 0 0) Ł 牢 IJ に 投 す に V 成 棄  $\mathcal{O}$ お 獄 力 る 最 出 た 立 物 لح لح **\**\ 了 初 と 0 لح L が لح な 1 て 0) 謹 軍 見 関 な 0 う で 漱 慎 艦  $\neg$ 係 る 間 て 言 狂 伝 な 石 0 11 葉 習 < 違  $\mathcal{O}$ 中 搭 て لح る لح لح 録 書 で 7 0 乗 VI あ た 密 V は 簡 行 L る る B ょ う 文 6 接 に わ

な 性が 石 漱 漱  $\mathcal{O}$ に 文 個 指  $\mathcal{O}$ 石 石 狂 に を に 摘  $\mathcal{O}$ 支 0 さ お 個 根 と え、 時 底 満 れ 11 人 V て 主 12 足 7 弊 う ŧ 義 あ そ لح VI 言 l た 0 は 適 葉 漢 た て 異  $\mathcal{O}$ に 学 な L 本 特 イ 対 質 لح プ る 論  $\mathcal{O}$ す が セ 社 に で 持 人 る ŧ 考 ン 会 お 0 々 作 性 V え あ 0) 7 5 品 を 0 高 弊 ょ た。 見 t れ 度 ヲ Š て る 特 漱 な 拯 な V 最 に 石 社 フ 価 が そ る 初  $\neg$ 숲 値 社 イ に L 的 と Ł づ ブ 引 て 会 倫 け  $\mathcal{O}$ セ 用  $\mathcal{O}$ 玾 が さ を 0 敵 L 的 5 見  $\mathcal{O}$ た 点 批 当 猪 を に が 判 時 そ 単 個 野 読 性 氏 人 漱 0

と 景 が 5 け L が な た。 儒 す لح る 時 あ Ł 学 る L る 上 代 思 لح て そ で 実 0 持 想 と そ 際 先 n に 0 が 自 駆 ŧ L 言 て 社 己 性 お に 儒 葉 け 숲  $\mathcal{O}$ 学 を で 探 る 狂  $\mathcal{O}$ は 持 維 あ 貢 求 自 0 新 狂 る ŧ 献 に 5 t  $\mathcal{O}$ ま ょ に  $\mathcal{O}$ 0 漱 志 た、 0 0 る 思 لح 石 士 な 精 自 想 L が 社 が 神 己 を 7 自 と 会 確 捉  $\mathcal{O}$ る 仏 5 表 変 積 <u>\f</u> 教 え  $\mathcal{O}$ 現 لح 革 を B 7 極 姿 L 的 を 説 老 11 勢 た 社 荘 た な 強 < を  $\mathcal{O}$ 意 会 調 点 لح ーイ は 改 義 し は 区 づ 良 続 共 を 別 ブ ح け を け 诵 眀 セ が  $\mathcal{O}$ そ た 価 6 L ン あ ょ  $\mathcal{O}$ 歴 な 値 カン 流 う 背 史 づ が に 0

Š あ 張 セ 己 快 道 ン に 也 に な 積  $\mathcal{O}$ る 漱 に 儒  $\mathcal{O}$ 極 漱 作  $\mathcal{O}$ 女 石 的 体 品 学 作 主 石 そ は 現 思 品 張 と な  $\mathcal{O}$ に L  $\neg$ 役 さ て 想 に を 漢 L ^ 割 学 لح そ れ 個 漱 対 7 ツ を る 共 す 0 そ  $\mathcal{O}$ 石 ダ 人 果 主 性 は 通 る ま  $\mathcal{O}$ 教 た 張 自 す ま 嫌 養 高 ガ す を 6 る V 肯 悪 は  $\mathcal{O}$ ブ ŧ 定 確 ŧ 評 思 0 感 ラ 0 立 儒  $\mathcal{O}$ 価 す を 想 1 自 で 学 B る を L 示 を 己 ŧ た 読 親  $\mathcal{O}$ L 読  $\mathcal{O}$ あ 本 لح ŧ 教 み 和 て 4 0 位 性 は  $\mathcal{O}$ 養 取 1 取 ッ た。 と を 0 は な た ダ る を 考 土 た カゝ ょ こと を 表 え 台 そ う 0 現 5 と لح  $\mathcal{O}$ た に で す 徹 が れ L る。 る そ 自 単 頭 0 漱  $\neg$ 上 野 0  $\mathcal{O}$ 己 石 な 徹 ے で 分 1 根  $\mathcal{O}$ る 尾 プ 底 極  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 1 不 ょ セ に 主  $\mathcal{O}$ プ 自 愉 8

## 注 記

1 明 治 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 + 月 + 六 日 鈴 木 重 吉

## 宛

 $\widehat{\underline{2}}$ 初 出 は 新 小 説 明 治 三 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 九

月

- 3 初 出 は 中 央 公 論 明 治 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 + 月
- 初 出 は ホ 1 1 ギ ス 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$ 七 年 月
- 内 田 渞 雄 漱 石 لح 社 会 問 題 漱 石 明 暗 ま

5 4

で

- お う Š う、 平 成 十 九 九 八 年 月
- 6 年 三月 小 泉 浩 郎 野 分 0 周 辺 湘 南 文 学 \_ 九 八 \_
- 7 学 出 瀬 版 沼 会、 茂 樹 昭 和 鶉 兀 + 籠 五. لح  $\neg$ 九 野 七 分  $\bigcirc$ 年 七 夏 月 目 漱 石 東 京 大
- 8 出 は 文 芸 界」 明 治  $\equiv$ + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 九 月

た

9 月 兀 初 初 日 出 ( は 六 月 東 兀 京 日 朝 日 新 聞 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$ 七 年

五.

- $\widehat{10}$ 太 陽 眀 治 三 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 + 月
- 11 九 え 方 中 州 大学出 村 都 史 日 版 子 本 会、  $\mathcal{O}$ イ イ 平 プ プ 成 セ セ 九 ン 0) 現 三 象 九 0 九  $\mathcal{O}$ 七 顔 九  $\bigcirc$ 年 六 六 夏 月 目 漱 九 石 六  $\mathcal{O}$ 年 押 さ
- 12 内 田 道 雄 漱 石 لح 社 会 間 題 前 出
- 13 文 芸 読 本 夏 目 漱 石」 昭 和 五. +  $\widehat{\phantom{a}}$ 九 七 五. 年 六 月
- 明 治 + 九 九  $\bigcirc$ 六 年 +月 + 六 日 高 浜 虚 子 宛 書

14

- 15 代 講 集 文 演 ŧ 集 録 لح ŧ 文 章 لح 実 大 と 業 正 之 て 世 年 は 界 + $\neg$ 大 孤 月 正 蝶 兀 馬 + 年 場 五. 勝 日 弥 に 九 氏 学 立 習 \_\_ 五. 候 院 補 で 年 後 行 援 わ 月 れ 現 た
- 16 初 出 は 新 小 説 明 治 三 + 八 九  $\bigcirc$ 五. 年 八 月

17  $\equiv$ に は、 + 序」 文学論』 九 明治 は、 九 (大倉・ 三十 (() 六() 『文 学 九 年 年 論 店 <u>+</u> -+に 明 月」 月 先 治 兀 だ 兀 という 旦 0 + て に 日 掲 九 読 付 載され 売 が 七 新 あ 聞 た。 明 月 序 治

書

 $\bigcirc$ 

年

五.

- 18 Enemyカュ とした。 執 六 1 大 明 八日文」 な書誌 筆 冊 プ 治 < セ わ 兀 of 十 L 1 集 英語 くは 英 情 平 作 年 プ Society 報 社 前 成 セ 品 は 訳 後 拙 ン 0 +省 平 は  $\mathcal{O}$ 論 邦 漱 11 漱 成 題  $\mathcal{O}$ 0) た。 漱石の (二〇〇九) 石 八 石 4 項 は 旧 の文学観との は 目 英語 蔵 世  $\mathcal{O}$ 書 九九六) イプセン受容をめぐっ 界 ŧ 文学  $\mathcal{O}$ 訳  $\mathcal{O}$ にあ ŧ に 年 0) 大事 よっ 年十月)  $\dot{\Xi}$ 関 に わ 連か よっ 月) せ 典 た。 て た。 ら 参 第 ただし、 『社会の の毛 照。 また、 巻 利 」(「九 な て お、 敵 三 **全** 細 彌
- 19 始 九 る 0) ま 中 関 る 村 六 年 都 心 1 史子氏 プ を ( 前 セ 現 ン れ  $\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\text{\tiny }}}{\overset{\text{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\overset{\scriptstyle }}{\overset{\tiny }}}{\overset{\overset{\scriptstyle }}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\overset{\scriptstyle }}{\overset{\tiny }}}}{\overset{\overset{\scriptstyle }}}}{\overset{\overset{\scriptstyle }}{\overset{\overset{\scriptstyle }}}}{\overset{\overset{\scriptstyle }}}{\overset{\overset{\scriptstyle }}}$ 0 は 受 を の「序言」 容につい 日 指 本の 摘 し、 1 て「広 プ で、 イプセ セ ン 範囲 明 現 ン 治 象 現  $\equiv$ に 象 + 及 Š 九 九 لح 年  $\bigcirc$ 1 呼 プ 頃 六 セ  $\lambda$ か で 5
- 20 初 出 は 趣 味 明 治 兀 +  $\widehat{\phantom{a}}$ 九 八) 年 月。
- 21 初 出 は 新 潮 明 治 兀 + \_ 九 0 九 年二 月。
- 22 初 出 は 早 稲 田 文 学 明 治 三十 九 九  $\bigcirc$ 六) 年 八

月

23 え方」(前出 中 村 都 史 子 1 プ セ ン 0) 三 つ 0) 顔 夏 目 漱 石 0 押

さ

- 24 初 出 は、 文 芸 界」 明 治 三十 九 九 0 六 年 九 月
- 25 九 七 村 六 尚 勇 (昭 編 和 漱 五. + 石 資 料 年 五. 月 文学 75 論 頁  $\vdash$ 岩 波 書 店

 $\widehat{26}$ 

- と 述 関 広 彼 れ て が 自 L た *(* \ ŋ べ 身 て 講 0) る と思  $\mathcal{O}$ て 演 0) ょ 1 う 中 お 代 *b* で 表 模 わ な ブ 捉 者 セ れ 倣 漱 えら る。 そ で ン と 石 独  $\mathcal{O}$ あ لح  $\mathcal{O}$ れ <u>\f</u> 云 例 る イ て 個 と Š Ż 11 人 に ば セ 人 云 る 性 は お ン S 九 1 観 特 人 <u>一</u> 三 間 て が 殊 は ŧ 0 0) 後 人 代 点 Þ 漱 大 を 表 ま 間 者 正  $\mathcal{O}$ 発 石 で 代 揮 で は  $\mathcal{O}$ あ 1 機 表 L て る プ 年 軸 لح 居 と セ に に る ンに 共 1 行 な に Š わ
- 27 月二十三日 初 出 は、 5 東 +京 月二十 朝 日 九 新 日。 聞 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$ 七 年 六
- 28 明 治 兀  $\bigcirc$ 九  $\bigcirc$ 七 年 七 月 +九 日 小 宮 豊 隆 宛  $\mathcal{O}$ 書
- 簡
- 29 による。 本に 典 An Enemy of Society. The Walter Scott Publishing Co. Ltd 版 用 会、 を は、 本 ょ 論 訳 る拙 に Henrik Ibsen, 平 L お イプセン作 成 た け 訳 九 毛 る で 利 あ  $\neg$ 三 社会の る。 The九 彌 品 九  $\neg$ 以 下 七 1 0) 敵 Pillars of 訳に プ 同 年 セ (An Enemy of Society) 様 ついては、 + ン 戱 月 Society, 曲 全 を 集 参 考に Ghosts, (東 ル ウ 海 エ L た、 大学 ] の 語 藤 出 引 原
- 30 p.280 Pillarsof Society, Ghosts, and AnEnemy of
- 31 ThePillarsofSociety, Ghosts, andAnEnemy of

- 32 『文学論 ノ 1 158 頁
- 33 公 味 (F+f)式 L は 石 印 f は なること 象 はこ 『文学 又 は れ 論 に 観 を 附 念 要 着す に 0) す。 お 方 る F 面 情 て は 即 凡 緒 焦 5 を 点 そ文学 認 意 的 識 味 す。 印 的 象 的 要 素 さ 又 内 は 容 れ F ば 観  $\mathcal{O}$ Ŀ. 念 形 لح 述 を 式 情 0) 意 は
- 緒 的 要 素 f لح  $\mathcal{O}$ 結 合 を 示 L た る Ł  $\mathcal{O}$ と 云 ひ 得 べ L
- 認 識 編 的 要 素 章) とし とし て説明 してい 焦 る。 的 L 印 カン は 本 論 念」、 を

第

第

て、

F

を

点

象

又

観

進

- 8 る 上 で は、 意 識」 として 捉えても 間 題 は な
- 34 文学 論  $\vdash$ 305 頁
- 35 月)。 初 出 は、 保 恵会雑 誌 明 治 + 八 八 九 五. 年 +
- 36 明 治三十九 九  $\bigcirc$ 六 年 十月二十三 目 狩 野 亨 吉 宛
- 37 Society p.315 ThePillarsof Society, Ghosts, and AnEnemyof

38

た と 識 界 孤 兀 六 月)、 小 あ 越智 に が 独 年 + わ つ あ 感 治 島 せ V る を 月 相 と思 雄 本 て、 留 て 原 「野 有 考 学 和 な え わ 中 分 邦 تلح 漱  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ n 「 「 野 石 ょ 漱  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る う で 石 論 野 な あ か  $\mathcal{O}$ L 漱 分 分 指 解 れ か 5 石 釈 ば 捉 摘 私 L 0) され 論 が えることに 論 位 可 先 置」(「国 てい 能 0)  $\mathcal{O}$ 角 白 で 時 Ш 井 る あ 序 期 書 よう 道 る 0 は 店 也 لح に 文 漱 学 は 考 明 に お 石 ^文学者 え 5 九 け  $\mathcal{O}$ る る 問 高 カン 七 記 題 に 柳 九 ま 意 限 七 年 述  $\mathcal{O}$ 

- 年 11 で を、 + あ る 月 留 学 前 ŧ \_ 後  $\mathcal{O}$ 道 漱 也 石 لح 工 カュ 高 5 柳 高 捉 0 等 て 専 V る。 門 人 学 校 に 紀 対 要」 す る 姿 勢 九 0 九 七 違
- 39 昭 夏目 和 兀 鏡子 九二 述 九 松 尚 年 譲 + 筆 録 漱 石  $\mathcal{O}$ 思 S 出 岩 波 書 店
- $\widehat{\underbrace{40}}$ Society p.268 Pillarsof Society, Ghosts, and Anof
- 41 Society p.269 ThePillarsof Society, Ghosts, and Anof
- 42 Society p. 8 ThePillarsof Society, Ghosts, and An

of

- 43 越智治雄「野 分 (前 出
- 44 和三十 新 釈漢 五. 文 大 九 系 六  $\neg$  $\bigcirc$ 論 語 年 五. 台吉 月 田 賢 297 抗 頁 解 説 明 治 書 院 昭
- 45 新釈漢 文大系 論 語 297 頁) 0 語 釈 に よる
- 46  $\neg$ 孟 子』「尽 心 下 引用 たは、 新釈 漢 文大系『孟子』 (内
- 47 集注 野 熊 論 508 467 語 第三 集 注 巻 によ 平 巻 明 治 七 凡 る。 書 社 院 引 平 用 昭 は、 成 和三十七 二 十 土 六 井 健  $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ 次 九六二)  $\bigcirc$ 郎 訳 兀 注 **—** 年 年 論 六 + 語
- 48 和 新  $\equiv$ 釈 + 漢 文 六 大 系 九  $\neg$ 六 伝 習 録 年 **近** 九 藤 康 信 ょ 解 る。 説 明 治 書 院

月

に

頁)

に

ょ

る。

49 近 藤 啓 吾 全 訳 注 講 孟 箚 記 下 株 式 会 社 講 談 社

昭和五十五(一九八○)年十月、84 Society p.312

# 『それから』における「誠」

# ―― 日本近世儒学の伝統

# はじめに

程 5 な な 肉 彼 御 < 骨 体 実 骼 際 は 洒 0 に 彼 旧 て لح 誇 落 時 は 相 لح を 代 必 굸 ま 好 置 0 要 で、 は あ < が 日 可 人 れ 本 あ で て か 鏡 を れ あ Ł 0 に 乗 ば、 た 向 る ŋ لح 何 S 超 御 思 た  $\mathcal{O}$ 彼 え 白 苦 Š  $\lambda$  $\mathcal{O}$ 7 粉 ね る 位 び 痛 尤 さ に ŧ で Ł 感 あ 嫌 付 じ る あ Š け 得  $\lambda$  $\mathcal{O}$ カコ な 其 な は ね 代 顔 11 ぬ 0 ŋ に 漢 程 生 そ 人  $\mathcal{O}$ に れ カコ れ 様

象代る時恋

(『それから』 一の一

 $\mathcal{O}$ 前 え 起 れ 泣 て さ 提 か 道 事 る 5 念 لح れ れ さ る が を て は 11 0 好 誇 れ き と る 書 て 張 そ き が き 11 な れ う 出 男 た。 て、 点 か そ L 八 ら は  $\mathcal{O}$ に 得 0 れ 意 0) 方 1 î 多 は に 六 で て < 第 作 使  $\mathcal{O}$ 最 は 品  $\mathcal{O}$ で 論 後 口 内 口 あ 者 す  $\mathcal{O}$ 目 に 0 に で 0 お \_ たころ に 旧 お 最 1 六 時 さ 11 て、 後 まざ て 代 0) 0 に、 代  $\mathcal{O}$ 五. 文 ま 助 日 で 友  $\neg$ を 本 な 前 人 人 語 を 問 る 平  $\mathcal{O}$ 乗 る 題 尚 為 上 ŋ 自 が に に 己 で 超 提 そ

> 人三 助 人 徴 は 的 が 物 千 لح な 何 な ŧ 旧 う 代 時 0  $\mathcal{O}$ か を て が 代 譲 L 0 11 0 て 次 る 日 た る <u>こ</u>と  $\mathcal{O}$ 代 本 た 場 助 W に だし 面  $\mathcal{O}$ が 対 で 価 あ 値 応 現 兀 る。 観 し 在 て 0) を は  $\equiv$ 11 否 自 る。 定 6 لح すること 0 そ 冷 そ L P 0) てこ Þ 行 を カゝ 為 0) に 示 を ょ す 批 うに 判 あ す

な が 第 親 け す ŋ 爺 て 親 る。 0) 字 は あ 爺 尤も が 後 る  $\mathcal{O}$ 嫌 頭 だ。 珍 先  $\mathcal{O}$ 重 代 上 人 L に、 0) 其 0) て 道 旧 上 あ に 文 藩 誠 る。 句 あ 者 主 5 が に 天 代 ず 気 書 之 助 に と 1 道 は 喰 て 也 附 此 貰 と け は 額 加 0 云 な が た  $\sim$ 11 Š 甚 た と 額 だ 11 誠 嫌 か が 様 は 云 麗 で 天 な 0 あ Þ 0 心 る て لح 持 道 掛

(『それから』 三の四

ŋ え る。 父、 旧 そ 時 0) 井 代 長 得  $\mathcal{O}$ 井 は 日 得 本 が 儒 最 教  $\mathcal{O}$ ŧ 0 価 大 感 値 切 化を受け 観 に を す 体 る 現 言 た」(三の L 葉 た が 人 誠 物 0) な 象 人 0) 徴 لح で 物 ŧ あ で る 言 あ

が 捉 日 え  $\mathcal{O}$ 本 ょ 5 代 0 Š ょ 助 れ  $\mathcal{O}$ な 7 価 う は そ き 値 に 観 近 た 代 n 代 を 助 を 性 否 は そ 定 人 0 L す 0 誠 7 る 渞 枠 組 次 に に 沂 4  $\mathcal{O}$ あ ょ 場 代 6 か 0 的 ず ら 面 T 0 知 代 لح そ 識 0 誠 表 否 人 さ 問 定 لح れ 題 ŧ す る が 同 V る じ 5 解 0 消 ょ 枠 旧 で う 時 さ 組 あ れに 4 代 る で  $\mathcal{O}$ 7

た

言

0

て

ŧ

ょ

て、 た T た 残 3 常 遂  $\sim$ 始 生 V 立 度 酷 で 0) に 8  $\mathcal{O}$ 様 は か 代 を 其 態 其 0 代 5 自 7 で な て け な 助 掩 度 て を で 決 点 取 V れ 分 自 は 愛 護 で 吝 る あ 相 لح ど で 酒 Ł 心 分 に 例 に 不 事 る 手 信 に 滴 ŧ な を 0 た 乗 相  $\mathcal{O}$ に 堪 け 力 陥 徳 が U 0 恥 手に じ 丰 た 義 出 彼 汚 え 酒 改 れ ぢ を て、 ス 辱 な 来 は か な 精 た ば た 借 L 丰 公 動 な 社 6 か が ま な む を ŋ 自 言 る 機 < 会 与 で 0 恋 9 5 彼 て 己 を L た。 余 を な 0  $\sim$ あ て な は L を 洋 得 る。 蓄 習 る < 打 地 0 11 己 大 盃 る た、 三 慣 様 彼 Ł 5 が な れ 胆 で 事 酔 千 明 丸 め に な は 0  $\mathcal{O}$ を 偱 に でなけ 積 其 対 気  $\mathcal{O}$ 青 た 代 と け で 語 す け と 代 天 に 兼 で L が る な 6 る 様 云 あ ŋ て 白  $\mathcal{O}$ 対 7 لح 1 L な  $\mathcal{O}$ か れ 三 て 覚 程 は S そ き け 0 日 L لح は ば た 千 悟 な 牆 て は に  $\mathcal{O}$ 思 カ れ 自 代 徳 5 壁 下 に 見 を ば 鬼 0 己 代 義 な 必 否 に 怯 を に た 次 る L な  $\mathcal{O}$ て 対  $\mathcal{O}$ と ず 助 的 か で 築 が 6 誠[ な 0 間 居 平 な L 尋

(『それから』十四の八)

は な 0 11 る。 ず で そ あ 0) 面 れ る 価 先  $\mathcal{O}$ か 値 に 5 見 9 観 た で で に ょ あ あ お う る る 11 に 7 誠  $\neg$ 人 代 で  $\mathcal{O}$ が 助 代 道  $\mathcal{O}$ 助 に に あは 千 穾 6 代 如 ず 自 لح 己  $\mathcal{O}$ لح  $\mathcal{O}$ L 告 て 代 誠 持 助 白 5 が を は 否 強 最 出 調 t さ 定 L L 重 れ た 要 る 7

説 P  $\mathcal{O}$ 明 従 さ 自 来 誠 れ 我  $\mathcal{O}$ は 先 て 行 き  $\mathcal{O}$ 問 論 た L ば 題 に 例 لح お し え ば し 11 ば て て 誠 論 三 熊 実 じ 千 6 坂 代 لح 敦 n 子 4 11  $\mathcal{O}$ う 氏 告 そ 言 は 白 葉  $\mathcal{O}$ 次 は に  $\mathcal{O}$ لح 置 ょ 代 لح 5 き 助 に 換 関  $\mathcal{O}$ 述 え 連 べ 6 L 自 る れ て 己

代 見 ば ŧ  $\otimes$ で な ざ 助 千 1 漱 代 あ 5 う が 石 L ŋ な ベ て 純 は 0 1 粋 き 11 自 愛 お  $\mathcal{O}$ Ł < P  $\mathcal{O}$ 己 で ょ 0) 誠  $\mathcal{O}$ 感 そ あ لح で 実 確 傷 る。 純 は  $\mathcal{O}$ <u>\f</u> لح 粋 そ 行  $\mathcal{O}$ 中 追 B  $\mathcal{O}$ 全 為 た 憶 誠 意 < に 略  $\otimes$ に 実 代 味 2 に 浸 に 助 き は 代 あ 5 遠 す 慎 に 助 る せ < 重 と す 4  $\mathcal{O}$ 7 な に つ W 愛  $\mathcal{O}$ 11 0 て で は で る た 問 穾 あ  $\mathcal{O}$ 代 わ 然 人 0 自 で 助 れ 間 た 己 あ を 変 な 口  $\mathcal{O}$ 0 L 異 け 復 再 て لح を n 発

作づれ け 品 は 内 6  $\mathcal{O}$ れ 人 論 生 7 間 に 活 11 口 お  $\mathcal{O}$ る 復 11 た 7  $\otimes$ は 誠 0 に ま 最 が ŋ 自 上 己  $\mathcal{O}$ 誠 自  $\mathcal{O}$ 料 己 理 実 誠  $\mathcal{O}$ を لح 確 は L 解 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> な さ 誠 11 料 ħ لح 実 理 る い 人  $\mathcal{O}$ う と を は 問 解 題 さ 不 例 لح れ 誠 関 え 実 ば 連 そ

熊

坂

敦

子

そ

れ

か

5

\_

自

然

0

口

帰

な 可  $\mathcal{O}$ t 徳 様 義 す 能 確 な に 向 11 で <u>\forall .</u> け な る 気 向 あ 6 動 場 け が ろ لح れ 機 5 L 面 L う た L を か て n か て ŧ 蓄 た L な  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0  $\sim$ £ 5 め な 代 八 な  $\mathcal{O}$ 誠  $\mathcal{O}$ 積 助 で カュ 実 で で  $\mathcal{O}$ な あ 0 あ あ تلح る た つた」 る。 自 لح が と V 己 لح あ う は  $\mathcal{O}$ ŋ ŧ لح 観 た 誠 に 千 決 点 L 1 代 て う は カン L に ک 5 ょ 相 て 対 手 う n  $\mathcal{O}$ 理 に し に 4 を  $\mathcal{O}$ 由 て 汚 従 捉 他 ょ な 来 者 は 辱 う き え る  $\mathcal{O}$ に を に と 点 与 自 対 と 自 ŧ L 分 で が 己 る て 不 は

に、 と 坂 House)る 盛 夫に に L 氏 義 W て  $\mathcal{O}$ 務  $\mathcal{O}$ に 私は こ と  $\mathcal{O}$ 指 ラ 対 取 beings) ] (My duties 0) 摘 は L ŋ する 誠 人 間 を考 児 自 上 ラ 実」 共 己 げ لح ょ で に 察  $\mathcal{O}$ 5 لح 比 う す で 対 す 行 towards れ 答 較 な す る あ 為 た L え ろ る 上  $\mathcal{O}$ る believe イ 自 て う で、 ょ 7 0 プ 4 己 myself) ] 義 *(*)  $\mathcal{O}$ ょ セ 務 明 ど こ の う。 再 ン を that 治 発  $\mathcal{O}$ す 兀 ろ 見 ょ て 夫  $\neg$ + لح before を う で る し 人 年 で 強 な  $\mathcal{O}$ あ 形 前 て 調 あ 行 る か  $\mathcal{O}$ 後 ŋ し、 為 と 家 に \_ 私 ル else 尋 日 自 そ、 自 7 何 ね 本 己 身 b に ょ  $\mathcal{O}$ 先 ŋ に か れ お Doll's確 am 5 0 £ 対 た 1 立 熊 第 す 7 際 а

意 識 な 的 に で ょ あ ŋ る 作 そ 者 漱 れ は 石 次 は  $\mathcal{O}$ 場  $\mathcal{O}$ 面 カコ 誠 5 わ لح か い る う 字  $\mathcal{O}$ 選 択 に 非 常

に

L 0 念 7 代 あ を 助 る 催 は と 今 Š 判 L  $\mathcal{O}$ た 平 U た 出 さ に 昔 う 対 L L L  $\mathcal{O}$ 7 て 代 向 助 Š 隔 に 離 Ł ŧ  $\mathcal{O}$ 時 自 感 己 Þ ょ 同 ŋ わ 様 が ŧ 胸  $\mathcal{O}$ 寧 念 0 ろ う が 嫌 萌 5 悪

> 非 た さ 7 に Ž, う 仕 常 そ L 舞 に 斯 れ て、 0 悲 う 丈 た 云 し に か Š な だ れ 影 0 0 が カュ た。 を た。 6 真 認 自 今 8 だ 分 は て で 其 驚 思 黒 悲 ろ Š VI L 影 4 た 已 を Ł 事 む 凝 が 殆 を لح あ 得 見 W ど 0 な 詰 薄 た 1  $\otimes$ < لح 7 思 剥 其 見 が 時 Š る n は

(『それから』 八の六

L に る た 使 漱 代 1 石 助 分 は が け 中 ま 7 心 V と に る 据 と えそ た 1 L £ う て  $\mathcal{O}$ 言 と 真」 葉 言 を え は 誠 る 誠 と 本 文 0) に 真 価 次 値 لح  $\mathcal{O}$ ょ 観 に う を 意 に 否 識 定 的 あ

を に に が  $\mathcal{O}$ 向 لح 大 は 是 分 日 0 は 多 本 て 比 彼 < 現 較 彼 0 知 代 的今 頭 0 0  $\mathcal{O}$ 日 金 が 性 て 社 銭 迄 普 情 る 会 多 に 通 が る 状 不 < 以  $\mathcal{O}$ 況 費 自 上 と  $\mathcal{O}$ 由 B に 义 に た が さ 鋭 に 帰  $\otimes$ n تلح 物 な 着 に た < に 11 す  $\mathcal{O}$ 0) 0 向 る 幻 لح て で 0  $\mathcal{O}$ て で そ 集 あ L あ 像 れ 注 る 打 か る 種 か 破 ŧ 5  $\mathcal{O}$ 其 得 類 最 鋭  $\mathcal{O}$ 方 な 女 後 面 さ

(『それから』七の六)

لح む 11 カン L 代 ろ 助 社 例 会 そ を え 0) あ 0 ば 行 < 為 ま 習 慣 以 を で ゃ 前 考 ま 自 近 代 己 で え  $\mathcal{O}$ 性  $\mathcal{O}$ 真 自 と 分 藤 と 1 本 を Š 注 観 た 人 ほ 点 形  $\mathcal{O}$ う か 対 が 5 لح 立 捉 適 自 を 切 え 覚 強 る で L < は な 意 あ 5 識 私 る ば す ま

ラ L V あ 自 て て 7 己 は は 0) 自 ま 真 己 る 自 実」 に だ  $\mathcal{O}$ 己 生 真 ろ  $\mathcal{O}$ が き 実 う 行 る 強 に 為 کے 調 徹  $\mathcal{O}$ さ V L 熊 意 う れ き 坂 味 て る 氏 づ لح 1  $\mathcal{O}$ け る。 は لح 先 を に  $\mathcal{O}$ ほ他 L 論 自 か 者 カュ 文 己 L لح な に 0  $\neg$ 5  $\mathcal{O}$ は そ な 人 代 れ V 間 助 か 関 す  $\mathcal{O}$ 5 と 係 決 る あ な 断 引

る

に

お

て

最

ŧ

要

な

で

用

n

は 面

誠

0)

除

0 が

で

あ

る

同

様

に  $\mathcal{O}$ 

助 重

 $\overline{\phantom{a}}$ 

煤 場

烟 面

を 使

批

評 さ

す

る る

場  $\mathcal{O}$ 

に

て な

ŋ は 新

 $\mathcal{O}$  $\neg$ 

で  $\mathcal{O}$ で 彼 で は は 愛 等 あ 所 な を 巳 る が 0) < が 動 む 六 強 か な 要 誠 調 す < 誠 吉  $\mathcal{O}$ さ 内 社 لح 会 な れ 面 11 て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 代  $\mathcal{O}$ Š と 11 力 外 で 人 る は に 物 が あ 内 押 何 る に 面 لح 9 で L ŧ  $\mathcal{O}$ が あ 流 力 5 で  $\neg$ 確 さ 朋 人 あ 認 う れ 子 ىل  $\mathcal{O}$ لح で 7 とい 関わ 考 道 き 行 る。 に <  $\sim$ Š る る あ 様 女 ŧ ここで ۲, 5 子 に  $\mathcal{O}$ ず が とし t 代 見 誠にい لح ŧ 助 え て 否 は な  $\neg$ 真 定 \* 不 い  $\mathcal{O}$ 誠を審 L 愛 VI

た け 義  $\mathcal{O}$ 白 白 7 لح か 以 る を を う 上 ず 有 い は 極 行 う 従 8 誠 す そ 不  $\mathcal{O}$ 為 大 点 る ŧ +来 て そ 切  $\mathcal{O}$ 0 か 重 言 分 要 背 ŧ な で ょ 6 葉 景 う な が 誠 場 あ لح 自 を 誠 る に 意 L 面 لح 己 味 当 0 検 7 12 観 討 لح 考 自  $\mathcal{O}$ を  $\mathcal{O}$ 玾 お 誠 は 己 ŧ 批 点 す え 解 V か る  $\mathcal{O}$ 0 判 る  $\neg$ て す そ に た 者 b 確 べ 明 لح そ Ł t れ <u>\</u> き 誠 と ら で カコ れ  $\mathcal{O}$ な لح 5 で づ で る カゝ  $\mathcal{O}$ と < 代 代 に は 11 あ カコ 助 に 11 う 代 る 助 す う お 点 助 る  $\mathcal{O}$ 何 自 そ 言 لح 三 V 故 カコ  $\mathcal{O}$ 身 7 葉  $\equiv$ 千 三 5 が れ  $\mathcal{O}$ 代 カュ 11 が 千  $\mathcal{O}$ 千 わ 行 が カン 出 代 み代 カコ 動 本 章  $\mathcal{O}$ な て 捉  $\sim$ る に <  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 告 に る  $\mathcal{O}$ え (i) #3 意 る 告 る 告 課 白 お

### 中 国 思 想 に お け る 誠

思 考 想 様 天 漱 部 版 用 そ え に  $\mathcal{O}$ 石 分 代  $\mathcal{O}$ L  $\neg$ れ 道 た て お 言 文 を 助 漱 か 学 ょ 葉 Š け が な 石 6 る が ま り 11 全 全 誠 で 経 者 あ 集 え 集 人  $\mathcal{O}$ あ 緯 る た 天  $\mathcal{O}$ ろ こ と 之 カコ £ れ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 道 誠 う 5  $\mathcal{O}$ を 道 に [3 考 が で 誠 也 注 注 あ あ \_  $\mathcal{O}$ え 指 に 解 解 背 5 لح る す て 摘 ず 景 る さ 11 語 12  $\widehat{11}$ に لح 句 う れ は で に لح 0 が 自 T 人 言 は 付 1 わ  $\mathcal{O}$ 葉 体 1  $\neg$ て け 中 は か 道 で る 孟 る。 加 が な 庸 あ  $\neg$ 子 え 考 中 ŋ ろ  $\sqsubseteq$ 第 う。 る え 成 ま 庸 離 る \_\_  $\mathcal{O}$ لح 立 た 婁 +に 時 は あ 岩 由 期 上 集 る 波 き B に 来 英 書 は す 中に 社  $\mathcal{O}$ と 店 先 後 る 玉 も版 あ 誠 最

り、 に 体 朱  $\mathcal{O}$ を に 重 語  $\neg$ 子 に 中 篇  $\, \stackrel{\smile}{\,\,}\,$ 触 系 中 ぜ 化 が 変 心 中 れ を  $\neg$ 庸 化 玉 5 る L 抜 と 孟 五. す た L 宋 重 れ が き 子 と る 経  $\mathcal{T}$ 代 視 て 出 は 上 以 き ے さ ま V \_ 0) 孔 で 降 た ず  $\mathcal{O}$ た れ 大 子  $\neg$ 契 0) 儒 ょ て  $\neg$ 学 0 論  $\mathcal{O}$ 機 儒 لح う 学 き 中 Ċ 語 で 孫 た を 庸 な لح が 学 \_ あ と な  $\neg$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 確 中 さ る つ 宋 中 中 が 認 が  $\neg$ 庸 た代  $\neg$ れ 孟 心 朱 庸 L 礼 0 的 る 子 以 先 7 子 記 子 は後 な 学  $\mathcal{O}$ 0 お  $\mathcal{O}$ 思 を と 教 き 成 か 朱 と 典 0) た 中 ŋ 兀 誠 0 子 ら 作 立 Ł で 者 心 で 学  $\neg$ لح あ に 天 لح ち あ 中  $\mathcal{O}$ 之 る L そ す に を 庸 る 登 兀 中 7 道 L る 0 場 几 て 宋 1 書 知 也 لح 心 で 書 五. 学 て لح 5 — あ 経 中 لح 以 に は 大 れ 0 見 庸 降 学 た 7 た て  $\widehat{14}$ 論 に お

لح

司

釈 n さ る n 7 き た 0  $\mathcal{O}$ 思 か 想 で あ る で は 0) 誠 は ど 0 ょ う に 解

で な 朱 لح لح 以  $\mathcal{O}$ 7 0 れ  $\lambda$ ろ で 仁 子 本 は 朱 下 Š 基 ま は 解 11 V 之 る で 学 来 に 子  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ す 本 説 で لح 内 的 同 さ ょ を 少 的 か S  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ た う 思 け لح 理 な じ 誠 L な 11  $\mathcal{O}$ n き うこ 5 に か 想 لح 中 S 心 5 あ て 後 認 か  $\Diamond$ 解 لح け 0 は  $\mathcal{O}$ た V) 11 庸 に 識 明 で 釈 لح る。 外 不 5 る 方 0 لح あ か 中 で な さ  $\mathcal{O}$ 事 真  $\mathcal{O}$ 義 解 る 言 に < 庸 れ あ 不 聖 を 態 島 実 釈 え 行 £ 之 然 章 て る 為 な 仁 人 L を 田 無 を る。 を 博 1 句 て か ŧ 表 虔 妄 が 沭 い 弁 < あ る。 裏 な が 1 次  $\mathcal{O}$ ベ そ 之 じ <  $\mathcal{O}$ る で 謂 本 18 か 氏 た る れ を ょ لح 聖 と は 来 6 に に で  $\neg$ 篤 学 う 的 あ 聖 人 11 言 ょ し 中 0 は < び な  $\neg$ うこ な る 人 に て 0 る 庸 ま 之 中 内 ょ  $\mathcal{O}$ お た あ り لح 章 を 庸 لح 審 真 ŋ う 義 لح Ł 天 け 句 そ 行 外 カ 実 方 理 な は る で 真  $\mathcal{O}$ れ Š  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 無 に 実」 仁 あ 表 に  $\mathcal{O}$ あ 15 ぞ 之 妄 ŧ は す 本 と ŋ る に n 致 \_ を 誠 方 裏 表 ぎ لح 然 17 は に  $\mathcal{O}$ は 間 者 た て で Ł ŧ な 事 0 ず ŋ  $\mathcal{O}$ 天 る 無 先 あ 4 裏 そ 11 物 て、 之 に 致 ŋ な £ れ が  $\mathcal{O}$ 誠 16 慎 道 義 そ لح は 4 は L

< 所 執 以此 る に n 所 之 L 以 て を に 知 誠 を に 7 為 す る す を  $\mathcal{O}$ 為 学 目 す び な て ŋ 利 知 L 学 る て な問 行 思 n う 弁 な ŋ 篤 は < 行 善 う を は 択 占 3

(『中庸章句』)

子 意 誠 る  $\mathcal{O}$ そ 学 لح n 意  $\mathcal{O}$ 朱 に 意 点 さ ぞ 子 大 お を 正 は れ れ 学 け 誠 心 7 分 0)  $\neg$ る V に • け 0) 兀 る 誠 す 修 5 重 書 格 身 n 要 物 0 な は  $\mathcal{O}$ 致 斉 ま お 概 知 知 ŋ 11 家 格 念 0 7 物 で  $\mathcal{O}$ لح 知 は 治 あ 致  $\neg$ 探 は 玉 る、 大 知 求 以  $\mathcal{O}$ 学 に 下 働  $\mathcal{O}$ 平 が 基  $\mathcal{O}$ き ょ 天 八 0) 前 づ ょ が う 下 条 解 う 提 前 11 に 目 に と 釈 7 提 に 説 さ カコ لح 知 お 明 れ 5 格 さ 行 V さ ŧ て 物 れ لح 7 れ 11 確 7 を ŧ, る る 認 致 な い 行 で 知 る す ŧ) 誠 き

朱 で  $\mathcal{O}$ れ 象 子 き ば لح あ わ 学 る n な す n 的 ょ 方 5 る b な う に な 知 n 修 に 気 W 的 は 養 な 探 づ が る 求 そ き ま 求 を ず れ  $\Diamond$ 行 そ に 自 5 1  $\mathcal{O}$ ょ 分 ۲ れ あ 0 自 る。 Ď て る 身 理 L ベ を 人 た き 間 含 と 考 姿 は  $\otimes$ は え に た 人 何 方 間 適 宇 カコ に 0 と を 宙 Ł た L 体  $\mathcal{O}$ と づ 生 て 得 物 き  $\mathcal{O}$ 事 11 L 方 本 て な を 来 が け 対

(小島毅「格物と親民」(ユ゚)

る 的 探 朱 子 求 学 に で あ お け る る そ 格  $\mathcal{O}$ 物 具 致 体 知 的 実 لح 践 は に 0 自 1 6 て 0 は 内 外 次 に 対 ょ す う る あ

読 検 討 そ で  $\mathcal{O}$ L 具 そ さ 体 5 的  $\mathcal{O}$ 言 に 実 は 行 践 を 古 は 支 え え  $\mathcal{O}$ 近 る 聖 < 賢 理 は を  $\mathcal{O}$ 自 究 言 ら 明 行  $\mathcal{O}$ が 日 把 表 常 握 さ 的 営 れ た 為 そ 経 0 0 書 理 理 を を

をわが身に検証するということになる。

「朱子学」(21)

ح を 明 な る  $\mathcal{O}$ کے 5 が 呑 人 後 設 7 に か 物 者 代 言 持 言 に 挙 W 批 は  $\mathcal{O}$ V あ な む 0 誠 げ 判 で す に L ょ 葉 で 陽 で え す ま る 0  $\mathcal{O}$ す 明 で お ろ う と カゝ て る ŋ 5 入 あ あ 誠 る 愛 学 に け な 5 れ 6 る る る が 偏 行 ŧ と 際 三 誠 朱 て か 指 る 例 朱 0 わ 狭 き は を لح 11 王 子 子 に ま 6 島 摘 た え L か な \_ た 強 中 陽 を 学 朱 ば 密 学 B が る が 内 そ 明 接 論 11 洲あ 内 的 子  $\mathcal{O}$ 22 る  $\neg$ 世 る 面 れ 学 父、 そ 影 ŋ な 語 は で 面 な 慣  $\mathcal{O}$ 23 ``  $\widehat{\Xi}$ カゝ  $\widehat{\Xi}$ だれ 響 あ  $\mathcal{O}$ が 関 誠 代 れ 力 **S** 5 長 を 誠  $\mathcal{O}$ カコ 重 わ 当 助 な  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ う ま 心 井 ŋ لح 5 時 視 に に 1 に 王 لح 得 け た を は  $\mathcal{O}$ 漱 す 若 関 0 お لح 持 陽 本 た 官 は る は 石 わ 11 輩 と け 人 明 文 所 学 漱 لح 結 考 外 読 0 る 7 11  $\widehat{\Xi}$ 物 る だ に 謂 で 陽  $\mathcal{U}$ え 何 t 界 石 書 ŧ ŧ う で 明 が 方 を に  $\mathcal{O}$ £ 折 あ 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ ょ と 衷 0 学 学 け が 必 あ ょ 誠 な  $\neg$ あ لح う 煤 ず 兀 る 代 たん 異 11 派 と て 5 0 ŋ L に だ 烟 ず Ş 助 と 朱 0) 解 な L で 方 て لح 大 王 が 子 関 る b ま L 釈 あ B 捉 陽 学 松 と を 重 代 た 誠 き 父 て わ る 秩 金 L え 明  $\mathcal{O}$ 知 を 学 ŋ た 言 評 視 助 実 序 7 ر 学 舎 に 0 え L を 書 لح 異  $\mathcal{O}$ 延 長 6 L を お る な 名 金 井 れ W  $\mathcal{O}$ 0 は た て 評 物 熱  $\mathcal{O}$ 明 り を 得 だ 創 1 際 癖 る 前 る す ょ 11 心 6

陽 明 れ が で は 兀 陽 書 明 学 を に 重 視 お け す る る  $\mathcal{O}$ は 誠 朱 子 لح 学 は لح ど 同  $\mathcal{O}$ じ ょ う で な あ る ŧ がの カン 万

> 性 対 物 物 語 を 録 L に 前  $\mathcal{O}$  $\neg$ 提 関 伝 心 習 に 係 が 録 が を  $\neg$ 備 間 孟 重 に わ 題 子 W は る に ľ さ と  $\mathcal{O}$ る 先 L n 解 に 7 7 釈 لح 見 心 ٧١ に は た 外 る 0 ょ 朱  $\mathcal{O}$ 11 子 て 中 知 学 理 王 庸 に 5 陽 お れ ŧ) 明 と け 7 重 は る 11 視  $\neg$ 孟 弟 る す 子 子 誠 る に 王 朱 答 لح 陽  $\mathcal{O}$ 子 共 え 明 学 格 通  $\mathcal{O}$

形

で

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

述

べ

る

云 其 す Š 物  $\mathcal{O}$ 中 格 Š 朱 略 心 を n 子 心 中 を 惟 を 以 知 は 略) 存 だ 尽 夫 て 致 し 天 す れ る 心 岦 下 は 心 意 を 専 性  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を と 尽 5 を 体 至 是 誠 為 L 心 養 誠 は に す れ を <u>چ</u> 'د 0 能 性 L 性 尽 4 < な を 心 L を 能 其 ŋ 心 を 知 以  $\mathcal{O}$ を < 存 り て、 性 性 性 其 正 L を 0) を  $\mathcal{O}$ 天 L 行 知 尽 性 原 性 を る、 لح す 身 を は を 知 為 天 を 養 尽 な を る す す ŋ な 修 可 以 S を ŋ け て む を 中 天 為 W 知 以 庸 لح と に す 能 Þ て 為 為 に < 事

『伝習録』中巻「答顧東橋書」(ユ゚))

身 لح  $\mathcal{O}$ に 基 を 働 正 朱 づ لح 間 き 子 心 を 題 کے が て 分 視 L け 格 7 L 修 行 る 物 解 身 考 釈 格 え を L لح 物 な を 致 11 す 批 万 知 う こと 判 \_ 物 す を、 致  $\mathcal{O}$ 行 を る。 知 指 外 理  $\mathcal{O}$ 摘 先 界 と 働 に L 0) を き 朱 た 誠 窮 に 子 が 理 意 8 及 学 た 3 が 陽 を 後 ~ 明 窮 に 正 L 学 知  $\otimes$ 心 لح に る 誠 す  $\mathcal{O}$ お 意 る 探 知 修 求

な な <  $\mathcal{O}$ は 陽 5 其 明 格  $\mathcal{O}$ 学 至 物 心 に 誠 を ŧ  $\mathcal{O}$ お 尽 解 け す 0 釈 る ま 朱 で لح り 0 子 あ ま 学 る 誠 ŋ 行 لح 自  $\mathcal{O}$ は に 5 違 本 カュ  $\mathcal{O}$ VV 来 な が 明 う 心 0  $\mathcal{O}$ 確 0) で さ に ŧ 現 あ え 0 明 れ る で る 25 0 6 あ  $\mathcal{O}$ か 0 が で 7  $\mathcal{O}$ あ 大 ょ 0 学 5 た

た る に だ 1 0 た ま す る n 格 と V 物 う 1 は う 内 外 面 朱 物 主 子 に 体 学 依  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 存 様 言 し う 相 た ょ で 働 う 理 き な 解 で さ は れ な る < 本 注 لح に 物 な を 物

録

不

2

£

小 島 毅 格 物 لح 親 民  $\underbrace{\overset{\widehat{26}}{\overset{}_{\overset{}_{\overset{}}{\overset{}_{\overset{}}{\overset{}}{\overset{}}}}{\overset{}}}}_{26}}$ 

る さ لح 学

る ょ え に で 事 う な る 有 る 面 カコ 以 ŋ 交 次 あ に  $\mathcal{O}$ ょ 第 尋 上 る 処 ŋ る ょ で لح 0) す 此 ね  $\mathcal{O}$ う 弟 分 そ L あ  $\mathcal{O}$ た 信 る 点 な 子 る を れ て 心  $\mathcal{O}$ 上 を 内  $\mathcal{O}$ لح ぞ 添 に 民 に 具 で 面 徐 そ L 私 れ を Š 体  $\mathcal{O}$ 対  $\mathcal{O}$ 愛 て  $\mathcal{O}$ れ 治 る 欲 L 的 心 が を  $\mathcal{O}$ あ ぞ む 心 に な 徐 蔽 ŋ る 須 れ 示 重 父 都 愛 方  $\mathcal{O}$ 無  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 視 L に ずし  $\mathcal{O}$ て を 仁 け 外 あ 7 す 事 只 考 考 的 れ ŋ  $\mathcal{O}$ 11 る Š だ ٤, え ば 察 な 如 方 る 陽 る を 此 す 状 き を  $\mathcal{O}$ 眀 0 が説  $\mathcal{O}$ 退 全 即 る 況 学 孝 、 け 5 心 必 に 其 て 11 に に T は 是 要 お  $\mathcal{O}$ た  $\neg$ 君 お 在 11 自 れ が 間 伝 ŧ 11 に 1 習 る り 己 天 あ て 許 事  $\mathcal{O}$ て 録 0) 意 る 多 で Š に 心  $\mathcal{O}$ 理 あ 心  $\mathcal{O}$ る で 上 誠 は 理 る  $\mathcal{O}$ l  $\mathcal{O}$ 即 あ て は がの 巻 と 忠 5 変 言 は n な 在

会

同

る う 的

友 条 物

理 V わ

0

ょ

う

な

陽

明

学

 $\mathcal{O}$ 

あ

n

方

は

先

に

見

た

ょ

う

な

代

助

0)

父

出が 長 る 井 す 得 t لح が は کے 全 言 7 十 え を 分 る に 誠 理 代 実 由 助  $\mathcal{O}$ が あ 父 る を 熱 批 心 لح 判 な す に  $\mathcal{O}$ る ŧ で 際 0 あ に 7 る 王 陽 明  $\mathcal{O}$ لح に 名 前 0

 $\langle$ に 立  $\mathcal{O}$ 解  $\mathcal{O}$ 言 11 様 な れ ま 正 P L 外 代 場 特 ŋ え る に 代 態 7 す 上 を は カゝ 助 に 助 自 度 に 11 る 徴 あ 巻 去 ŋ L 押 変 誠 が 己 を  $\mathcal{O}$ る کے る 0 相  $\neg$ な + と L そ  $\mathcal{O}$ L 0) わ ベ 違 取  $\neg$ b 7 条 自 り て き が n 点 が 流 心 言 煤 る ば は 社 さ لح 己 は 状 あ 烟 事 え カュ 27 `` と 以 心 会 れ  $\mathcal{O}$ る 態 る。 5 社 な が V 7 即 代  $\mathcal{O}$ T を 会 出 誠 11  $\neg$ と う 其 助 行 秩 0 朱 心 理 結 陽 0) あ 評 来 ょ  $\mathcal{O}$ لح  $\mathcal{O}$ 1) < 序 L 子 び 明 L な う 本 が か 学 と 方  $\mathcal{O}$ は 0 学 誠 た <  $\neg$ に 体 六 挙 Þ <  $\mathcal{O}$ 誠 不 L 際 な 0 げ . こ と 陽 لح 秩 社 理 に 0 0 正 5 に 致 代 明 格 陽 序 会 た 心 を れ 物 と が  $\mathcal{O}$ 助 学 が 明 お 全 秩 る 誠 習 学  $\mathcal{O}$ لح 述 1 لح 前  $\mathcal{O}$ < 序 が + 父、  $\mathcal{O}$ 慣 ŧ لح 致 面 ベ  $\mathcal{O}$ 7 述 す 几 愛 に 重 L に に 5 は ベ 本 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 要 押 対 長 な 誠 7 理」 れ 体 な 八) 合 井 是 な L L 理 て 1 VI ŋ 已 致 要 出 て 得 n を 11  $\mathcal{O}$ る が \_ 素 لح む さ لح は は を が 其 る あ あ で を な لح 前 n 重 秩  $\mathcal{O}$ V) لح 正 < あ て る 徳 £ 視 提 序 陽 伝 心 方 示 は لح 明 社 ょ 義 す カコ  $\mathcal{O}$ 

るの き そ 日 カゝ れ で 筆 は 0 者 ま は ŋ そ 日 れ 本 か に 近 5 世 代 儒 助 学 が  $\mathcal{O}$ 誠 乗 伝 V) 統 越  $\mathcal{O}$ を 源 え 見 た 流 る を と ベ さ تلح き れ ŧ る に 0 ŧ لح 旧 考 時 8 え代

ベ

と て

る

# 三 日本近世儒学思想と「誠

7 と は VI 日 る 誠 本 江 戸 に لح 時 お 代 11 0 関 以 て 降 わ ŋ で 兀 に あ 書 0 る と 1 を 言 中 て わ 心 武 れ لح 内 て 義 た 1 る 儒 雄 氏 学 日 は が 次 本 盛  $\mathcal{O}$ 近 W 世 ょ に う 儒 な 学 に 0 思 述 た べ 想  $\mathcal{O}$ 

れ  $\mathcal{O}$ 自 が 藤 る。 道 本  $\mathcal{O}$ カン 徳 儒 そ 5 注 に 教 0 لح 間 ŧ た 致 成 か 相 支 b 当 す 0 那 る た 忠  $\mathcal{O}$ 近 部  $\mathcal{O}$ 信 ろ 世 は 主 < 分 0 が 義 深 儒 強 恐 P < 教 調 5 日 誠 闡 < 本 主 朱 明 儒 義 に 子 さ 教 が 受 学 0) け 強 n P た 中 調 入 陽 Ł か さ れ 明 5 5  $\mathcal{O}$ れ 学 لح 日 て れ な 本 て 解 日 占 本 せ る 有 独 5 た

(武内義雄「日本の儒教」(ミ゚)

 $\mathcal{O}$ は た 良 日 日 氏 か 本 武 本 独 誠 内 は  $\mathcal{O}$ 特 氏 日 本  $\mathcal{O}$ 近  $\mathcal{O}$ を は 点 世 意 中 0 儒 味 に 心 日 誠 0 学 づ لح 本 11  $\mathcal{O}$ 思 け す  $\mathcal{O}$ 倫 て 想 が る 近 理 は に な 儒 世 さ お 学 儒 に れ 学 相 け が た 思 0 良 る 生 1 亨 ま 想 لح て 氏 誠 れ に 次 を  $\mathcal{O}$ た お  $\mathcal{O}$ لح 詳 指 11 <u>ځ</u> ょ 細 は 摘 て、 う تلح な L に  $\mathcal{O}$ そ 中 研 て 述 玉 究 ょ 11 L ベ が う る て に る。 あ な は そ 誠 る t な れ  $\mathcal{O}$ か な で に 相 0

誠  $\mathcal{O}$ 倫 理 は 以 上 0) ごと < 概 括 的 に 1 え ば 不 得 已

> 的 け な で 8 ŧ あ た に n 0) 実 ば n لح 行 内 な L す ح か 7 5 ること あ  $\mathcal{O}$ 5 め 内 る 心 湧 か を き な b 生 出 は 湧 捉 か لح 他 る き ええら 者 す 心 げ 出 こと は を 5 る れた。 大 れ 切 は な V. 他 け ③ 者 思 れ 養 他 う ば V 者 0 心 な に 合 カコ 5 か 対 5 め す を L 事 7 求 4 لح を 表 8 さ 裏 る を 徹 底 な が 求

(相良亨「徳川時代の誠」 (29))

学 で  $\lambda$ 範 す ベ だ ۲ き ん な と で 誠 影 は  $\mathcal{O}$ 松 1 響 1 相 に 学 力 لح る 良 を 不 舎 11 氏 0 う を ŧ 得 が 1 創 て 0 点 E ま 次 た で ŧ لح 設  $\mathcal{O}$ 儒 L あ  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ る。 た ょ 学 と た 三 う 者 L 島 に 例 て 誠 佐 中 内 述 え  $\mathcal{O}$ 藤 洲 べ ば、 か 倫 て ŧ 5 理 斎 1 江 湧 は 時 る 戸 き に そ 時 出 お  $\mathcal{O}$ ち 佐 代 る 11 主 な 思 藤 後 て、 著 4 期 V 斎 に に を ま 言 0) 漱 養 ず お 志 11 注 Ł 石 11 兀 لح  $\mathcal{O}$ て 生 目 録 で 学 広 か す

用 洩 を 雲 れ 観 烟 る 雷 は ベ 霆 巳 は む 巳 を む 得 を ざ 得 る ざ に 聚 る に り 震 う 風 雨 斯 は 5 已 以 む て を 得 至 ざ 誠 る 0 作 に

(「言志録」百二十四条(30)

る 誠 で を は n  $\mathcal{O}$ は ょ 中 誠 5 玉 な 近 が Ł 世 0) 儒  $\mathbb{E}$ と 学 む L に を て は 得 最 な ざ 初 か る に 0 提 た Ł 示 理  $\mathcal{O}$ L 解 لح た لح L  $\mathcal{O}$ 言 は て え 示 ょ さ 山 う 鹿 れ 素 7

11

言 志 後 録 百 九 + 六 条

か 駁 5 な 誠 ざ 5 は る ず な 已 ŋ 古 む こと 今に 好 色 を 通 を 得 じ 好 ざ 上 み 下 る 悪 に  $\mathcal{O}$ 臭 謂 亙 を ŋ に 悪 L む て 必 が 然 如 純 に L L に て 易 L て ふ べ 雑

 $\widehat{\ }$ Щ 鹿 語 類 巻 第 三 + 七  $\underbrace{\overset{\widehat{31}}{\overset{}{\circ}}}_{}$ 

礎 自 Š ر ح ل ح づ 誠 然 意 け に 味 5 湧 で は で れ き は 0 て 出 人 な VI 間 て < E < る が 32 `` む 持 る ے ŧ 0 لح 抑 を 内  $\mathcal{O}$ えようとし 的  $\mathcal{O}$ 得 ざざ 意 な 味」 欲 る 求 33 と لح て で 1 は う ŧ あ る。 抑 自 然 え 仕 が 方 な 9 感 ま た が り、 情 な V に 内 ょ と カゝ n で 基 5 1

は 5 を 再 そ め び  $\mathcal{O}$ 事 L 佐 ょ て を 4 う 藤 徹 に 底 な 斎 的 に さ 行 に 見 為 な 実 て け 行 لح 4 n す ょ 関 ば ること」 う。 連 な づ 5 け め 5 لح れ な V て う L 理 と 点 解 げ で さ 5 あ れ れ る た。 な が け ے れ 誠 ば 0) 点 な

0 は E 花 ts な を ŋ 得 ざ る 12 薄 ŋ て 而 る 後 に 諸 を 外 に 発 す る ŧ

言 志 録 九 + 条

枉 ぐ  $\mathbb{E}$ ベ ts カゝ ベ 5 か ざ ら る ざ 0) る 途  $\mathcal{O}$ を 勢 履 に 動 8 ば け ば 則 5 則 履 5 動 W で 11 危 T カゝ 括 b 6 ず れ ず

言 志 録 百 + 五. 条

に 動 カゝ ば 動 < لح ŧ 亦 悔 无 カコ 5 ん

事

巳

む

を

得

ざ

る

る 為 動 L  $\mathcal{O}$ 34 0 で す て あ  $\mathcal{O}$ る 為 斎 る。 結 す が لح び べ 強 に き 荻 0 調 生 き 他 す 徂 ŧ な と る ま で 徠 5 0 0 た な あ は る。 弟 1 子 日 行 そ 0) 本 そ 為 儒 太 L れ て、 宰 学 は が 春  $\mathcal{O}$ 0 ک 台 伝 ま 已 ŋ に 統  $\mathcal{O}$ 次 ょ 内 む  $\mathcal{O}$ を 中 う 的  $\mathcal{O}$ 得 ょ で な な ざ Š 欲 形 な 成 誠 求 る 言 さ に لح ょ ŧ 葉 n が n た  $\mathcal{O}$ ŧ 行 行 لح あ

な さ 事 ざ を る な ŧ L 誠 て に 其 非 心 ず な き は 誠 に 非 ず 心 あ ŋ て 其 事 を

聖 学 問 答 巻 之 下

が る 斎 視 部 V 例 陽 う え 行 明 さ 分 は  $\mathcal{O}$ 所 誠 理 と ば 学 謂 れ 心 解 に 7  $\mathcal{O}$ 知 君 きた で う 孝 働 お 知 あ 行 子 さ ŋ あ き ょ 行 V 合 行 0) 37 0 て 0 う を を 7 れ 合 善 た 其 た に 知 分 は に 36 0 لح 0) 自 事 離 る 於 で 5 を 0 す 先 1 と け 知 なさざる あ 0) \_ は る に j L る 方、 る。 心 見 そ 0 言 て P, と れ に た 理 葉 ょ 例 日 が 対 は 解 必 行 を ŧ 本 自 う 陽 さ え L ず ば 誠 に 然 に 明 れ 知 が 時 行 に お に そ 朱 学 る لح 子 離 為 非 11 行 n 0) 文 0 行 て れ 政 ず え は 学 ŧ 章 と は る に て 本 が で 府  $\mathcal{O}$ 合 べ 先 に 結 لح か 来 で あ き る。  $\mathcal{O}$ 5 知 背 び 11 あ す う る。 0 引 で 0) 0 11 た け 考 用 は で 0) そ Ł と 中 え  $\mathcal{O}$ な 大 る あ 働 た きと だ、 塩 後 で り 略 が 1 そ لح 中 重 半 لح あ 4

機 え 而 るこ な て ŋ と 君 を 子 行 洗 動 L 心  $\sim$ 善 移 洞 を 箚 す 知 \_ 記 ŋ لح 7 上  $\mathcal{O}$ 行 重 巻 は 要 百 ず 性 三 W を + ば 説 七 11 38 則 て 5 11 小 る 人 正 に L 変 ず 11 る لح 考  $\mathcal{O}$ 

切 す 討 る に 誠 誠 L ま 姿 た 思 た 勢 際 う 3 と لح に 心 L 見  $\sqsubseteq$ 他 لح 忠 て た に 者 述 信 明 ょ に 0 べ 白 う 11 対 7 は に に L て お 語 内 て で ŋ 意 外 表 0 あ 甚 た 裏  $\mathcal{O}$ る。 だ 忠  $\mathcal{O}$ が 相 信 が 致 な 近 伊 誠 で 11 し を 藤 あ ۲  $\mathcal{O}$ <u>ک</u> 次 仁 つ た。  $\mathcal{O}$ 斎 基 ょ 語 で 本 あ 孟 あ う そ は る に 講 る ħ  $\widehat{40}$ 説 義 を 朱 は 子 明 他 他 仁 巻 学 L 者 者 斎 之 を 7 に を は、 下 対 検 大

る

謀 以 方 れ 之 け に る 人 を 程 是  $\mathcal{O}$ 信 子 れ き 事 لح 0) ば れ  $\Box$ 便 忠 を 謂 己 為 < 5 做 ふ 凡 が 無 す 事 そ لح 己 分 を 人  $\Box$ を Ł 謀 لح ひ、 皆 尽 るが 増 説 己 人 す 減 < に 多 が 之 せ 如 接 事 き < を ず、 は 有 を す 忠 る 以 れ 做 方 لح て ば す 上 に 謂 毫 便 多 が に  $\mathcal{O}$ 是 Š き ち 如 就 尽 れ と 有 さ 11 実 信 ŋ て ざ を لح 言 人 る 以 寡  $\Box$  $\mathcal{O}$ S 無 て 事 す S き き は を 夫 る

(『語孟字義』巻之下「忠信」

す

7 0) 表 7 ょ 裏 を Š 尽 な に 11 他 者 لح て لح に لح 行 は 向 動 さ け す ħ 自 5 る 7 5 れ 11  $\mathcal{O}$ た る ŧ と  $\mathcal{O}$ ま  $\mathcal{O}$ 忠 な た ょ 0) 信 う で 信 に あ 0 他 る ま لح 者 ŋ は  $\mathcal{O}$ 誠 他 لح 者 を لح に 考 は 対 え

> 六  $\mathcal{O}$ کے う 五い لح 忠 章 る 章 は  $\mathcal{O}$ 11 ま 0 信 地 う た、 愛」 ょ と 仁 そ と 為 測 と う 斎 0) で 二仁 に 隠 は あ 実」 で  $\mathcal{O}$ ま 発 ŋ 童子 心 他 た が 動  $\mathcal{O}$  $\widehat{\mathbb{T}}$ 忠 者 近 問 字  $\mathcal{O}$ 忠 と 信 童 に で  $\mathcal{O}$ 源 子 信 0 関 上 語 交 は 泉 問 لح V 係 0 流 で て、 は に 第三十 て  $\mathcal{O}$ 皆 上 あ 実 あ 1 中 人 る 次 心 ることを 第三十 る で に が  $\mathcal{O}$ 現 接 五. よう 章) そ れ す 童 童 九 L る る に 述 子 子 と て 章 上 述 べ 問 問 ŧ に て 語 忠 が 就 る V 上 上 信 強 兀 0 V る。 7 を 調 て 端 第 仁 第 謂 お さ  $\equiv$ 兀 仁 心 ŋ を れ Š + +

B 斯 亦 流 行  $\mathcal{O}$ 其 発 動 猶 玾  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 水 有 所 時 時  $\mathcal{O}$ る 謂 に に 下 を 善 在 に 就 謂 لح 0 1 就 は う て て < に 見 之を言うこと、 が 兀 非 0 ごと ず。 端 べ  $\mathcal{O}$ き L 心 故 と に に き ځ 就 日 は < 11 知 夫 7 則 る れ  $\neg$ 言 5 べ 人 水 う。 人  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 下 性 未 性 に  $\mathcal{O}$ 発  $\mathcal{O}$ 就 善 善 < な る

童

子

問

下

第

章

لح ŧ る あ  $\mathcal{O}$ 0 未 善 意 を  $\mathcal{O}$ 前 味 で 強 を で 調 は は 言 لح あ す な れ 具 う は 体 0 は る < る 代 的 で 已 ے 助 な あ 0 あ 発 が 状 ま れ < る 次 況 ŋ が ま が に 仁 で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 対 中 斎 ょ 先 t 仁 す う で に  $\mathcal{O}$ 斎 る 現 لح 発 に は 朱 忠 動 語 れ 0 子 て  $\mathcal{O}$ る る 信 兀 学 場 t は 時 端  $\mathcal{O}$ に 面  $\mathcal{O}$ を 用  $\mathcal{O}$ で 就 に 心 語 0 あ  $\mathcal{O}$ 実 V で る ょ 心 7 な が لح う 之 が る 11 な لح を 心 未 うこと 言 L が Ł う  $\mathcal{O}$ 人 た 発 発  $\mathcal{O}$ 

ے

 $\mathcal{O}$ 

で性と

作 あ 合 石 自 用 が لح 分 る 代 で う が 鉄 助 あ 出 ま لح 自 0 来 < 考 分 触 合 0 行 れ に  $\mathcal{O}$ け 7 ょ 有 奴 ば 火 す る を る 花 胸 当 性  $\mathcal{O}$ に 蓄 出 誠 質 事 者 る لح 実 は 云 様 だ 人 に 5 Š て Š ょ  $\mathcal{O}$ る ŋ 間 相 が る に は 手  $\lambda$ 寧 起 次 熱 ぢ る ろ 第 B 心 精 べ で だ な 神 き 摩 5 < 現 擦 0 う  $\mathcal{O}$ 象 交  $\mathcal{O}$ て が 換 で 具

『それから』三の四

さ は 達 れ し る L 次 た 幕 7 0) 0) ょ 末 が う 維 に 新 代  $\mathcal{O}$ 述 期 助 ょ ベ う に 0 る お 父 な け 長 日 る 井 志 得  $\mathcal{O}$ 士 が た 誠 5 戦  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 争 間 思 に で 想 出 あ たし が 0 ŧ た 0 لح 0 ŧ 相 絶 良 頂 氏 لح 12

誠 赤 文 幕 的 で を 傾 仁 誠 末 読  $\mathcal{O}$ 向 斎 あ کے る 志 以 誠 む な 後 t 士 意 لح 0 0) た を た。 は 5 を 誠 自 強 0) を 5 そ 調 た 至 重 に L だ L 誠 視 求 て、 5 た  $\mathcal{O}$ す  $\otimes$ カュ に 倫 る ま 理 思 L 0 た 彼 が 想 る 思 人 5 で あ が に 想 あ が 5 次 求 0 ろ 11 わ 第  $\Diamond$ 高 う か れ に た。 ま に た 思 n 誠 彼 想 0) 5 志 界 頂 は 至 士 点  $\mathcal{O}$ 誠 た  $\mathcal{O}$ に 支 だ 遺 配

(相良亨「日本における道徳倫理」(ポ)

まいま

主

のような「誠」を体現した「志士」の代表的事例とし

吉田松陰を参照する。

す لح 何 な 久」 る は に が 松 基 る ま 陰 で で は づ あ 今 لح 行 るこ 将 11 日 て が 11 及 誠 ょ 私 な 強 続 と、 ŋ 言 を さ 調 け 実 重 さ ることで れ <u>4</u>7 久」 に W る れ ľ べ て 行 た (46 (0) と き は Š 7) V とさ こと」、 る あ う る。 久 わ 言 松 L れ け 葉 陰 7 で < 0 に  $\mathcal{O}$ 11 あ ま 行 لح ょ ŋ る る ふ 0 誠 は  $\mathcal{O}$ が 7 か 誠 لح は 語 此 で 5  $\mathcal{O}$ が は 実 れ 事 0 そ 行 る。 ま 0 0 動 ŋ 4 行 と 成 に 動 就 専 0

た え ま 的 眼 < な  $\Diamond$ 確 前 11 状 に 信  $\mathcal{O}$ 言 は 況 は を 主 す ず لح 堅 君 n で  $\mathcal{O}$ な 持  $\mathcal{O}$ ば あ 間 に す 意 る る 思 で が 松 強 道 لح 陰 烈 義 と は に か で で カコ お あ あ 0 カン 11 持 る ŋ て わ 続 か ŋ ŧ そ 的 に な 0 関 < لح な れ を ŧ 緊 L て 自 張 重 お 分  $\mathcal{O}$ 要 を 自 が ŧ れ な た 己 保 自 ざ 持 を 身 لح る と す  $\mathcal{O}$ は を ŋ る 内

本郷隆盛「6章 幕末思想論」(報)

君 う れ  $\mathcal{O}$ れ 松 に め 歌 め 陰 内 B 対 は  $\mathcal{O}$ 思 す 的 有 ま る 確 名 لح カ な だ 信 < 自 誠 ŧ ま す ら は  $\mathcal{O}$ れ L 0) け を で  $\mathcal{O}$ ば 次 0 あ \_ か 内 L 0 る < 的 ょ 7 が な 獄 確 う 自 る 中 信 É 己 松 Ł ょ 説  $\mathcal{O}$ 陰  $\mathcal{O}$ ŋ で 明 た  $\mathcal{O}$ 家 と あ 8) す 行 L 兄 0 る。 では 動 ŋ たと 伯 原 な 教 な 言 理 が に は え 上 6 る る 松 B む 陰 だ ts. は が に B

得 心 皆 致 る は 是 せ 我 な 上 n ば n を  $\mathcal{O}$ 誠 信 上 物 敬 لح ず 其 を な れ  $\mathcal{O}$ 尽 n ば 忠 せ ば 貞 上 吾 を 0) が 信 上 心 心 U 其 皆 は 0 又 上 凡 誠 吾  $\mathcal{O}$ そ 敬 が 心 吾 を لح 物 が 信 لح 流 ľ 心 な を 通 る。 竭 l 我 て す れ 所 忠 上 下 吾 貞 が 相 上 を

 $\widehat{\neg}$ 講 孟 余 話 離 婁 上 第 十 章

と、 自 ŋ づ  $\mathcal{O}$ が る 話 で る で 話  $\mathcal{O}$ 0 致 松 る あ あ 11 心 心 相 L 自 あ 己 陰 初 ベ て 5 た 離 る ŋ 手  $\mathcal{O}$ て あ る 0 上  $\mathcal{O}$ き に 0) だ 婁 ま 11 真 0) 婁  $\otimes$ 1  $\mathcal{O}$ る 上 ŋ は 実 上 t 通 L 4 ょ る 心 に 松 誠 第  $\mathcal{O}$ ľ لح 内 注 第 2 他 を ŋ は n 行 非 陰 者 伯 کے る 考 的 意 + 伝 動 十 又 が ず は は を す لح え 他 =夷 し 確 す 六 え 相 吾 大 て る 信 ベ 章 者 る る 章 11 が 手 至 若 切 捉 5 か き لح 0) 上 太 物 誠 L لح え に と لح 意 لح 5 は  $\mathcal{O}$ 心 公 が لح 此 0 思 5 に を 述 を 味 で 朱 合 に な  $\mathcal{O}$ 人 う べ 3 強 れ で 子 松 動 は 誠 対 る 心 を て を 調 た あ な 学 陰 流 か L 動 あ す さ い ŋ B が 求 他 言 11  $\mathcal{O}$ 通 6 か ۲ た 葉 陽 者 る 人  $\Diamond$ L  $\lambda$ に 誠 ば す れ لح そ を は そ 明 誠 る に て 敬 ょ 周 至 に 共 天 れ 学 動 は  $\mathcal{O}$ 心 対 ŋ 誠  $\mathcal{O}$ 如 自 結 が か に 下 は  $\mathcal{O}$ L 吾 文 に カコ 忠 لح 相 5  $\mathcal{O}$ 果 ょ 伝 す て が あ そ 王 非 W う 貞 そ な 手  $\mathcal{O}$ لح < わ 表 心 れ に ず Þ 内 を ま に る と る 裏 を は れ L が 0 思 が 的 動 7 で と を لح が 上 を V 全 理 述 う 必 確 か Ł な 0 0 11 11 流 て う 講 う < ず 信 講 さ 体 目 ベ 通 11 心 物 孟 文 孟 لح す に  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ 7 か に

لح

す

な

心

6

広

前 合 は V 余

基

余

لح 王

> は 陰 送 左 反 誠 し に が 別 7 L  $\mathcal{O}$ に 受 行 た 罪 け 自 詩 行 L Ł 動 己 を 歌 然 て 入 す  $\mathcal{O}$ 問  $\mathcal{O}$ 集 れ 動 n 願 る 内 で تلح カン 6 わ は 際 あ 的 ざ ŧ れ n < لح 0 0 な 未 る な て は 語 原 思 だ 者 た 11 死 身 る 理 と V を 能 未 可 を 言 で L に だ 能 覚 < 以 葉 て 基 あ 斯 之 性 悟 7 に 0 づ t れ を  $\mathcal{O}$ L 之 ŧ た V 示 有 た れ 表 と 唆 相 て 時 語 5 を れ 言 ざ L 手 を 0) 験 て え に 解 7 例 る 言 せ る 1 え す な 11 通 葉 ん る ľ そ る ŋ る で 能 る れ あ そ が は لح つ れ と 松 既  $\mathcal{O}$ ず た は 陰 言 う を 存 ま 信  $\mathcal{O}$ 葉 先 今 言 た 生 葉 秩 誠 は 茲 U 東 序 に に لح 関 専 に 行 対 至 松

で لح た あ ょ 11 大 う う 切 る 点 に な ح 日 لح そ 本 は L 近 て 世 儒 松 陰 学  $\mathcal{O}$ 思 ょ  $\mathcal{O}$ う 4 想 な に  $\mathcal{O}$ 見 伝 松 陰 統 5  $\mathcal{O}$ ħ  $\mathcal{O}$ る 上 に 誠 لح 成  $\mathcal{O}$ で <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 倫 は L 理 た な t 11 は لح  $\mathcal{O}$ 先 で う あ に 点 見 る

にを L す  $\mathcal{O}$ な 現 おは 内 11 U 実 的 い  $\mathcal{O}$ て、 考 8 的 真 ょ لح え 効 実 Š ず す 方 果 に に れ る を B 0 自 Ł 幕 内 影 4 己 そ 末 響 求 面  $\mathcal{O}$ う 的 思 0 8 で 志 動 想 人 あ 士 機 Þ そ لح 0 た 主  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 行 た 5 毀 義 ょ 動 لح لح 誉 は う  $\mathcal{O}$ V そい呼 褒 な 究 え 思 か Š 貶 極 る ぞ لح を 想 的 す P か V 拠 のれ 0 行 ŋ 意ば さ 動 所 味  $\mathcal{O}$ を 合 松 考 及 自 慮 い陰 ぼ

本 郷 隆 盛  $\neg$ 近 世 思 想 論 幕 末 思 傍 想 点 論 原 文

6

斊

 $\mathcal{O}$ ょ う な 誠 0 倫 理 そ が 代 助 を 動 カュ L た 力 で あ

る

と考える。

奨 棄 か示  $\mathcal{O}$ 兀  $\otimes$ を 5 L 章 代 明 断 て 助 ら に ろ 確 れ لح が う 今 る に て 1 す لح が う 千  $\exists$ る た 代 L 言 カコ 代 佐 葉 T b と 助 Ш で  $\mathcal{O}$ 11 愈 を た  $\mathcal{O}$ 0) 表 積 告 た 内 娘 さ 白 極 8 لح لح 心 n に 的 6 が で  $\mathcal{O}$ て 向 生 11 わ は 縁 11 け 活 続 か 談 る 行 に ک け る。 を 動 入 る ۲  $\mathcal{O}$ を 断 る  $\mathcal{O}$ で る 開 縁 れ  $\mathcal{O}$ カ は 談 は 始 だ لح は 具 L لح たこ 何 第 を 体 思 的 故 +決 √ 兀 لح に  $\otimes$ に た 縁 章 た は は 談  $\mathcal{O}$ 父 と + 第  $\mathcal{O}$ 初 カュ を 兀 破 8 5 +

 $\mathcal{O}$ た 11 لح ヹ 上 縁 考 に 断 談 浴 を 0 る び た 断 と せ 後 る 方 か 其 け 其 は 所 ね 反 単 に ば 動 独 至 巳 と に 0 ま L t て、 め て 何 必 遍 又 然 لح 恐 自  $\mathcal{O}$ 分 な ろ 勢 を < L 力 ま 決 くな が と 定 0 来 £ が た る に 出 に 来 千 違 た な 代

(『それから』十四の二

な かぬ L 代 て 5 代 5 必 自 向 助 な 11 然 カ が る に 勢 た 0 縁 湧 力 7 談  $\otimes$ を き で 11 出 < 断 あ 0 て 自 る る ま < 5 ŋ る 0 لح 積 を 心 抑 極 が 感 躊 え 的 情 お 躇 ょ 生 さ す に う 活 え 身 る کے に を 5  $\mathcal{O}$ L 入 委 れ は る 7 ね な t る < 縁 抑 لح لح な 談 え は 11 る を う が 断 た  $\mathcal{O}$ لح n と を ば に 巳 意 内 ま 識 千 他

ま 辱 そ n を 与 相 手 を め 思  $\mathcal{O}$ ょ ょ 0 う、 て う 自 な 己 自 を 6 点 偽  $\mathcal{O}$ t 5 内 不 的 な 徳 11 な 義 思 ょ な Š VI 動 に に 機 行 基 を 動 づ 蓄 す 1 る め て 積 先 相 に で 手 に 見

> L 現  $\mathcal{O}$ た 実 ょ ま 行 内 為 لح 的 う う  $\mathcal{O}$ な に 思 は 齟  $\mathcal{O}$ 11 誠 齬 端 を 自 が 的 己 貫 لح 生 き な  $\mathcal{O}$ は じ 表 倫 る 通 れ 理 す 旧 可 が 観 行 来 能 次 動  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 性  $\mathcal{O}$ 中 を あ が 場 支 り で あ え 面 ۲ 方 る で 0 る 思 あ ょ 漝 1 想 る う 慣 か で な に L あ 齟 反 る。 齬 L 誠 て を 解 に 消 ょ 自 l て る 己

極 迄 端 平 発 押 展 出 L さ て L 行 T 藤 か 置 本 う 注 11 て、 す す る 猶 る 0) 其 لح ぢ 悪 君 Þ 1 は な لح 悪 思 カュ V Š لح 方 思 針 0 に た ょ 事 を 0 て 日

のだ 盾 上の 夫 カコ が 掟 代 ŧ 助 何 た 6 لح 0 t る 仕 た 定 犯 君 方 夫  $\emptyset$ し に が 婦 て 藤 て 本 詫 な 関 あ る 注 ま VI 係 る な 0 る。 لح 夫 11 僕 が 婦 矛 積 然 は 関 盾 だ 世 致 係 L か 僕 間 L と t  $\mathcal{O}$ な  $\mathcal{O}$ 知 掟 か 行 自 れ 為 と 0 然 な 其 L た  $\mathcal{O}$ 11 て 事 物 لح に 云 実 然 Ξ と 対 Š L 千 矛 L 夫 代 て 盾 7 は さ な は 成 世 矛 W  $\mathcal{O}$ ŋ 間

『それから』十六の八)

思 兀 続 を L 5 な け ŧ 優 代 先 が た 助 従 で 自 す ら は あ と 5 る 自 11 0  $\mathcal{O}$ 自 己 لح 己 た 行  $\mathcal{O}$ 重 為 代 内  $\mathcal{O}$ れ な は 内 助 的 る。 行 を が 真 松 的 為 実 陰 な な \_ 既 論 が 欲 が す 存 理 を 求 لح 貫 従 を  $\mathcal{O}$ を 世 き 秩 離 < 来 間 矛 序  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ れ 自 لح 規 に 盾 る 掟 己 則 向 事 を 0 に か な  $\mathcal{O}$ 0 誠 規 反 11 出 て 範 Ł す 来 を 自 لح を  $\mathcal{O}$ る な لح 意 己 お L VI 識  $\mathcal{O}$ て か す لح す 内 る 行 L を 九 る 的 動 な 理 لح  $\mathcal{O}$ な が

だ は さ n ょ た る た べ 8 き で 倫 あ 玾 る 規 範 لح 7 0 ょ う な 誠  $\mathcal{O}$ 倫 理 \_ が 見

11

 $\mathcal{O}$ で 0 あ が 端 価 あ 確 的  $\mathcal{O}$ 値 ろ 立 観 う ょ に 表 لح う を 12 た n 11 行 る う 代 ょ 為 ŋ  $\mathcal{O}$ 観 助 で に 点  $\mathcal{O}$ に 三 あ か お 自 n 5 千 け ば  $\mathcal{O}$ 代 6 る  $\mathcal{O}$ 4  $\sim$ 動 代 間  $\mathcal{O}$ 最 機 助 題 告 ŧ 付 は 重 に 白 け 要 ま す を に さ る な そ に 行 従 لح  $\mathcal{O}$ 動 来  $\neg$ 旧 を 人 は  $\mathcal{O}$ 時  $\mathcal{O}$ 起 不 ょ ŧ + 代 う  $\mathcal{O}$ 0 に 1 分 た 価 な 日  $\mathcal{O}$ 本 値 ŧ 自 で 観  $\mathcal{O}$ 己

# 四 誠 自 然 天

想 中 لح لح を 核 丸 批 思 あ 山 判 想 る 眞 لح 男 L 11  $\mathcal{O}$ 氏 た は 間 座 は 日 に 標 本 本 日 軸 当  $\mathcal{O}$ に 本 思  $\mathcal{O}$ に 当 想 対 る 話 自 思  $\mathcal{O}$ な 己 想 中 ŋ を 的 で 対 歴 伝 次 決 史 統 が  $\mathcal{O}$ 的 ょ 行 に が う わ 位 形 に れ 置 成  $\sqsubseteq$ 述 づ さ べ な け n て る カュ ず 0 ょ 11 たこ る う 思 な

す 葉 な た る لح 形 時  $\mathcal{O}$ 日 0 は で に 思 本 で ま 行 長 想 社 0 < わ 的 会 る た れ 使 復 あ 用 帰 < る る 内 L は V 的 そ な は 関  $\mathcal{O}$ 11 11 個 連 訛 0 人 な 秒 ŋ て  $\mathcal{O}$ 前 L が 4 内 に ま 急 れ 面 で に ば 生 穾 普 П 活 如 通 か 人 に لح に 5 間 お 使 飛 が L け U び て 0 る て 出 0 噴 < V 伝 出 た ょ ŋ 統 5 言 L

丸 Ш 眞 男 日 本 0 思 想 50 傍 点 原 文

> 決 いそ  $\mathcal{O}$ ま 2 如 ħ ま で 内 لح で 誠  $\mathcal{O}$ を ŋ あ L 普 そ 面 そ 問 代  $\mathcal{O}$ れ 生 7 通 題 助  $\mathcal{O}$ ば 活 に 上 否 に が で に 喑 使 定 答 تلح そ 誠 お 0 出 L え n れ け て 思 た る ほ を が る 11 想 代 تلح لخ 正 た と 助 た と 内 当 れ 伝 言 思 と が に 面 化 ほ 統 葉 想 11 ょ 可 لح す تلح 化 う と る 能 る  $\mathcal{O}$  $\sim$ は L 印 لح  $\mathcal{O}$ 深 て 根  $\mathcal{O}$ ま 間 象 自 な 拁 4 思 い 0 を 己 る る が 想 た を で 受 0)  $\mathcal{O}$ 0) 如 ŧ 的 < け あ か 何 復 内 誠 0 ろ 本 る て を な 帰 的 う 当 間 る 関 は 行  $\mathcal{O}$ わ ŧ わ کے 連 対 ね れ な そ  $\mathcal{O}$ n 話 ば で た て を 0 な な あ  $\mathcal{O}$ 捉 ŋ 5 り カゝ え 個 秒 な る 対 人 突

 $\mathcal{O}$ 

然 い法 V 点  $\neg$ に 則 そ る と  $\mathcal{O}$ 0 れ  $\mathcal{O}$ 点 1 11 注 か + て、 言 に う 5 目 兀 葉 0 言 す  $\mathcal{O}$ で 酒 葉 で 1 ベ て、 は 井 لح は き 英 密 は 誠 行 再 接 L な 氏 な び  $\neg$ ば が تلح そ 関 が L لح 次 係れ 誠 ば 天」 L  $\mathcal{O}$ を カュ 者 て ょ ŧ 5 天 天 に う  $\neg$ 之 0 意 通 天」 に て 道  $\mathcal{O}$ ľ 述 也 1 る に +ベ る 天 ŧ て 三 0 に  $\mathcal{O}$ لح 1 11  $\mathcal{O}$ لح 戻  $\mathcal{O}$ る。  $\mathcal{T}$ 九 で 0 さ 思 触 あ て n 想 考 Þ れ る て が 5 察 11 天 れ る し 自 た 7  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

るに で カコ に 自 合 自 き 5 自 割 致 己 な 己 す を V) に る で 代 委 出 権 لح あ 助 ね L 威 考 る はた る を え لح 認 す 5 لح ナ  $\otimes$ n れ に 度 チ る ば ょ 否 ユ 自  $\mathcal{O}$ 0 定 ラ 己 للح で て IJ L う あ た ス 誠 ろ L チ 客 自 実 Š て ツ 己 観 で か 口 的 ク あ 自 復 規  $\mathcal{O}$ 中 る 然 道 範 を と 义 徳 が る が 天 に 代 0 自 天 で 意 安 我 意 助 住

## 自 然 0 昔 $\overline{\phantom{a}}$ そ n カン 5 論 \_ 51

な で 委 لح 氏 に 自 75 け 合 れ る لح ね て 信  $\mathcal{O}$ 1 あ 身 我 0 酒 代 る 頼 論 を か 信 る 11 き 井 助 لح 委 頼 る  $\mathcal{O}$ に に 氏 لح さ  $\mathcal{O}$ む  $\mathcal{O}$ 0) あ お ね 目 疑 は 思 を るこ あ で 間 L れ 0 VI 覚  $\neg$ 想 考 ろ 0 る た 7 あ  $\Diamond$ を そ لح 的 考 た え 代 安 る は る 示 れ 背 助 5 で 安 る え 以 L か 景 لح  $\neg$ 5  $\mathcal{O}$ ぎ る L 前 何 5 で ぎ き 行  $\mathcal{O}$ 自 ~ べ カュ  $\mathcal{O}$ ŧ あ 世 動 己 き  $\mathcal{O}$ L れ 知 に る。 そこ 界」 世 が 口 何 は に 5 お 界」 復 客 Ł 対 め け に と 従 を 観 知 L 自 昔 る を 酒 义 来 L 的 b 然」 見 井  $\mathcal{O}$ て る 規 め 自 は 自 る 氏 秩 範 昔 と 然 序 天 لح 然  $\mathcal{O}$ 自 لح 0 述 P 意 捉 上 天 لح は 習 他 え 昔 ベ 天 考 意」 て る لح  $\mathcal{O}$ 難 慣 意 え、 ょ を 間 V を 天 結 を 11 う 破 び る 意 に 天  $\mathcal{O}$ 0 沂 結 な る で 身 意 代 び ŧ け 和 酒  $\mathcal{O}$ を 6 合 井 的 0 は 和  $\mathcal{O}$ 結

 $\mathcal{O}$ を Ł で 樋 自 存 超  $\mathcal{O}$ あ 野 て え る 在 分 憲  $\mathcal{O}$ た 点 子 0 樋 を 指 ŧ て 自 野 考 摘  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 然 そ 氏 لح え れ は、 る 上 + L 自 か そ て 己 ら 」  $\neg$ 三 で、  $\mathcal{O}$ れ 0 そ 0 5 自 れ 論 超 然〉 が か 0 密 越 な ら  $\mathcal{O}$ 的 と、 接 先 ど 不 自 に 行 自  $\mathcal{O}$ 然  $\neg$ 可 お 然」 論 天 言 分 け を 意」 葉 と な る لح 参 で 関 11 自 照  $\mathcal{O}$ う 二 لح 表 係 出 L 結 現 に 然 た 会 び さ 0 あ 1 11  $\mathcal{O}$ 0 れ に る き る 0 لح 内 自 V 0 的 を 然 自 て は 52 指 己 な

は 柳 父 Š 氏 2 は 日 今 本 西 伝 順 来 吉  $\mathcal{O}$ 漱 お 石  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ず か 自 5 然 そう 53 な で つ あ て る 11 る さ 今 ま 西 氏

> で 対 لح  $\mathcal{O}$ あ 11  $\mathcal{O}$ L 自 ŋ 意 て 然 味 0) 中 を 玉 L 自 日 思 て 然 本 想  $\mathcal{O}$ 伝  $\mathcal{O}$ と 来 自 西  $\mathcal{O}$ 性 洋 然 ŧ 語  $\mathcal{O}$ لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ と 密 分 L 接 類 nature 0 な 54 つ、 関 に 係 そ 注 0 に 目 れ ま あ が し n る 人 لح そ 精 間 を れ 神  $\mathcal{O}$ か 指 自 摘 5 と 反

て

る

意」 と 匠 す る と  $\mathcal{O}$ 識 に る る に 九 言 ベ お  $\mathcal{O}$ 11 今 لح 許 観 き う え け は  $\mathcal{O}$ 西 と 結 る な さ 念 ŧ ょ る 氏 1 び ゞ 0) ŋ 1 相 \$ う 付 る  $\mathcal{O}$ で ŧ 自 当 断 ょ け 天」 処 論 あ 方 然  $\mathcal{O}$ 0 5 5 文 日 る 留 7  $\neg$ に れ と で 本 Þ そ Þ 保 11 7 述 例 伝 が る れ \_ 意 1 天 え 天」 自 ベ 来 必 が カュ 識 る て ば に  $\mathcal{O}$ 要 然 5 意 お 漱 思 で は あ 自 り、 識 石 想 は あ る で 然」 あ は 西 西 ろ Ł は ŋ 東 洋 う 洋  $\mathcal{O}$ を 自 英  $\mathcal{O}$ 洋  $\mathcal{O}$ 0 لح そ ょ 然 玉 思 自 た 表 0 5 詩 想 に nature だ 然 現 ま 意 由 な 人  $\mathcal{O}$ さ ま 匠  $\mathcal{O}$ 来 命 れ 意 あ 天  $\mathcal{O}$ ず  $\neg$ そ 由 ŋ 地 t 由 性 そ 識 る 来 لح 山 来 れ  $\mathcal{O}$ n لح  $\mathcal{O}$ B  $\mathcal{O}$ Ш لح カン は が  $\overline{\phantom{a}}$ + 言 5 に 捉 Ł 考 天 三 葉 意 え 対 え 常 0

己 強 き をい  $\lambda$ だ う 沂 ま 私 0 た、 確 代 言 は な 帰 立 西 葉 る + し  $\mathcal{O}$ を 洋 が ま 兀 沭 ば 自 由 使 L と  $\mathcal{O}$ 己 べ 来 L た 用 七 た 本  $\mathcal{O}$ ば さ う と 問 位 と れ と 言 さ 題 لح 自 て 1 葉 1 1 れ 己 لح う い は う さ う る るこ ょ 言 適 講 言 P n う 葉で 切 لح 葉 演 る に で を 自 に 私 あ あ 自 今 我 注  $\mathcal{O}$ 握 ろ る 分 日 目 個 0 う が 0  $\mathcal{O}$ 始 L て 人 カュ 手 問 8 た 主 に 題 て 1 義 例 0 握 لح 自 で ま え 0 L 然 に ŋ 7 ば て 自 0 お 獲 か 漱 捉 然 帰 昔 V 得 え 0 る b 石 に 7 ŧ, 昔 す 大 が た 帰 変 ىل 自 لح る

れ 5 ŧ て ŧ 帰 0 1 る と る L 自 t 7 0 き で え ŧ を は  $\mathcal{O}$ 東 な لح れ 洋 V 7 思 لح て 11 思 想 る。 捉  $\mathcal{O}$ わ え 文 れ 6 る。 脈 れ 方 で て 捉 中 き え た 玉 る 55 0  $\mathcal{O}$ لح は  $\mathcal{O}$ ょ は 大 う きく な ま さ 点 外 か に

そ た 然 L ŧ 0 自 両 告 て  $\mathcal{O}$ 己 と 論 白 لح 0) は を な 0 自 あ 然〉  $\mathcal{O}$ 0) な 自 わ だ。 ょ が 5 せ う て る で  $\mathcal{O}$ 考 あ な 察 超 ŋ 本 す 自 越 0 来 つ、 る 的 然 的 な 自 な 然〉 そ あ 5 に れ ŋ ば か は 方 な で  $\neg$ つ あ そ 天」 る で た れ 行 لح あ か と 動 11 る 5 うこと 11 そ う 性 に 自 が お で 己 と け 三千 あ を L る る。 て 超 代 え  $\mathcal{O}$ 自

天 構 11 之 义 た 超  $\mathcal{O}$ 道 は ŧ 越 三 也 ま 0) 千 的 さ لح 0 自 代 に L 後 然 て 0) 捉  $\mathcal{O}$ 中 文 庸 が 告 え 章 結 た 白 は び を  $\mathcal{O}$ لح き、 以 0 先 核 下 け に 心  $\mathcal{O}$ 考 6 的 誠 通 れ 察 な ŋ ることとな 思 L に で た 想 よっ あ ょ に る う 他 て に な る 自 5 誠 な ے 己 V  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に ょ 自 ŧ う 誠 然 と 者 な づ

性 誠 L 誠 لح て な な 誠 道 謂 る は ħ 誠 に ば Š 者 0 中 則 は 天 4 5 明 る 0 明 カコ 勉 道 か な 8 な 中 る ず ŋ な 略 其 に ŋ 0 ょ て 之 誠 性 眀 ŋ 中 を な を て カ ŋ 誠 る 誠 に な に な 思 す れ す ょ ば る は る n ず 則 は て ち 之 L 明 て 誠 を カン 人 教 な な 得  $\mathcal{O}$ لح ŋ 道 る 謂 從 な 之 容 ŋ 唯 Š 天 を لح

(『中庸』第四段(5))

る。 て  $\mathcal{O}$ 助  $\mathcal{O}$ 自 宇 う 庸 と 人 肯 然 宙 行  $\mathcal{O}$ 誠 定 動 心 自 論 間 で が 理 が 然 さ を 道 あ り、 内 徳 兀 れ 結 天」 従 誠 لح に は び 書 る 0 お そ 0 لح を 7 で 11 誠 け 性 れ  $\mathcal{O}$ 11 行 て三千 ある ゆ う 、 る 超 に と 目 2 え 越 す こと  $\neg$ ょ 的 V) لح に 的 中 る 代 0 う が 万天 L 自 庸 人間 に て  $\sim$ あ て 然〉 \_ لح  $\mathcal{O}$ 結 ょ 0 選 لح は た 告 に び 0  $\mathcal{O}$ ば と 相 て 白 0 本 通 れ 解 似 自 が け 質 じ た す  $\mathcal{O}$ 己 5 自 正 て 背 る 構 然 0) そ  $\mathcal{O}$ 当 れ 11 景 な 造 る。 化 る L に 性 5 性 に B て さ は ば ょ そ れ لح 天」 る に 天 る を Ł を \_ ŧ 意  $\mathcal{O}$ な 誠 そ 発 と 0) 自 る 揮  $\mathcal{O}$ は で لح 己 と V す そ 代 0 う あ L  $\mathcal{O}$ る

58 0 ろ と を れ ځ を そ 結 る L 述 そ ŧ L U た て、 ベ L 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ た て で け で 先 が は る に な あ  $\mathcal{O}$ 思 る。 ょ 彼 11 想 5 幕 5 は そ は 末 な 儒 維 ŧ 行 ま 学 そ 新 動 た に  $\mathcal{O}$ b  $\mathcal{O}$ お 志 あ V 天 士 天」 り て た 方 広 ŧ 5 لح は < 自 が 自 決 見 6 己 L 5  $\mathcal{O}$ 誠  $\mathcal{O}$ て れ 行 本 代 る 動 を 来 助 Ł  $\mathcal{O}$ 重 的 だ ょ 視  $\mathcal{O}$ な け ŋ で あ に た あ n 見 る 方 5

る。 ŋ た  $\mathcal{O}$ 0) 時 所 そ は 代 لح 維  $\mathcal{O}$ 0 L 新 天 な て  $\mathcal{O}$ 天 カコ 志 で 天 士 で が あ た る。 を 終 5 幕 求 始 は 末  $\Diamond$ た 貫 自 明 L 5 治 て  $\mathcal{O}$ 初 中 激 期 人 略 Þ L 0 V 頃  $\mathcal{O}$ 激 決 に 精 動 意 甦 神 す P を る 0 支 た 価 行 え 動  $\mathcal{O}$ 値 て  $\mathcal{O}$ 転 で 換 拠

(柳父章「「天」と「nature」」(写)

た لح な 0 表 き を さ L 支 倫 兀  $\mathcal{O}$ 11 理 た う え れ 維 は 末 構 る た な 新 造 تلح ょ 旧 前 従  $\mathcal{O}$ 明 中 が لح う 時 来 は 治  $\mathcal{O}$ 庸 存 批 な 代 武  $\mathcal{O}$ 初 在 判 価 期 士 0 誠 旧 に L L に 日 値 に 時 て 代 7 本 観 古 で お 代 11 は 表 B あ け 有  $\mathcal{O}$ 的 る ٧١ 漝 ŋ  $\mathcal{O}$ る な 日  $\mathcal{O}$ る 倫 に 慣 価 道 本 で が 理 示 に 天 値 義 あ 構 さ <u>\\\</u> 観 本  $\mathcal{O}$ そ る 5 で 造 れ  $\mathcal{O}$ 意 道  $\mathcal{O}$ で 向 転 る あ  $\mathcal{O}$ 徳 実 あ ょ カン 0 換 教 観 う 0 た 0 う 育 を た。 代 中 根 な  $\equiv$ 底 助 で 金 九 代 千 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 助 誠 は 行 代 自 延 は 動 5 金 を 0)  $\mathcal{O}$ を  $\mathcal{O}$ \_ に ょ 表 中 支 告 行 う 代 心 え 白 向 動

そ لح る L 洋 7 自 記  $\mathcal{O}$ L そ Ł て  $\mathcal{O}$ L 由 然 述 て 倫 V 問 自 L 理  $\mathcal{O}$ 7 来 る が さ V L で ま 自 提 然 て に 0 る Ć に  $\mathcal{O}$ n て 5 <u>\f</u> 0 は 0 あ 他 出 て 従 natur る 方 場 に で 来 さ 11 n VI を が 指 真 向 0 は る は れ る そ 見  $\mathcal{O}$ 性 て な 摘 11 L لح 0 1 て 11 他 が と さ 1 伝 に て 自 لح だ 者 に る か あ カュ れ 統 は 然 さ 軌 性 る 帰 لح そ 7 5 的  $\mathcal{O}$ が れ き を す ŧ n 例 な 客 と 自 لح る る た 言 が え لح 体 1 代 に を 運 が え 代 ば 代 覚 は 誠 لح う 助 す さ 助 指 動 る 助 相 伝 言 L  $\mathcal{O}$ る 0)  $\mathcal{O}$ 越 れ 摘  $\mathcal{O}$ 良 来 葉 7 自 0 で 心 智 抱 ŧ て 誠 氏  $\mathcal{O}$ 0) に 己 7 ま あ 0 V 玾 治 え 実 が 日 世 で な 1) お る 正 内 雄 た VI 日 本 界 VI 当 主  $\mathcal{O}$ あ V る 氏 問 本 語 て あ に 化 る  $\mathcal{O}$ 客 60 ŧ は 題  $\mathcal{O}$ と る تح 対  $\mathcal{O}$ で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は  $\neg$ 自 独 代 V 61 対 <u>\</u> 柳 鋭 論 と そ は ۲ 然」 自 に す 助 な は 1 父 < 理 L n  $\mathcal{O}$ る 氏 指 لح て に 0 を カコ は 11 に 6 西 カ 誠 な 解 主 が 摘 L  $\mathcal{O}$ 根 は 誠 西 4 ざ 心 が 消 体 L 7

> $\mathcal{O}$ 想 を 心 理 受 内 容 に L お 0 V 0 て 伝 西 統 洋 思 思 想 想 に に 口 お け 帰 す る る 他 者 で 性 口 避  $\mathcal{O}$ 問 L 題 7 を L ま 自

己

思

う

そ た 儒 受 £ 奥 た 渡 活 れ は 学 け に 躍 L ŧ そ る t 思 辺  $\mathcal{O}$ を た ŧ 近 想 和 す て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ と で 中 靖 る 海 漱 な 代 と لح ょ 的 L 思 う 氏 知  $\mathcal{O}$ あ 心 陸 石 0) お て は 識 ょ る لح は 意 知 想 な 両 Ł う 自 味 捉 لح 次 人 L 棲 ح 識 代 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ な た で え 動 ら 0 人  $\mathcal{O}$ 助 ょ は 漢 多 有 ょ る 間 物  $\mathcal{O}$ あ  $\mathcal{O}$ う 学 う < n  $\neg$ 漢 る  $\mathcal{O}$ に あ 文 に が様 学 な لح 本 ŋ が 学 沭 典 は 漱 と 本 は 当 方 文 論 ベ 洋 を、 漢 漱 石 論 旧 型 可  $\mathcal{O}$ 芸 て 学 0 学 時 能 石  $\mathcal{O}$ 対 لح  $\mathcal{O}$ V 思  $\mathcal{O}$ と  $\mathcal{O}$ に 代 で 話 先 道 る 想 さ 伝 4 つ序  $\mathcal{O}$ あ な 0 序 徳 統 に に ろ 11 日 れ ŋ 丸 う。 لح て で 本 て لح お 対 Ш カュ تلح 無 لح き 決 \$ 氏 11 5 中 て 語 た 縁 ま 述 0 L  $\mathcal{O}$ t 5 0 途 ベ 63 か が 指 で 重 倫 確 半 代 は ず 11 て た 理 L 行 摘 認 意 お 端 構 助 考 す な ょ わ で 明 味 り  $\mathcal{O}$ う 造  $\mathcal{O}$ え か n る き を 教 に が 精 る 0 治 な ょ る た 期 持 ま 育 見 神 ベ カコ う  $\widehat{64}$ そ 6 に 0 た を  $\mathcal{O}$ き

神 確 生 世 ま 実 的 神 明 根 史 性 れ 伝  $\mathcal{O}$ 治 底 学 た 統 内 初 明 t が 奥 年  $\mathcal{O}$ 治 獲 存 対 0 に に 得 す 象 7  $\mathcal{O}$ 生 る لح 言 思 さ 直 ま 共 想 接 L え n n 7 家 通 る 7 体 明  $\mathcal{O}$ 成 た 11 験 治 体 立 5 た 後 11 す 験 わ に L 期 る 7 ば 0 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 11 活 儒 は 明 7 儒 躍 لح 教 治 は 教 す は 体 明 を لح る さ 中 思 験 治 11 う 彼 核 想 を 人 5 た 時 5 لح 根 に 家 5 す 拠 代 大 以 た لح  $\mathcal{O}$ が き 前 る 5 精 な に 近

て 11

教 明 た 治 V ち う + に لح 年 代 0 は て 前 無 後 縁 Ł に は 生 B ま そ n う 大 L 正 た 期 に 直 接 活 体 躍 す 験 る لح L て 大 正  $\mathcal{O}$ 

儒

لح

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

で

あ

0

た。

渡 辺 和 靖 Ι 方 法 論 的 考 察  $\widehat{65}$ 

化れ 7  $\mathcal{O}$ れ あ に 伝 尽 0) ば 持 ろ か お 例 ょ き な 5 う に 統 5 に 11 え う る لح 身 5 て ば な は な 迄 な が そ 儒 漱 表 0) を 石 委 6 L 教 V 人 終 大 現 飛 て を 格 کے ね +末 き 実 び 漱 中  $\mathcal{O}$ 同 ね に 七 な  $\mathcal{O}$ 実 時 出 核 現 石 お ば 0 意 に た が ょ と 現 代 な 代 V 義 <u>\\</u> 代 う す を  $\mathcal{O}$ て、 6 日 を ち 哲 涙 助 な る 乗 な 本 学 持 至 向 が  $\stackrel{\neg}{-}$  $\mathcal{O}$ を 近 0 15 伝 者 0 か 文 呑 世 て 開 誠 明 統 的 う 明 西 ŧ 4 化 W 11 治 0) 上 لح 田 <  $\mathcal{O}$ 職 で 伝  $\mathcal{O}$ で 幾 で 象 統 業 上 を 11 姿 知 多 あ 徴 自 う لح を 滑 識 0 精 重 た لح ŋ 5 を 言 郎 探 人 た は 神 る に  $\mathcal{O}$ 見 葉 な 語 L  $\mathcal{O}$ لح  $\mathcal{O}$ 電 滑 思 る で る 0 て 有  $\neg$ 言 根 想 車 た 0 Ł 語 < 善 V) え 底 に 日 て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ る 様 本 中 が 7 で 行 研 は に 頭  $\mathcal{O}$ 核 可 カ あ 11 究 +あ が な لح 能 る る  $\neg$ 焼 七 そ 開 L る け で

ŧ

同

様

で

あ

る。

## 注 記

- 1 初 + 出 は 七 日 5 東 京 + 朝 月 十 目 兀 新 日 聞 明 治 兀 + = 九  $\bigcirc$ 九 年 六
- $\widehat{2}$ 代 そ 助 0) を ょ う 近 な 代 観 的 点 知 カン 識 5 人 自 と 我 L て  $\mathcal{O}$ 規 問 定 題 し لح L  $\neg$ て そ 論 れ じ か る 6

ŧ 年 か لح 存 識 に 九 思 4 لح 真<sup>z</sup>と 5 人 六 想  $\mathcal{O}$ 九 L 在 0 で は 誠こ 月 六 て لح で そ  $\mathcal{O}$ 7 あ 方 11  $\mathcal{O}$ 自 て 0 カン あ Щ 法 で、  $\mathcal{O}$ るとこ 年 た ŧ 我 るこ な 現  $\Box$ +振  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ŋ 昭 代 り 原 に 覚  $\mathcal{O}$ ح 男 ろ 月 明 仮 表 ま 醒 作 発 < 像シ 稿 を 治 に 的 名 時 行、 0 品 カン を 打 確 あ が  $\mathcal{O}$ に な わ 5  $\mathcal{O}$ 破一、 点 認 作 る あ 0 ŧ 岩 そ で 大 る し る。 家厂、  $\mathcal{O}$ 11 0 波 す 生 れ き そ た。 で て に 書 で 煤  $\mathcal{O}$ に な れ 氏 は 店 は 岩 猪 に 伴 煙 不 意 な は ま 野 波 漱 安 う 義 5  $\neg$ 11 そ 亚 た、 書 謙 を 社 石 と は 漱 カユ  $\mathcal{O}$ 成 店 評  $\mathcal{O}$ 論 に 会 石 中 + ح す 的 ょ 両  $\mathcal{O}$ わ 自 لح で 昭 七 る  $\mathcal{O}$ が 0 な 基 筆 述 面 そ 和 際 後 7 原 か 不 近 そ 本 べ れ 兀  $\mathcal{O}$ で 付 安 代 ら 的 稿 て  $\bigcirc$ れ カン + S لح さ 描 的 6 な  $\bigcirc$ 11 か 誠言 れ れ 五. そ る。 人 な 枠 5 う る 間 た 知 れ

3

- 4 Š ま す ŋ 月) あ た ぎ 石  $\lambda$ 反 原 た る 転 千 そ で、 近 誠 全 す と、 秋 れ 代 き る 的 氏 か そ 恋 は 漱 注 は 自 5 跡 に れ 石 目 我 取 ょ ま す  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 反 で ŋ 0 覚  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ て 青 き 醒 家 誠  $\mathcal{O}$ 名  $\neg$ 土 指 0 族 に み そ 社 摘 物 小 に だ 口 れ を 語 説 0 け 平 復 カン で 11 と 許 さ 5 成 て あ て、 L さ れ 九 る て れ る  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ た ŧ 読 لح 長 九 特  $\mathcal{O}$ 4 井 述 そ 別 家 べ と を 九 れ な 七 で て L か お 字 は て い 5 な る  $\mathcal{O}$ 決 年 た 遅 ま +
- 夏 目 漱 石  $\mathcal{O}$ 研 究  $\sqsubseteq$ 桜 楓 社 昭 和 兀 + 八 年 月

5

6  $\mathcal{O}$ 点 は 代 助 が 自 己 本 来  $\mathcal{O}$ 活 動 を 自 己 本 来

ること 的 لح <del>+</del> そ 0) 以 外 に 0) つ 目 な 的 が 0 て を たて 11 る る لح を 堕 落

7 vol.7, William Introduction 形 に 訳 0) ょ る。 家」 形 同 人形の 0 Archer じ は ま 家 版 た英訳に bу 0) 家』、 1927 William Doll's訳 ŧ doll's 0) 0 早 カゝ The collected works を 0 稲 5 House. 確 Archer, London 1,1 田 house) 引 認 て 大 用 は 学 で した。 き Ed. 出  $\mathcal{O}$ 漱 版 な 訳 and 石 部 カゝ 文 文 0) 0 1907 庫 of大 引 trans. た に 正 用 た Henrik 0 所 は  $\otimes$ with 蔵 年 ŧ 島 兀  $\mathcal{O}$ 0 村 同 で 月 抱 じ あ 人 月

10

る

لح

- 8 る。 文学も 立 実 滅 「 幻<sub>リ</sub> 主 は げ の 時 プ 自 5 代 自 義 4 セ 然 強 0 然 文 を 像シ 主 学 芸 主 て 描 は 打 義 術 で 影 義 11 11 破」 様 0) 主 る た 文 響 々な 主 (「太 学 芸 導 を と 要 ラ 受 け ま 術 0) さ な あ 分 た れ  $\mathcal{O}$ 陽 代 問 野 ること 自 代 表 た た。 題 に 己 表 明 的 影 で 真」 と لح 治 評  $\neg$ から あ 響 っそれ  $\equiv$ 論 社 L る。 を 会 て +で を も当 与 から 不 九 あ  $\mathcal{O}$ イ え、 習 プ 年 可 る 時 +長 避 セ 慣 隆 日 0 谷 的 ン 月 盛 本 秩  $\mathcal{O}$ Ш に で  $\mathcal{O}$ 序 散 に 天 想 真 あ 自 渓 لح は 像 文 0 然 さ  $\mathcal{O}$ 劇 た は 主 せ 自 が 幻 対 真 義
- 9 20 桜 死 そ 楓 0 剣 れ 社 勝 昭 持 カン 利 和 武 6 平 兀 彦 成 + と 七 夏 年、 漱  $\neg$ 年 目 煤 石 漱 烟 九 作 月 月)、 石 品  $\mathcal{O}$ 論 そ が 比 集 初 れ 較 あ 成 出 カン る。 に は 5 0 第 ۲ 1 六 イ て、 と  $\mathcal{O}$ 巻 タ ダ 論 IJ そ ヌ 比 に ア 学 ン 較 お n ツ 的 会 カン て 誌 6 イ 早

こと < わ れ 誠 思 0 る 誠 0 わ 愛」 と 愛 れ لح き る。 は と が 真  $\mathcal{O}$ 問 誠 6 題  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ が 違 な さ で V) れ لح を 書 7 表 明 カコ 記 確 れ る さ に て が れ V L て る 引 そ 1 用 れ ۲ な に 以 れ 外 近 た は 11 で お 8 形 は そ で で 5 ま 使

こ と る〉、 て 従 た 5 佐 義 者 を ŋ 否 に は 考 佐 ば 義 と 天 誠 誠 込 定 は そ 概 Þ Þ 之 に ŧ れ  $\mathcal{O}$ 木 L 察 は L て 念 が W 木 道 ے か ょ 他 が 誠 氏 あ て が す 人 可 で て 誠 英 6 う 也  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 者 す 0) 能  $\mathcal{O}$ る る 11 1 う』 (若 昭 な 間 لح 偽 多 道 る を で が 問 必 と た 氏  $\mathcal{O}$ に 題 欺 に 近 題 L 5 義 要 に な 代 自 0) 誠 語 た お 的 に な が あ ح 助 カン 多 世 意 る 己 草 注 自 こ と 11 0 \_ 5 あ V が 0) な 義 儒 識 V 書 を 釈 体 て 1 る 学 に で ず لح う 11 的 誠 \_ 房、 表 に が こ と て ک ~ ? を  $\neg$ あ 指 ス 思 沿 V で ょ な 面 ょ 言 多 る う 想 0 ふ 摘 1 0 な 平 ŧ 的 る 義 海 とい を 述 て と が に ま 成  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ カコ 11 代 に 的 え そ \_ 十二(三 行 中 あ IJ は 助  $\neg$ 漱 (明 で る。 人 う べ そ 動 自 で 本 た ]  $\mathcal{O}$ と 否  $\mathcal{O}$ 石 あ て 歴 を 指 す ŧ  $\mathcal{O}$ 信 *\* \ 定 己 論 24 れ 文 る う る 0 史  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 欺 摘 1 そ ア 奉 L 誠 か 0 学 る。 な で カン は 者 言 的 位 5  $\mathcal{O}$ 1 に  $\bigcirc$ が で 内 置 あ な 上 口 葉 に 観  $\mathcal{O}$ 0)  $\bigcirc$ 注 ら あ ろ 真準補 = 位 的 形 を *\* \ 佐 に 注 で に 釈 う。 ŧ ŋ 述 ح 注 つ 釈 1 確 成 実と Þ 変 置 年 لح べ 信 3 を を 誠 L 木  $\mathcal{O}$ 化 六 巻 第 月 る と 代 て 氏 命 が 終 末 読 八  $\mathcal{O}$ あ 滑 助 な 0 語 誠  $\mathcal{O}$ 題 え を 巻  $\mathcal{O}$ 0 む

景 を が 真 支 て 大 え き ١J る な < 倫 異 理 1 誠 な 構 る 誠 で 造 لح は を 考 0) そ え そ 意  $\mathcal{O}$ 奥 義 て れ لح 11 ぞ で L る れ 持 て 0) 0 そ た 語 そ 人 L  $\mathcal{O}$ れ て 持 物 が 佐 で 0 歴 Þ 行 木 史 る 氏 的 為 が な ま 強 背 た  $\mathcal{O}$ 

 $\widehat{11}$ 中 Щ 和 子、 玉 井 敬 注 解

理

とな

ると

Š

点を

指

摘

L

た

- 12 持 漱 三郎 石 年六 文 注 学 月)、 解 全 集 荒 正 第 人、 五. 巻 石 Ш 集 忠 英 久、 社 遠 昭 藤 和 祐 兀 + 出 六 本 靖 正 九
- 13 とさ で 般 あ に る れ が、 二孟 て き 子 た。 で  $\mathcal{O}$ は 著  $\mathcal{O}$ 者 問 点 孟 題 に とし 子 0 は V) な  $\neg$ て 中 は 庸 様 Þ 0 議 著 論 者 が 子 あ 思 る  $\mathcal{O}$ ょ 弟
- 14 紛 し 経 たとさ  $\neg$ 書 経 れ る  $\neg$  $\neg$ 礼 楽 経 記 を 『易 加 え 経 て  $\Box$ 六 春 経 秋 経 لح  $\mathcal{O}$ 五. 0
- 15 1 た 使 海 用 が 中 老 لح 平 玉 L 田 あ 古 成 た 中 輝己 + 代  $\neg$ 庸 論 詩 章 \_ 集 語  $\stackrel{\frown}{=}$ 中 句 夏 は 庸 目  $\mathcal{O}$ が 漱 テ  $\bigcirc$ 何 に 石と 用 0 キ れ つ V ス ŧ V 5 儒学思想」 1 年二月 朱 て れ を 子 た 初  $\mathcal{O}$ 可 確  $\otimes$ 注 能 カコ (「九 に に な 性 は ょ は 詩 州女子 لح 高 る 経 ŧ は 11 松 لح わ  $\mathcal{O}$ 学 思 楚 大 カコ で 学 わ ら あ 辞 舎 な で 紀 れ 0
- 16 原 堂 中 出 庸 を 版 章 ŧ 旬 と 昭 に 和 0 兀 書 藤 十 き 本 九 下 が 書 文 き 九 は 下 七 L 兀 \_ た。 兀 書 年 九 集 な 月 注 お そ 下 0)  $\mathcal{O}$ 際 に 附 明

同  $\mathcal{O}$ 本  $\mathcal{O}$ 訳 を 参 照 し た

- 17 大 九 学 六 七 中 庸 年 月 島 田 虔 中 庸 著 第二十 朝 日 新 章 聞 社 283 昭 頁 和 参 兀 照
- 18 大学 中 庸 284 頁)

19

- る。 中 明 庸 治 書  $\mathcal{O}$ 院 引 用 昭 は 和 新 釈 兀 漢 + 文 大 系 九  $\neg$ 大 六七) 学 中 年 庸 兀 <u></u> 月 (赤 に 塚 忠
- $\widehat{20}$ 年  $\neg$ 九 朱子 月、 学 98 لح 陽 明 学 筑 摩 書 房、 平 成二 + 五.  $\bigcirc$
- $\widehat{2\,1}$ 会、 中 平 玉 成 思 + 想 三 文 年 化 七 事 月 典 380 頁 溝 П 市 雄 来 津 他 由 編 彦 東 伊 京 東 大 学 貴 之 出 版 執
- $\widehat{22}$ L 行 た た が だ か 表 し、 5 さ と れ 朱 子 V た つ 経 学 て 書 が 重 必 で 視 あ ず L L る て ŧ  $\mathcal{O}$ V 朱 で る 子 0) 学 代 は 否 助 定  $\mathcal{O}$ 古 لح 書 え は 物 0) 限 癖 聖 5 を 賢 な 否  $\mathcal{O}$ 言 定
- 23 だ 九 カン と あ 眀 石 七 佐 t が る。 古 学 L 11  $\mathcal{O}$ 八 伝 0 純 れ で  $\mathcal{O}$ 習 ま て な き 居 年 本 た、 録 る ŧ 郎 質 移 兀 け 0 に 気 月 『こころ』  $\mathcal{O}$ 0 夏 で 立 説 11 L は 目  $\mathcal{O}$ 0 わ て あ 漱 て、  $\mathcal{O}$ ゆ る 誇 石 分 夏 る 張 ま 0 論 自 析 目 広 に い 5 カコ 漱 人 は カ<sup>3</sup> 153 告 5  $\mathcal{O}$ 石 審 心 I 文 に な  $\mathcal{O}$ る 美 漱 心 文 と 社 ま お 学 頁) 石 11 11 け を ح う  $\mathcal{O}$ لح 昭 る 思う」 لح Š 考 青 陽 和 うに 指 え 明 五. 人 て 学 摘 0 + 間 150 日 考 11 0) える 心 に 頁) 0

る。

- 24 文 る  $\neg$ 末 伝 を た 明 習 変 だ 治 録 更し L 書 院  $\mathcal{O}$ た 引 引 部 用 用 昭 分  $\mathcal{O}$ 和 は が 都  $\equiv$ 新 あ +釈 合 る 漢 上 六 文 大 文 系 九 意 六  $\neg$  $\mathcal{O}$ 伝  $\overline{\phantom{a}}$ 変 習 わ 録 年 5 な 九 V 月 近 範 藤 用 に 康 で ょ 信
- (25) 『伝習録』「解説」(11頁) 参照
- (26) 『朱子学と陽明学』(10頁)
- 27 で あ 健 秩 る あ 次 序 中 つ 郎 べ たこと 玉 という意 きこ 思 丸 想 \_ ك Щ 文化 松 が 味 幸 執 لح 述 が 事 V 生れ 典 筆) 5 う 意 れ に 0 て  $\mathcal{T}$ 味 きた」 お が 理 ŋ 思 理 想 29 0) ま 的 に 項 頁) た 主 0 張 11 蜂 لح 理 に 7 屋 あ に お 邦 は 11 本 夫、 て 則 来 る 中 カン 土 ベ 心 < 田
- 28  $\neg$ 五. 易 月 لح 中 325 庸 0 頁 研 究 (岩 波 書 店 昭 和 + 八 九二三)
- 29 け 兀 出 文 る 四 る ŋ + 日 亚 徳 道 カン で 引 誠 本 成 年十二月 Ш あ 用 徳 人の伝 時 思 社 る L  $\mathcal{O}$ 九 十 代 想 た 分 六 平  $\mathcal{O}$ 5 文 析 統 六 誠 成 0) な は 的 (100+ み 多 倫 日 年 29 に < 相 理 本  $\neg$ 七 頁)、 近 観 参 良 ŧ 人 月 九 九 世 照  $\mathcal{O}$ 氏 理  $\mathcal{O}$ 九 相  $\mathcal{O}$ な 心 年 八 儒 良 た 研 誠 お 七 想 学 実と日 増 相 氏 究 以 月 社 思 年 良  $\mathcal{O}$ に 補 降 六六月 想 氏 著 お 版  $\mathcal{O}$ で 昭 本  $\mathcal{O}$ う 作 あ 日 和 لح る。 人 主 で  $\equiv$ 東 塙 本 な 引 京 書 近 + 著 ろ 世 大 日 房 用 九 増 学 本 さ が に 作 補 出 に 昭 は れ 大 お 版 き 版 お 和 前 た け 九

- 30 五. 版 社、 九 平 兀 九三 成 録 0)  $\equiv$ 引 用 年 言 は 六 九 志 月) 九 佐  $\overline{\phantom{a}}$ 藤 に ょ 言 年 斎 る。 志 +全 後 集 録」、 月 第 第 +言 + = 志 巻 晚 巻 明 平 徳 言 成 出
- 31 店、 <u>-</u> 山 鹿 昭 語 和十 類 六 0) 引 用 九 は 兀  $\neg$ Щ 年 鹿 素 十二月) 行 全 集 に ょ 第 る 九 巻 岩 波
- 32 する そ が、 れ カコ ے ۇ \_ れ 5 に は は 基 本 已 的 む に を 得 仕 な 方 11 が  $\sqsubseteq$ な と VI 1 Š  $\mathcal{O}$ 表 現 意 味 が で 頻 出
- (33) 相良亨「徳川時代の誠
- 34 文で 台 漱  $\mathcal{O}$ 石 は  $\mathcal{O}$ 独 享 談 語 保 話 時 代 を 余  $\mathcal{O}$ が 徂 面 文 徠 白 章 11 に 派 لح 裨  $\mathcal{O}$ 思 益 文 0 せ 章 た L が 書 好 と 籍 き あ だ り、 に は と ま 述 た 太 べ 宰 7 漢
- 35  $\neg$ 書 聖学 店、 問 昭 答 和 兀 0) + 引 七 用 は 九 日 七二 本 思想 年 大 兀 系 月) 37 徂 に 徠 ょ 学 る 派

る。

36

行 明 所 あ 弟 لح る。 る 以 を 称 伝習 行 所 に す  $\mathcal{O}$ 以 L ま  $\mathcal{O}$ る 録 心 教 て、 な た て が を外 な 中 如 り 上 ŋ 行 巻 き 方 巻 理 に は ŧ 五. لح 答 を 他 ず 条 て 述 吾 顧 孝 必  $\lambda$ 以て に べ が 東 を ず ば て 心 之 橋 知 是 理 某 1 書 ŋ に を求 を れ 人 る。 弟 其 求 知 孝 لح に を  $\mathcal{O}$ む を む る 謂 知 人 知 る れ 真 已 は る り、 Š は は に لح に 知 称 此 足 は 曾 某 此 即 れ れ 5 て 人 知 聖 ず 5 可 孝 弟 知 門 L を を 行 行 1 働  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を た 行 知 説 لح る 知 る

*ر* را ه で < は に き に あ あ 求 が ょ L < て む す ŋ る ま 達 で で せ に 理 知 b ざ あ 弟 る لح る を  $\mathcal{O}$ 子 に 求 た  $\mathcal{O}$ 前  $\mathcal{O}$ 処 な  $\otimes$ め に ると 有 る で 行 5 あ 行 ん り、 لح 11  $\mathcal{O}$ うことで は が 前 と そ あ に 11 れ 行 る う ゅ لح 知 疑 あ え 理 問 る に 導 が 解 に な < す 答 け 但 理 え れ を き L 心 ば た 吾 で は t が  $\mathcal{O}$ 闇られ  $\mathcal{O}$ 心

37 相 良 亨 徳 Ш 時 代 0 誠 に は 次  $\mathcal{O}$ ょ う に あ

る。 Ł に ず す お L カン V 誠 る 誠  $\tilde{\ }$ 致 時 を T に L 0 せ  $\mathcal{O}$ 非 側 偽 は ず L 内 面 ŋ 藤 め 外 か 多 な 内 る~ 本  $\mathcal{O}$ 5 < < を 注) 側 致 内 外 事 は 外 飾 面 に あ と ま を ŋ カン 6 致 な 6 た な 致 わ 0) ŧ を L < せ れ 考 転 て 心 考 たの L 換 え あ え 其 欺 め が た 6 ŋ 0) か で る~ れ て ŧ 心 ざ (幕 あ る て 其  $\mathcal{O}$ な カコ る こと 事 末 然 と き 5 を る V は  $\mathcal{O}$ 変 べ な え 等 さざ 革 き 外 ょ 誠 と う。 で 期 を に 理 内 あ 非 解 に る

(『日本人の伝統的倫理観』26頁

38 洗 に 塩 心 ょ 中 洞 る。 斎 箚 \_\_ 記 岩 0 波 引 書 用 店 は、 昭  $\neg$ 和 日 五. 本 思 + 五. 想 大 系 九 46 八  $\bigcirc$ 佐 藤 年 斎 五.

39 に た  $\lambda$ 知 لح だ ば 行 て 則 は 合 同 5 君 じ 知 筃 子 す 行 に 所 合 に 化 中 す 略 る 小 す 0) 人 べ 基 小 0) き 人 不 な で ŋ 若 善 な L に い 不 於 لح こと 善 け あ を る り、 ゃ、 を 知 説 ŋ 不 て 亦 1 て 善 行 た 必 は

> る は 意 味 だ が L 大 注 36 変 見 わ 0 て 明 V) 学 に 点 お は け 共 る 通 L 知 て 行 る 合 と

40) 相良氏は次のように述べている。

る び れ で す 仁 ぜ 仁 あ ŧ 斎 さ が た る  $\mathcal{O}$ 斎 た ま・ 0 上 に る  $\mathcal{O}$ 心 に < た。 ح. لح に で で ょ 所 内 ٠ع お あ 0 な あ れ カン は ۲ け り て ŋ ば カゝ 5  $\mathcal{O}$ る 陽 5 湧 端 明 人 ょ 行 正 L き う 学 的 為 L 8 れ 間 出 に る を に  $\mathcal{O}$ 11 は に てくるも 他 仕 聖 自 拡 内 し と 方 人 己 者 て 充 在 0) が に L す 対 仁 教 個 学 て る 心  $\mathcal{O}$ 間 す 斎  $\mathcal{O}$ え  $\mathcal{O}$ 至 固 で に で る 持 は 内 5 有 あ 5 あ ざ ŧ ょ 面  $\mathcal{O}$ つ 端 0 0 方  $\mathcal{O}$ る た  $\mathcal{O}$ ŧ て た で を 的 確 所  $\mathcal{O}$ 説 立 無 お 12 あ は を ŋ L < 人 0 < 惻 لح 出 ŧ 求 ま 隠 忍 さ 接 ŋ  $\mathcal{O}$ 8 通 羞

41 月 木 語 村 孟 に 英 字 ょ 義 る 編 0) 筑 引 用 摩 は、 書 房  $\neg$ 日 昭 本 和  $\mathcal{O}$ 兀 思 + 想 Ŧī. 11  $\widehat{-}$ 伊 九 藤 七 仁  $\bigcirc$ 斎 集 年 

日

本

人

 $\mathcal{O}$ 

伝

統

的

倫

理

観

30

頁

42  $\mathcal{O}$ る 11 名 誠 関  $\mathcal{O}$ て 詞 斎 係 لح t は  $\mathcal{O}$ に で L 字  $\neg$ 0 て 離 他 論 は  $\mathcal{O}$ 婁 て は 語 副 副 次 詞 誠  $\neg$ 詞 0 本 尽 孟 で ょ と 心 子 う あ 当 る。 ĸ に う を に 述 使 重 ま 名 べ  $\mathcal{O}$ 用  $\lambda$ た 詞 て 意 例 ľ 仁 と W 味 は た。 L 斎 る。 で な は て 使  $\neg$  $\mathcal{O}$ 用 論 忠 用 さ 語  $\neg$ 信 例 孟 れ が 子 て に と 数 お お 例 に ŋ 11 誠 7 あ 0

甚 だ 所 相 謂 近 之 を 然 誠 に れ تلح す ´る 」 ŧ 功 と、 夫 同 じ 忠 カゝ 信 5 を ず 主 と 忠 す 信 る を 主 لح 意

を は  $\mathcal{O}$ す る 心 理 を 尽 に は 当 L 理 る 朴 と否ざ 実 当 に る 行 る か S لح 否 去 を ざ るを 択 る 謂  $\lambda$ か で、 Š, 顧 「之を 4 其  $\mathcal{O}$ 理 誠 に 只 に 当 是 す る れ る 己

取 0 て、 古 く之を 執 る  $\mathcal{O}$ 謂。

語 孟字義』 之 下 誠

<u>ニ</u>っ 7 11 残っ て 0) は て 差 異 V 規 に たこと 範 P 理 秩 が 序 لح わ に 0) カゝ 対 合 す 致 る が 意 関 識 わ つて が ま だ お ŋ 強 < 問 仁 題 斎 لح に お

- 43 店 童 昭 一子問 和 兀 + の 五. 引 年 用 + は、 月)  $\neg$ 童 に 子 ょ 問 る。 清 水 茂 校 注 岩 波 書
- 44 指 ŧ +志 た が . こ と す 無 九 士 0 推 釈 漱 関 測  $\mathcal{O}$ ょ で 石 係 は、 が j さ لح 如 文 で 九 き 考 れ な あ 学 は る。 0 烈 え 維 ŋ 全注 な 六) L 0) 5 新 V 戦 れ 0 長 釈  $\mathcal{O}$ 0) 精 年 る。 志 井 争 か 得 神 + 士 得 に 第 ŧ が で に そ 月二十 が つ 八 L 文学 L V 通 幕 巻 れ 誠 て、 底 末 て な を 六日 す 維 を大切 そ Þ る そ 新 慶 ħ 0 応 れ  $\mathcal{O}$ カン 7 誠 لح は 兀 志 5 に 見 述 書  $\mathcal{O}$ 士 年 す た べ 簡 倫 で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 1 た 理 戊 で 背 あ 佐 作 辰 景 0 K 明 者 維 た 戦 が 木 に 漱 治 新 あ は 争 氏 と  $\mathcal{O}$ 0 を 石
- 45 日 本 人  $\mathcal{O}$ 心 261
- 46 九 松 民 的 陰 初 友 期 社 人  $\mathcal{O}$ 至 物 ŧ 明 誠 0 治 0 に 人 + て、 彼 六 لح は 徳 真 捉 えた 誠 富 八 蘇 0) 九三) 峰 人なり」 ŧ  $\mathcal{O}$ 猪 は 年 数 十 二 郎 と 多 あ < る。 月 吉 あ る 田  $\mathcal{O}$ 松 が 陰 第 比

性

説

لح

ょ

ば

宋

学

 $\mathcal{O}$ 

中

心

理

論

0

0

で

あ

る

- 47 吉 大 田 九 和 松 七 書 陰 四 房 0) 著 年) 昭 作 和 B に 兀 書 ょ + 簡 る 七 な تلح の 九 引 用 七 は -年 吉 5 田 昭 松 和 陰 兀 全 +集 九
- 48 月、 近 世 390 思 想 論 有 斐 閣 昭 和 五. 十 六 九 八 年
- 49  $\neg$ 近世 思 想 論 386 頁
- 50 平 凡 日 社、 本  $\mathcal{O}$ 平 思 成二 想 + = 丸  $\stackrel{\frown}{=}$ Щ 真 男 セ  $\bigcirc$ クシ 年 几 彐 月 <u>\_</u> 杉 田 敦
- 51 漱 石 そ 0 陰 翳 **(**有 精 道 平 ·成二年 兀 月
- 52 文 社、 内 田 昭 道 和 雄 五. +久 保 田 芳 九 太 七六) 郎 編 年 作 九 品 月) 論 夏 目 漱 石

双

- 53 九  $\neg$ 八 漱 八 石 文学 年 八  $\mathcal{O}$ 月 思 想 第 部 ( 筑 摩 書 房 昭 和 六 十 三
- 54 昭 和 翻 五. 訳 + =  $\mathcal{O}$ 思  $\widehat{\phantom{a}}$ 想 九 七 七) 自 然」 年七月 と NATURE 平 凡 社
- 55 る、 に 島 b 倫 本 九 田 す れ 理 虔 然 六 な 的 7 次 わ  $\mathcal{O}$ 七 11 課 ち 性 る 題  $\neg$ 朱 年 は 子 92 初 と 五. 頁 め 月 学 気 気 لح に 質 陽 復えか 質 0) 5 第 の 明 る 性 . 学 \_\_\_\_ な 性 み 章 復 カン にこ 分岩 初 0) 5 宋学 対立に 本 波 0 新 ょ に  $\mathcal{O}$ 然 書、 う あ 完 関  $\mathcal{O}$ な る 成 性 考 昭 て ے ک え 朱 和 に は 子 兀 لح 学 か 人 + 間 復 述 え
- 56 に お 中 け 庸 る 0) 誠 引 用 で に 検 お 討 1 L て た 略 よう L た に 部 分 勉 に 励 は す る 先  $\mathcal{O}$ لح 朱 が 子 学

九 に を 大 知 子 結 0 六二) 系 5 な 尽 る び て なるとい < な 0 n 11 尽 ŋ ° 孟 す け る て 子 心 年 ること さ 11 · う考 ۲ 上 そ 六 ま る 篇 月  $\mathcal{O}$ 内 え に 性 لح で 野 に が 異 を 熊 と い 性」 「そ 存 論 か 知 う あ 在 が ら、 れ 郎 る 0) し あ ح 著、 ば 自 ょ て 心 る 天」 然」 う いる。 天 を カン 明 則 に 尽 ŧ 治 5 لح لح < L 書 天 儒 L  $\mathcal{O}$ す れ 院、 を 結 学 て b お な 知 に び 捉  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 昭 V る お え 0 ず は 和 き V L た カン が て 新 そ カコ 5 そう 明 性 は 釈  $\mathcal{O}$ 七 L 6 漢 性  $\neg$ 心 文 を 孟 を な か

- 57 58 代 要 表 あ 深 そ 誠 لح さ 0 に 遠 例 Ł な た お な せ そ لح で 宇 0 1 し ŧ あ た そ て 宙 倫 て、 宋 ること  $\mathcal{O}$ 盛  $\mathcal{O}$ 理 論 代に が 根  $\mathcal{O}$  $\lambda$ を 佐 学 拠 لح ŧ 藤 は  $\neg$ お た な を 0 中 1 天」 宇 る 0 道 斎 庸 て 儒 た 宙 教 0 ۲ 「真 論 学  $\mathcal{O}$ に 兀 た が لح 仏 書」 つ 己 に る 教 誠 な を 人 儒 が 者 が が 以 天 間 学 魏 天之 る 成 て 道 が 晋 <u>\</u> ŧ 仮 لح 徳 対 南 道 L 己を  $\mathcal{O}$ 抗 也 結 を 北 で た 合 す 朝 背 あ 克 で す 誠 る る カン 景 す る た  $\mathcal{O}$ あ 5 る に だ。 る。 に 上  $\Diamond$ 隋 は は で 代 で 唐
- 59 天 理 翻 な 訳 り  $\mathcal{O}$ 思 (「言志 想 耋 録」 自 然」 兀 +· 条 ) NATURE を 挙 げ 7 お 216 頁
- 60 和 越 兀 智 +治 雄 九 そ 六 れ 六 カン 5 年 + 論 月) 日 本 近 代 文 学 5 昭
- 61 ま え 訳 が  $\mathcal{O}$ き」 思 想 誠 実 たと目 自 然」 本 と NATURE 10 頁

126

頁

63 62 れ カゝ 5 0 思 想と 方 法

- 64 を S 得 同 る 学 程 ŧ 度」  $\mathcal{O}$ と 0 لح 自 述べ 信 序 す て に V لح る。 お あ 11 ŋ 7 ま 漢 た 籍 英 に 語 0 と 11 漢 て 籍  $\mathcal{O}$ 充 学 分 力 味
- 年 + 明 善  $\mathcal{O}$ 治 月、 研 思 究 想 20 史 頁 \_ 0) 単 ~ IJ 行 力 本 ン と L 社 て 昭 0 出 和 版 五. は 十 明 三 治 兀 + 九 兀 七 八

66

65

- $\widehat{67}$ 九 ŧ と は 明 年 治 月。 兀 + 兀 年 + 月 八 月 + 五. 日 12 和 歌 Ш で 行 わ
- 明 れ た 講 演 文 章 と し て は  $\neg$ 朝 日 講 演 集 朝 日

新

聞

治 兀 +兀 九 年 三月) に 集 録

# 晩 年 に お け る 禅 $\mathcal{O}$ 接 近 لح 近 0 関 わ ŋ V

 $\mathcal{O}$ 禅 を 与 が 0 け 言 を で は 持 6 え タ 7 そ 葉 漱 11 漱 き た  $\mathcal{O}$ が U 5 5 る  $\mathcal{O}$ れ 石 石 イ る ま 中 数  $\Diamond$ 続 て n 1 接 が لح 2 ル で 多 け 11 た 明 褝 す 近 11 こと で لح \_ < た が Ł < る 治  $\mathcal{O}$ 褝 存 0 11 あ 従 関 لح 書 0 来 在 か ま は +る わ た か す 0) は 七 ŋ カュ 五. そ 書 5 る 褝 年 5 は 十 取 簡 特 ۲ 書 旧 そ れ 末 様  $\mathcal{O}$ に لح 蔵 ے ح が  $\mathcal{O}$ を b に カコ Þ な 書 若 後 題 れ 注な 見 5 な 0 لخ に る 目 5 ŧ 材 11 鎌 点 は 7 褝 さ な かれ 漱 に 倉  $\neg$ に 始 ど 僧 碧 L れ 5 る 石  $\mathcal{O}$ 見  $\emptyset$ 私 う 巖 と て が た 円 る 11 と、 て は き 録  $\mathcal{O}$ か 褝 <  $\neg$ 覚 道 今 交 た が 12 門 寺 لح 0 に 道 流  $\mathcal{O}$ う 作 カコ 対 に が が や志 に  $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 品 碧 L な 参 で ざ と 入 巖 ど 褝 点 遺 睌 内 7 き ろ る。 作 す 年 が 集 に に に L 事 Ś 見 に 7 褝 定 ょ  $\neg$ 明 に لح き 0 ŋ 公 若 る お 由 کے 気 ょ 暗 心 け る 来 Ł 関 案 き لح  $\mathcal{O}$ が る < を  $\mathcal{O}$ 心 日 L

知

 $\mathcal{O}$ 

は大 ば 洋 そ 思 様 正 L 五 ば  $\mathcal{O}$ 想 な 年 ŧ ょ 意  $\mathcal{O}$ 5 う 特 義 木 に あ な 褝 が 曜 晩 が لح 指 会 る 年  $\mathcal{O}$ 摘 で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 関 さ 語 が 漱 わ れ 5 石 ħ 則 n に 0 語 た 天 関 لح 去 中 5 す さ で れ 私 る 捉 て れ 批 え き る で 評 b た あ B が則 れ る 研 た。 天 究 多 去 死  $\mathcal{O}$ そ < 私  $\mathcal{O}$ 問  $\mathcal{O}$ 直 題 れ 場 5 に 前 لح と を 合 0 L 概 11 な T 観 東 7 る L

> て、 三 好 行 雄 氏 は 次 0) ょ う に ま لح  $\otimes$ て 1 る

ろ、 近 あ 我 あ 私 £ 代 る  $\mathcal{O}$ る を ち そ ろ 自 精  $\mathcal{O}$ れ 覚 根 儒 神 W 中 は が 学 拠  $\mathcal{O}$ 略 東 لح 消 あ 洋 と Ł え 仏 る 漱 的 通 て 教 位 ば 石 な 相 底  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 心 す 老 لح 常 文 境 る 切 荘 L 識 学  $\mathcal{O}$ لح を  $\mathcal{O}$ 7 的 に 表 無 11 把 な 現 底 ろ لح ず 握 理 と 流 が 感 れ す 解 み あ L U に る カコ な 続 る 曲. 0 ほ b L た け 拠 う 11 Š た は を が え る 反 ろ ず 求 ょ ば で 西  $\mathcal{O}$  $\otimes$ あ 洋 状 妥 則 る 中 態 当 天 る に 略 反 去 で で L

意 想つ 譲 に 義 が な 則 を 対が 伝 天 見 る え 1 去 る。 す 東 る 私 る 洋 次 ۲ 的 ŧ 0 を 漱  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ な 石 ょ لح 心 う  $\mathcal{O}$ L 境 我 して、 言 な لح 葉 三 L 自 が 好 褝 そ そ 己 氏 を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は を 淵 理 じに 源 解  $\otimes$ 西 超 え لح لح 洋 は な し を た ょ 0 弟 た 中 て ŋ 子 東 心  $\mathcal{O}$ 洋 لح 大 る 的 L き 人 な た な 思 沂 世 界 松 惟 代 思 لح 出  $\mathcal{O}$ 

漸 < 自 分 Ł 来 此 頃 0 さ Š 11 0 た 境 地 に 出 た 則 天 去

則

天

去

私

ŋ な 事 的 لح と ŧ つい 言 私 観 ŧ  $\mathcal{O}$ 気 な な V 葉 1  $\mathcal{O}$ る で 0 主 が 大 う で لح Š W Þ 方 で 張 す だ 我 所 自 Ł う لح る が  $\mathcal{O}$ 謂 カコ 7 分 さ な 5 そ か 命 小 現 で 事 う そ さ いれ 理 す 我 は は に  $\sim$ は か 想  $\mathcal{O}$ う る ょ  $\mathcal{O}$ L な ば そ لح لح 前 言 ま 私 て W る か 葉 で れ 1 に を ۷ W す に 去 と 0 主 出 で 居 居 だ ベ 義 L 7 る 自 0 る る 言 5 て 7 普 کے 0 分 て だ  $\mathcal{O}$ う だ が  $\mathcal{O}$ 通 カコ て を 6 ね 存 普 ま Ł う が 0 11 L 視 ま 在 ま Š 涌 カン 0 同 が 5 t え 0 せ لح 他 0 た 大 6 る ま 仁 与 な  $\mathcal{O}$ 0 だ。 さ  $\sim$ ŧ لح き ŋ 人 11 ん 5 5 لح で 11 な 普 結 が 見 局 に 0 謂 ŧ 差れ は 通 别 る 5 ち 見 尽 た は 自 0 無 れ 0 え < B ば 分 لح ぽ る う 差 0  $\mathcal{T}$ せ 華 自 外 别 ま る け な な 遍 分 0

# (松岡譲「宗教的問答」(4

ち は た。 を 次 0 漱  $\mathcal{O}$ Þ 漱 ょ 心 石 は う に  $\mathcal{O}$ 石 り に 注 死 0 弟 捉 目  $\mathcal{O}$ 言 子 え さ 直 葉  $\mathcal{O}$ れ 前 لح に L 人 以 語 て で 後 b 伝 あ  $\mathcal{O}$ れ え る 漱 た 6 小 لح 石 れ 宮 さ 作 T 豊 品れ 11 隆  $\mathcal{O}$ る る は 読 لح 則 4 方 ŧ 天  $\mathcal{O}$ を あ 去 大 ŋ 私 則 き 天 < 弟  $\mathcal{O}$ 去 規 子 意 私 た 制 義

لح そ 目 を 11 標 同 去 る れ U 0 は L B 7 そ 人 う て 天 間 n 居 な に を  $\mathcal{O}$ 0 公 則 中 出 た 平 に 0 来 わ な た る は だ け 正 生 私 で L 活 け が あ 11 が 追 即 り 生 L 究 5 ま 活 た L 工 لح て ゴ 11 そ い 1 即 ズ  $\mathcal{O}$ ふ 事 ち 我 A を を 我 無 自 自 が 然 満 分 <  $\mathcal{O}$ な ち L 則 生 4 活 自 5 5 然 私  $\mathcal{O}$ 7

# 「夏目漱石 特にその明暗を中心にして」(゚ワ)

述 لح 見 を لح 去 な る は は べ 三 則 方 超 < 考 私 小 る 天 禅  $\mathcal{O}$ 克 さ え好 他 宮 去 す ے と て  $\mathcal{O}$ 5 氏 は 私  $\mathcal{O}$ 例 る 弟 11  $\mathcal{O}$ れ  $\mathcal{O}$ 関 لح 子 指 と 5 る 小 ょ わ を L た 摘 11 言 う 我 ŋ て、 ۲ う で 5 す 葉  $\mathcal{O}$ な に 形 問 を る は  $\mathcal{O}$ 私 捉 褝 0 仏 で え 題 は ょ ょ 11 教 L に じ う う を 方  $\mathcal{O}$ て 学 ば 伝  $\otimes$ な に L  $\mathcal{O}$  $\neg$ 悟 述 者 統 L た 11 小 西 工 背 ŋ べ で ば < 宮 洋 11 ゴ 景 と た あ 的 解  $\mathcal{O}$ 0 に 近 1 لح 紙 文 る な 釈 はか 近 代 ズ な 章 秋 さ ŧ  $\mathcal{O}$ 的 11  $\Delta$ 重 る を 月  $\mathcal{O}$ 文 れ 則 な 我 考 確 龍 が 章 7 天 則 認 と 認 え 珉 き ىل 去 に 天 識 L す 方 氏 近 た。 私 見 去 を す て る が で 代 る 私 見 る あ ۲  $\mathcal{O}$ 次 秋 て が 則 る 的  $\mathcal{O}$ 中 لح  $\mathcal{O}$ 1  $\mathcal{O}$ 月 天 身 そ ょ な が る 去 択 ょ 氏 Š 私 う £ 則 で で え t は き 12 な 天 は 方  $\mathcal{O}$ 

Ł る に 版 ら  $\mathcal{O}$ は う お 近 昭 さ 人  $\mathcal{O}$ 生 に代 1 18 れ 世 主れ 7 関 に 張 た  $\mathcal{O}$ 的  $\mathcal{O}$ 以 は 対 苦 わ 自 Ł 論 す 来 L  $\mathcal{O}$ 闘 0 我 者 る 自 7 が て に  $\mathcal{O}$ 0 私 己 立 言 す ょ い ど 本 滝 晚 0 た 場 う な て 位 t 沢 に 年 ょ わ は 克 そ 尽  $\mathcal{O}$ う 5 己 لح き は n に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 11 則 が る 0 通 自  $\neg$ う 天 き 漱 ŧ 説 漱 前プ己 <u>\( \frac{1}{2} \) \( \frac{1}{2} \)</u> 去 ŋ 石  $\mathcal{O}$ に 石 近 + 本 場 私 لح 自 で プ 0 代が位 L 身 は 自 口 世 か に た  $\mathcal{O}$ な 体 テ 界 5 外 が 形 そ < ス 則  $\mathcal{O}$ な で  $\mathcal{O}$ 1 逆 天 5 自 後 ŧ す 創 L コ 去 な 覚  $\mathcal{O}$ 0 で て 文 لح 私 に +VI 社. ス ŧ 数 深 単 漱 な た 年 لح 11 な 石 原

で て あ 後ょで 1 わ 近には ゆ 代ジ な 超、 る 克 近 で 代  $\mathcal{O}$ あ 化 近 先 る  $\mathcal{O}$ 代 駆 桦 か 的 上 折 5 苦 見 な 悩 現 る تلح  $\mathcal{O}$ 0) で 代 で は 足 跡 あ な く で る لح あ い ŋ 反 j 対 に そ 11 そ n わ のは 徹 決 ゆ 底、 L る

(秋月龍珉「「漱石と禅」ノート」 ఄ゜、傍点原文

お使 晩 に T ま け  $\mathcal{O}$ 語 自 用 年 研 の後 ŋ n る Ł 0 我 さ 退  $\mathcal{O}$ 究  $\mathcal{O}$ て あ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 後ス゚┕ れ 漱 0) 中 漱 لح 1 ŋ 後 石 る 石 場 近: で で  $\mathcal{O}$ る き L  $\mathcal{O}$ t 伏 , 理 理 に ょ て 部  $\neg$ 解 便 解 う お な 秋 に 分 捉 伝 に 覧 が V に < 月 対 で え 0 統 て、 注 た 氏 す は 思 定 目 西 前 る は 上 想 的  $\mathcal{O}$ な さ 洋 則 進 で と 則 東 影 تلح 思 n 天 天 L 洋 則 初 に 響 る 想 去 7 こと 去 0 思 天 8 を お を 後。 私 私 評 ま 想 去 に 与 中 V 近: 価 り が 私 無 え て は 心 を 代 さ 我 て  $\mathcal{O}$ 注 は な لح 解 れ 反 目 を あ す 11 依 V  $\mathcal{O}$ る。 西 然 釈 さ ŋ 沂 る が る 思 に 洋 れ 禅 き 代 と 想 見 近 学 5 る L 人 と な لح  $\mathcal{O}$ 0 て 5 反 校 代 提 教 れ 4 近 き L 悟 思  $\mathcal{O}$ に 代 7 想 示 育 る  $\mathcal{O}$ り そ さ ょ 位 لح لح 初  $\mathcal{O}$ 行 れ場 う と 置 す れ き 同 L 8 な で L 詰 づ 様 で は 7 12 て

郎 に ま た 0 同 て 様 語  $\mathcal{O}$ る 問 次 題  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 文 広 章 が を ŋ 見 لح て L 4 て た 11 西 谷 啓 治 が 師 0 西 田 幾 多

そ に 褝 ま れ は た を 先 生 研 そ ぎ  $\mathcal{O}$ す Š 0 生 ま ち さ 命 に エ れ 於 た ネ け ル 意 る 志 ギ 強 に 烈 練 0 な 発 磨 生 現 す 命 る 工 l 7  $\mathcal{O}$ ネ < で ル る あ ギ 源 0 1 た を に 正 小 同 さ 時

> にへ 正 自 な ば 法 合 自 に 自 L 的 7 己 合 に 我 ゆ を す 明 < 意 る 6 志 P  $\otimes$ 枠 لح う 的 る を で に に Ł 超 あ 純 意  $\mathcal{O}$ ネ 0 た 正 志 で た。 す を 所 あ る 練 0 に 中 磨 た لح す 出 略 に る 会 ょ 言 は لح 0 で n で て る 11 あ  $\sim$ 字 宇 ŋ ば 宙 宙 0 の逆 宇 正 大に 宙 法 法 11

Š 的 な な 0 関 る ま 係 ŧ ŋ で  $\mathcal{O}$ あ لح 自 超 る 己 と 個 そ 人 的 れ な を る 包 む Ł 世  $\mathcal{O}$ 界 個 物 内 と 面 的 般 に 者 11 لح ば 11 う 個 B 人

西 谷 啓 治 わ が 師 西 田 幾 多 郎 先 生 を 語 る

ょ ぞ る  $\mathcal{O}$ 注詰 5  $\mathcal{O}$ う 目 指 ま な れ £ 正 ŋ 摘 な L に  $\mathcal{O}$ 法 11 を 発 0 が 対 で 中 す 参 想 活  $\mathcal{O}$ لح ŧ 考 を カン で と る 結  $\mathcal{O}$  $\neg$ 考 Ł 評 に L び 合 小 す え た そ に 価 0 さ 致 る لح る 西 き れ  $\mathcal{O}$ な 上 捉 を 洋 あ と Þ 乗 的 ŋ 1 自 え う 5 n な 方 我 個 形 仏 れ 越 は 人 教 て え 自 ょ で  $\mathcal{O}$ 的 学 る 我 り 枠 V な 詳 禅 者 る ŧ を 点 Þ 細 る で  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 超 لح 意 ŧ あ は に え 共 L 考  $\mathcal{O}$ る 知 義 た が 7 末 通 性 察 所 と 東 さ 語 木 L に 洋 T  $\mathcal{O}$ 5 文 n 的 問 な 超 あ 美 11 れ 士 る 題 け る 個 な る 思 人 氏  $\mathcal{O}$ n そ  $\mathcal{O}$ 想 行 ば 的 宇 れ  $\mathcal{O}$ に き な な 宙

£ あ は と  $\mathcal{O}$ ど ろ 0 だ で は ょ が う 日 実 な 本 そ 態 形  $\mathcal{O}$ れ は で 近 多 現 は 代 < 前 わ 思 0) 近 れ 想 代 場 る に 合 的 0 は な で 前 Ł あ  $\mathcal{O}$ 近 ろ  $\mathcal{O}$ لح 代 う 的 4 か 個 な な を さ 発 超 想 個 れ え  $\mathcal{O}$ を る 流 ŧ む 入 え  $\mathcal{O}$ で る

三

代 反 覚 ろ 確 式 <u>\\</u> 西 的 近 が 欧 に 代 仮 個 西 主 捉 的 構 を 欧 義 え な さ 超 化 直 ħ え ナ لح さ 個 る る 11 シ n 0) Ł う 彐 を で 等 ナ  $\mathcal{O}$ 再 超 あ 式 IJ 編 え る に ズ さ る 日 本 対  $\Delta$ れ ポ が L る ス 東 投 て 1 影 そ 洋 沂 ポ さ 代 れ れ と ス لح 的 1 る 同 11 な 近 時 う ŧ ŧ 代 近 に 0 う 代 لح そ L 方 前 個 7 0 近  $\mathcal{O}$ 自

### 末 木 文 美 士

た 7

は

1 日 本  $\mathcal{O}$ 沂 代 は な ぜ 仏 教 を 必 要 لح L た か

を る 7 が 石 る 超 を 洋 洋 語 秋 漱  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 見 に 月 あ 0 え 5 則 禅  $\mathcal{O}$ 石 と 褝 氏 天 と る る る 反 反 少 れ ょ  $\mathcal{O}$ 11 ŧ) だ 近 近  $\mathcal{O}$ 去 う 褝 な て 11 う 0 け 代 私  $\mathcal{O}$ 代 か き 論 う な  $\sim$ 批 で 接 5 た に 発  $\mathcal{O}$ 判 近 日 は と ず 見  $\mathcal{O}$ 想  $\mathcal{O}$ 近 接 か 0 11 捉 本 意 寄 5 が 代 近 5 意 う 義 与  $\mathcal{O}$ ħ え 末 に 免 義 東 木 言 を ۲ る 方 個 L 小 は れ た لح 洋 葉 ょ 宮 を 氏 見 に  $\mathcal{O}$ る 様 で う 0 る は ŧ を 確  $\neg$ と に لح 捉 は Þ 行 晚 見 立. لح ポ な V え、 لح 人 が 年 ľ る は 形 う 想 ポ ス は  $\mathcal{O}$  $\otimes$ 西 で で ŧ } そ で 定 漱 ス لح と に 欧 き ح 近  $\vdash$ が す ょ う き 見 さ 石 化 ま ŋ 代 に を で る 近 る 5 れ 11 明 方 る。 き に 神 代 弟 n る。 的 確  $\mathcal{O}$ 個 L 秘 子 対 そ る \_ 等 前 か 確 な た す 化 ょ 化  $\mathcal{O}$ 5 式 近 t ま る を L カコ L た う て が 代 越 単 に  $\mathcal{O}$ た が ŧ 権 8 に え に 仮 威 強  $\mathcal{O}$ に لح < 構 た  $\neg$ 晚 化 そ 調 لح は 年 L さ 個 4 反 反 す n L L 必

n

 $\mathcal{O}$ 西 西  $\mathcal{O}$ 

> 長 漱 野 石 に 郎 お  $\mathcal{O}$ け 希 る 求 禅 を  $\mathcal{O}$ 解 意 説 義 す に る 0 中 11 で、 て 次 加  $\mathcal{O}$ 藤 ょ Š 郎 に 氏 述 は べ て  $\neg$ 行 VV る。 人

 $\mathcal{O}$ 

が 救 三 言  $\neg$ 心 え +恤 見 獄 郎 兄 る。 六 え し 0 裡 7 得  $\mathcal{O}$ 姿  $\mathcal{O}$ + 撹 1 る に は 併 人 六 な 様 乱 ŧ L 者 自 11 カュ な そ 己  $\mathcal{O}$ ょ で カュ Š 近 لح で わ 及 ŋ L L 代 顛 b は か び 包 た  $\mathcal{O}$ 落 ず な なく 他 括 自 L 者 11 的 郎 我 て 或 な な に  $\mathcal{O}$ 0 V  $\mathcal{O}$ 行 自 悲 た 懸 は カン 論 己 近 そ 命 理 ざ 解 4 代  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 脱 を  $\mathcal{O}$ 暗 を 典 誠 知 誠 得  $\mathcal{O}$ 型 実 性 実 理 な 行 L を 11 程 て 根  $\mathcal{O}$ と 0 1 柢 故 塵 11 る 立 カュ 即 労 5 لح j 場 6

加 藤 郎 漱 石 لح 禅 10

- 63 -

天 を 禅 L な 論 去 を な 褝 て  $\mathcal{O}$ る 加 積 私 書 <u>\f</u> 語 藤 場 4  $\mathcal{O}$ を 0 ょ 氏 褝 重 لح ŧ か て n は ね に 11 と 6 11 包 関 に 明 て う る 行 括 11 わ 言 考 5 人 的 < 察 葉 る か 加 な す 必 記 カコ に 藤 0) 要 述 5 る し 氏 論 が を 褝 必 て が 郎 理 あ 褝 要 を 11 同  $\mathcal{O}$ る が 書 解 る 書 希 暗 釈 あ ょ  $\mathcal{O}$ で 求 Ш る。 う 文 す に 理 るこ に 章 0 そ لح  $\mathcal{O}$ لح 漱 近 0 論 た を 代 き を 石 理  $\Diamond$ 見  $\mathcal{O}$ あ B  $\mathcal{O}$ に 褝 知 わ  $\otimes$ 暗 £ 褝 せ 認 性 7 作 識  $\mathcal{O}$ 理 意 لح  $\mathcal{O}$ 1 品 度 内 義 は < Þ 実 評 則 作 لح 異

背 لح 的 7 創 直 景 が 造 さ な 0 さ に 求れ 意 れ あ 8 個 る る 5 再 を 褝 西 n 編 を 持  $\mathcal{O}$ 洋 る さ 超 0 意 思 n え  $\mathcal{O}$ 想 義 9 る る で を  $\mathcal{O}$ ま ポ あ 明 文 ŋ لح ス る 脈 6 き  $\vdash$ な か 漱  $\mathcal{O}$ 近 5 ま に 石 代 ば た す が そ 的 そ る 褝  $\mathcal{O}$ な 前 れ 必 再 £ 沂 に 要 上 編  $\mathcal{O}$ 代 ょ が 接  $\mathcal{O}$ لح 的 ŋ あ 文 近 L な 新 す 脈 て た る を 自 想 に لح 覚 捉 が 発 き、 え 的 見 直 に さ す 捉 近 れ え 代

そ 来 す  $\mathcal{O}$ 挿 に き 感 た で を 郎 向 塵 な に 接 話 L お あ た 比 る  $\mathcal{O}$ 近 て き 労 篇 影 と 批 さ た 指 背 を 11 Ł る  $\mathcal{O}$ て、 考 考 合 響 関 を 判  $\Diamond$ で 後 希 せ 長 لح 求 背 察 篇 を 的 は に え 0 わ 示 て 野 を 景 す て 与 W で 6 す カコ 漱 漱 な V <\_ 。 漱 漱 を き 語 ず Ł ま る 禅 え ら 言 石 石 郎 た ず 石 ジ 石 西 0 5 葉  $\mathcal{O}$ 0 て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ が 洋 そ 公 褝 と 禅 第 エ  $\mathcal{O}$ 公 れ 漱 を 褝 11 禅 褝 三 見 1 講 思 し 案 案 る 門 さ は に 認 る 石 門 的 1  $\Delta$ 演 想 て 0 法 ħ が ľ 関 章 識 だ لح 世 لح 法 ズ 最 父 香 褝  $\Diamond$ に 意 7 わ 語 0) 中 界 語 لح  $\mathcal{O}$ 後 母 義 厳 を 集 き  $\mathcal{O}$ る お 転 味 た Н 関 に 擊 た。 文 か 未 眀 11 悟 全 換 لح  $\mathcal{O}$ 褝 わ 第 生 体 脈 て 5 竹 5 が ŋ • 点 形 希 ベ は ŋ  $\mathcal{O}$ 五. 以 本 を  $\overline{\phantom{a}}$ カ 漱 に に لح 式 求 意 か 章 ル 行 前  $\mathcal{O}$ に 章 対 わ 漱 石 考  $\neg$ を そ 義 5 ク に 挿 す た 褝 人  $\mathcal{O}$ で L 石  $\mathcal{O}$ え 問 を ソ 検 お  $\Box$ に 話 禅 7 る  $\mathcal{O}$ 門  $\mathcal{O}$ は る 間 5 題 明 討 を、 書 屝 褝 ン 0 対 法 V に 違 題 れ に 5 す  $\mathcal{O}$ 7 す そ 関 そ 和 き  $\mathcal{O}$ 語 認 意 る す か る 思 裏 香 る 漱  $\mathcal{O}$ す  $\mathcal{O}$ 感 込 集 識 識 る に 想 漱 厳 る ょ を 4 に を 上 石 カコ 行 す が 撃 0 が で 記 う が 漱  $\mathcal{O}$ 明 石 5 人 る。 第 述 な 否  $\mathcal{O}$ 竹  $\mathcal{O}$ 参 0 石 文 6 あ 行 捉 兀 に 章 る 褝 帰 褝 違 て 定 が カュ は 塵 章 大 的 書 に 結 以 和 0 11

# 注 記

- $\widehat{\underline{1}}$ 大 正 九 年 十 月 五. 日 和 汁 哲 郎 宛
- $\widehat{\underline{2}}$ 大 正 五. 九 六 年 + 月 十 六 日 沢 敬 道 宛 書

簡

三 好 行 雄 編  $\neg$ 夏 目 漱 石 事 典 学 灯 社 平富 成 兀 九 九

3

年

兀

月

- 4 松 月 出 謙 隆 214 🖳 頁 漱 石 先 生 岩 波 書 店 昭 和 九 九 兀 年
- 5 濃 社 漱 教 小 育 宮 石 平 豊 会 作 木 成 品 +曾 論  $\neg$ 三 集 部 夏 会 目 成 漱 九 昭 別 石 和 九 巻 + 特 に 漱 年 そ 石 九 +  $\mathcal{O}$ 関 明 係 五. 月 暗 記 を 事 年 に 中 及 七 ょ 心 月 び る 文 L 引 献 て 用  $\sqsubseteq$ は 信 桜
- 6 理 想 昭 和 六 +九 八 五. 年
- 7 ょ 晚 地 例 第 頁 う を え 年 لح 六 志  $\bigcirc$ ば に と す 版 \_ 第 は 向 あ る 六) る 人 学 272 私」 生 亚 年 習 頁) 態 成 社 ヘエ 度 月  $\mathcal{O}$ と + $\neg$ ゴ あ 六 に 新 は 訂 則  $\mathcal{O}$ 総 天 超 京  $\bigcirc$ 合 去 克 晩 都 玉 私 を 四 書 年 語 天に 房 は  $\mathcal{O}$ 便  $\mathcal{O}$ 年 心 覧 則  $\neg$ 則 境 る 新 天 月 訂 去 亚 達 لح 玉 私 成 に に 語 は て 求 + 総 0
- 8 版 社 252 会 思 昭 和 想 研 + 究 六 会 編  $\neg$ 九 わ 五. が 師 を 年 語 兀 る 月 社 会 思 想 研 究 会 出
- 9 末 木 ラ 文 美 ン ス 士 ビ  $\neg$ 沂 ユ 1 代 日 平 本 成  $\mathcal{O}$ 思 六 想 再  $\bigcirc$ 考  $\bigcirc$  $\prod$ 四 沂 年 代 六 日 月 本 لح 11 仏

十月、13頁(10)加藤二『漱石と禅』翰林書房、平成十一(一九九九)年頁

# 漱 石 褝 識 لح 禅 門 語

## は じ め に

 $\mathcal{O}$ ょ う 教 に え お 6 1 れ て、 る 参 褝 に 来 た 宗 助 は 世 話 役  $\mathcal{O}$ 義 堂 に 次

た な 止 期 < L で 0 < と、 す て ŋ ŋ L べ L で て 程 書 た に 見 碧 激 き て 修 物 励 け な 所 見 そ 当 巌 業 を 只 刺 れ 0 に たれ が 抔  $\mathcal{O}$ 読 L た た 戟 ば 頓 ŋ が 付 を 妨 む ŋ 方 坐 読 0 挫 き に  $\mathcal{O}$ 方 す が が悟 る ま 4 な 褝 は 便 る 関 可 出 を 時 せ ま る 極 待 す ŧ 策 来 ŧ 悪 い  $\mathcal{O}$ W が 進 で ま 5 妨 う  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ لح す。 受 に 御 て が せ そ は 自 う。 け な 無座 読 宜 \ \ れ 分 大 S 7 0 を 11 11 L  $\mathcal{O}$ う 変 見 て ま 丈 様 Ł 好 様 程 加 す 御 毒 た な で L 度 座 強 に ŋ 自 減 す 以 有 道 な に 1 人 11 分 上 揣 其 ま  $\mathcal{O}$ て り 充 以 私 体 0 摩 に 物 勇 何 ま 分 上 共 せ 所 لح う 気 カゝ す 穾  $\mathcal{O}$ す で 云 に は を 御 か込 境 る ŧ S な と、 無 そ 鼓 読 界 癖 5  $\lambda$ る れ を 舞 で が 斯 関 4 と、 係 だ L に 御 行 予 0 う 読

丸

書

的 は妨 に 褝 に ょ な ょ 褝 書 る < な 0) に る 知 悟 知 L 5 4 ŋ ば 解 れ  $\mathcal{O}$ 0) L る は イ ば が ょ 無 メ 見 う 批 V ] 5 に \_ 判 ジ れ さ 褝 لح る n で 道 合 る。 ŧ は 其 致  $\mathcal{O}$ 物 す で 義 不 لح る あ 堂 <u>\f</u> は £ り が 文 無 0) 字 述 関 で 多 べ ŧ 係 < る が あ  $\mathcal{O}$ 主 る。 لح 読 人 張 11 が 書 さ 持 0 程 れ た 修 0 見 業 書 解 般  $\mathcal{O}$ 

で 法  $\neg$ 言 碧 語 葉 L 巌 B が カン 集 そ 生 n 4 \_\_ と 6 方 出 ŧ さ で、 を 呼 解 れ ば 説 禅 て れ に L 11 る た る は 膨 £ 0) そ  $\mathcal{O}$ 義 大 ょ L な 堂 う て さ 書 £ な 5 物 読 公 り に が 案 む は 存 に 在 初 碧 関 学 巌 す 者 る ま 向 褝 け た 僧 碧  $\mathcal{O}$ 禅  $\mathcal{O}$ て Ł 独 語 録  $\mathcal{O}$ 自 る 録 ま  $\mathcal{O}$ 

ば 体間た 旧 ろ 失 験 違 体 蔵 様 自 う 敗 が 験 書 々 分 VI なだ な 以 لح モ に L デ け 少 書 ま 上 VI  $\mathcal{O}$ ル 0 で な 物 た て 境 に は < が 語 門 漱 界 な な な あ る り、 < 0 11 石 漱 は 書 褝 は Ł 石 た 禅、 明 自 لح 物 書 に さ 治 そ が 6 カコ と 5 残 を れ れ 0 +自 さ 禅 5 る 7 七 が、 5 書 れ を は 悟 年 0 て 知 物 末 そ 禅 5  $\mathcal{O}$ 11 自 に か 中  $\mathcal{O}$ 認 る な 分 0 に 自 5 識 11  $\mathcal{O}$ V لح  $\mathcal{O}$ を は 5 程 7 門 漱 構 書 か  $\mathcal{O}$ 度 語 外 か 石 築 参 5 以 b 漢 れ 褝 自 L 上 れ 7 を 身 た 漱 0 こと  $\mathcal{O}$ で V L 石 所 11 参 あ た ば ŧ は で 褝 ま

+

八

書 上 物 は 11 石 重 لح 視 で 7 か あ 0 7 述 る 0 6 る 4 す 語 べ 書 き 漱  $\mathcal{O}$ が な り 義 る る あ 物 石 知 道 5 出 禅 が わ لح ず  $\mathcal{O}$ 識 褝  $\mathcal{O}$ す に せ 門 際  $\mathcal{O}$ 作 を 言 様 お 虚 て 関 葉 0 11 品 Ł لح Þ 子 11 わ Þ لح 直 は な 前 て 著 り 評 に 接 人 П 作 を 論 禅 的 般 が 上 悟  $\overline{\phantom{a}}$ 業 鶏 探 内 に 的 な  $\mathcal{O}$ n は る で 9 関 な 自 ょ を 頭 欠 う 褝 示 V わ 5 体 カコ さ て n  $\mathcal{O}$ 験 を な 序 す が れ  $\mathcal{O}$ イ ŧ 語 認 薄 門 た る メ  $\mathcal{O}$ 2 لح 褝 識 Ì 外 旬 11 上 が B 認 を ジ 漢 人 11 لح で 識 Š 認 形 は لح が き 0 識 を 成 多 合 لح な な < 明 言  $\mathcal{O}$ L 致 L 面 11 て す 者 葉 あ 5 0 0 が n か 場 る 0 あ が は い 方 に 褝 体 る 合 ŧ 語 n を す  $\mathcal{O}$ 0 に 験 褝 書 る ょ で 7 漱 0

だ ら け た 褝 ょ を 8 漱 う 主 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 本 で は な 章 漱 ょ 石 知 材 行 識 で あ う  $\mathcal{O}$ 考 لح 石 人 日 読 L る  $\mathcal{O}$ に を え は 本 褝 書 幅 に て 多 に に 広 認 ょ < 校 お 識 0 < 漱 る 0 補 け لح V 検 を 石 書 ŧ 点 る 11 7 討 探  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ き 註 代 う 弟 す 褝 る カュ 込 表 証 子 る 上 認 を 褝 4 的  $\mathcal{O}$ 言 で 識 検 門 Þ な と が 小 有 討 法 線 褝 宮 あ が 益 特 す 語 僧 引 豊 ŋ で な に る 集 0 き 隆 資 き 悟 語 が そ  $\mathcal{O}$ 料 る n 録 残 以 褝  $\mathcal{O}$ 書  $\mathcal{O}$ で 熱 が さ 門 下 あ 小 認 物 掲 心 れ 宮 法 る で 識 に 載 禅 て 語 لح  $\mathcal{O}$ が あ 読 さ 門 るこ 考 11 証 集 褝 れ ん 法 る え 言 書 で 7 語 と 6 を を  $\mathcal{O}$ あ お 集 と 裏 ど n 選 た ŋ か 付 ま る W  $\mathcal{O}$ 

Ł 続 光 褝 編 融 門 館 法 鎌 は カコ 語 森 5 倉 集 時 大 代 狂 正 は 編 カュ 編 5 で 正 江 明 は 編 戸 治 Ш 時  $\equiv$  $\blacksquare$ + 代 孝 続 ま 九 道 年 編 で 編 十 0) で 日 明 月 巻 本 治 か に に 初 5 お +け 版 な 八 が n る 年 臨 発 + تلح 行 済 宗 さ 月 ち 6 n

> ٤, が 出 ょ に 尋 第 月 た る を 曹 7 う 過 ね 兀 五. 書 孤 版 11 集 洞 <u>\( \frac{1}{2} \)</u> に 版 物 ŧ ぎ れ 日 る と  $\emptyset$ 宗 لح L 活 た ば で 発 0 で た た 行 発 禅 あ ま  $\mathcal{O}$ 時 あ Ł 黄 t ŧ な が 恐 る た 関 期 る  $\mathcal{O}$ 檗  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 時 思 連 に で は 6 第 漱 ے で 期 想 < が 東 初 لح あ 五. 石 な は 界 で 文 推 京 ŋ  $\mathcal{O}$ 版 カ 版 旧 11 な あ  $\mathcal{O}$ 芸 時 で 蔵 測  $\mathcal{O}$ が Š Ď か 流 期 さ 学 明 褝 0 に 簡 う あ 書 2 た 於 治 行 は れ 生 便  $\mathcal{O}$ n  $\mathcal{O}$ た لح け 加  $\mathcal{O}$ に る  $\widehat{\ }$ t +さ る 藤 間  $\exists$ 大  $\mathcal{O}$ 自 続 لح 咄 宗 れ 自 漱 で 八 本 は 然 を 編 れ た 然 堂 褝 石  $\mathcal{O}$ 派 主 示 5 時 主 が が Ł 褝 九  $\mathcal{O}$ 義 す が 正 は 期 そ 年 思 義 主 と 同 Ł に 最 編 لح  $\mathcal{O}$ 種 で 想 要 褝 年  $\mathcal{O}$ 漱 宗 あ 近 ょ  $\mathcal{O}$ あ を な で 思 六 が 石 た 教 う 流 る 禅 知 あ 月 明  $\mathcal{O}$ 想 な る に 行 僧 る る 三 治 禅 於 界 中 لح لح 0 仏 لح け 0 日 兀 で な を 仮 述 発 十 考 教 る 流 0 参 0 が 名 ベ 関 書 禅 行 行 年 褝 7 え で 法 る لح 心  $\mathcal{O}$ を  $\mathcal{O}$

禅が と 注 三 者 言 さ  $\mathcal{O}$ 斤  $\vdash$ 要 0 多 れ 参 い 目 及 漱 禅 さ 悉 ア ス が 悟 V 7 0 石 た  $\mathcal{O}$ n ク 丰 ル あ と に 褝 珍 ラ = た 失 て ŋ  $\neg$ メ 褝 n 敗  $\mathcal{O}$ き 分 非 忲 そ لح た 漢 常 門 5 公 ル L 0 7  $\mathcal{O}$ ま あ 案 日 法 前 た IJ 書 を 囈 疑 語 違 わ 特 提 和 き 本 せ に 語 致 深 集 لح 込 文 珍 最 方 丰 感 7 1 7 に 褝 分 後 見 ナ 性 لح を て 持 カュ 付  $\mathcal{O}$ 漢  $\mathcal{O}$ ル 質  $\mathcal{O}$ 屝 彐 = 関 0 5 さ 悟 1 に 囈 隻 IJ 従 生 て れ ŋ わ 書 外 ツ ŋ 従 た に 語 手 レ 11 か 書 = テ タ に 対 た 来 れ 隻 き لح 声 致 ル 言 す 0 た لح る す 丰 者 込 VI わ 否 方 が れ 4 疑 る 柏 = て 定 ア t 念 点 ナ 声 読 る 樹 は 的 ラ 4 ょ 批 を す は 子 な ネ لح う 判 柏 で 示 書 に 的 す 漱 麻 珍 樹 に れ き 悟 石 子 る 漱 な ŧ 重 多 込 斤 < と 石 t  $\mathcal{O}$ 自 レ 4 ىل 身 麻 ヌ  $\mathcal{O}$ が  $\mathcal{O}$ が

5  $\mathcal{O}$ t れ 1 に る メ 1 そ ジ 0 を ょ 形 う 成 な す 違 る 和 上 咸 で t 大 含 き  $\Diamond$ な 役  $\neg$ 禅 割 門 を 法 果 語 た L 集 た  $\mathcal{O}$ لح 記 述 が が 考 褝 え

るこ  $\mathcal{O}$ 義 書 る を る 物 明 様 を 語 た 考 が لح 6 句 と だ Þ 伝 を B は な L 察 か す え 描 難 書 通 に るこ 写 る L す L 物 後 を で で 伝 て る V لح 統 対 繰 見 が 漱 と لح 比 本 ŋ る 目 密 ょ さ 章 返 石 ょ 的 接 0) ŋ せ で L う 説 で な 褝 ŧ 7 は に あ 関 認 11 か 禅 る < 褝 わ 識 漱 n で 門 ŋ P 石 る が は 作 法 が 作 た 共  $\sum_{}$ 語  $\Diamond$ あ 品 品 通 る 内  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 集 直 す 文 作 接  $\mathcal{O}$ る لح 脈 業 褝 的 認 を に を は 漱 な 識 関 示 関 禅 直 石 が 書 接 わ  $\mathcal{O}$ 係 多 L る 上 的 褝 を < そ 描 対 な に 断  $\mathcal{O}$ 写  $\mathcal{O}$ 比 引 関 定 褝 意 が す 用 す す 僧

# 夢 十 夜 第 夜」 の 坐 禅 描 写 ح 禅 門 法 語 集

と  $\mathcal{O}$ 持 見 漱 同 描 解 石 0 漱 様 写 と 0 7 石 参 に 0 11 て 禅 0 た 褝 体 11 認 例 験 لح て 識 夜 え لح に を  $\neg$ ば 0 お 褝 示  $\mathcal{O}$ 次 関 す 門 0) わ て た 第 法 ょ ŋ 80 語 う か 体 に 夜 集 に 6 験 あ と 論  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ま る لح じ 坐 記 ず 5 述 ŧ 褝 لح れ を 夢 に  $\mathcal{O}$ 褝 7 す +き 対 書 る 夜 た 比 が 侍 を 重 0 そ 行 第 要 話 う。 0 な Ł 夜 ょ 意 ま う た 味 門 7 な を

れ 踏 は W  $\mathcal{O}$ で +無 < 七 B 歳 を l 0 が 悟 時 る ろ 侍 う 鎌 لح 0 倉 姿 円 て、 は 覚 寺 漱 あ 塔 せ 石 頭 ŋ 自 帰 身 源 0 t 院 姿 が に で き、 参 ŧ 褝 あ 地 に る 4 赴 太 き を

> う。 青 公 釈 案 年 宗 漱  $\mathcal{O}$ 演 前 カン 石 5 に  $\mathcal{O}$ 出 た 体 さ じ 験 ろ れ に た ぎ 裏 打 父 ち ぐ **⊕**: さ わ 未 れ W 生 た 以 ŧ لح 前  $\mathcal{O}$ B 本 に b 来 間 n  $\mathcal{O}$ 違 7 面 11 帰 目 な 0 7 لح 11 だ 来 11 ろ た う

(大竹雅則「『夢十夜』── 生のかなしみ ──」(☞)

5 す 状 語 を n う 漱 5 て 9 態 る 頭 れ  $\mathcal{O}$ 集 7 石 れ 漱 機 に た る は に 11 0 石 لح に 掲 部 0 る L 参 は さ لح 0 لح 分 1 げ か 禅 参 第 に 考 体 褝  $\mathcal{O}$ 11 る L れ て 同 関 7 え 験  $\mathcal{O}$ 夜 作  $\overline{\phantom{a}}$ ľ 連 Ł 無 る が 際 \_ 褝 品 番 笹 門 活 に  $\mathcal{O}$ に と 門 内 号 で 0 淵 関 f か 法  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\neg$ 1 友 誤  $\mathcal{O}$ さ 父 禅 語 公 傍 7 坐れ 母:  $\mathcal{O}$ ŋ 門 集 案 線 言 氏 で 禅 未 影 7 法 を 及 が 響 あ  $\mathcal{O}$ 1 生 趙 語  $\mathcal{O}$ 付 鈴 る。 L 描 る 以 が 州 集 記 7 指 写 木 前 無 述 と た 正 が 11 摘 す 本 字 لح は に ŧ る さ で 漱 来 お  $\mathcal{O}$ 対 11 に n 石 否 面 لح で V 比 驢 公  $\mathcal{O}$ 定 目 は あ て を 本 鞍 案 体 で 異 る 行 章 橋 ま 験 き  $\mathcal{O}$ な 12 共 5 で た 趙  $\mathcal{O}$ な 公 る 通 は  $\mathcal{O}$ 州 4 案 ŧ で 性 次 褝 無 で を 坐 0 に 褝 腹 門 が 字 作 あ 授  $\mathcal{O}$ 立 法 見  $\mathcal{O}$ 5 ろ 示 け

 $\widehat{\stackrel{\frown}{1}}$ 

[第二夜]

Α 全  $\otimes$ 伽 短 1 を 刀 歯 を 組 噛 鞘 W 4 だ を 収 L 8 た。 て 艄 右 州 脇  $\exists$ 引 < 無 き لح 0 け 無 7 と 置 は V 何 て、 だ そ 糞 n 坊 か 主

斞. 歯 を 強 咬 4 締 8 た 0 で 鼻 か 5 熱 息 が 荒 < 出

(1)

る 0 米 噛

に 聞 線 念 L 鑵 懸 ľ な え 頭 香 物 < た る。 が  $\mathcal{O}$ が 癖 7 あ 見 無 は 怪 ŋ え だ な る か 云 6 لح W 行 見 W Š 灯 坊 悟 え  $\mathcal{O}$ が 主 る 12 見 だ。 矢 7 え B 鰐 0 る 張 ど る 口 う n を 畳 L 線 無 開 が て 香 1 見 ŧ 7  $\mathcal{O}$ え 香 無 あ 嘲 る だ  $\mathcal{O}$ 笑 が 薬 た 舌 鑵 和 た 0 を 声 尚 何 根 首 ま  $\mathcal{O}$ 

が 釣 0 7 痛 11 眼 は 普 通 0 倍 ŧ 大 き 開 け て С を 我 咬 上 に 合

鈴 木 正 三 驢 鞍 橋 下 続 564 5 565 頁))

6

ず

起 起 Š 住

さ

ず

坊

非 禅

す  $\mathcal{O}$ 

> 3 ŧ

兎

角

大

念

起

6

す

L

7

諸

念 其

休 沈 る ま

む

か

さ 坐

ず 褝 る

坐

筋

作

て

見

た

ŋ

中

略 早 を

W 也

た

念

は 也 せ は

3

そ

 $\mathcal{O}$ 

起

す 扨 ゑ

ま 7

1

と

云

Š 諸 睨

念 方 着

が

Þ

起

念 云

あ

中

略

又 き

今 時

 $\mathcal{O}$ 

念 7

起 る

す 機

لح て

眼

す

0

と

け

居

成

常 歯

さ

ŧ

見

え

ま

11

が

我

لح

機

を

て

見

れ

ば

1

奥

а 褝 励 内 見 門 カコ 若 如 4 外 聞 L 法 け 進 中 覚 人 語 間 知 精 ま 集 ん  $\mathcal{O}$ に 神 W 在 性 す を ŋ 憤 る 何 B لح 起 れ き L  $\mathcal{O}$ 是 所 非 (2) (3) に 目 妄 か 想 を 在 張  $\mathcal{O}$ 見 る、 り 競 と S ۷ 1 是 起 け 牙 れ ず る 関 青 は を 黄 置 咬 赤 < 定 白 潮 ま L な じ  $\mathcal{O}$ ŋ ぞと 湧 即 Þ < 今

白 隠 褝 師 白 隠 法 語 正 574 頁

b

此 た 想 結 時 ŋ 0 跏 競 趺 此 身 0 L 坐 に  $\mathcal{O}$ て 湧 L 於 苦 気 て て 力 4 凝 精 と を 悩 然 尽 神 む と を < 八 ے ح L 震 L 島 て て、  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 犢 坐 て、 戦 牛 す 励 S ħ 0 妄 4  $\mathcal{O}$ 病 は 念と 進 に む لح う し 相 と  $\Diamond$ は S き、 < 5 戦 九 カ Š 覚 玉 如 あ え  $\mathcal{O}$ n す 中 乱 て 略 に 2 眼 う 似 妄

白 隠 褝 師 白 隠 法 語 正 575 ( 576 頁))

け

落 見

W 張

す

7

目

蓋

は

な

れ

歯

を

1

は

ŋ

て

歯

牙

砕

 $\frac{2}{2}$ 

第二 夜

В 惜 思 れ < 汗 擲 自 بنح な < Š が 0 分 た。 Ł な لح 0 出 は る。 す 痛 た。 る V さう ぐ い き 0 **(6)** 痛 膝 涙 な 背 苦 が L が ŋ 中 折 な L て ぼ 拳 が 11 れ 奥 る ろ 骨 た 棒 歯 を  $\mathcal{O}$ 腹 無 0 を 様 占 て が は ぎ 出  $\otimes$ تلح に 立 中 ŋ つ。 て う な Þ ぎ 自 出 あ 0 ŋ た。 分 無 て る ىل  $\mathcal{O}$ 来 ŧ 念 噛 頭 膝 に な  $\mathcal{O}$ W な V か  $\mathcal{O}$ を だ 接 لح V る Þ 出 思 目 (4) 非 T 0 が 両 لح 腋 た 急 常 来 云 る に に カコ Š لح 痛 け 5 程 П

褝 門 法 語 集

d 動 を な 老 中 尋 り 夫 ね لح ŧ に 7 相 若 は 死 心 か 向 坐 得 ŋ す に L 動 入 時 る 中 仮 事 初 を 工 を  $\mathcal{O}$ 嫌 夫 得 塵 趣 S ず 事 静 向 に 処 悪 挙 ŧ を 措 胸 好 驚 塞 心 W 悲 ŋ て 源 多 湛 < 心 常 寂 火 に  $\mathcal{O}$ 心 逆 陰 処 上 身 僻 を 鎮 L  $\mathcal{O}$ 仏 処 道

禅 法

な

様 لح

な 焦

残

刻 け

極

ま ど

る

状

態

で 処

あ

0

る

れ

ŧ

何

ŧ

面

塞

0

で

出

 $\Box$ 

が う 体 切 ざ 帯 に り Š 怯 弱 常 に L 悲 7 歎 0) 4 両 心 多 腋 < 常 に 学 汗 道 を 得 生 力 じ 0 覚 双 え は 眼 毛 断 え 頭 ず Ł 涙 侍 5 を

g

人

あ

n

7

迹

不

到

0)

処

に

到

0 湊

て、

下

無 に

底 地

0

断

8

ŋ

脚

底

は

壁

<u>寸</u>

苔

滑

カゝ を

に

L

て、

泊

す

る

な

り 牙 咬 白 み、 隠 褝 拳 師 を 握 遠 ŋ 羅 梁 天 釜 骨 を 竪 正 起 582 ( て 坐 583 頁)) す れ

е

眼

を

瞠

ば

万

般

 $\mathcal{O}$ 

邪

境

頭

を

競

つて

生

撤 す み 進 に

せ

7

七

支

八

離

骨

ま

た

無

け

ん。

学 然

道 と

Ł

ま て

然

ŋ を

が

0 纔

て、

且 頼

5 む

<

懸 は 退

絲

0)

命

を に

続 薜

<

忽 捉

L 右

手

放 に む 臨

こと

を

得

ず

くこと

得

只

た

個

 $\mathcal{O}$ 

あ

る

 $\mathcal{O}$ 

か

に

処

左

手

蘿 ず

を

手

蔓

葛

\_

則

 $\mathcal{O}$ ば

話

をとつ

に

ば

死

意

L

て、

蕩

々

虚 頭

索

万 て

 $\mathcal{O}$ 々

崖

畔 参

に 窮

る

如 必

<

0 消 た 両 に 死

着

白 隠 褝 師 遠 羅 天 釜  $\widehat{\mathbb{E}}$ 598 頁

と 自 ŧ ۷ 6 謂 に に 廃 お 6 せ V < ふ W て 猛 と 1 牙 < す 0 関 精 を 彩 中 を着 咬 略 定 け、 し、 4 両 重 腋 て 双 常 眼 に 口 晴 汗 捨 を を 命 瞪 生じ L 開 去ら L (6) W 寝 両 ځ 眼 食

> き 空

な

+ 々

分

間

時

Þ

熱 在 せ

悶

L が

て

忽 手 し

然 脚

て <

話

頭

に

和

L

て 去

心 死

共 隠

に

失

す

白 身

禅

師 打 胸 仭 単 枯

遠

羅

天

釜

続

集

正

663

5

664

頁))

f

白 隠 頁))

禅 師 夜 船 閑 話 正 697 涙

帯

4

第二 夜

D 違 0 て 棚 其 無 0) Ł は 有 内 5 に 0 て 頭 0 と 無 が 変に ŧ 1 現 様 な 前 な 0 L た。 無く な V 行 て有 灯 ŧ る 蕪 様 村 に 0) 見 画 え Ł た。 畳

C

لح

思

に

を

巨

巖

上

に

打

け

7

7

骨

ŧ

肉

ŧ

滅

茶

Þ

Þ

に

て

S

た

な 0)

る。

れ 1

で

ŧ 仕

L

凝と

0

て

る

た

(8)

堪

た

V

な

0

胸 我 舞 身

に 慢

盛

れ て

忍

 $\lambda$ 坐

で

る

た。

其

切

な

1

Ł が

0

が

身 程

0) 1 そ 摧

筋 Ł

肉

を

下

カコ

6

持

上

げ

て

毛

穴

か

5

吹 丸

き

出

P

第二

夜」

 $\stackrel{\frown}{\stackrel{>}{\stackrel{>}{\sim}}}$ 

禅 門 法 語 集

h 声 ŋ 断 心 て な に S 聞 目 < う 心 候 か 12 に لح Š 物 は カュ き を け ŧ 見 لح 候 お る は  $\mathcal{O}$ か 聞 لح づ ŋ め き は か に こと ŧ 5 5 付 御 S て に て、 悟 心 は 執 は あ 着 見 る 何 申 せ る べ  $\mathcal{O}$ す ず 物 念 L ŧ 鼻 執 道 な Ł 着 き に 心 な やう 香 せ う を ず す 候 き に カ に 耳 ょ 油 た

に 念 さ ŧ を て 1 仏 ろ ま 15 な は 念 執 Ŋ ず と 心 せ うこ ふ ず か Ł カコ < 舌 信 す 12 す 念 味 る わ を Š が か لح 肝 心 カン ŧ 要 ŧ ず に لح 味 て ょ 念 候 ŋ お 執 め 着 る せ L な ず き Ł 法 そ 心 界  $\mathcal{O}$ に

> 7 V 駄

る

ŧ

な

لح

る

夢 窓 国 師 + 三 問 答 正 94 頁

る 忍 لح لح 1 が 0 時 忽 と に ŧ 様 描 ジ 然 て そ 摧 共 写 多 な は  $\mathcal{O}$ W 11 が 文 う と う に で ŋ 人 11 通 表 B 悟 < В 熱 坐 跡 す ŋ 脈 L Þ 7 現 0  $\mathcal{O}$ あ 4 悶 褝 て る 眼 を に た な 骨 が 未 0 仕 が 1 部 両 到 求 L る 異 に て 4 7 分 舞 繰 は t B て お 手  $\mathcal{O}$  $\otimes$ で 楽 普 は な C  $\mathcal{O}$ n ま С ま け を 処 る 対 て に が る た 返 诵 た 8 涙 放 に 上 た る < さ 必 応 あ 残 が な  $\mathcal{O}$ g が 進 撤 到 で ず 関 ŋ な る ħ 倍 b 8 悟 は 堪 む せ 0 ぼ 0) L 係 る た 13 7 ŧ な ろ 七 ば 7 Ł ろ 状 ŧ 大 を V 1 VI うと と 支 そ が 退 態 坐 見 き と る だ C 11 下 第 七 八 0) に た < 褝 る < 1 ろ Š 7 L 離 支 無 0 後 ŧ 出 を 11 う と 開 う 描 八 底 枯 夜 て لح で 11  $\mathcal{O}$ 程 文 る に 組 け 写 離  $\mathcal{O}$ لح 骨 き て 切 が W 描 脈 加 7 لح あ ま 枯 崖  $\mathcal{O}$ な 1  $\overline{\phantom{a}}$ で で 写 な で え、 Þ で 対 せ 骨 岸 В た う  $\overline{\phantom{a}}$ 11 あ  $\mathcal{O}$ き 11 0 لح あ 応 に ま 6 ŋ g 無 点 骨 る。 状 る り、 ŧ ŧ あ た す た 臨 7 け 況 は ŧ 両  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ わ る 無  $\otimes$ と Ł W 肉 腋 を を と 白 せ 歯 け り と 11 が 語 11 Ł か Α 隠 胸 は 7 噛 身 W う 人 滅 b 2 第 に 0 限  $\mathcal{O}$ み う 中 あ そ 描 汗 盛 体 た 茶 著 5 لح 1 微 写 地 夜 胸 れ Ł n  $\mathcal{O}$ Þ が な 作 g 略  $\overline{\phantom{a}}$ 寸 間 塵 錯 に 出 同 Α  $\mathcal{O}$ 7 メ  $\mathcal{O}$ 々 11

> を う V 指 踏 わ 摘 W け で は で < 誤 Ŋ B で L 11 が は な る 言 侍 ż が  $\mathcal{O}$ 姿 は 方 で 漱 漱 石 自 石 身  $\mathcal{O}$ 体  $\mathcal{O}$ 姿  $\mathcal{O}$ で 4 Ł で あ 描 る か لح n

を 禅 で 褝 け そ り て れ 隠 文 た L な 旧 司 学 É B て  $\mathcal{O}$ 5 思 て 法 4 蔵 様 共 持 構  $\mathcal{O}$ 坐 き 描 他 に 論 書 隠 通 悟 築 想 11 語 に 0 れ 予 褝 る。 さ 写 禅 点 た わ た に 1 に  $\mathcal{O}$ 界  $\neg$ が 白  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ に 著  $\mathcal{O}$ れ は  $\mathcal{O}$ ŧ は に 見 呼 遠 لح 漱 隠 関 多 て た 作 1 が  $\vdash$ 影 神 吸 羅 は メ 批 西 全 V 同 石 心 は 白 響 0 法 天 間 1 判 時 以 集 17 白 لح 遠 田 隠  $\mathcal{O}$ 実 を 0 釜 外 違 ジ に 隠 的 代 幾 あ 仏 ŧ 羅 全 験 与 ブ に 11 形 な 考  $\mathcal{O}$ 天 多 第 白 集 る 教  $\mathcal{O}$ え な 成 言 褝 郎 £ 隠 知 著 を À 釜 遠 19 た ム に 葉  $\mathcal{O}$ が 巻 識 超 作 b に 第 羅 綱 例 正 を 学 お 修 で 人 え で れ そ 天 島 宗) に 書 生 え  $\mathcal{O}$ て あ 11 養 あ る 0 巻 釜 梁 ば 中 لح き 時 て  $\mathcal{O}$ 近 る 0 影 続 Ш 残 定 さ 世  $\neg$ 代 に が イ た 響 集 16 ŧ 褝 予 に ŧ 0)  $\mathcal{O}$ れ 知 L メ 21 が が 白 門 が た ] 北 言 広 識 れ 江 見 あ 隠 法 漱 ジ 見 夜 及 が 明 5 条 人 戸 5 ŋ  $\mathcal{O}$ 第 語 船 書 لح 時 神 が ŋ 治 に 石 時 n 著  $\mathcal{O}$ 閑 で 物 で 集 敬  $\mathcal{O}$ 見 が 期 影 代 る  $\neg$ 作 は 共 夜 実 話 引 が か 5 あ に 中 と 漱 を 大 あ  $\mathcal{O}$ 有 6 験 用 お さ れ 石 0 期 き る 悟 関 に 最 読 は る た 与 L に 資 n 掲 た  $\widehat{18}$ て ŋ 係 お W え な が 初 料 活 る で に  $\mathcal{O}$ け に ょ 載 漱 た 躍

#### 三 悟 ŋ の 認 識 ع

お 0 z 白 5

石

中 る 授

対

لح る 確 人 に に 清 褝 な 水 道 孝 る 草 での \_ が は関 わ は 明 n ľ 暗 絶 が 85 対 わ に  $\mathcal{O}$ 夜 か 最 Þ る 22 晚 11 0 年 わ 絶 れ は 上  $\mathcal{O}$ ば 対 絶 述 作 即  $\neg$ 対 ベ 品 相 行 探 7 群 対 人 お  $\mathcal{O}$ 求 は 中 ŋ な 23  $\mathcal{O}$ で ど  $\mathcal{O}$ ち 展 0 塵  $\mathcal{O}$ 開 言 中 さ 葉 労 で で れ に ŧ 悟 で る 明 V) あ

似

た

心

境

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

語

6

る

すエん を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 建 兄 B 使 立 さ 5 す W 0 な た る は 自 神 儘  $\mathcal{O}$ 我 で を が を ŧ 嫌 主私ひ 仏 張 で が な す Ł 踏  $\mathcal{O}$ る 襲 何 で  $\mathcal{O}$ で す す カコ Ł 0 る と 自  $\mathcal{O}$ 此 分 11 で 建 以 Š す 立 と 外 لح 左 に そ 1 右 権 れ S で 威 ŧ で 言  $\mathcal{O}$ な は葉 あ = t る 11  $\mathcal{O}$ イ 兄 ŧ チ さ で  $\mathcal{O}$ 

は 自 己 だ」 لح 兄 さ W が 굸 V ま す 中 略

私 が 非ぢ神 難 B L 自 ま 分 す が 絶 兄 対 さ だ لح W は 主 動 張 き す ま る せ لح W 同 ľ 事 ぢ P な い か لح

僕 は 絶 対 だし کے 云 S ま す 中 略

入 空 0 0 L 兄  $\mathcal{O}$ て 11 さ で 親 紙 W す L のの < 上 絶 対 経  $\mathcal{O}$ 数 لح 験 字 す V る で S 事 はの なは  $\mathcal{O}$ 出 カン 来 つ哲 た学 る 判 の者 切 で  $\mathcal{O}$ す 頭 L た カ 心 自 5 理 分 割 的 で n 0 其 出 境 \$ さ  $\mathcal{O}$ 地れ だ にた

れ 自 然 兄た ば 天 さ に 地 此 W 境 は 分 ŧ 丈 万 地 純 が 有 に 粋 存 入 に ŧ 在 n 心 す 凡 る  $\mathcal{O}$ 7 べ 落 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ き 5 だ だ 対 付 لح 象 لح き لح 云 굸 を S 得 11 V た ま Š ま す t す 人  $\mathcal{O}$ は さ が Š 度 悉 求 L < 此  $\Diamond$ 7 な境 な 其 界 < 11 時 な に で t 0 入 0

> だ と L を さ 付 大 言 自 むい と 葉 聞 う け な 分 云 必 Š を 様 B < L は Š 要  $\mathcal{O}$ 換 لح て  $\mathcal{O}$ 5 有  $\mathcal{O}$ が で す 其 な な لح で る な す 7 絶い 又 す < 同 と 対 ŧ) 微 な 従 じ をの 細 11 る 0 意 其 経だ な لح L て 味 半 験 لح B ŧ 鐘 自 を 굸 ń 片 表 てひ 又 分  $\mathcal{O}$ な  $\mathcal{O}$ 苦 以 は 音 る ま 付 £ 外 す L は る す か  $\mathcal{O}$  $\otimes$ に と 即 だ な 人 物 5 が即 5 لح 11 を 自 5 れ 絶 굸 \$ る 置 対 分 俄 絶 11 0 掛 き 即 だ ま だ 然 対 لح لح だ لح 念 他 相 す を لح ŧ 対 11 L 굸 起 作 Š 云 何 に T S 5 0 な  $\mathcal{O}$ 半ひ と ま て る で 鐘 ま す な 4 す 11  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ す 名 苦 だ 音  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$

لح う 駄 目 11 L だ 根 0 て と た Ł 本 思 才 義 安 Š 心は 人 は は 死 兎 得  $\lambda$ に 5 で 角 れ ŧ な 生 き 僕 V は て 是 す Ł ベ 同 非 じ 共 カコ 事 生 5 に 死 < 現な を 超 代 5 越 を な 超 け な越れ け す ば ベ n ば L 何

兄 さ W は 殆  $\lambda$ تلح 歯 を 喰 S L ば る 勢 で 斯 う 言 明 ま L た

行

人

塵

労

兀

+

兀

0 限 地 そ ŧ 著 写 を t 作 で 記 0  $\mathcal{O}$ 求 で 述 7 仏 に あ で に ŧ  $\otimes$ 教 あ お は 2 ま 0 近 る 1 た ず 11 £ 生 7 先 لح 悟 に 注 表  $\mathcal{O}$ 7 検 で 死 次 現 目 を 第 に 討 あ  $\mathcal{O}$ L が す 散 ŋ 繰 開  $\equiv$ た ŋ 生 夜い る 見 う な 褝 返 死  $\mathcal{O}$ さ لح で 5 に L を は ħ 限 超 し ば カゝ 確 る 5 越 7 0 認 歯 離 章 た ŧ そ L を と た 題 脱 が 喰 ŧ  $\mathcal{O}$ 11 < لح で  $\mathcal{O}$ L S 中 で、 う 際 お で L あ 点 ば る は 絶  $\mathcal{O}$ ŋ で 常 る な 対 褝 塵 V  $\mathcal{O}$ あ 套 勢 門 が 安 る 旬 労 れ 法 6 が  $\mathcal{O}$ は لح ょ لح ぎ 白 語 褝 いく 関 集 書  $\mathcal{O}$ そ Š 隠 う 境 連 to な に

る

越 るこ 注 塵 に 目 せ لح す 労 さ 7 7 は る れ こ と 指 لح る る 夫 摘 を V 出 L で う て 言 道 と 塵 は お 葉 元 굸 < 労」 \$ 褝 Š 様 出 師 は を 家 Þ 出 な 永 直 す る 褝 平 に るこ と 書 仮 生 11 に 名 死 لح う 見 法 を を 1 6 語 離 メ 述 れ れ ベ る ジ た が 続 ŧ が 27 共 0 を 頁 通 生 で 出 死 あ る L を 7 n L 超 が る 11

唯 で う 我 隊 に 語 t 読 を 自 は か な 5 仮 ŧ え 経 分 自 は そ 5 む 11 ま だ ŧ 自 名 に た な て と L れ 分  $\mathcal{O}$ ŧ 7 我 強 法 自 連 頭 る に 丈 絶 لح 絶 لح 最 褝 を 語 あ 片 が 調 心 な 神 対 し 的 主 即 る そ 対 11 0) ŧ لح 是 る 序 存 は と 即 Š て 張 れ 付 注 な Ł 解 仏 心 自 在 が 正 す さ は 相 状 半 観 で か 目 さ 0) 是 す な 己 108 る れ 対 態 鐘 点 と し ŋ 仏 な る 凡 n だ 頁 Ł る 漱 لح 0) た か 0) لح V て る  $\mathcal{O}$ 褝 次 石 لح L 音 11 5 か 言 云 ŧ だ 0) 坊 自 と 7 再 0 が 11 を え  $\mathcal{O}$ と ふこ  $\mathcal{O}$ 忟 郎 僕 主 己 る。 う 説 聞 あ ょ 明 だし は 考 1 象 0 は  $\mathcal{O}$ が Š < る。 治 悟 明 悟  $\mathcal{O}$ ふ لح لح 言 さ 絶 心 書 な と لح 同 兀 ŋ さ لح ŋ 余 11 葉 を う ک 対 左 1 す 認 +  $\mathcal{O}$ 地 様 れ  $\sim$ で 従 Š 11 知 L だし そ た る لح 識 年 境 る が 右 0) 来 う t あ る て کے が 法 + لح 地 至 あ で 言 状 0 べ る 其 と 共 語 る る ŧ 葉 \_ が 西 し 態 が 時 لح 其 行 仏 11 لح 月  $\mathcal{O}$ 悉く ŧ は 通 な 洋 う  $\mathcal{O}$ 「ニ か 半 L に 至 認 程  $\mathcal{O}$ 1 的  $\neg$ 言 語 絶 自 \_ 抜 書 る 鐘 と 褝 で た 識 な で な لح 葉 ŧ 録 ŧ を  $\mathcal{O}$ 対 分 思 イ 近 隊 門 あ < あ 即 は チ ŧ 0 لح た 音 な る わ 1 代 褝 法 る  $\mathcal{O}$ う 工 か لح 絶 相 有 n 的 師 語 لح と は 0 とも る。 即 て、 言 0) 言 굸 虚 L 対 対 集 す 褝 え 子 て 5 葉 B 自 抜 る で S

> 考 に Ł 天 T 着 構 0 地 < 衣 ち る は が る 喫 لح ず 飯 Ł 穾 枚 さ 元 0 然 0 来 で 仕 主 لح 5 吾 出 舞 人 爆 靟 Ł 来 に 公 発 行 は たは た 何 L 様 る カン て だ な 自 我 な لح 自 虚 < 分 は 考 分 霊 لح 何 な が 皎 世 者 る 判 て 潔 界 ぞ 然 行 な لح لح 其 لح < 心の 考 処 ٤, 分 持 障 を  $\sim$ に 壁 無 ŧ な が 理 う る。 な て に 絶 < 煎 ぐ 体 そ な U 1 絶 れ 0 詰 命 て で 8

虚 子 著  $\neg$ 鶏 頭 \_ 序

「さう そこ 自 と 象 لح 何 す V Ł 虚 分 達 で る V う な 霊 と世 L す لح ふ 点 < 皎 て どま 絶 る と 透 Ł 潔 界 其 対 0) ŧ き あ な 時 と ること が 通  $\mathcal{O}$ わ 心 0)  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 悉く と つ せ 持 自 障 認 さ た心 て 壁 識 分 なく と れ な لح は が 境とい る は < 有 なく 近 な 行 と 11 霊 人 無 0 ŧ な ŧ ڪ て、 妙 う 理 無  $\mathcal{O}$ 0 で 0) 意味 に て天 で 11 唯 白 ぐ とも あ 自 < 天 で いく 地 る 分 け 地 あ と 片 が 丈 が る ŧ 言 0) が れ 考へる」ことで 万 と考 え 付 枚 存  $\mathcal{O}$ 有 で出 る。 か 在 な Ł えられ な す 来た 1 る Ł 0) て で 様 0) だ」、 0) は  $\widehat{\underline{26}}$ だ な 対

で 点 語 で き 録 て لح  $\mathcal{O}$ か 虚 門 な 語 굸 Š 子 法 集 11 0 語 \$ 著 集 た  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ だ 可 鶏 で L 能 が 頭 述 性 明 ここで が 確 序 5 な に 1 れ 何 で 述 を る わ  $\mathcal{O}$ ベ け さ لح 5 で 禅 す لح は  $\mathcal{O}$ 坊 れ な 主 て か 致 11 11  $\mathcal{O}$ す る 時 書 \$ 期 る  $\mathcal{O}$ 11 لح 0) 的 た は 明 法 そ 多 6 考 語 < 0) か え لح か に  $\mathcal{O}$ 7

で い ŧ て で 注 目 あ す る べ き 褝 は 門 法 先 語 に 集 見 た  $\mathcal{O}$ ょ 関 う 連 な 部 悟 分 ŋ を 挙 لح げ 11 7 た る 行 程 に 0

i

k

S

n

は

地 長 T لح 止 或 呈 な て 坐 は ろ 其 5 不 見 念 臥 期 W 解 لح 慮 是  $\mathcal{O}$ 邪 n 静 勇 解 即 な 心 に 5 識 謾 L る て 内 木 n 外 虚 労 に 此 打 Þ L 印 て、 霊  $\mathcal{O}$ 成 可 見 を Þ 解 片 لح 万 な L を  $\mathcal{O}$ 事 L 7 以 と て 片 亦 ろ' 無 لح 独 は 眼 朗 な 時  $\mathcal{O}$ 自  $\mathcal{O}$ る 褝 己 憤 ىل 師 本 動 志 < 12 分 用 起 向  $\mathcal{O}$ な 纔 て 田 る 0

な 空 茫 ŧ 見 主 き カコ 只 لح ŋ ŧ か る 更 此 Þ 名 لح 見 如 に 坐  $\mathcal{O}$ 此 断 L え 音 L لح て 0 ず た え ベ を 時 き る は は t 聞 此 断 又 処 此  $\mathcal{O}$ 相 是 < 孤 大 ŧ 中 え ħ 底  $\mathcal{O}$ ŧ に ざ 雲 な 心 に 尽 を 0) 疑 る 褝 L は き 茫 見 ŧ + 我 は 間 る 師 Š 方 々  $\mathcal{O}$ کے لح べ لح 是  $\mathcal{O}$ 7 何 1 き、 굸 な 光 L れ 虚 者 1 ょ る 明 底 空 S ぞ لح 晴 と き 蔵 此  $\mathcal{O}$ と き、 三 等 き <  $\mathcal{O}$ لح れ 深 中 き ŧ た 物 立 昧 L < る に 此 居  $\mathcal{O}$ ŧ 是 空に は 是 な  $\mathcal{O}$ 知 に L 正 れ 中 5 誰 9 n て L を 22 に れ け か を 見 ( 片 此 悟 聞 ŧ す 7 23 る لح < 0 音 是 0 か لح 頁 音 思 雲 工 ŧ 底  $\mathcal{O}$ n き を Š 虚  $\mathcal{O}$ な 聞 夫 を

> $\mathcal{O}$ お 初

お ね L

ベ

鉄

眼

禅

鉄

仮

名

法

正

(

頁

j

7 た る ŧ 0 / 蘇 生 す る が 如 < な る لح き 則 5 是 れ 悟 な

ぎ Š £ 心 ぼ て ŧ 8 0 た た 5 ち 此  $\mathcal{O}$ ゆ う لح あ る る 三 *V*) る 5 ず ŋ 0 人 法 心 お は 事 鏡 分 処  $\mathcal{O}$ 界 に 無 は あ す む を あ カコ な た 記 ŋ 台 ゆ Þ る ŋ 6 1, ね れ  $\mathcal{O}$ さ S す た ず き 大 L  $\mathcal{O}$ に 心 と きこと う 0) は む る 坐 抜 0 な 中 ŋ に き 5 せ 褝 初 か 隊 る 略) て、 Ł لح に な た 8 す 禅 あ な る を ŧ ば あ 漸 れ 師 か B 5 釈 た が は る あ Þ ば Þ ま ず 迦 Š と ŋ ŋ に 抜 11 か ŋ とく ごと 0 す そ 隊 は ょ な 0) は 7 達 4 あ  $\mathcal{O}$ じ 仮 事 n れ < 磨 わ る 心 8 名 11 L た 心 法 た  $\mathcal{O}$ す は 精 に Š お ば る 中 ぼ を £ ベ 虚 り は 4 語 5 L 秋 三 出 え 空 て わ 略 V き ば < 0) لح P て 善 分 た L ŧ, 5 空 正 7 Ł L う S 悪 か ŋ < あ 0 103 ŧ そ 修 1 き  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ れ 如 頁 L 念 す 間 行 修 か ば な 0 坐 لح む < 褝 す 行 む 4

と お 事  $\mathcal{O}$ す

ぞ 事 此 る 床 真 者 は  $\mathcal{O}$ に 実 ぞ 恒 無 心 大 疑 き 起 に 者 れ 其 し  $\mathcal{O}$ ぞ。 ば  $\mathcal{O}$ て 起 時 ŋ 此 早 自 万 た 0 < 心 縁 る 歓 上 般 に 時 師 喜 転 を 若 は 修  $\mathcal{O}$ せ  $\mathcal{O}$ 眼 行 種 心 6 只 す カュ 子 れ る لح 生 す 七 が な L 日 7 に 語 0 只 て 休 渾 真 Ł 実 ま 然 不 菩 W た 則 368 ぞ。 虚 提 る  $\mathcal{O}$ 底 心 境 公 371 界 案 を 纔  $\mathcal{O}$ 退 を 弁 カコ に な 道 < \$ 寝

月 舟 褝 師 月 舟 夜 話 正 460 頁))

L に  $\mathcal{O}$ 

て 味 如 聞

さ < に

此 て 7

音 暗

聞 夜

底

ŧ 処

 $\mathcal{O}$ に 5

そ

力

を

尽

は

<

ぞ

と、

念

に

L

き

85

虚

1

<

ŧ) 生

な

L

知

る は

処 Ł

ŧ て

断 行

て

更 空

な

に

な

0

退

 $\mathcal{O}$ は は

心

な

<

<

7

疑

S て L L

+

分  $\mathcal{O}$ 

に

な を 0) 物 不

ŋ

め <

n

ば  $\mathcal{O}$ る لح て

う

た 是

が れ 11

S 何 7

大 者

に

破 لح 屈 え け

れ

て

死

n

大 か 気 心 息 金 本 空 来 と あ 境 る な 寂 死 す 照 人 が  $\mathcal{O}$ 如 霊 如 L L 賊 是 子 れ 起 لح は ے な れ 0 根 処 磚 本 を 生 を 鏡 死 性  $\mathcal{O}$ な 思 無 明 L Š に は 鍮 L て、 子 識 神

恰 た 曾 擲 す ŧ 中 々 裏 あ 疑 千 玄 長 呆 に 現 て 摧 人 0 点 見 す 空 々 坐 す 前 な 人 す る に 坐 す 気  $\mathcal{O}$ 死 す か Þ <u>\( \frac{1}{2} \)</u> 情 か に L る 未 如 進 て に あ 時 0 念 に らす た 似 < か な 起 打 大 W 曾 て 如 < 0 て 只 発 疑 事 兀 せ 現 7 退 玉 L 卍 聞 て、 樓 を 分 さ 前 カ 万 面 忘 外 さ を さ 里 空 る す 庵 此 る 推 に 0) 蕩 は る 褝 る  $\mathcal{O}$ た れ 底 倒 事 師 لح 時 た 清 層 是  $\mathcal{O}$ す き 恐 起 涼 氷 地 れ を 大 る 筃 卍 怖 0 に 裏 あ 得 W 歓 に は を 0 7 に 虚 る は 庵 喜 似 法 無 坐 生 あ 豁 分 あら て、 忽 せ  $\mathcal{O}$ す 外 る か 百 語 々 ず 字 る に 然 地 6 カ 人 兀 と 0 事 皎 如 す カコ に 正 4 潔 + L 了 を < L 百 485 年 て 智 あ 忘 な 7 千 来 氷 を ŋ る り 瑠 L 未 盤 添 璃 生

r

寂 に 未 す 静 は た 湛 波 波 初 カ 羅 然 47 寂 5 蜜 蜜  $\mathcal{O}$ 静 湛 は 人 白 然 な  $\mathcal{O}$ 隠 لح 是 る 為 処 L n め 衆 を に 師 7 宗 閑 生 L 遠 と 散 づ な す る 乱  $\Diamond$ る 処  $\mathcal{O}$ 湛 釜 病 を لح 続 然 を な 集 爱 止 寂 L を 静 8 正 道 な  $\lambda$ 故 れ  $\mathcal{O}$ 為 に 670 き 8 大 は 也 示 恵 671 す  $\otimes$ 0) と 若 云 実 執

O

禅

羅

天

頁

S

離 カゝ

れ

て 大

大

安 醒

楽

に

住

す 5

る

也

三

と

夢

 $\Diamond$ 

は

ŋ

لح

実

有

破

れ

生

死

を

出

て、

切

を

を

胸 癡 瓶

心 源 空 寂 に L 7 蛍 晴 Ш n 国 た 師 る 空 仮 0 名 如 法 語 清 続 水 波 147 な

р

或

は

又

物 廻 き を が 承 事 如 を 得 死 思 去 は 来 0 姿 是 な れ L 此 中 中 略 又 更 に 此 空 空 なら 寂 0 ず 躰 を て ŧ

< る 者 は 如 何 な る き ぞと 還 て Ĭ 夫

q

く は 忽 は 我 私 此 ま 片 然 我 即 0 案 だ と 時 な 虚 を な 夢 職 夢 す L き 空 中 無 中 て 0 に 12 0 我 7 に 明 لح 何 似 れ 打  $\mathcal{O}$ ŧ な が た ば 休 き 魔 聞 7 内 に 1) 取 軍 に め 禅 故 < 活 峨 師 ょ ぞ 共 ŧ H 山 0 其 き た < 褝 を لح 虚 な す 水 聞 眀 也 尽 念 空 師 が 鏡 < < 不 け b が 金 と 目 未 打 生 岡川 万 身 峩 < だ な Щ 滅 心 11 れ は 0 ふこ 仮 実 す 外 لح さ 音 覚 用 名 有 也 な が 声 え 12 لح 心 法 は ŧ ŋ を め L を 抄 尽 然 求 語 熟 聞 ŧ 知 き ħ 塵 to < L  $\mathcal{O}$ (続 る 共 め 碍 て れ な 也 続 也 ぞ 是 る 内 ば 227 216 れ 境 此 頁 ま 界 打 時 ほ な 成 日 れ は 0

す 0 沈 は 工 ŧ き 病 夫 に 労 た لح 0 寂 る 切 住 せ 人、 n 12 は を B 眠 る を す ŧ 放 時 Š あ に + 下 8 天 に に は 5 Ł す 地 L あ 八 て 是 悟 て 5 九 す 鈴 道 た は n 有 然 木 無 び 沈 ょ 思 ょ 是 平 正 n か 散 病 邪 非 等 乱 を ŧ 路 慶 لح Ł  $\mathcal{O}$ Ł 驢 大 0 快 80 に 如 な あ 疑 鞍 清 < て お あ 6 < 殃 橋 を ŋ す 浄 0 12 起 لح に 妄 を L す 想 招 思 て L 0) だ て  $\mathcal{O}$ < 念 趣 畏 ŋ 空 続 あ る に 久 慮 496 坐 す あ 工 ŧ 6 L す べ 夫 あ ん て 0 れ

説 لح に 霊 で き 11 Š 1 進 き 分 に 碍 n لح で 皎 る る 郎 は る 云 は う S  $\mathcal{O}$ 11 は 皎 用 か W 心 n そ 潔 潔 境 0 等 Š 7  $\mathcal{O}$ 7 ŧ れ な う 源 何 6 あ て 田 ベ 其 言 虚 法 認  $\mathcal{O}$ は  $\mathcal{O}$ 1 な 界 空 ŧ 5 ŋ て 退 地 な L ے き 時 が ŋ 識 上 方 < カュ な 葉 々 心 な 寂 な 語 n V لح \_ で 例 0) 悉く Ł 晴 で 霊 に る は لح L 持 < る さ 5 え 自 ょ  $\mathcal{O}$ れ 表 お 語 ほ て Þ る W n た Š な ば 分 な  $\neg$ ま 現 句 0 と を V ぼ لح な لح 我 此 < 行 る た ど)、 な ょ は さ 7  $\mathcal{O}$ L 共 L し き 邪 悟 即 لح  $\mathcal{O}$ 人 う な 空 抜 有 て 状 共 か れ ŋ 違 通 W 解 虚 時 あ 0 恐 な 聞 に 隊 لح 況 通 7 لح 11 す Ł は L り、 空 又 0 í 考 て 0) 仮 t 怖 B < 1 L 虚 て る 大 ま 片 る。 え 底 名 無 を 7 微 空 な ŧ に 同 心 ŋ が 法 唯 絶  $\mathcal{O}$ 生 i  $\mathcal{O}$ V 強 妙 لح n 1  $\mathcal{O}$ ľ 虚 疑 内 雲 自 せ 下 لح 対 そ な 主 語 調 で 名 ے 状 空 Š に 遠 虚 L な 分 ず لح 地 Ł ŧ さ 認 < あ べ 態 さ ŧ 丈 羅 子 見 片 て、 れ識 لح き  $\mathcal{O}$ 0) べ で る し が 5 0 が 了 天 著  $\mathcal{O}$ な え カン 認 る  $\mathcal{O}$ 28 き あ 心 ح に ま 念 ず 茫 付 存 智 釜 差 0 如 る。  $\mathcal{O}$ 識 処 虚 空 ŋ 穾 在 続 鶏 不 j を 0 て カン は 異 Þ ŧ 境 々 き 生 悟 抜 す 集」 لح 添 頭 此 な 状 が 11 な 霊 寂 る 凡 ŋ 光 隊 抜 態 る と  $\mathcal{O}$ 此 L 1 最 あ L 々」 照 لح 外 明 序 語 仮 0 た ŧ  $\mathcal{O}$ て け す を に 心 初 る Þ だ 0) る 捉 蔵 に لح 名 + 中 る  $\mathcal{O}$ は b に Ł 霊 え が 法 j 方 に だ 対 自 皎 三  $\mathcal{O}$ ŧ れ 相 お  $\mathcal{D}$ Þ と る 象 気 己 潔 分 昧 Š る 語  $\mathcal{O}$ は Ł  $\mathcal{O}$ 虚 さ と が に べ 本 外 虚 塵 ず カコ لح 我 尽 لح

)) がえる

巌  $\mathcal{O}$ 巌 る 体 れ 録 7 録  $\overline{\phantom{a}}$ 験 講 碧 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ お が を 共 ょ ŋ 義 巖 見 で Š 録 通 に 関 29 て き 性 4 る 同 心 が が た 想 U 以 碧 褝 内 高 1 定 下 巖 宗 か さ 容 集 に 0 5 れ が 碧 お た な る 繰 巖 11 が 4 ŋ Ł 録 て あ に 方  $\mathcal{O}$ 返 講 り、 لح 漱 さ で 義 宗 思 n 石 門 ま わ 旧 書 る 第 な た れ 蔵 物 الملح る 書 لح  $\neg$ を  $\mathcal{O}$ 関 天 に 遡 は 書 係 桂 は る 褝 書 褝 11 لح 物 師 < لح 僧 さ ŧ 提 で  $\mathcal{O}$ 0 n 唱 ŧ 悟 所 カコ る 蔵  $\mathcal{O}$ 考 ŋ  $\neg$ 種 碧 え  $\mathcal{O}$ さ 碧

猶 了 胸 未 無 中 得 糸 若 毫 有 半 在 物 中 略 山 河 忽 大 若 地 打 樅 破 然 陰 現 界 前 身 胸 心 中 若 如 無 身 物 外 無 余 則

第 六 + 則 雲 門 拄 杖 化 為 龍 本 則  $\mathcal{O}$ 評 唱

[書き下し]

ほ ち 中 胸 中 若 若 未 だ 若 L L 陰 L 半 界 物 を を 物 無 得 打 有 < ざ 破 5 W る ば し ば 7 لح Щ 外 在 身 河 則 大 心 ち 地 了 30 如 樅 に 然 糸 と 身 毫 外 無 無 7 L 現 余 な 前 る 中 せ 略 W Ł 忽 胸 猶

に け 河 難 大 お れ L 碧 ば 地 11 11 巌 て だ そ 0 が 陰  $\mathcal{O}$ 0) 界」 ま ょ 言 n う 葉 外  $\mathcal{O}$ な 身 部 は 界 対 心 象  $\mathcal{O}$ 分 及 は 極 対 物 び  $\otimes$ 象 が て 物 消 胸 切 難 え が 中 0 解 去 現 現 で る れ に 象 あ لح 世 ŋ さ 界) 胸 意 ħ 物 中 味 た を \_ を 上 が 打 に で 取 あ 破 な る n し に 傍 ば لح 線 ŧ 部 Щ が な

提 う 状 計 如 ル 心 さ ヂ 様 碧 態 心 な れ Y 巖 と に Ł 如 思 録 が な 7 لح  $\mathcal{O}$ 1 フ 述 11 況 講 0 は 身 る ガ ベ た 義 何 外 う Y 5 لح 状 S 無 即 で れ L لح 走 態 余 色 て デ ŧ て 0 が 明 11 ŧ な 無 あ 1/2 身 身 る V イ < 等 と لح そ 心 ま ヲ 心 解 لح 只 \_ n で T が せ 如 な 如 は ŧ る。 身 1 1)  $\neg$ 如 如 外 と 半 半 で 界 解 心 提 0) あ 説 1 1  $\mathcal{O}$ 部 る 4 也 対 云 さ 分 半 時 象 れ 11 0 バ 分 爱 0 物 て 解 だ = 身 て が お 釈 け コ 消  $\mathcal{O}$ 至 V ŋ に ネ  $\mathcal{O}$ ル な え 0 ス 合 71 去 لح 表 い ラ 如 白 ハ と 0 に て、 身 半 ス た 11 余

6 れ  $\mathcal{O}$ る 半 提 と 1 Š 言 葉 は  $\neg$ 碧 巖 録  $\Box$  $\mathcal{O}$ 次 0 筃 所 に ŧ 見

坐 見 如 不 大 見 拍 若 切 雲 盲 透 門 色 人 得 始 道 相 是 似 依 半 直 旧 得 提 Щ Щ 是 更 河 Щ 須 大 知 水 地 是 有 無 水 全 提 繊 毫 各 時 過 住 節 自 向 患 位 上 猶 各 為 竅 当 転 本 始 句 体 解 穏 不

(「第三十六則 長沙逐落花回」、「頌」の「評唱」)

[書き下し]

半 る 見 に 依 0 当 て 提 Ł ず 0 B て 猶 0 雲門 7 更 ほ Щ 始 は 8 転 に 大 是 須 句 道 拍 穏 れ と ら < 盲 山 坐 < 為 0 を 全 す 直 0 人 水 解 提 に に は す  $\mathcal{O}$ 山 如 是 べ 時 切 河 < L れ 節  $\mathcal{O}$ 大 に 水 色 相 لح 地 向 を 似 見 各 上 繊 ん。 自 若 ざ  $\mathcal{O}$ 毫 る 位 0 に 透 竅 Ł 過 住 得 有 せ 患 る し 始 ば 8 無 لح き 各 7 を 本 旧 を 是 体 に 知 得 れ

> 半 穾 کے 7 な が ŧ 9 な れ き が わ 分 0 て 山 11 11 る 傍 5 と う る カコ を 線 抜 L 状 が 現 水 け 0 部 雲 、ここで て、 て 態 ること わ  $\mathcal{O}$ は そ 各 門 捉 が す 是 訳 れ 住 えら 道 は は れ ぞ 自 で、 半 U 全 水 れ ŧ 位 雲 れ  $\otimes$ 提 部 が 同 門 る 7 が 本 様 各 依 切 と لح 道 < 現 来 Щ に 当 さ 旧 さ  $\mathcal{O}$ 0 n  $\mathcal{O}$ は 本 山 対 れ れ ろ る 不 場 Щ 体 是 る。 象 て 時 11 見 لح 所  $\mathcal{O}$ 山 物 11 で t 雲門 に ま 各 水 が る 坐 う 切 収 ま 自 是 見 31 る 色 ま  $\mathcal{O}$ 位 水 え 0 ŋ 言 Ш に لح そ  $\mathcal{O}$ な 切 葉 住 は 旧 L が 上 < Ш て、 لح 本 に 0 な で  $\mathcal{O}$ 色 体 0 依 L き 0 竅 を て て、 لح 各 ま 0 そ る が 見 ま 紹 合 本 て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ あ ざ 介 致 体 で 状 だ P Ш る る す に あ 態 さ は 0 当 是 を لح る ŋ n لح

を 繰 夜 る 録 لح 穾 ŋ に 言 き  $\mathcal{O}$ に 返 お ょ え ま 抜 L る。 う で 述 11 け に 遡 て る ベ ک ŧ る 5  $\neg$ 次  $\mathcal{O}$ 褝 لح れ لح 0 門 ょ で て が 点 う 悟 き 法 に な で 語 た ŋ き 見 認 集 が る る 識 開 虚 ょ に は か لح 霊 う お 例 れ 皎 が な 1 え る 潔 で ば 褝 て لح な き 0) 1 る 先 根 心 多 う 持 < に 本 あ 的  $\mathcal{O}$ 検 ŋ な  $\mathcal{O}$ 討 褝 方 考 ょ 僧 は た え う に 方 な ょ で 碧 第 状 0 あ 巖 7 態

様 違 0 て 棚 で 其 あ 無 Ł  $\mathcal{O}$ る は 有 内 ち に 0 7 頭 0 無 が と Ł 11 変 現 様 に な 前 な 0 L た。 な 無 < 1 行 0 た 灯 て 有 ヹ Ł 蕪 好 る 様 村 加 減 に  $\mathcal{O}$ に 見 画 坐 え ŧ た 0 て 畳 る と た 云

『夢十夜』「第二夜」

は 様 で لح 5 な さ 0 悟 と で れ る ŧ < は が 現 0 開 確 前 7 行 か 認 有 灯 れ L な る ŧ る て 1 様  $\mathcal{O}$ き に 村 で た لح 見 0 あ ょ V え う 画 う た ŧ に ょ う 状 畳 に 態 Ł  $\mathcal{O}$ 悟 لح 状 ŋ な 違 態 に 0 棚 を は た 穾 Ł 11 4 き 有 た 抜 0 0 0 て て け る 11 無 な 無 11

対 る か  $\mathcal{O}$ < 自 n な 行 郎 が と る  $\mathcal{O}$ 分 < 人 で 至 状 は  $\mathcal{O}$ な 0 認 き 態 有 で る 0  $\mathcal{O}$ る。 لح 識 あ 過 ŧ て は ま t る 程 郎 そ た 無  $\mathcal{O}$ 唯 が  $\mathcal{O}$ 1 途 自  $\mathcal{O}$ 絶 語 先 褝 中 分 ょ 対 書 ŧ る 丈 う 認 進 に 片 が な カュ 半 0) む お 識 存 褝 6 提 付 11 在 0 と て か す 伝 凡 絶 と で、 語 な る 統 て さ 対 5 11 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 即 何 れ n ŧ 連 だ 対 相 か る て 0 な 象 対 ŧ だ き を る لح  $\mathcal{O}$ た 契 t さ ک لح と 11 機 と  $\mathcal{O}$ う L L  $\mathcal{O}$ さ Š に لح L t 7 悟 7 よれ 言 語 捉 う る 7  $\mathcal{O}$ ŋ え が 5 が え な 其 る 開 絶 時 悉 れ る 悟

## 四 禅と言葉

な 0 識 け  $\mathcal{O}$ は る な 関 ょ 漱 ょ 係 石 う う لح 12 識  $\mathcal{O}$ な な 巌 で  $\mathcal{O}$ あ 褝 状 褝 る 認 録 悟 違 態  $\mathcal{O}$ V) 識 い は 認 に が 禅 が は F, ま 開 書 識  $\mathcal{O}$ あ  $\mathcal{O}$ で か れ 悟 物 ょ 悟 遡 れ ŋ に う 1) に 0 る ょ な  $\mathcal{O}$ 無 て ŧ お 1) 意 前 念 考 11  $\mathcal{O}$ 伝 義 半 無 察 لح 7 え 0 部 す 想 さ は 5 分 Ł る れ れ لح と  $\mathcal{O}$ 7 禅 7 捉 ŧ لح お ょ 書 き 言 え Š が に ŋ た え る な で ょ 禅 る 状 き 0 0 لح る。 態  $\mathcal{O}$ 7 認 無 が ょ を 語 識 念 で で う 穾 句 لح 無 き き は な B 密 想 る 抜 微 認 接

> て す 大 る 正 定 t 期 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に 点 方 لح お 思 に 向 け 0 性わ る 11 を ħ 褝 て 提 る 理 は 示 が 解 L 0 他 た本 様 0 11 章 相 で な 書 ど は 最 を 0 後 ŧ さ に لح 5 に  $\neg$ な 行 る 人 慎 比 重 を な 中 考 心 察 眀 を に 治 要

わのれあ る 壊 で b 立 言 対 否  $\mathcal{O}$ れ ま な な を 認 す 力 つ 言 る 文 葉 ŧ あ 極 定 日 す を れ ろ 1 行 的 る 常 た 葉 う 字 لح げ を 識 わ  $\mathcal{O}$ 人 非 に に 力  $\mathcal{O}$ 度 と 葉 れ に 仏  $\mathcal{O}$ で る き لح を 関 あ 行 言 ょ 捉 を 言 0 教 第 第 0 行 0) 碧 唱 る 指 ぜ 学 わ 語 る え 葉 に V 11 動 文 人 巌 を て、 え n 的 Ł て 摘 W Š 講 者 化 録 郎 と 使 Š 逆  $\mathcal{O}$ る が 香 交 0 11 で に に 流 に 問 を 解 が 厳 で た 11 7 禅 褝 あ لح に 名 ح 0 常 題 考 あ  $\mathcal{O}$ 1 な  $\mathcal{O}$ き そ る  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ つ لح お 前 える 11 は  $\mathcal{O}$ لح 境 求 が 根 ほ れ に 末 0 言 て 指 1 た。 を な て ぐ が 固 意 地  $\Diamond$ 5 本 木 語 非 摘 付 て なら 藤 そ る る 褝 L 人 定 義 間 文 論 常 す f, 間 け 沢 そ て さ  $\mathcal{O}$ ŧ を  $\mathcal{O}$ 題 美 に る ば、 る 問 そ を 憧 相 0 公 れ 4 n 34 士 重  $\underbrace{\overset{\widehat{33}}{\overset{3}{\circ}}}_{}$ n 言 言 ŋ 案 を ょ 縛 た う 書 ŧ 憬 手 氏 要 は ر ک 葉 葉 先 氏 を 徹 う る Ł  $\sim$ き 漱 は な 郎 を  $\mathcal{O}$ は 0 既 底 لح ŧ  $\mathcal{O}$ 0) す 込 石 冒  $\mathcal{O}$ 持 珍 が 成 的 沭 そ لح  $\neg$ 扱 に ょ べ 暴 4  $\mathcal{O}$ 頭 لح 碧 求 て  $\mathcal{O}$ に L 0 11 ŧ う 力 は 分 に ベ れ で で لح 8 郎 て 巖 が に 褝 言 破 が な 9 な 漢 沭 は 録 る 葉 褝 捉 11 L な 認 は 漱 壊 禅 0 言 雨 べ あ う ば 境 囈 法 0 7 え が 語 中 彼 石 識 た が 体 尽 言 5 る な L る 地 が で 0 語 語 言 褝 لح تلح が 問 集 系 < 葉 < け ば ŧ 介 叫 褝 葉 n 言 が لح れ は  $\mathcal{O}$ を す に な て  $\mathcal{O}$ 語  $\mathcal{O}$ 語 褝 在 び 題 す 破 そ そ شلح 褝 不 L 的 声 6 で 0

葉 に を L て あ 0 < 11 11 て た ま で 井 لح ŧ 筒 を 俊 示 日 彦 L 常 氏 7 的  $\mathcal{O}$ な 11 意 る 意 35 0 味 識 0 لح 体 本  $\mathcal{O}$ 系 質 ょ う に 12 な お 次 褝 V  $\mathcal{O}$ て と ょ 理 言 Š 語 解 に  $\mathcal{O}$ L あ ょ 関 る。 わ う

5 意 と、 < ま 褝 半 と 在 さ ど れ 物 味 る つ は で 世 う ま す j て、 た あ 界 は 新 で ま と 互 は 無 < た る ŋ を る L L < 再 互 な 1 化 新 に は 力 て V オ に 秩 1 0 さ L び す L 褝 て に に 区 序 秩 ぎ ス は れ 11 な 透 别 付 ŧ た 形 序 な 化 ょ あ す 明 さ け < 花 で を V L つ べ で 6 ま 戻 7 れ 花 が 世 て て す、 す あ れ で ま 界 L 0  $\mathcal{O}$ さ 0 べ る。 0 無 た ま た  $\mathcal{O}$ ま た 存 う。 て 本 花 ざ 但 ŧ W 力 在 本 質 0 لح ま 力 オ 0 者 世 質 才 意 L L な ス L か 界 を 7 事 ス か 識 化 か 今 ら ŧ に 的 取 蘇 物 度 化 は し 対 る。 お ŋ は 禅 象 に が 本 き そ 本 11 戻 ŧ 前  $\mathcal{O}$ を 質 質」 て、 だ で と 0 存 無 L う あ て が は た 在 ま 化 な す 度 的 る 違 世 体 で 消 べ لح ま、返 に 0 界 験 で 去 て だ た 0 固 VI た に  $\mathcal{O}$ 禅 全 定  $\mathcal{O}$ か う 花 7 前 は 存

題 る 切 لح で 労 ŧ 識 L 山 لح し L に が て 認 きる لح 考 望 対 尽 て  $\mathcal{O}$ L b  $\mathcal{O}$ 識 L ょ て 行 < す え は す 五. لح 象 と 捉 つ 7 L 水 人 <u>+</u> る  $\overline{\phantom{a}}$ な を て 5 る 書 1 は 蘇 え ま 何 るこ ۲ れ 宗 る 無 う 是 す 物 る う に う É 公 0) 教 郎 と る。 化 べ れ を 0 案 カュ 的 す 新 لح  $\widehat{\parallel}$ ょ が 0) て 水  $\widehat{\parallel}$ 燃 **,** \ L を L る が 章 う 境 郎 た 0 B て لح て 何 過 を な 地 が 既 な で 意 L 不 考 依 う き 己 自 成 認  $\neg$ 改 禅 と 程 既 識 え 見 旧 L 行 め 0) L を を 5 0) 識 成 る 対 る 0) Щ て 人 信 同 言  $\mathcal{O}$ 言 て  $\mathcal{O}$ を 象 切 な 切 是 で その ŧ 言 褝 じ 様 憧 語 生 語 を を ら、 色 Щ あ 0 5 信 0) 4 葉 に 観 他 認 無 れ 放 水 る じ 関 に 意 に 後 お 0 れ 出 と 識 化 下 是 39 5 係 け 対 宗 る 味 す ょ に L カゝ l 郎 切 L 水 を る す 教 れ づ て ŧ る 様 5  $\mathcal{O}$ 尽  $\mathcal{O}$ な け 離 9 検 る で 語  $\mathcal{O}$ 認 無 全 に 言 し 旧 色 ま 討 言 洞 は 1 0) る れ لح 識 化 存 L う て に ŋ す ŧ 香 ること L を さ 葉 察 な 在 て 仕 見 依 る ح 褝 れ が < 厳 て 世 呉 絶 舞 ず 兄 捉 0) 0 0) 0) 捉 徹 た 界 存 褝 n 対 0 ええる て を 挿 言 花 あ 在 が え 底 を たし 山 ŋ す 提 話 意 て 的 葉 が 力 は る 同 十 味 は に t オ 方 示 ま い さ す 是 を 0 る 破 褝 た  $\mathcal{O}$ ス 間 لح 塵 る 意 花 n 11 壊  $\mathcal{O}$ れ

意 識 لح 本 質 VI 36 `` 傍 点 原 文

#### 注 記

- $\widehat{1}$ 月 初 出 日 は 5 同 東 年 京 六 朝 月 日 + 新 日 聞 明 治 兀 十  $\equiv$ 九  $\bigcirc$
- 2 初 出  $\equiv$ は 日 東 京 朝 日 新 聞 明 治 兀 +九  $\bigcirc$ 七 年

沙 さ

逐

花 ベ

口 井 n 井

に

即  $\mathcal{O}$ 語 が

7 論 意 べ

言

う

な 先

5  $\mathcal{O}$ 

提

لح

さ 第

11

段

階

使

用

さ

る

言

 $\mathcal{O}$ 

味

分

節

37

に

ょ

1)

生 诵

4

出

さ

れ 会

る 生

 $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

لح 場

で

筒

氏

述

る

本

質

は

常

 $\mathcal{O}$ 

社

れ

る

筒

氏

理 L

を

\_

碧

巖

録

+ て

六

長

は

す

て

0)

存

在

者

カゝ

b

本

質」

を 半

消

去

L

そ れ 三

Š

す

る た 則 ŧ 活

二 十

- 3 月、 漱 石  $\mathcal{O}$ 頁 芸 岩 波 書 店 昭 和 七 九 兀 年 +
- 4  $\neg$ 現 年 代 246 五 名 月、 家 83 頁 学 評 論 鴻 盟 社 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$
- 兀 仏 教 月 京 スタデ 都と 参 照 東 イ 京 1 0) ズ 仏 教 法 書 藏 出 館 版 社 平 成 引 + 野 八 享 =輔 担 当 六 近 年 代
- 6 た 重 な 加 松 漱 藤 る 泰 石 地 雄 لح 平 郎 褝 漱 漱 お 翰 石 う 石 と 林 Š 書 老 う、 褝 荘 房 平 亚 褝 成 成 明 九 +覚 暗 ż 書」 九  $\mathcal{O}$ 九 九 語 九 七) に 九 漱 即 年 石 L 年 て 五. + そ 月 月  $\mathcal{O}$ な 新
- 7 8 七 夏 月 初 目 出 + 漱 は 石 七 日 論 東 攷 京 朝 桜 日 楓 新 社 聞 昭 明 和 治 六 十三 兀 十 九 九 八  $\bigcirc$ 八 八 年 年 五.
- P  $\mathcal{O}$ 軒 気 来 年 月 責 書 を 面 は 漱 は 店 去 目 月 石 110 ŋ 鎌 悉 れ 七  $\mathcal{O}$ 5 0) 明 参 111 < 日 ょ 倉 公 褝 編 治 ま 頁 案 兀 で に 者 円 小 を +鎌 0 覚 授 Ш  $\equiv$ 在 倉 11 寺 煙 け  $\mathcal{O}$ て、 ŋ に 村 5 円 参 れ لح 九 覚 褝 たとさ 倉 寺 般 あ L  $\bigcirc$ 光 る に に 空 は  $\neg$ れる。 喝 で 年 褝 明 夢 共 兀 は L 治 +編 月 夜 ち 明 父 +  $\neg$ な 名 治 巻 母 七 4 第 士 末 未 年 +に 禅 生 末 談 夜 六 以 話 年 文 柳 前 5 枝 に 章 色 꽢 本

同

じ

趙

州

 $\mathcal{O}$ 

無

字

を

授

か

0

たと

語

5

れ

て

11

る

L

か

- 題 褝 褝 第 面 カン 本 で が れ 全 5 州 る 士 十 二 5 ま 来 で  $\mathcal{O}$ 創  $\mathcal{O}$ は て L 굸 注 る 禅 0) 目 論 で 他 あ 趙 作 前 0) が < لح 番 話 11 解 談  $\neg$ 巻 で 門 無 1 る が さ で 出 か 話 人 州 最 (夢 ك 655 لح あ が 円 父  $\vdash$ 無 れ あ 版 と 初 に 嘘 分岩 あ さ 0 覚 母 見 L 字 た る 連 が 0 Š に 嘘 + たと る 岩 るこ 寺 未 カン  $\mathcal{O}$ た 載 明 カン t 倉 れ 夜 波 波 で 省  $\mathcal{O}$ だと カュ  $\Diamond$ て L  $\mathcal{O}$ 治  $\mathcal{O}$ 光 否 頁) て 書 考 書 と 授 以 公 と 中 兀 空 を は か 11 店、 ( 清 え 店 で  $\mathcal{O}$ け は ど る。 喝 明 前 漱 案 し 11 盤 + 見 は は、「色 書 て 5 な う  $\mathcal{O}$ 頃 三 せ 来 治 石 を て 疑 平 水 昭 簡 ょ V れ を  $\mathcal{O}$ 取 ŧ 疑 ょ で 年 る 兀 問 た 成二十 孝 和 を 1 た 授 メ 体 問 兀 だ、 う ŋ Š が 純 Ŧi. t 根 け モ に 公 験 上 月 余 そ が 物 な 残 気 + 拠 0 6 で げ 案 に 残 + に を 語 る。 ぜ を 九 色 桶 لح あ に 関 は れ 0 て る 色 と 八 書 七 去  $\widehat{\overline{\phantom{a}}}$ 思 谷 る L 日 気 た 1 11 た 気 L き 月  $\neg$ 夢 لح れ 秀 わ とさ を 定 父 لح て を て た る  $\otimes$ ま +ょ 九 昭 超 去 れ 書 考 母 去 本  $\mathcal{O}$ で は カン う 七 夜 担 七 未 脱 え カゝ あ れ ま れ れ  $\mathcal{O}$ 6 た 五 六) 0) 生 て 生 る ょ だ て ょ 話 当 漱 嘘 は る لح 日 は 死 第 宗 は 1 な 重 お 年 石 を 굸 以 年  $\mathcal{O}$ 前 る 5 要 ま  $\mathcal{O}$ 助 ŋ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 全 五.  $\neg$ 九 カン 0 日 とば、 月) 本 月 な 夜 た 文  $\mathcal{O}$ 名 内 て 記 11 嘘 文 来 間 士 容 章 趙 て 名
- $\widehat{10}$ 九 昭 九 漱 担 兀 石 年 0) + 第 其 月 + = 切 な 注 解 t 小 0 品 夢 が + 夜 岩 波 残 書 酷 極 清 店 ま 水 孝 平 る 状 純 成 六 態 桶 で

索 氏 0 た は 闇 第 652 に 頁 浮 夜 カン に ぶ 知 道 0) 標 栄 光 翰 ま لح 林 悲 書 惨 房 注 解 平 漱 成 を 石 担 +夢 七 + L 夜 た  $\bigcirc$ 清

- 11 構 関 49 ほ な 中 五. 想 心 頁 カゝ 笹 1 で 淵 に を 純 年 ょ う は 寄 粋 友 五. 培 だ 月 せ L 氏 明 養 驢 て て、 治 さ は に 鞍 11 お 書 れ たこと 橋 第 院、 L た 11 驢 ŧ て カュ  $\mathcal{O}$ 夜 鞍 昭 ŧ 0) L 影 を 橋」 和 カゝ 響 示 六十 ح 0  $\mathcal{O}$ が す 0) 夏 V 作 点 書 想 目 え 品 に 像 き 腹 漱 ば  $\mathcal{O}$ 0 で 込 立 石 構 11 き 4 て 必 想 九  $\mathcal{T}$ る カン る ず 八 は 言 5 機 六 L 漱 及 夢 同 ŧ 石 L そうで 第 に +年 50 0 て 漱 夜 想 頁 1 夜 石 月 像 る لح 0) は が 論  $\mathcal{O}$
- 12 そ 褝 ぞ 門 れ 法 語 正 集 編  $\mathcal{O}$ 引 続 用 編  $\mathcal{O}$ 後  $\mathcal{O}$ に 頁 あ 数を る「正」「 示 続 لح 頁 数 は

指

て

13 摩 あ て で 夜 る 0 「牙関を 書 る 視 あ る。 月 房 覚 に 褝 小 眼 説 関 お 昭 坐 聴 ところ と 策 を け 咬 禅 和 覚 読 進 0 る 定 六  $\mathcal{O}$ 坐 者 他 L 十 際 が 褝  $\mathcal{O}$ に 0 者  $\mathcal{O}$ 覚 て を 仕 لح ŧ لح 姿 組 事 は あ 他 同 勢 る。  $\mathcal{O}$ む な 界」 九 に 筑 様 外 侍 時 5 摩 0) 八 は 界 に 5 な ( 『
テ 表現 七) 書 ま は を なみ て、 房 る 目 受 年 ク は 40 け で を に、 平 +秋 ス 閉 逆 と <u>月</u> 月龍 成  $\vdash$ 門 頁) に、 じ め 石 は よう て 原 六 に 珉 と ま 0) 全  $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ ょ 5 あ 感 る 義 秋 ると、 公 ŋ が 堂 覚 は 案 ず を わ が 0 ま あ な な 夢 勧 兀 (筑 け げ + $\mathcal{O}$ 8

> 道 界 八 元 道 を 元 物  $\bigcirc$ 理 小 坐 的  $\bigcirc$ 褝 六 に 儀 遮 ること 法 年 に 語 六 ŧ 月 は 目 普 禁 ょ は 勧 止 り <u>)</u> す 坐 さ ベ 褝 れ لح カゝ 儀 て あ 5 11 り < る 常 坐 講 談 褝 開 社  $\mathcal{O}$ 際 平 に 成 は

- 14 日 本 九 の 七 褝 七) 語 録 年 + 第 月 + 九 の 巻 277 頁 白  $\mathcal{O}$ 隠 訳 文 に 講 ょ 談 る 社 昭 和 五. +
- 15 栗 田 英 彦 担 当 近 代 仏 ス タ デ イ 1 ズ 122 頁
- 平 本 正 次 編 光 融 館 明 治 三十 九 八 年 八
- 16 17 村 尚 勇 編 岩 波 書 店 昭 和 五. + 九 七 六 年

五.

月

月

- 18 第五 尚 年 巻  $\equiv$ 四 郎 月 漱 漱 石  $\mathcal{O}$ 石 知 に 的 お け 空 間 る 古 今 有 東 斐 西 閣  $\widehat{\ } \mathbb{\Gamma}$ 昭 和 講 五. 座 + 七 夏 目 漱 九 石 八
- 19 新 人 明 治  $\equiv$ + 八 九  $\bigcirc$ 五. 年 七
- 20 平  $\mathcal{O}$ 成 関 行 八 安 連 茂  $\widehat{\phantom{a}}$ に お 九 綱 九 島 て 六 梁 Ш 年  $\mathcal{O}$  $\sqsubseteq$ 七 見 月) 神 尚 Щ 参 大 照 明 学 治 教 30 育 年 学 代 部  $\mathcal{O}$ 研 思 究 想 集 動 向 録 لح
- $\widehat{21}$ 考 て え 西 西 九 5 田 田 五. る が n 幾 て 褝 多 西 V に 郎 田 年 る。 初 全 幾  $\otimes$ 多 集 西 て 郎 月) 触 田 第 北 は れ 参 + 北 た 條 照  $\mathcal{O}$ 條 先 巻 は カコ 生 6 に 岩 北 始 波 遠 條 め 書 時 羅 店 天 敬 教 に 釜 を 昭 ょ 受 和二 を る け 授 ŧ た +け  $\mathcal{O}$ 頃
- 22 漱 夢 夜 探 索 闇 に 浮 カン Š 道 標 21
- 23 六 初 出 は 大 正 東 京 朝 日 九 新 Ξ 聞 年 大 正 + 元 月 +九 五. 日 中 年 期 +間

有り。

- 24  $\mathcal{O}$ が  $\neg$ で 褝 あ か 門 れ 法 て 語 V 集 な 11 0 続  $\mathcal{O}$ 編 頁 数 は は 100 永 頁 平 ま 仮 で は 名 法 通 L 語 0  $\mathcal{O}$ 頁 数
- 25 城 夾 汚 月 和 う 人 で 0) 夾 は 月 を 山 L 言 兀 塵 Щ 野 疲 葉 遂 飄 無 0) + 労 無 は 網 蕩 碍 5 碍 摩 褝 せ 年 L  $\neg$ 未 行 L 碧巖 褝 利 る 聖 師 版 遂 カン 師 子 降 ŧ 境 う 録 降 氏 魔 岩 0) を 章 注 魔 が 表 波 焚 題 釈 文 本 表 に す に 書 焼 に 学 文 塵 限 な 店 す 0 から で 労 る わ 古 塵 平 ŧ ち ŧ 労 Ш 昭 て、 と と 述 成 付  $\mathcal{O}$ 日 煩 久 和 いう章 あ べ け で 悩 兀 に 編 る。 Ś +漱 は た を 翳し + よう 五. れ 言う仏 石 な に 題が たとし 全 لح 欲 は 集 に あ 火 ے 0 語。 り、 天 九  $\mathcal{O}$ 第 て 塵 に 塵 六  $\equiv$ Ŧī. 労 労 六 ま 亙 碧 碧 る た ŋ 巖 巖 (「行 لح 年 近 心 年 録 録 年 法 を 兀 昭
- 26 は 堂 白  $\neg$ 私心 < 近 清 昭 代文学 が 和 5 兀 カコ な なさ + < 注 明 釈 ま 5 大 九 カゝ 系 لح 六 で あ 五. 分 夏 る 5 年 目 め 七 漱 所 0 月 石 な 言 183 Ŋ 頁。 さ 田 ま。 精 ま た 皎 注 潔 虚 霊 有 は 精
- 27 7 ŧ Ŋ 虚 波 小 禅門 る。 書 子 宮 著 店 豊 法 ま 隆 た大久 語 鶏 に 集』など 九 頭 ょ 八 る 七 保 序 と 純 昭昭 を を 繙 和六二) 郎 漱 書 き」(「『門 氏 石 V は、 た は 明 頃 年二月、 治  $\mathcal{O}$ 褝 兀 時 門 + 期 法 年 に 夏 77 語  $\mathcal{O}$ 読 目 集 頁 秋  $\lambda$ 漱 だ  $\mathcal{O}$ と 石 中 ころに と (下)」 0 あ され ŋ, 光

て、 とし す た 思 に ま は だ Ł 魚 244 想 込 虚 蔵 つ 法  $\neg$  $\neg$ 0) 4 て  $\mathcal{O}$ 褝 が 頁 霊 語 禅 木に 法 門 荒 な 皎 昧 て か لح 門 ど 竹 相 潔 は、 法 語 否 カコ 法 虚 ただ を 出 登 語 互 0 語 か 語 子 ŧ と 0 版 呼 集 本 Þ 録 集 著 と L た 応 1 虚 文 で ま と に、 ŋ 昭 う 語 た、 0) Þ か 虚 لح 鶏 牛 中 和 語 問 霊 云 述 録 共 頭 兀 が 句 に 題 Þ Š 褝  $\neg$ べ 子 通 水 +0 褝 見 門 Ł が た 著 す 序 九 底 当 を と、 門 法 関  $\mathcal{O}$ と る 致 を た 論 語 法 連 お 鶏 部  $\mathcal{O}$ P, あ 5 じ 集 語 が 頭 L ŋ 九 七 悟 虚 分 る ず、 て 集 7 断  $\neg$ ŋ 子 を そ V V と \_\_ 褝 序 1 前 定 四 著 11 た  $\mathcal{O}$ る と 門 る で 後 < ŋ 内 虚 لح 褝 法  $\mathcal{O}$ で き \_ 0  $\mathcal{O}$ 年 容 鶏 子 Ł 坊 語 لح 述 カン 認 な か +漱 頭 لح 著 に 主 لح 集 べ 挙 識 V 石 漱 他 0 5 5 げ 12 月 لح 序 鶏 石 う 書 そ 0 に を 記 れ 0 7 参 頭 指 書 Ł 述 る 223

虚子著『鶏頭』序』

着 てくると、 衣 喫 飯 0) 主 人 公 た る 我 は 何 者 ぞ 考 7 煎 ľ

禅門法語集]

工 夫とも 深くうたが 寝 ŧ 志 窹 と V て,  $\Diamond$ ŧ 7 ŧ 悟 道 りた 心 とも 7/ 居 きのぞ に 名け み け た り。 て 0 ŧ 深 き を、 自 心 修 れ 行 とも 何

(抜隊禅師「抜隊仮名法語」(正99頁))

#### $\stackrel{\bigcirc{2}}{\sim}$

# [虚子著『鶏頭』序]

分ら パると ŧ ない  $\mathcal{O}$ で か ŧ う ŧ  $\mathcal{O}$ な な だ。 カン る た。 元 来 自 増 分 L ŧ は せ 生 れ め た 減  $\mathcal{O}$ ŋ で ŧ ŧ せ な ぬ カン 何 0 た だ カン 訳 又 死 0

### 禅門法語集]

相 生 す 生 る 死 れ 也。 ま 0 答 ŧ み へて云ふ、 せ 中 てく な す 5 死 略) ず、 す み ること ま な 目 まことに ことに生 夢幻と深く信すべ に 見 ŧ え耳 な 生 れ L に聞 死ぬ れ と 死 は き、 め ること ること 如 心 何 に は P う なく な う き カコ な ふこと、 候、 を る こと 肝 要と ぞ

(夢窓国師「二十三問答」(正74頁))

に あ 汝 6 が あ 5 霊 す、 非  $\mathcal{O}$ 有 心 非 性 無 は、 非 生 空 す 非 る 色 物 苦 ŧ を受け あ 6 す 楽 死 を受くる す る 物 に ŧ

抜隊禅師「抜隊仮名法語」(正11頁))

ょ れ ま な 此 を た れ  $\mathcal{O}$ ま は ば 法 さ ょ 無 身 と 死  $\mathcal{O}$ 量  $\mathcal{O}$ ŋ す  $\mathcal{O}$ 壽 躰 ると 夢となづ 仏 に V とい L 5 て、 き Š ર્જ て 事もなし。 生 見 生 れ ħ す た は る る と 見、 に これ 我 ŧ が あ 身 を不生不 死 6 は す ず 我 ると が -滅と 生 身 見 れ な る。 ざ が 5 V る 本

(鉄眼禅師「鉄眼仮名法語」(正42 343

頁))

3

虚子著『鶏頭』序』

場 奥 題 界 て  $\mathcal{O}$ 12  $\mathcal{O}$ 第 で る  $\mathcal{O}$ ŧ 浮 奥に で 中 現 あ で に Ł 1 は あ 沈 恥 義 る 象 な ŧ に 死 ば つ ち 怒 る。 < 夢 起 自 な W は 5 す で り Þ る 思 な る 従  $\mathcal{O}$ る だ < 己 が る。 ŧ ん と 立 問 と 11  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は 間 0 様 0 彼 帰 行 て て < で 本 な 題 な 題 様 5 き 5 < 体 生 問 は 夢 は 金 は な 0) 留 れ ち 猛 な を 死 題 で な は 悉 如 ŧ 云 りで 烈に る。 退 貰 界 あ < で 何 あ  $\mathcal{O}$ Š 11 事 き 中 0 て 其 に る で は 場 怒 7 と ŧ 夢 あ を L 光 に 重 な つて が 有 る。 事 ば 云 輝 あ  $\mathcal{O}$ 要 生 難 6 此 Š を 0 様 な 死 実 あ ŧ, と る。 < 流 ŧ < 失 て な 問 لح 生 涙 なく 尤 問 ŧ 冗 俗 題 L 0 き が V て 11 談 لح は て ŧ 題 で 夢 て 穾 半 浮 意 ざ き 凡 な < 以 ŧ で 居 見 < と て る 味 上 た 6 分 沈 如 あ る る 当 是 な 浮 ŋ  $\mathcal{O}$ す 0 に 何 る れ で 1 沈 る 辱 殺 深 は に 以 て 所  $\mathcal{O}$ さ 登 痛 上 ば 0 は 現 謂 此 て は 8 6 切 は 夢 な れ <u>V</u>. 泣 居 徹 象 5 7 尤 め な 生 で 生 退 る 界 ŧ 底 n ŧ 訳 問 死

## 禅門法語集]

 $\mathcal{O}$ な 求 ŋ 切 む 皆 情 夢 識とら き 幻 なしと な ŋ け لح ば、 知 観 ŋ 病 ぬ て 気も次第になほ れ ば な げ 目 き に 0 そひ 厭 ふ る て ベ 心 き お な だ カュ

(抜隊禅師「抜隊仮名法語」(正12頁))

ば り  $\mathcal{O}$ す V カュ か カコ 7 げ ŋ げ 4 ぼ ŧ に な う ゆ む な し カン きも  $\sim$ は ば、 な カゝ  $\mathcal{O}$ た き な ち P Ł れ لح が  $\mathcal{O}$ تلح 1, て な ま 形 れ に ど 夢 ŧ, ば カン  $\mathcal{O}$ げ う カコ 11 月 ち げ で 日 き と B は て 13 ま あ た ま る る 形 は に ゆ 灯 似 け た 火

と P る  $\mathcal{O}$ ま < そ に S て に カ Š き 時  $\mathcal{O}$ ま は 妄 か ŧ ゆ は た 0 想 لح L る は は 0 か か る ゆ た 本 す げ 事 か お L に ょ べ な カン あ t L ŋ て き に る そ  $\mathcal{O}$ た に あ な 0) ŧ えて 我 う る き 似 6 に ŧ た لح が み な る 本 なこと 8 似  $\mathcal{O}$ L き な な 心 た 事 る れ 0 ŋ 本 ど は う ŧ な ょ 5 ŧ ŋ 人 < ね 0 き 鏡 妄 は た に お 妄 は  $\mathcal{O}$ 想 き ま t 想 め に ょ t て L S カ 7 き き لح そ な V が る ŧ お た  $\mathcal{O}$ き さ 夢 せ

光

融

館

明

治三十一

八

九

八

年

六

月

八

ま た 水 0 鉄 す 眼 め 褝 るに 師 似 鉄 たり 眼 仮 名 法 語 正 348 ( 349 頁

ŋ 如 < 財 る ŧ £ 無 ま 輪 初 宝 せ 切 空 て 時 量 廻  $\otimes$ 愛 は 華 欲 に ŧ す 恒 カン 云 魚 せ 夢  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は 河 Š  $\mathcal{O}$ そ す 夢 吾  $\mathcal{O}$ 死 沙  $\mathcal{O}$ 人 如 如 水 鳥  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 上 ŧ 畜 を に 0) に た 空 如 順 で 形 生 見  $\mathcal{O}$ 憎 お 虚 空 華 る < む な か を 明 ょ 空 ŋ 華 な 得 夢 に 捨 ま Š 死 か き と 夢 を 11 た を り 来  $\mathcal{O}$ て ŧ な て る る 7 夢 ŧ 愛 知 L 餓 る さ 貪 せ す て は り 是 衆 鬼  $\mathcal{O}$ 手 は 時 す 生 り 生 ま れ 前 ŋ 夢 死 夢 を 夢 欲 11 差 ŧ で な لح 空 と  $\mathcal{O}$ 慥  $\mathcal{O}$ 畜 ŧ ふ 見 き に 生 嗔 な 굸 差 皆 人 0 た が と 中 知 空 天 る Š  $\mathcal{O}$ 0 時 如 に 用 を て 0 華 餓 لح 人 に L 憎 た 鳥 あ 心 L 取 往 夢 鬼 を は  $\mathcal{O}$ り ŧ ま り ŋ る 来 見  $\mathcal{O}$ 足  $\mathcal{O}$ せ す ŧ 時 に 仏 人 る 天 に 侭 す 順 せ は 跡 L 切 順 夢 7 す て 千 衆 な L き さ 金 L た 捨 日 万 仏 で 生 が は た る 用 果 銀 億  $\mathcal{O}$ て 生

正 眼 玉 師 盤 珪) 心 経 抄 758 頁))

- 28 十 識 自 11 意 7 識  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は  $\bigcirc$ 買  $\mathcal{O}$  $\bigcirc$ 郎 矛 松 八 尾  $\mathcal{O}$ 盾 直 語 後 年二 昭 る 期 境 氏 行 作 月 地  $\mathcal{O}$ 人 品 と 指  $\mathcal{O}$ 論 摘 世 抜 が 界 遂 あ る。 仮 名 法 和 夏 語 泉 目 書 漱 人  $\mathcal{O}$ 院 石 共 に 涌 平 お 性 成 自 け 12 意 る
- 29 31 30 え、 現 九 ゃ 十 入 **全** に  $\overline{\phantom{a}}$  $\stackrel{\cdot}{\equiv}$ 入 同 れ 代 九 従  $\neg$ 碧 六 様  $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ に 三 矢 0 書 褝 た 語 巖 末 冊 義 た 0) き ょ 語 訳 録 定 見 下 る。 高 辞 木 は 年  $\bigcirc$ 他 本 解 朝 L 典 岩 文  $\mathcal{O}$ 訳 は  $\mathcal{O}$ 美 比 漢 波 月 漢 (末 注 奈 文 書 必 を 士 文、 年 店、  $\neg$ 要 参 氏  $\mathcal{O}$ 碧  $\neg$ 木 لح 碧 照 لح 巖  $\mathcal{O}$ 返 現 書 文 月 さ 巖 思 L 注 ŋ 昭 録 代 美 き れ 録 和 わ た لح 点 語 士 平 下 る 近 十 二 ŧ は れ 訳 第 成 \_ 下 朝  $\mathcal{O}$ 省 る 年 兀  $\mathcal{O}$ + 比 で  $\mathcal{O}$ 11 碧 碧 五. 引 こころ た。 奈 あ 禅 巖 岩 巌 則 用 (1001)宗 る。 籍 九 録 録 波 は 源 に 引  $\equiv$ 研 書 龐 訳 読 究 用 七 店 を 居 み 全  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 注 読 伝 士 を B 成 後 年 統 亚 む 好 す 冊 碧 年 果 七 的 付  $\mathcal{O}$ 成 た 雪 ź を 解 月 巖 L 八  $\Diamond$ な 片 た。 を 亚 取 釈 ( 録 解 月 片 成 B 釈 ŋ
- 32 漱 頌 石 辞  $\mathcal{O}$ 典 評 翰 唱 林 書 に 房 ŧ 見 平 5 成 れ る + 九  $\bigcirc$ 七 年 五
- 33 碧 55 巌 録 を 読 む 岩 波 書 店 平 成 + 九 九 八 年 七
- 34 碧 巖 録 を 読 む 100 頁

頁

35 指 を  $\mathcal{O}$ を て  $\mathcal{O}$ エ 日 で 摘 徹 1 第二 して ネ 常 る は 底 木 的 ル 的 言 な 氏 講 V < ギ な 葉 は に る。 そ 意 て 禅 1 破 褝 味  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 壊 0 0  $\mathcal{O}$ ŧ 言 言 L 言 ま 体  $\mathcal{O}$ 葉 葉 尽 語 ŋ 系 が で  $\mathcal{O}$ < 論 で 言 理 す 日 理 日 0 解 そ 常 解 常 7 に 0) 碧  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ は 力 言 ょ 言 11 巌 V が 葉 う 葉 る 録 7 う غ を لح  $\mathcal{O}$ を L 使 L ず だ 読 な 11 た れ け 言 む わ ら、 な 葉 7 れ れて が V で 100 禅 言 5 る 頁)) ま え  $\mathcal{O}$ う そ 言 そ 言 な 葉 れ れ 0

判

以

- 36 119  $\neg$ 頁 意 識と 本 質 岩 波 書 店 九 九 平 成 年 八 月
- 37) 『意識と本質』120
- 38 是 透 Щ 較 則 れ せ 水 情 同 尽。 地 是 趙  $\lambda$ 様 水。  $\mathcal{O}$ 州 Щ 若 方 兀 表 は L 見 門 現 若 是 得 見 は L 得 透。 れ 是 Щ 透 本 碧 れ 若 せ 則 情 巌 水 ば 見 識 録 は 得  $\mathcal{O}$ 是 計 旧 透 に れ 較 に 評 水 0) 散 依 依 唱 情 見 0 旧 さ て 尽 天 に と < れ 天 是 あ は は れ 天 る る。 ば 是 地 是 若 例 れ 方 是 え 地 天 に 情 ば 地 見 Щ 識 第 得 是 計 は 九
- 39 る 小 Ш 隆 氏 は 井 筒 氏  $\mathcal{O}$ 0) 論 理 に 0 1 て 次  $\mathcal{O}$ ょ Š に 述 べ

え に に る 論 前  $\mathcal{O}$ 理 提 論 と 化 理 と L L は で た て 合 11 お ŧ 理  $\mathcal{O}$ た そ 的 存 5 لح な < 言 在 解  $\mathcal{O}$ つ 釈 て 認 11 を に ょ 識 与  $\mathcal{O}$ L え え 構 う 確 造  $\mathcal{O}$ る 禅 カン を 問 に、 僧 答 的 た は 5 確 少 れ が カコ な を 0 直 < 踏 明 観 な ま 晰 的

> 序 論 庭 平 前 成二  $\mathcal{O}$ 栢 + 樹 子 =語 録 0) 年 思 想 月、 史 10 岩 波

体 禅 演 な す 降 た 序 だ 系 変 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 5 論 化 <  $\mathcal{O}$ ば ŧ L 主 こここで に に 最 小  $\mathcal{O}$ 看 流 庭 成 日 終 Ш で 話 لح 前 功 本 禅」 段 氏 あ な  $\mathcal{O}$ し、 で 階 は  $\mathcal{O}$ る 0 栢 に 小 は に ...樹子」 た その Ш 江 大 だ 位 ょ ŧ 置 慧 が る 氏 影  $\mathcal{O}$ 期 L 系 解  $\mathcal{O}$ 同 響 で 0) 明 <u>\f\</u>  $\mathcal{O}$ 釈 力 あ 白 場 30 そ 治 に は るこ 頁)) 隠慧 す  $\mathcal{O}$ 看 期 は 今 後、 ぎ 話 日 日 لح . 禅 」 鶴 本 な 井 لح に は が 中 0 筒 11 述 ま 周 看 玉 が 褝 と 氏 べて で 知 話 中 理 11  $\mathcal{O}$ 及 褝  $\mathcal{O}$ 朝 う 解 玉 解 W 所  $\mathcal{O}$ 鮮 褝 意 釈 に で る。 階 で 限 味 が  $\mathcal{O}$ V あ 歴 定 で 宋 梯 日 る ろ 史 批 代 本 す 的

の的る

#### 行 に お け る 禅

#### 案 ح 0 関 わ り カゝ ら

#### は じ め に

が  $\mathcal{O}$ と 漱 次 ょ 学 W 日 る 石 以 漱 ょ 者 夕 は 書 な 下 石 う に 刻 褝 き 11 لح に お Þ に 込 褝 褝 لح 述 討 4 11 0 門  $\mathcal{O}$ を て ベ 究 VI は 関 法 指 抱 る ス て 係 語 摘 か ル 逸 集 を れ す = 褝 す 問 る な ア 家 る う が ル こと  $\mathcal{O}$ 上 正 そ 6 ガ 要 編  $\mathcal{O}$ が 如 ハ た 大ナ で 我  $\mathcal{O}$  $\otimes$ 校 き 褝 屝 補 لح ル な 悟 を  $\mathcal{O}$ 点 疑 1 ツ 裏 註 ヲ ŧ タ 妖 に 起 同  $\mathcal{O}$ 1 シ 書 禅 で 様 シ 吹  $\Delta$ 門 カゝ テ あ  $\mathcal{O}$ 聴 べ る。 法 問 我 れ 3/ た 語 題 ハ タ 漱 集 是 が لح ル 石 西 何 者 L 1 洋 物 で に

> 7 褝 公 案 لح て ょ < 知 5 n た V ŧ 0 で あ る が そ 5

ク

珍

分

漢

囈

語

لح

L

て

斥

け

て

全

解 頃 否 る 9  $\neg$ 褝 を に 定 褝 群 カン 門 的 لح  $\mathcal{O}$ 文 け £ 文  $\mathcal{O}$ 法 な 学 メ て 語 見 あ 章 論 لح 解 る に 七 集 推 に を が お 見 ] 測 を 有 て さ 1 漱 て L 取 n 石 て  $\mathcal{O}$ は る  $\mathcal{O}$ る が V 書 こと 2 た 読 き 否 が 込 超 لح 定 W が だ 見 脱 4 が で 同 生 は  $\mathcal{O}$ て L き 様 ょ そ ば 死 は る  $\mathcal{O}$ 明 11  $\mathcal{O}$ L 褝 か لح 治 ŧ) ま ば 5 L に 兀 ま 肯  $\mathcal{O}$ で て 対 لح 漱 定 + あ ま 思 す 年 石  $\mathcal{O}$ る。 لح る が かわ 意  $\otimes$ 否 5 れ 禅 味 5 定 兀 る に 合 + 的 対 n 11 て な L を 見 年 て 0 持

樹 レ 子 ヌ 要 者 珍 ス 重 麻 1 ル T = 丰 斤 非 ラ 悉 常 ク メ 珍 ル 疑 分  $\exists$ 深 漢 IJ 丰 致 性 囈 方 質 ナ 語 1 生 見 V ル 従 タ 日 ツ ル IJ テ 者 外 隻 手 ア = 致 ラ 声 ネ 方 ナ 悟 柏

手 声 柏 樹 子 麻 三 斤 لح は 後 述 す る ょ う

拈 テ 師 心 以 十 推 冷 ナ 前 年 IJ ス 然 ク ヲ 前  $\vdash$ 天 心 見 来 1 Н 雖 下 シ ヲ セ 覚 テ F 1 離 学 爾 七 日  $\Delta$ 上 者 ク テ IJ 未 来 ダ 衣 皆 ソ 物 次 宗 食 力 ナ 日 演 理 ク シ 入 禅 電 굸 他 室 西 師 光 東 上 見 Ľ 底 得 解 云 謁 流 於 フ ヲ ス 更 べ 呈 物 転 テ 禅 ス = 云 丰 シ 師 茲 湰 シ フ 7 テ 余 7 着 ア 力 日 ヲ セ 電 ク ナ ル ク ズ 幾 IJ 光 ヲ 物 テ 裘 底 見 ヲ 父 離 葛 理 ズ 母 ヲ 物 ヲ 1 未 閲 ヲ 以 禅 テ 省、

(「超脱生死」(3))

母 لح 定 T 漱 に を さ ル 石 父 未 円 ょ 振れ ヲ は 母 省《覚 < 未 以 寺 ŋ 見 知 返 物 生 前 ズ 0 5 電 り、 ヲ 以 宗 ヲ n 光 لح 離 見 前 演 る 底 漱 本 セ 褝 ょ 答 V ノ テ 5 石 来 シ 師 え 物 は 心 に る 面  $\Delta$  $\mathcal{O}$ 次 ナ 目 ŧ Ł を 0 ク 漱 لح 差 ょ 心 لح لح に 石 理 う L ヲ を V 参 は に 出 ノ 離 う 要 禅 明 す 上 続 公 求 す 治 け ょ =テ 案 さ る 5 於 + る 物 で n 求 テ ナ あ る 漱 七 る。  $\otimes$ 굸 シ  $\mathcal{O}$ 石 年 5 フ だ 他 は 末 7 れ = が 宗 か る ナ 云 n 演 5 IJ ح フ に 汐 カュ \_ べ 対 れ 5 年 と 丰  $\mathcal{O}$ L は 否 7 父 月

hallucination 可 IJ 落 上 バ 内 = 理 容 ラ 我 チ 帰 二 是 解 ズ 於 幻 ズ ス = 必 又 斯 テ 象 ア シ 情 説 竟 メ 以 ラ テ 余 外 ズ ヲ 如 タ ク 止 ナ 以 丰 フ ベ 情 1  $\Delta$ IJ 7 知 テ 狂 イ 丰 解 べ 幾 測 ジ IJ 人 ナ = 多 キ 得  $\vdash$ ク ア IJ ル ア 力 ベ ヲ ナ ス ラ 幻 ラ 宗 力 屑 ル ズ 象 ズ ノ ラ 教 ヲ 若 若 以 シ 有 ズ 家 羽  $\vdash$ 好 シ 外 = 断 =ア セ 7 強 ノ 情 念 ザ 幾 舞 7 ズ テ ラ ヲ 多 ス レ Ľ 之 ズ 25 以 ル 上 ヲ バ 智 既 無 ノ テ IJ 余 = 説 ヲ = poets 之 外 タ 理 用 ア ク ヲ ナ 褝 ル 不 フ ラ 揣 以 皆 ナ 当 ル ズ ル 学 テ 此 ル 1 進 類 間 者 想 굸  $\Delta$ ナ 是 像

11 て か 禅 を 不 理 当 解 想 ŧ 像 情 Þ 解 狂 ŧ 人 で き لح な 1 1 0 t た 0) 強 لح 11 L 言 葉 を 知

りしが

た

た

克加

超

脱

生

死

用

と 生 方 る IJ 斤 以 得 言 ナ え 前 シ لح べ 先 \_ る 本 11  $\mathcal{O}$ 力 来 لح ラ 0 書 す た ズ 面 き る 公 断 目 込  $\mathcal{O}$ 案 念 4 を は  $\mathcal{O}$ ス に 公 ル お 案 ۲ 悉 1 に 0 ク て 珍 ま ょ ナ う 0 分 隻 わ な 漢 手 لح る 自 5 囈 体 拒 声 験  $\mathcal{O}$ 語 否 が 参 1 す 禅 見 る ŧ 柏 と ル 姿 樹 に 特  $\exists$ 子 IJ な が に 0 外 う 父 て = カン 母 11 致 麻 が え る 未 シ

は 次 0  $\mathcal{O}$ ょ ょ う う に な 述 漱 ベ 石 て  $\mathcal{O}$ 1 る 褝  $\sim$ 0 違 和 感 に 0 11 て、 加 藤 郎 氏

そ 言 発 か 明 人 L う 見 治 0) べ 兀 て ŋ 長 そ き 或 カコ + 野 0 5 年 い 方 は 見 カン 郎 そ 向  $\mathcal{O}$ る 5 に 性 飛 れ な 大 於 を 躍 以 5 正 け が H. 托 五 る さ 認 そ 年  $\mathcal{O}$ 迄 れ 8 褝 6 て に  $\mathcal{O}$ れ  $\mathcal{O}$ 11 は 約 体 た ね 漱 + 得 0 ば 年 石 が な لح 間 に 6 体 於  $\mathcal{O}$ 大 な 現 け 漱 正 11  $\mathcal{O}$ る 石 で 過 禅 を 年 あ 程  $\mathcal{O}$ 禅 ろ  $\mathcal{O}$ لح 真 لح う で 理  $\mathcal{O}$ 0 ŧ 行  $\mathcal{O}$ か

と 1 う 言 何 葉 う で か あ L て 0 た 香 لح 厳 考 に え な 5 ŋ た れ る 1 塵 労」 五. +

加藤二郎「漱石と禅

――「明暗」の語に即して――」(キ゚)

上 服 藤 で 氏 لح は  $\neg$ そ 先 行 う  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 人 言 褝 書 ے 葉 認 き 5 込 を 識 に 4 に お そ に け 0 見 る 0 5  $\mathcal{O}$ 飛 れ 郎 飛 躍 る  $\mathcal{O}$ 躍 褝  $\mathcal{O}$ 何 徴 が う  $\mathcal{O}$ 候 あ لح か 0 違 L L た 和 T 感 て 挙 香 لح を げ 厳 を て に 想 漱 な 定 石

## 「珍分漢ノ囈語

す 間 لح لح < さ 語 す 問 計 Š 知 て あ 母 参 を 題 る \$ 褝 実 ベ 題 す 点 つ 5 存 が れ 見 公 る L き が べ て 用 案 を 臨 は 7 れ 生 L 在 る る  $\mathcal{O}$ 行 لح で る た す 意 禅な L あ 取 き 捉 加  $\mathcal{O}$ れ 行 行 特 た は え か 際 る さ 2 ŋ ŧ) 加 な  $\mathcal{O}$ 5 藤 電 が 上 5 境 性 あ か 藤 5 に で  $\mathcal{O}$ れ 氏 11 に 光 か げ 氏 れ あ 与 地 識 る 0 لح て あ 先 0 0 お に 底 6 لح ま た 5 0 7 る 漱 え 11 が 郎 思 見 る  $\mathcal{O}$ け 0 V と 方 な 捉 指 石 5 提 11 れ  $\mathcal{O}$ わ 姿 解 香 物 る で、 ŧ え 8 る  $\mathcal{O}$ れ 1 苦 行 香 لح る れ 摘 示 に に 香 厳 て 直 厳 が を لح 考 公 た さ 悩 人 を る 忲 な 擊 す に 厳 لح 本 含 言 え 案 撃 公 香 れ を 考 L 0 竹 褝  $\mathcal{O}$ 案と に 章  $\neg$ 5 に 竹 漱  $\Diamond$ え 厳 は て 解 て、 え て لح 行 湰 話 的 は ま に n お 石 11 決 る 出 を を が る。 な 人 着 与 考 け が 漱 そ 0 同 と、 る す 異 7 中 認 課 る 漱 語 体 石  $\mathcal{O}$ わ え 慮反 様 る 論 来 題 心 論  $\widehat{\ }$ 少 般 識 香 石  $\neg$ 験 لح 香 る 5 す 5  $\mathcal{O}$ 面 方 Ł 1 لح 行 に に  $\mathcal{O}$ が 体 べ 巌 n 1 褝 厳 な Ł れ 向 超 存 \_ す L 公 人 た お を 験 た 限 き 性  $\mathcal{O}$ る 0 <  $\mathcal{O}$ 脱 在 香 界 る た 案 問 11 関 لح 点 悟 ŧ と  $\mathcal{O}$ 郎 と 11 生 す 塵 に 褝 لح  $\mathcal{T}$ 見 ŋ を  $\mathcal{O}$ 係 カコ ŧ 厳 \_ が を で に L 死 る L 労 説 お を 擊 0 あ そ 7 لح  $\mathcal{O}$ が に 香 な 関 珍 意 1 公 ば 問 厳 竹  $\mathcal{O}$ せ 漱 < る  $\mathcal{O}$ 語  $\mathcal{O}$ 香 五. わ 閻 分 義 7 案 Š る L は 帰 る 石 論 だ ょ 髝 漢 公 を ば かた 漱 と + が ろ る 係 は 上 結 は う に 行 う。 لح 人 数 文 を 軽 案 重 禅 で 石 L と 父 自 な 代 人 囈 視 視の 検 物 7 で ŧ 5 多 悟 表 検  $\mathcal{O}$ に L 脈 11

> 案 す 全 る ま 般 ず 漱 は 特 石 徴 が 漱 を 挙 石 確 げ が 認 た 公 す 案 る を 0 上  $\mathcal{O}$ で 珍 公 ŧ 案 分 有 は漢 劾 特 な 囈 に ŧ 有 語  $\mathcal{O}$ 名 لح لح な 思 \$ L わ  $\mathcal{O}$ た れ で 意 あ 味 V) を 検 公 討

江 最 戸 初 時 に 代 隻 に 手 白 隠 1 声 が \_ 創 を 案 見 L る た ŧ ح  $\mathcal{O}$ で れ は 以 他 下  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 9 ょ لح う に 違 説 V 明 さ 日 本 れ

 $\mathcal{O}$ 

る

ŋ 事 け 此 玉 五 て 雲 S 六 泥 誰 7 ケ  $\mathcal{O}$ Þ ょ 年 隔 t لح 来 T 格 指 は 别 南 思 れ に L 7 あ 疑 侍 付 る 4 る き 様 起 に た に り る 覚 易 事 従 く 侍 前 侍  $\mathcal{O}$ ŋ ŋ 工 指 7 夫 南 励 لح 抜 4 手 進 群  $\mathcal{O}$ 4  $\mathcal{O}$ 声 B 相 す 違 聞 き あ 届

(白隠「隻手音声」(๑')

で 釈 音 う 公 る 生 で 案 音 は カゝ 褝 لح き  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を 音 案 特 家 が る き と 公 ŧ 性  $\mathcal{O}$ < 案 に 述 11 な 要 う 対 を ベ は 考 < す 5 な ハ ŧ 香 る 慮 大 で J.  $\mathcal{O}$ 両 れ لح ŧ 姿 ナ で 手 に て な 勢 11 ル お 公 述 あ を を 疑 ŋ 案 べ る。 た れ が b 次 た ヲ た で < 0) 引 t 起 漱 れ あ لح ょ  $\mathcal{O}$ シ 疑 7 用 石 ŋ Š で テ お 音 が 寸 L に あ ŋ た が そ 説 ろ 褝 لح を 後 す れ 明 音 う 門 起 る L に は L た 法 な 続 て そ す き  $\mathcal{O}$ 語 で < 上 11 音 L た 部 は は 集 天 る。 8 を 7 片 分  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 聞 続 で 手 害  $\mathcal{O}$ 書 t け は  $\mathcal{O}$ き 片 部 ょ  $\mathcal{O}$ B 音 で 分 う 込 لح 手 は な 4 あ 解 無  $\mathcal{O}$ 

墼 ず 底 無 ま 透 是 た 間 破  $\mathcal{O}$ 明 全. 時 究 ŧ) 見 < L  $\mathcal{O}$ 聞 耳 節 窟 る な 流 لح 宅 処 < 覚 を 転 云 を に 参 知 以 浮 劈 お 究 を 7 Š 沈 破 聞 離 11 L  $\mathcal{O}$ 此 す て £ れ ベ 業 時 て て き 海 に 忽 に 是 行 を 当 を 然 き 単 ベ 撥 7 鳳 侍 لح Þ き 転 にマ V 金 L れ に す 網 て 0 ば 行 あ L を 生 住 6 離 死 理 坐 ず カゝ 心 n  $\mathcal{O}$ 0 臥 業 意 き 思  $\mathcal{O}$ 識 鶴 海 詞 上 量 情 籠 を 究 に 分 踏 てお 别  $\mathcal{O}$ を を 根 脱 翻 V す 盤 し 技て 交 を る ŧ

白 隠 隻 手 音 声

て 案 に 公 情 て れ 見 否 لح 案 を る  $\mathcal{O}$ 理 聞 断 ど  $\mathcal{O}$ 覚 後 Ł 定 答 0  $\mathcal{O}$ さ ま き 絶  $\mathcal{O}$ え 言 知 公 さ で 葉 n を 0 詞 を 案 せ て に な た 究 離 に 心 る 11 理 は  $\mathcal{T}$ れ 対 意 参 لح な す 1 識 と 究 لح لح を 上 5 る る 情 に ۲ 言 見 な = 0 姿  $\mathcal{O}$ L 0 えた な لح 勢 於 1 な 根 る。 悟 لح が が が テ لح 盤 ŋ げ 云 1 る 述 L を 5 を そ ベ 公 フ う て 擊 開 れ L 案 7 5 < ے 破 لح 7 て  $\mathcal{O}$ ナ れ ま た で で 1 言 て ず IJ す  $\otimes$ Ĺ る 葉 あ 沭  $\mathcal{O}$ W に る ょ る べ 思 は る は 5 う 言 量 超 0 に 葉 漱 分 れ 脱 ま と T れ 別  $\neg$ 石 理 生. n 理 L が は を 1 死 思 0 7 自 る 次 B 交 考 理 に き 5  $\mathcal{O}$ B ず 詞 解 と  $\mathcal{O}$ 詞 は あ 究 さ L 感 公 る

わ せ 7 次 は に て 考 柏 察 代 表 樹 す 的 子 る な 10 公 と 案 ま 集 麻 ず  $\equiv$ 斤 碧 柏 巖 樹 録  $\mathcal{O}$ 子 公 を 案  $\mathcal{O}$ 中 で 公 あ 心 案 に る は が  $\neg$ 次 無  $\mathcal{O}$ 門 涌 関 n n 6 で と に あ あ 0

V

る

لح L 第 は あ 三 庭 何 る +前 僧 で 七柏 す が 則樹 カュ 艄 子 州 庭 لح に 庭 前 尋 さ 柏 ね 祖 た。 樹 き 師  $\mathcal{O}$ 西 に 柏 来 ょ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 意 る 樹 問 だ)」 11 11 祖 に 師 対 لح が L 答 西 え カゝ 趙 た b 州 来 は 無 庭 真 門 を 意 指 関

て \_ 頌 講 無 祖 門 説 師 関 が を 西 載 施 来 に せ L 意 5 は た れ لح て 評 は 11  $\mathcal{O}$ 唱 る ょ 禅 う ここで  $\mathcal{O}$ な ま 核 た 心 本 そ を は 則  $\mathcal{O}$ 聞 公 そ < لح 案 0 際 に 頌 <del>1</del>  $\mathcal{O}$ 即 を 常 門 L 見 が 套 た る 句 本 詩 則 で で に あ あ 対 る る L

言 無 展 事 語 不 投

承 言 者 喪 滞 句 者 迷 機 12

言 き 承ぅ事じ 下 を L 展の Š る ک 喪きと 無 < に語 こ機 るに

言

を

<

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

は

句

滞さ

£ 投

 $\mathcal{O}$ ぜ

は ず

迷

う

無 門 関 第 三 + 七 則 庭 前 柏 樹  $\underbrace{\overset{\widehat{13}}{\overset{}{\circ}}}_{}$ 

に 法 て 帰 解 11 説 7  $\mathcal{O}$  $\sqsubseteq$ で は れ に 決 ŧ 柏 て し B ŧ 樹 て は 11 見 子 る 解 ŋ 5 け れ 0) な る 話 11  $\mathcal{O}$ は 公 柏 لح 案  $\neg$ 樹 碧 が に 子 巖 示 対 唆 録 す を さ る 紹 れ 上 第 介 て で 兀 L V た + る 言 五. 後 葉 則 に 次 لح 趙 J. 0 ま ょ 州 5 万 0

さ

他 触 恁 途 麼 成 滯 向 極 則 転 不 得 処 転 得 自 然 蓋 天 蓋 地 若 転

不

書き下し」

を に 看 成 蓋 ょ さ 天 蓋 他 W 恁; 地 麼も な る に 極三 لح 則な を 転 若 不 得 L 転  $\mathcal{O}$ 処 不 に 得 向 な 5 0 ば 7 転 途と得 に L 触 て れ て自じ 滞た然ん

《『碧巌録』「第四十五則 趙州万法帰一」 (15

き ょ 0 は に な う 対 L れ L 碧 け な た 応 は た 巌 祖 れ 対 が 本 睘 録 師 ば 応 則 悟 西 あ は 向 に に は 5 来 自 極 対 ょ て 意 然 則 る 雪 圜 5 に 転 て 竇 悟 を 躓 天 不 睘 垂 に に 問 < 地 得 悟 示 ょ ょ わ を 処 が る と り 覆 転れ 講 評 だ う 説 得 評 本 ろ 価 Ł を 唱 庭 則 う さ  $\mathcal{O}$ 転 施 前 لح で れ 換 L 柏 述 て あ で た 樹 著 べ ŋ 11 き 評 頌 子 る る 語 唱 な 逆 11 で と 睘 に あ に 窮 答 悟 極 る 分 そ ŧ え け は  $\mathcal{O}$ n L 則 た 6 を 転 趙 換 そ で れ Ł  $\mathcal{O}$ 転 州 で لح で

わ  $\mathcal{O}$ 向 極 則 転 不 得 処 転 得 と 11 j 点 は そ 0) 前 0) 部 分 に 関

何 若 処 向 自 言 然 擊 不 水 便 在 到 行 多 渠 処 成 会 語 去 不 荷 在 或 天 躊 下 躇 老 和 老 尚 僧 鼻 在 孔 你 時 腳 跟 穿 下 卻 仏 不 法 奈 省 你

書き下し]

に尚若 水  $\mathcal{O}$ l 到 鼻び 擊 孔à 渠な に 成 便な 時 5 に 行 荷も穿せん < L 処 或 に せ は 向 躊ょん 0 躇ょ T せ 你が 会 ばを L 奈い 去 老 何んら 僧 کے ば 你なも がせ 天 腳まず 下 跟 < 0 下が自じ老 に然和

> 5 ん。 仏 法 省は 要さ 0 処 言言 多 き に 在 5 ず 語 繁 き に 在 5

ず在

(『碧巌録』「第四十五則 趙州万法帰一」

る。 =  $\mathcal{O}$ 直 ょ 下 旧 に 5 ŧ L 多 ハ 5 髪 < う 語 引 = 蔵 髪 れ あ 下 れ 超 る。 ま ヲ る 句 用 に 此 擊 書 を る  $\mathcal{O}$ = 脱 会 た 入 ノ 一 で に  $\mathcal{O}$ 此 理 0) 言 = に 容 生 取 レ 先 0 解 其 ま は 葉 ŧ ħ 死 そ 仏 0) \_\_ ヌ  $\mathcal{O}$ 1 さ 句 ず め に あ  $\mathcal{O}$ す 法 句 侭 て れ ヲ 言 は る لح 引 る 省 に 向 論 ヲ 7 会 千 趙 葉 な  $\neg$ し 用 擊 要 ょ 会 擊 じ き 極 取 里 州 ょ を 11 天 て 0) 便 う 処 る た 便 る 言 則 ŧ 取 セ モ  $\mathcal{O}$ 桂 後 行」 否 な セ  $\exists$ 馳 答 行 思 転 葉 0) 褝 に 言 定 転 لح \_ 5 不 だ)」 日 ス と 処 慮 師 は は さ 不 \_ が لح 得 ば 0) ル 分 L 提 れ 在 じ と わ と 処 目 解 如 別 と て 朝 若 多。 唱 る と か る 11 説 あ 盛 と 理 転 ク 比 向 1 う る。 こ と さ 碧 る。 ろ 捉 得 ŋ 奈 間 解 語 語 う を 言 端 れ を え 巖 す 宗 =句 不 点 لح 読 葉 理 5 で て 的 録 端 髪 る 源 上 在 に 4 間 あ は お 解 れ あ 講 氏  $\mathcal{O}$ 弁。 的 繁 と 0 に 間 わ ŋ = す る る 義  $\mathcal{O}$ で 間 だ な は 違 先 髪 0 せ 錯 仏 注 は = ろ が ヲ え  $\mathcal{O}$ き 伝 11 言 認 法 髪  $\widehat{16}$ に な 言 る る 統 入 て 定  $\mathcal{O}$  $\neg$ ヲ ょ え く に 葉 Ł 碧 的 V は لح る 要 入 盤 0 17 で 巌 に ヌ が  $\mathcal{O}$ 点 星 レ 直 で 駿 述 述 は ヌ 理 ŧ 間 べ لح あ 馬 間 下  $\mathcal{O}$ 直 石 べ

か 最 後 が に 洞 洞 山 Щ 麻 は に 答 問 斤 え う た た に つ 11 麻釒 如 て。 何 斤点 是 0 仏 公 案 仏 無 は لح 門 以 は 関 下 تلح 0  $\lambda$ 通 な 第 ŋ Ł + で  $\mathcal{O}$ 八 あ 則 で る す

洞 Щ Ξ 斤 ょ

門 如  $\mathcal{O}$ 何 頌 是 は 仏 以 下 ŧ  $\mathcal{O}$ ま 通 た、 ŋ で 禅 あ  $\mathcal{O}$ る 核 心 を 聞 < 際  $\mathcal{O}$ 常 套 句 で あ る。

穾 出 麻 三 斤 言 親 意 更 親

来 説 是 非 者 便 是 是 非 人

き 下

突 出 す 麻 Ξ 斤 言 親 L < L て 意 更 に 親 L

来 た 0 て 是 非 を 説 < 者 は 便 5 是 れ 是 非  $\mathcal{O}$ 人。

無 門 関 第 + 八 則 洞 Ш 三 斤

そ ょ 思 洞 あ は L う 慮 P ŋ 後 山 0) 麻 に す 0 点 分 言 三 後 別 言 を 11 斤 親 葉 半 す ŧ 来 意 が で る  $\mathcal{O}$ 説 次 更 0 全 言 だ لح 是 は 親 葉 本 け 思 非 面 則 に 的 に わ 者 碧 言 0 に ょ 終 n 巖 評 葉 否 る わ る 便 録 唱 に 思 是 定 0 親 て さ 慮 0 是 に 引 非 分 L ま れ L 見 < ŋ 人 別 ま て る 11 を う 思 意 لح な لح 慮 斥 に  $\neg$ 言 碧 VI Ł け 分 11 う 别 5 ょ て さ 巖 うに 1 Ł す 録 5 る  $\mathcal{O}$ る 句 に だ Ł が ŧ は 親 第 思 ろ  $\mathcal{O}$ 比 L う。 + わ 第 は 較 1 的 れ \_ る。  $\sum_{}$ 則 句 結 理 لح で 局  $\mathcal{O}$ 解

麼 意 若 言 想 到 巴 語 計 這 鼻 只 較 是 裏 不 得 載 見 失 環 道 古 是 之 我 人 非 器 第 道 殊 機 道 時 不 来 浄 知 始 無 尽。 古 得 言 人 自 意 因 中 然 言 会 略 只 顕 去 管 道 你 去 但 句 見 打 中 道 畳 求 即 得 忘 情 有 言 塵 什

を

下

自じ・ を 見 管 古 言 然ん計は還 れ 人 語 に 較っし ば 道が句 に は 会& • 即 中 来 < 只 是 L 5 に 得 0 言をっ 去 去 n 失 7 道 5 を 9 載さ 始 忘ば本 7  $\lambda$ 是 道が  $\otimes$ ず 言 求  $\mathcal{O}$ 非 7 <u>ک</u> 。 無 器 8 得 を L ば な 打だて 若 1) 畳がん 什な L 言 得《 這。に 麼ム 殊 L 中 裏り因  $\mathcal{O}$ 12 7 略 に 巴は古 つ 到 鼻び て 人 你はなっち 0 5 カゝ 道 時 ば 意 有 を に 但な を 6 . 浄ピ情ヒ ラ我 顕 知  $\lambda$ す 塵がに 尽ん 5 ず せ 第 見 意<sup>い</sup>一 想<sup>さ</sup>機 ば ず 道 を B 只

 $\widehat{\neg}$ 碧 巖 録 第 + 則 洞 Щ 三 斤

だ。 て 因 7 特 れ < 是 言 求 に る 訳 る 顕 8 古 非 は こ と を ŧ 道 れ 人 次 ば 0) L  $\mathcal{O}$ 始 だ لح 意 ょ 末 何 ろ う 言 义 う L う。 ŧ な 0 は に て 捉 0 て わ な え た V か る 1 中 所 5 る る つ 略 が で ŧ  $\sim$ 言 な 私 は  $\mathcal{O}$  $\lambda$ た 1 葉 に で な に だ、 だろう。 は 対 は 11 無 か。 な L < 煩 載 て 11 せ 悩 道 根 道 ば 古 本 を 之 S 人 思 器 真 悟 た が 自 慮 理 n す 然 • を 5 に ば に 分 初 語 す 道 分 別  $\emptyset$ 言 句 ぎ 本 か て 葉 に な 無 を 11 る 損 持 言 あ 得 忘  $\mathcal{O}$ 0 0

る に き が は さ は 示 は さ 5 Ł で れ に 言 لح 0 ŧ, る 古 葉 ま Ł ح を 人 ŋ لح 言  $\mathcal{O}$ 道 言 は 載 葉 言 は 葉 道 に な 葉 言 は 1 を 之 ょ 葉 な لح 器 る 引 で V 説 理 き 表 が 明 と 解 0 現 3 し は 0 で れ て 言 否 き る。 定 1 葉 な 道 る さ に 11 本 あ n ょ が 無 لح < て つ ま 言 で 1 7 言 で あ る 明 葉 因 言 る が ら が 言 葉 か ح を な 顕 注 に 渞 否 11  $\mathcal{O}$ 目 لح さ す 定 道 れ 道 لح ベ

三「香厳撃竹」

即 ま 失 L 葉 寸 な そ 否 に う は ŧ が 7 忘 定 い 扱 ک 道 さ Š 是 言 言 言 を لح 起 葉 葉 文 非 を そ れ 言 に で 葉 示 L に る 脈 最 L 9 を て あ ょ لح で 終 な 7 る 時 忘 n は 11 的 げ 悟 理 う あ 浄 そ れ 隻 に ら る ŋ 言 解 両 る 尽 忘 手 葉  $\sim$ 義 れ に を が 1 れ \_ ك 7 と が 斥 的 至 5 声 11 0 入 は、 る な け な る。 ま れ る け て t 葉 た で ŋ な た れい は  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 意 打 け 確  $\Diamond$ ば な 道 る に 畳 れ 認 識 公  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 必 や得 ば L 案 لح た ŧ で 要 思 情 な た を  $\mathcal{O}$ を あ 8 لح 考 塵 5 で ょ 表見 る 12 さ を な う • あ 現 た 必 れ 意 1 に す 0 が 要 な 切 想  $\mathcal{O}$ た。 る لح 先 が な で 公 さ 公 に 5 計 案 < あ 9 لح 案 n 較 ま は は L る は 0 な 見 ŋ 7 で そ  $\mathcal{O}$ が 得 そ 道 言 L 疑 き \$ 公 5

破 案 6. 5 れ な れ 拒 な で カン る 絶 1 あ で لح ば  $\mathcal{O}$ を れ 理 そ・ だ لح ŋ 5 ょ す 考 す あ そ う る な  $\mathcal{O}$ る 解 必 て る え 11 だ 要 な そ う で れ 公 が 公 排 続 ろ う き 案 6 案 لح は ŧ 斥 同 け 0 で に と 決 を な さ 精 さ ょ 理 で あ で 解 11 れ し れ 神 通 解 る ŋ あ 説 ŧ る る は を 常 t あ な る 言 L  $\mathcal{O}$ ベ 集 疑  $\mathcal{O}$ た 葉 لح 0 b  $\mathcal{O}$ Ł 中 き ば思 寸 そ な て と ŧ L す ŧ 考 情 て は  $\mathcal{O}$ れ し  $\mathcal{O}$ ること  $\mathcal{O}$ を P で な T カコ 斥 解 む は で 起 意 6 理 け あ L 通 6 は 識 ŧ ろ 常 解 な わ る る な で L <u>20</u> を 公 か < で い  $\mathcal{O}$ す カュ 断 き 案 思 る る 白 絶 心 そ 問 な 漱 は 考 隠 珍 さ 意 と لح 題 1 石 言 方 せ 識 に は 分  $\mathcal{O}$ 葉 隻 法 を は 漢 珍 言 لح る 情 手 求 意 に  $\mathcal{O}$ 分 を た 0 音 ょ 8 公 義 ょ で 漢  $\otimes$ 根 る 借 7 声 5 案 を 認 う あ・ ŋ 理  $\mathcal{O}$ 盤 理 れ は る・囈 な る 解 £ を 解 7 8 言

そ

を

葉

る公か語なさの

す 以 上 る 0 ま 公 ず 案 該  $\mathcal{O}$ 特 す 性 る を 部 b 分 لح を に 掲 げ  $\neg$ 行 る 人  $\mathcal{O}$ 香 厳 擊 竹 を

検

討

多 は 利{ 聡{ に 0 を{ 能 た 解 は が 明 が 猶 < لح 悟 さ 霊{ 煩 更 兄 ば 通 道 利 W 痛 U さ を  $\mathcal{O}$ に +な 切 ま 邪 生 を 名  $\lambda$ に す 魔 答{ は L は れ た 解 語 に 付 た  $\mathcal{O}$ ŋ な V L 0 自 だし て た 分 ま 0 カコ を{ て 人 る  $\mathcal{O}$ L 香 問{ と た。 な る 智 厳 と で 慧 何 0 کے ば < せ に 時 だ カュ 悟 百 さうです。 に う 苦 迄 を 굸 を 注 L 知 経 S 答{ 意 兄 4 5 ま 0 て L さ 抜 な L る{ た た。  $\lambda$ ŧ 11 11 لح 位 は て 私道 所 11 で あ に に が 俗 0 す 全 る 入 其 に ŧ < 聡 兄 れ VI 此 風 明 多 さ 意 な 知 味  $\lambda$ カコ

ら 生{ が 舞 足 さ L 此 ず 113 た  $\lambda$ る 0 坊 数 に 点 は な{ 男 た さ 年 な 検 寮 VX は 潙  $\mathcal{O}$ W  $\mathcal{O}$ 物 5 舎 先{ لح で は 間 Щ を な た に のくて は す 遂 百 す 揚 帰 姿{ 御 に 丈 カコ ŧ 12} 0 0 句 9 駄 前そ 何 褝 か た て な{  $\mathcal{O}$ れ  $\mathcal{O}$ 師 目 لح Þ 得 ŋ だ で لح あ ∽} 焼 嘆 7 平 لح う 今 る か ۷ 息 出》 叱 度 き 生 な 所 11 棄 読 り 意{ て{ は ŧ Š L て た 4 来} 付 解潙 和 画 な لح に 破 \ \{ け 尚 ۷ 識 山 11 う 仕 云 لح た 想 لح さ 描 0 舞 S た 굸 さ 5 W を 1 11 う 0 ま 書 ふ に に た 0 振 た す 餅 物 た で ŋ 人 師 就  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は 上 さ す 舞 に 11 で そ Þ う は 許 死 て す。 は で 父{ に な 参 知 L で £ { 7 n 識 す 行 れ 褝 今 腹 を 母{ 得 き 7 L ませた 残  $\mathcal{O}$ 坊 も 意

う 鳴 7 L 彼 る 投 75 た 除{ ま で ŋ ま は 閑 げ 0) ŧ 斯 す そ す ま け} し 寂 で う う こに ま{ た な す L 諦 云 切 さ た 所 8 U 0 j た 地 あ を を 善 た た L 彼 な る 選 放 £ 彼 て は す 5 草 W 下 投 は 是 此 る L を で L げ カン لح を 娤 悪 擊 朗 尽 5 小 そ 其 す ŋ さ に か L Ł n は る ま て 投 な 石 な 以 た 所 響 ゞ 知  $\mathcal{O}$ た L 庵 仕 げ 後 た。 を  $\emptyset$ 舞 粥 を を 褝 亡 聞 0 に 建 0 父  $\mathcal{O}$ を そ 13: Š が 7 た 啜 い ぜ لح て 竹 そ る 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 0 に 云 藪 で 生 字 7 気 に 0 は に あ に す n t 生 て 中 あ る き な な 考 0 喜 لح る 株 ŋ そ て 0 V 悟 7 石 を ま れ 先 な 行 W だ 憂 を 0 < 0 掘 か か L た。 然 と た 取{ り 5 姿 な う 11 さ لح つ{ 起 ŧ) あ 0

(「塵労」五十、波線は藤本による

t 大 0 本 0 で に あ 擊 な 香 ŋ 竹 0 厳 て 墼 様 は 11 竹 々 褝 る な に لح  $\mathcal{O}$ 文 お 思 文 献 1 わ 章 に て れは 見 L る。 る ば 次 L  $\mathcal{O}$ لح ば  $\neg$ が 語 五. で 5 灯 き れ 会 る 元 21 0 ょ < 0) た Ł 知 だ 5  $\mathcal{O}$ が れ  $\neg$ 行 た

句 霊{ 我 師 百 鄧 膕 被 利{ 聞 丈 州 対 汝 時 香 問 意 在 性 厳 解 百 識 竟 智 識〉丈 不 聡 閑 直 想 敏 能 得 禅 得 茫 師 師 参 然 生 処 褝 青 乃 死 不 根 問 自 帰 州 得 本、 嘆 寮 人 将 答 日 也 洎 父{ 平 丈 母{ 厭 画 日 遷 間 未{ 餅 看 俗 化 不 過 生} +{ 辞 時 底 可 答} 親 遂 充 文 百{ 参 字 試 観 飢 潙 従 道 此 方 Ш 屢 頭 是 慕 乞 句 要 汝 道 Щ 潙 尋 看 聡{ 明{ 山 在

> 礫 南 法 終 知 説 陽 也 不 破 後 睹 幹 擊 忠 Щ 略 竹 且. 汝 日 作 玉 作 事 師 個 声 我 遺 長 師 若 遂 忽 跡 行 説 粥 将 然 似 平 遂 飯 省 汝 昔 僧 憩 悟 止 所 汝 焉 免 看 中 딘 役 文 後 略 字 心 罵 神 焼 日 我 乃 去 有 芟 乃 却 頌 除 泣 日 我 日 草 辞 説 木 潙 此 底 Ш 生 是 撃 不 偶 我 忘 学 抛。直 底 過 所 瓦

[書き下し]

本、 餅 平 師 此。 一{ 山 に 鄧 Щ る 方 是 州 Ł 日 に を 日 は を} て、 た 未{ 飢 看 れ 間 観  $\mathcal{O}$ 参 だ{ 竟 を 過 び 汝 香 て え す 父{ に 問 充 せ 参  $\mathcal{O}$ 道 厳 ば 母 聡 我 得 た わ 褝 L 智 を +{ Щ 若  $\mathcal{O}$ す る る 底 明{ す 閑 慕 問 生} ベ る  $\mathcal{O}$ う 、 る う 禅 霊{ 汝 と ぜ{ や、 え} か 文 ŧ 師 利} ざ} に 6 あ 字 得 百 に 青 説 た る} ず を 直 我 ず +丈 L 時 州 似 わ 将 ち 0 て を} 汝  $\mathcal{O}$ ず せ に 丈 7 b 屢しばし 試 間  $\mathcal{O}$ 人 ば 頭 茫  $\mathcal{O}$ 意{ 乃 え{ 百 み な 然 従 遷 潙 に 解 に ば 丈 ŋ ち 汝 ŋ た 化 山 在 自 百} 先 は る 識 す に n 俗 句 5 を{ 師 已 句 想 を る 説 L を 嘆 を 答}  $\mathcal{O}$ に 後 得 を な 破 時 厭 じ 道 う{ 処 我 要 ŋ 消遣 す 1 7 V る} に を 尋 寮 び る 親 性 て 日 を 在 罵 L に 生 を を 識 < 看 膕 聞 る 遂 帰 死 ŋ 乞 辞 ん -う 、 ŋ < に 去 対  $\mathcal{O}$ に 聡 す て 根 画 潙

ず ずん 潙 る 此 僧 を 生 我 師 لح 辞 に が 遂 作 説 仏 l に ŋ 法 平 底 7 直 を 昔 ち 学 は に 是 心 ば 看 南 n ざ 神 る 我 陽 を る 所 が  $\mathcal{O}$ 役 な  $\mathcal{O}$ 底 睹 す ŋ 文 に 忠 る 字 国 L を 且達 を 師 て 免 < 焼 0 ħ 個 き 終 遺 W  $\mathcal{O}$ に 跡 長っ却 汝 を 乃 に 0 過 0 ち 粥 て 事 泣 飯  $\Box$ < 遂 い を 幹 7 行

n を 焉 て 撃 に 憩 日 5 < 声 止 を す 擊 作 に す L 日 て 忽 所 草 然 知 木 لح を を L 忘れ 芟 て 除 う 省 す 悟 後 す 略 偶た 中 瓦 略 礫 を 乃 抛 5 **∽**{ 頌 竹 有

五. 灯 会 元 巻 第 九 

たこ

لح

ŧ

え

5

れ

る

L

説

多 人 1 人 他 礫 旬 \_ 解 に が 行 は 未 五. 話 問 لح あ で を 共 人 出 ŧ + 灯  $\mathcal{O}$ な + は 0) る 通 会 筋 胞 抛 特 に 答 が 関 胎 L 問 元 は 父 徴 お 7 百 語 連 未 ほ +と、 母 لح 11 VI で 基 句 ぼ 弁 答 は 未 る。 結 7 本 使 同 考 東 百 投 生 び  $\neg$ じ 香 聡 的 用 え 西 げ 時 ま 景 9 厳 明  $\mathcal{O}$ で る な 時 る た 徳 11 が 霊 表 場 あ な لح と 聡 細 伝 て 悟 利 現 る 面 6 لح 1 11 明 か 灯 1 ŋ が  $\mathcal{O}$ 力 ば な う う 霊 な 録 る を 6 カ 違 0 意 語 利 点 لح 開 な 訳  $\neg$ 1 意 て 味 旬 で P 考 五. け ŋ Þ 解 は VI  $\mathcal{O}$ は は え 灯 な 近 る。  $\neg$ 細 省 識 言 あ 意 숲 正 6 1 想 11 か <  $\neg$ 葉 る 解 法 れ 理 元 と な  $\neg$ 景 が が 識 眼 五. る لح 出 由 言 徳 波 使 に 想 蔵 لح え 来 灯 伝 線 V 用 竹 さ あ 会 る 事 部 0 灯 さ を た る と に れ  $\mathcal{O}$ 元 録 に れ 撃 た 表 特 順 11 な 0 7 0 11 問 序 と 0 現 に で 11 11 た る。 多 が  $\mathcal{O}$ は た て  $\neg$  $\neg$ 答 行 違 行 瓦 問 知 語

に 者 を ん W \_ だ だ 鈴 知  $\neg$ 五. と る 可 五. 木 大 際 能 灯 断 会 拙 定 性 숲 に 元 利 す は 元 は る 否 用 は 定 か さ 資 褝 料 で 5 僧 れ 景 た Ł き 多 を 徳 今 な < 資 紹 伝 引 料 0 11 介 灯 所 ŧ 用 で す 録 持  $\mathcal{O}$ L あ る 0 0 て る 際 と て 11 23 に 並 漱 11 る W  $\widehat{24}$ 例 な 石  $\neg$ で が 景 え 徳 ば 日 そ  $\neg$ 本 五.  $\mathcal{O}$ 伝 司 ま 灯 時 で た 灯 た 会 録 代 禅 8  $\Box$ 頭 漱  $\mathcal{O}$ 僧 元 に 石 لح 14 0 と ょ を が 教 経 読 読 ŧ 学 る 歴

> 5 て 法 B を  $\neg$ は 五. 考 ŋ 考 灯 何 に 会 5 L 元 か て  $\mathcal{O}$ 11  $\mathcal{O}$ 25 典 る 記 拠 述 لح が を あ t Ł る 考 と ょ え に う 5 L に れ た 推 る 別 測 が  $\mathcal{O}$ さ 書 れ 語 物 る 句 を 0 典 可 共 拠 能 涌 に 性 性 か

くこ で 師 底 部 灯 で 是 あ 画 会 行 る と 餅 我 屢 あ 元 人 底 乞 は る 不 لح 私 潙 可 潙 0) に 終 L 自 記 Щ 充 Щ お て 不 身 に 飢 説 述 け 幹 穾  $\mathcal{O}$ 答 破 と る き 汝 لح 比 え 事 放 لح を 書 Щ 較 香 す で 示 物 日 L 厳 0) 場 て あ す に 擊 部 み 面 ŋ 答 ょ 我 竹 分 で う る え 若 が あ 懇 あ を 説 0 る 探 な 願 似 行 特 27 0 た す す 汝 ま 人 徴 لح る ず を と が は 汝  $\neg$ に 考 を 関 巳 五. は え わ 潙 諦 後 灯 な る 숲 n Щ  $\Diamond$ 罵 1 た が は た 我 元 8 香 去 な 11  $\mathcal{O}$ 私 厳 れ が が 我 傍 は لح 説 説 五

う 生 が て 質 と ŧ < 句 は V 間 لح 読 が 굸  $\mathcal{O}$ ま V 特 将 で < で 4 を る 徴 方 0 11 平 破 た あ 探 に 行 に が で 日 لح 彼 る 知 0 す 答 注 人 あ 看  $\neg$ が は 識 た 意 え る。 た 行 過 書 に ょ L ま る  $\Diamond$ そ 底 人 لح 物 n お た た 上 ま と n 文 明 関 位 い 注 上 さ で ず 以 字  $\mathcal{O}$ わ  $\mathcal{O}$ 書 確 7 で 目 れ 後 従 強 す 知 る 物 に す て 禅 頭 Ĺ 香 述 調 形 識 ベ を 11  $\mathcal{O}$ 要 全 厳 لح さ で を ベ き 参 た ぜ < 尋 撃 あ 述 残 5 れ 照 は 0  $\mathcal{O}$ 多 竹 ベ 5 れ ŋ L 字 に 旬 知 ず 5 て 悟 た Ł 対 膕 多 に 五. 点 香 11 ŋ れ 考 L 対 解 灯 は に 厳 7 検 る لح が 会 VI 入  $\mathcal{O}$ L  $\neg$  $\neg$ と、 が な 煩 五 元 る る た 行 < を 灯 上 多  $\mathcal{O}$ 人 答 な に 五. で な 会 لح と 知 え 0 لح は に 灯 妨 多 L 元 لح で た な 0 書 숲 は げ 解 た す は 0 に 0 に な 物 元 る で だ が は 香 な な は す 性 斯 る あ 平 で 厳 0 な

擊 捉 い る な 下 善 う 竹 に え ŋ ŧ 尽 書 た お 投 کے れ げ 物 11  $\mathcal{O}$ 11 話 を 7 7 だろ そ ح  $\mathcal{O}$ \$ 焼 仕 L 後 舞 投 <  $\mathcal{O}$ 塵 う てこ げ と に 点 0 労 た 11 が  $\mathcal{O}$ 父 う 強  $\mathcal{O}$ 五. 郎 で 母 行 調  $\overset{\leftarrow}{\smile}$ す 0 0 為 z \_ 切 思 生 は れ لح を 11 と n 7 ま 放  $\neg$ を 11 な V と 知 下 う 11 る  $\emptyset$ 識 先 と  $\mathcal{O}$ て す 切  $\mathcal{O}$ は لح 1 ろ 姿 る  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る 重 で ŧ Н と 関 荷 投 あ さ と わ る。  $\mathcal{O}$ を げ W 過 ŋ カゝ 卸 が 5 程 を 香 L 断 ŧ て 切 لح 厳 L 0 わ 楽 香  $\mathcal{O}$ を لح カコ に 厳 悟 放 て

安

 $\mathcal{O}$ 

ま

5

る

た け ŧ が に 程 性 捨 に を L لح て ょ 後 た 5 放  $\mathcal{O}$ 母 わ お 転 切 去 ŋ 下 揚 ŧ カゝ L れ n を 悟 生 致 る 連 句 る 5 T す 放 L そ 0 理 捉 L 必 り  $\mathcal{O}$ n 碧 0 そ て え て 要 れ 特 下 行 な 巖 か 多 0 P 向 何 を  $\mathcal{O}$ 5 11 性 11 徴 為 録 ŋ 知 ま そ 強 L を カュ Ł 先 は れ る は 焼 , う。 多 ŋ 考 考 平 調 説  $\mathcal{O}$ れ る き 解 言  $\neg$ 生 先 さ だ え < え 姿 に 第 竹 棄 行 葉 ろ 兀  $\mathcal{O}$ る と 言 な 読に に ょ れ に て う。 を 人 音 < 葉 な る 7 + 11 4 検  $^{\prime}$ ょ な 思 11 五 は う を 破 9 討 ŋ 仕 に 知 る を 契 7 0 慮 る 0 則 意 L 悟 舞 お 識 B 点 味 機 た た 分 ま 出 n 1  $\otimes$ لح 書 別 は ŋ 趙  $\mathcal{O}$ で لح 7 公 う に 7 に 物 ょ L  $\sim$ 来 案 に る  $\neg$ 州 11 強 ょ لح 5 لح 対 公 行 ま 0 2 上 11  $\mathcal{O}$ 万 た 調 る \_ 案 た 0 0  $\mathcal{O}$ 特 す な い ま 人 法 れ さ 言 لح う そ な る  $\mathcal{O}$ 思 知 性 ŋ 帰 な れ 葉 考 持  $\mathcal{O}$ 慮 意  $\mathcal{O}$ 最 が 言 識 11 V  $^{\searrow}$ 味 終 て で を え う 0 分 葉 香 別 と 的 1 解 残 特 香 で 言 致 に を 厳 ح 厳  $\mathcal{O}$ を 公 に る そ 5 葉 す 4 性 に 捨 は う ず 案 を る 擊 最 な ょ 言  $\mathcal{O}$ あ 7 کے  $\overset{\succ}{\smile}$ Š 特 竹 終 <  $\mathcal{O}$ n 葉 る。 点 ぶ に を لح 切 L 検 父 لح 過 す 特 0

> な 0 で あ

 $\mathcal{O}$ 

に う う ベ 知 た 囈 ル を 方 IJ 語 る な 日 な 向 何 郎 姿 得 IJ 褝 活 科 性 か か 褝 勢 に ベ 致  $\mathcal{O}$ き 学 لح لح を لح 自  $\mathcal{O}$ 力 境 た L L 方 0 期 ラ 苦 真 は 地 7 ら ナ 恐 発 T 待 理 ズ を 示 斥  $\mathcal{O}$ ろ 悩 シ 展 す 提 さ け す  $\mathcal{O}$ 断 公 \_ L か る 案 発 線 念 示 さ れ た る b 姿 す 見 を 公 を ス T 来 勢 禅 画 る 11 案 郎  $\otimes$ ル る 門 を 同 لح لح す る  $\mathcal{O}$ に 読 法 る ま £ 外 V 特 対 4 語 لح 挫 う لح で  $\mathcal{O}$ ナ 性 L 取 塵 集 語 折 見 で がに シ て 労」 る لح る を な あ わ沿 書 29 投 せ る は カュ 0 か と 三 き が 影 る لح た る 0 超 は 込 十 さ 言 カコ 7 カコ 形 脱 み 可 そ せ は え 0 漱 で 生 能  $\mathcal{O}$ な て 郎 断  $\mathcal{O}$ 石 る。 死 Þ で ŧ が 0) は 救 言 が あ 5 で 加 郎  $\mathcal{O}$ 自 済 لح 必 ア لح る き に 5 珍 藤 が だ そ 竟 丰 な 氏 す 0 分 ろ る ラ そ 余 不  $\mathcal{O}$ が  $\mathcal{O}$ 

#### 四 郎 ح 公 案

先

う

が述

ょ = メ ょ

な が 所 妻 解 人 謂  $\mathcal{O}$ 5 n 行 直 L 公 ス さ 案 上。 で で れ  $\mathcal{O}$ IJ あ き に لح た 中 ツ る な お 女 に  $\vdash$ い 11 ろ 性 は て 何 Ł が う 超 あ 倩 兄 あ る 脱 学 魂 女 0 生 離 者 と 7 郎 死 L 魂 + b で て 女 لح 会 あ 兄 を Ł  $\mathcal{O}$ 11 L 0  $\mathcal{O}$ 霊 て に か لح لح 行 見 は ŧ VI 愛 < 識 が Ž Š لح す لح 言 カコ る 魂 う 男 Š 理 で 郎 لح ま 性 解 で 0 لح は 離 藻 Ł 後 Š ŧ で れ 掻 カコ ば < 情

れ る た カ 褝 女 僧 離 لح لح 問 魂 同 う  $\mathcal{O}$ じ 話 Ł ょ  $\mathcal{O}$ が う が あ な あ る 状 る が 態 に 11 あ 0 郎 た は تلح ま 5 さ に 6 公 が 案 本  $\mathcal{O}$ 物 前  $\mathcal{O}$ 倩 に 女 立 た で さ あ

のベ

な

 $\lambda$ 

が、 け を を 攫 れ 周 す 塵 香 ば 开 る Ł  $\mathcal{O}$ 労 厳 宗 ょ カュ う と  $\mathcal{O}$ う 教 6 لح 三 と 境 尊 な に す + 地 な る 直 入 敬 九 る な る さ た  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\otimes$ カゝ れ لح 自 霊 だ る と 追 ら 僕 1 11  $\mathcal{O}$ 郎 郎  $\mathcal{O}$ Š 詰 前が は 知 カュ 8 様 途  $\neg$ 魂 5 に 死 Þ を と れ は な め 頼 1 た 方 此 カコ ŋ う 先 法 لح か に つ気 を 憧  $\mathcal{O}$ が 試 所 れ ŧ 違 4 ま 謂 لح う  $\mathcal{O}$ る た ス L L カコ が そ ピ 7 か  $\mathcal{O}$ IJ 夫 失 語 な ツ で る 11 敗 知  $\vdash$  $\mathcal{O}$ な

団にがに

罪 う 0 开 対 ょ لح 対 頭 心 頭 る た に に す る に さ だ 0 え 11 か Ł 6 は 7 る 帰 L 取 5 れ 敬 敬 郎 地 れ ŋ 疑 高  $\mathcal{O}$ L 塵 とさ 意 な ま 0) な S < を 労」 行 を を 苦 が た 認 11 を 評 Н 直 人 示 失 \$ が 価 ら 8 起 れ さ う 7  $\mathcal{O}$ き さ る 凡 4 ず +  $\bigcirc$ に れ لح た 整 7 は る れ 乱 八 お な る さ V 0 る لح L 塵  $\mathcal{O}$ れ が が 労 け れ た t カコ 原 Н  $\mathcal{O}$ た لح 5 る 出 然 T で 頭  $\mathcal{O}$ L 大 が 心 述 兀 来 す で を 11 に l そ ベ 十 る。 な 知 僕 あ 考 がは ŧ 0 る 六 敬 11  $\mathcal{O}$ ま 0 あ 塵 ょ ŋ て  $\mathcal{O}$ ま 兄 意 世 る 頭 同 と 労 う 扱 界 た さ 理 に を あ に 表 智 働 V 観 同 W ゆ 兀 る に 郎 考 カュ L 様 き が لح え ょ 郎 十 明 5 た に は 過  $\sim$ は は 続 に う  $\mathcal{O}$ 抜 注 5 見 11 Н ぎ け  $\neg$ 意 僕 れ L 郎 が る 11 か 刮. る لح ば  $\mathcal{O}$ 彼 頭 た が は ょ れ 述 其 兄 明 又  $\mathcal{O}$ 必 な う 理 れ カゝ ベ 整 乱 頭 理 智 理  $\mathcal{O}$ さ 要 心 に 智 智 た に る れ W で 0

四そ界到

に

周ににのめのあ

絶

よたた

た + に 着 さ لح 明 る 7 L 11 は 麻 無 ょ 頭 る تلح る 7 は L W T と 5 が が Η 三 言 程 白 ŋ た ŧ は に 這  $\mathcal{O}$ 言 斤 か 兄 塵 隠 入 始 着  $\mathcal{O}$ 次 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 心 致 葉 大 に さ 絶 労 だ。 が け さ な れ は を 8  $\mathcal{O}$ L 言 W 夶 隻 と ょ な 理 7 な が 必 れ 理 て 顕 に は 兀 手 L Š 11 全 解 何 要 道 な る 及 絶 智 11 僕 + 音 郎 て に と  $\mathcal{O}$ が  $\mathcal{O}$ < す Ł ば ŧ る 対 لح Ŧ. 声 は で 述  $\mathcal{O}$ で 考 る 考  $\widehat{31}$ さ 見 ら な  $\mathcal{O}$ は あ 自 べ لح す 境 れ 道 11 لح 道 る て る。 5 た と そ 言 な を لح 地 同 即 7 述  $\mathcal{O}$ 御 が あ が  $\mathcal{O}$ 11 え 忘 起 様 郎 仕 を ベ 蔭 出 な 塵 5 ふは  $\mathcal{O}$ 言 舞 0 明 理 る れ 労 で す 理 事 来 11 言 文 持 ふ 通 ら 5 す ま 智 0) 人 葉 Ł を H 脈 ŋ 0  $\mathcal{O}$ か  $\mathcal{O}$ を L 自 が  $\mathcal{O}$ は 碧 に に 点 郎 + 然た 捨 ゆ 顔 で 白 巖 ょ 高 郎 は L 塵 が え 私 九 L  $\mathcal{O}$ L 7 あ 録 0  $\mathcal{O}$ 悟 私 考 兄 去 な に は る 公 て 標 に 番 は さ る け 此 高  $\sim$ 案 準 頭  $\sim$ 兀 兄 第 た 高 必 絶 n 場 11 ŧ W  $\mathcal{O}$ 絶 لح +御 が さ 要 + ば 標 見 V 対 合 対 言 準 5 蔭 لح W 性 至 ま な 此  $\mathcal{O}$ に 五.  $\mathcal{O}$ 葉 塵 る 則 た  $\mathcal{O}$ 理 n で 判 굸 を 境 ŋ \$ 境 が 労 لح る 此 断 0 話 説 た 地 ま 自 地 た 境 を め洞道 せ 分 述 2 に < 疑

に山本

なげ 是 に た 11 れ 兄 高 さ な 善 VI 標 11  $\lambda$ 0 は 準 で を 美 す さ 醜 5 生  $\mathcal{O}$ ŋ 寧 区 活 ろ لح  $\mathcal{O}$ 别 そ そ 中 に 於 れ れ 心 に を لح て 擲 振 l 自 5 0 な て 下 け 分 が n  $\mathcal{O}$ り 幸 ば 今 な 福 生 日 が を き 迄 求 7 に ら 8 い 養 幸 る 6 11 気れ

聞

兄

を得やうと焦燥るのです。

「塵労」四十」)

す)」 に 去 塵 区 が そ が 矛 突 る る 別 你 盾 ベ 但 に 郎 れ き 意 Ł き 打 於 る 公 に が  $\mathcal{O}$ 想 0 碧 0) 案 苦 畳 け Ł で 7 巖 で  $\mathcal{O}$ 得 玾 L  $\mathcal{O}$ あ b 計 録  $\mathcal{O}$ あ 特 4 る。 情 と 智 n 較 る 性 な L 塵 た 高 て を  $\mathcal{O}$ が 課 得 第 知 1 5 意 絶 ŧ 題 + = 失 標 挙 لح 想 0 で 準 に 悟 捨 あ 則 是 V 計 と、 ŋ て る。 を 非 う 去 を 転 較 洞 を 高 るこ 倒 開 そ 山 擲 始 1 得 11 れ , つ \_ 麻三斤」)  $\mathcal{O}$ 末 と が さ 価 失 た は よう L 値 لح せ <u>こ</u>と て、 るこ を 語 で 是 是 な き Ł 非、 5 非 な と、 V لح な 0 れ 0) 頭 0 ŧ る 1 11 善 だ  $\sim$ 香 0) う 時 悪 厳 郎  $\neg$ n を 点 W 浄 理 に だ が 12 尽 美 32 ħ 智 無 に か 捨 0 醜 は 5 郎 な < 情 あ 7  $\mathcal{O}$ 

# 『行人』における禅の可能性

五

5 7 中 公 カン き n 込 心 11 本 4 T た 章 ょ 漱 か は 関 た う 石 6 た 漱 لح に う わ で 褝 石 言 n 公 カコ あ に 0 を え 案 が 関 る 公 念 る  $\mathcal{O}$ え が わ 案 特 る 頭 る に 最 性  $\neg$ ょ に 文 対 行 う を 後 脈 す 人 把 先 に な を る 握 行 否 検 認 に ک 定 論 L 討 識 お  $\mathcal{O}$ 的 に L を 11 ょ ょ な た 起 て う 郎 0 見 点 な  $\mathcal{O}$ は 解 て  $\neg$ 禅 苦 指 を  $\neg$ 門 香 行 悩 禅 摘 香 さ 厳 法 を に 人 語 擊 対 語 厳 れ に る 竹 集 擊 7 て 竹 き お 上  $\mathcal{O}$ た け で に 持 褝 見 書 る 活 0 を

限界という点を再考しておこう。

 $\mathcal{O}$ 

野 舞 ħ に  $\mathcal{O}$ で لح £  $\mathcal{O}$ 鳥 2  $\mathcal{O}$ き L た 鴨 た を 0 7 居 Š は 発  $\mathcal{O}$ 神 あ 絶 子 権 見 展 で は る 対 明 邦 Н 横 な す げ あ 自 Ł か 朗 が 面 威 る 化 同 るこ لح べ ろ 己  $\mathcal{O}$ れ に 氏  $\mathcal{O}$ 5 を に う。 1 神 否 を لح 逆 が き だ は  $\mathcal{U}^{\circ}$ れ こ と お う と 褝 定 で 建 向 L け L 褝 \_\_ は は を そ 立  $\mathcal{O}$ き 香 P を る か に な 考 す 郎 境 で 厳 自 ŋ  $\mathcal{O}$ 僕 し、 褝 お る 分以 と \_ Н 11 え ま が 地 あ  $\mathcal{O}$ は 郎 的 V か る  $\mathcal{O}$ が る 放 を ま 絶 に 7 34 0 神 認 殴 な が 下 外  $\neg$ 対 郎 説 33 識 有 逆 لح る 5 嫌 で 0) 生 だ 0) 塵 لح ŧ  $\mathcal{O}$ <  $_{\bigcap }$ 名 場 ば、 向 意志 死 労」 時 沭 き 限 な 郎 仏 郎 面 を 絶 ベ 同) で 界 次 そ で  $\mathcal{O}$ が に 超 対 兀 る あ で を  $\mathcal{O}$ 象 ょ 塵 ŧ 我  $\mathcal{O}$ 越 ょ に + 話 る 指 لح 徴 る 労 何 あ  $\mathcal{O}$ が う 自 を 的 絶 語 で る 絶 摘  $\overline{\phantom{a}}$  $\neg$ に、 思 ۲ 神 同 絶 す 6 対 で る ŧ 兀 対 打  $\mathcal{O}$ 対 لح わ を る あ 十 自 化 せ 場 た す 即 لح 上 Þ が る に 兀 分 لح 郎 相 委 れ る に る 面 ŧ 以 指 は  $\mathcal{O}$ ح る 対 は 任 仏 禅 由 で 外 摘 Н 望 と が は 的 来 あ さ 例 L に 方 Je. て لح に ŋ 百 な す 権 れ 向 え 同 ۲ 郎 ま 丈 仕 11 t る 威 て 我

巌 問が < 師 百 録 は 丈 う  $\mathcal{O}$ 馬 と 力 を 大  $\mathcal{O}$ 師 ど 見 鼻 百 七 第 た。 う づ 丈 で は Ŧī. b が す 弟 L 十 そ 子 を て 三 飛 لح  $\mathcal{O}$ 捩 飛 則 答 で 0 び 百 てバ た 去 え 馬 丈 去 百 ŋ る 大 と 0 丈 旅 師 ま 百 た 野 馬 が 行 丈 L 鴨 は た 大 L لح 子 師 7 痛 な が と が W 11 み あ に だし 答 た を ろ ょ تلح え لح Š る (35 ) ° こに き、 5 لح る か え 間 7 す 行 う 力 لح う た る 0 七 沭 8 لح た 0) が 馬  $\mathcal{O}$ で 飛 た 大 か W 師 馬 百 で لح 丈 大 が

ろ を 考 n に え 臨 済 録 0 次 0 節 を 並 べ 7 そ 0 指 L 示 す لح

皆 祇 你 是 你 若 文 面 能 字 前 歇 勝 聴 得 相 法 念 底 念 是。 終 馳 不 求 学 得 心 人 他 信 便 活 与 不 祖 祖 及 意 仏 便 不 向 别 外 馳 你 欲 求 得 設 識 求 祖 得 仏 者 麼

[書き下し]

面から 0 你 て て ず 前が 馳も聴き 若 に 求《法》作 L す。 能 他 底い  $\mathcal{O}$ < 是 祖 活が設た 念 仏 ħ 祖っい 念 を な 意い求 馳ょ 識 ŋ を 8 求ぐ る 得 得  $\mathcal{O}$ 学 ず る 心 لح 人 者 を を 信ん 歇けっ Ł 得社 不き 得さ 及りん 皆 せ に と 是 ば 欲 L n て す 文 便 麼ゃ 5 字 0 便 祖  $\mathcal{O}$ ち 祇た仏 勝 外 لح 相 に に 你 別 向 が な L

(『臨済録』「示衆」(36)

そ な b 11 お れ 0 て 前 る 11 訳 は た 悟 批 た 心 は そ で 文 8 ち 判 る を ŋ 次 字 な が に そ で 臨 は 断 0 言 外 5 0 あ 11 済 ょ で لح が 句 に る 0 祖 切 う あ 言 述  $\mathcal{O}$ 向 が 仏 る に 概 0 そ る う 真 ベ を な لح う ょ て 念 て 知  $\mathcal{O}$ る と *(*) 悟 11 で 求 だ ŋ が 11 た 8 る で n う る。 お そ 活 た 11 き は  $\mathcal{O}$ 意 きた だ、 は、 た 前 ħ لح 自 そ 味 た な に 思 己 れ で 5 祖 気 悟 お う 5 に で あ づ 師 が ŋ 前か 例 る  $\mathcal{O}$ き そ t を そ た え 意 さ あ 外 ち そ l  $\mathcal{O}$ ک 求 で 外 え に ま る は 0) め は で に す 向 ま ょ 得 な そ 祖 向 れ け れ う た V て を 仏 0 ば れ  $\mathcal{O}$ な そ に 探 信 説 で 7 じ 法 求 す あ れ 気 え て は 付 切 を る 8 は b لح 聞 ま す れ

> ŋ 以祖れ 自 カコ  $\mathcal{O}$ れ あ 5 た に で 百 外 る る 己 自 あ t 丈  $\mathcal{O}$ 逢 に 痛 野 権 う 己 4 ŋ  $\mathcal{O}$ ま 11 て そ で 鴨 た  $\sim$ を 威 う لح は 子 考 感 そ を は 悟  $\neg$ \_ 返 じ 0 な 否 祖 え n 逢 そ ے る < で 定 仏 に が を う لح 自 見 す 殺 殺 結 あ لح 己 を そ る る す 仏 び る L に 伝  $\mathcal{O}$ لح لح  $\subseteq$ لح 0 7 す 気 え 力 V 浲 き うこ 11 付 る 七 馬 祖 る 臨 る カゝ た を 大 殺 即  $\mathcal{O}$ لح 済 لح せ  $\Diamond$ 見 師 祖 心 だ 録 に る に る  $\mathcal{O}$ 是 カ 百 問 0 仏 仏 5 لح 馬 丈 な に は 示 大 自 が لح で 湰 自 衆 師 身 外 る う 己 11 て に  $\mathcal{O}$ 37 う が 百 は لح そ 丈 百 向 力 は 言 丈 け モ ے 14 葉 0  $\mathcal{O}$ 意 0 5 に て を で ま n 向 殺 代 ま 識 鼻 n を を を た け 先 自 L 表 仏 己 外 捻 t 6 Z  $\mathcal{O}$ で

る لح る 識 題 に ま が Ł に  $\neg$ に ま 理 を 郎 褝 0 11 示 逆 絶 自 行 関 さ 対 解 自 は  $\mathcal{O}$ な 0 向 分 0 人 漱 思 た 打 わ が れ ま き 以 す 己 石 る。 想 て ŧ 外 る 公 ŋ ベ  $\sim$ 0 に が で ま に لح  $\mathcal{O}$ Ł 案 1 き お 参 た 権 返 で そ る 意  $\mathcal{O}$ に は で 知 禅 11 で ŧ 識 威 す あ 代 な あ  $\mathcal{O}$ て て 褝 を  $\mathcal{O}$ Ł る あ  $\mathcal{O}$ 表 < ろ を 際 は る さ と 自 لح あ う  $\mathcal{O}$ が 突 に 以 褝  $\neg$ 0) で き L 分 る れ 与 香 Н 7 自 関 あ 上 Ł る لح 詰 え が 厳 لح 捉 身 れ 連  $\mathcal{O}$ ŋ す 8 5  $\mathcal{O}$ そ 向 え に  $\mathcal{O}$ を ŧ る た れ 真 神 放 中 ح か る 向 建 ま  $\mathcal{O}$ 上 な た  $\mathcal{O}$ 下 う け で た 解 77  $\mathcal{O}$ 5 で لح 自 لح 考 す 決 る ょ 初 ば 父 己 が う 11 郎 لح え る 外  $\mathcal{O}$ 母: 8 لح う 5 な  $\mathcal{O}$ 方  $\mathcal{O}$ で 0 11 て 未 神 権  $\mathcal{O}$ 苦 き 0 が 褝 権 向 う n 見 生 探 る。 で 威 性 悩 褝 な る 嫌 的 威 出 以 が 求 べ ŧ を لح が 0)  $\mathcal{O}$ な を さ 前 近 と 考 る き 仏 思 説 L 否 れ 本 て 代 1 Ł で な で 想 定 え れ る 来 う 中  $\mathcal{O}$ あ ŧ を 示 化 は  $\mathcal{O}$ L 面 لح さ 0 問 そ 中 ŋ 郎 何 背 で 目 間 景 題 核 な で 0 0 意

想 0 لح 否  $\mathcal{O}$ 定 関 そ わ ŋ L 0 て 中 で 真 再  $\mathcal{O}$ 考 自 す 己 る  $\mathcal{O}$ 必 要 探 が 求 と あ る 11 0 た 次 章 意 に 義 お を VI 西 て 洋 思

#### 【注記】

0

点

を

論

じ

る

- $\widehat{\underline{1}}$ 融 館 Щ 田 明 孝 治 道 几 編 + \_ 校 補 九 点  $\bigcirc$ 註 七 禅 年 門  $\equiv$ 月 法 語 第 集 五. 版 正 編 光
- 2 を 小 七 宮 明 豊 治 隆 九 兀 四二 + 行 人』 年十 年  $\mathcal{O}$ ·二 月 ろ 漱 熱 石 心  $\mathcal{O}$ に に 芸 漱 読 術 石  $\lambda$ が で 岩 あ  $\neg$ た禅 波 門 書 لح 法 店 あ 語 る。 集 昭 和
- 3 に よる。 ] 超 <u>۱</u> 脱 生 岩 死 波  $\mathcal{O}$ 書 引 店 用 昭 は 和 村 尚 五. 勇 +編  $\neg$  $\widehat{-}$ 漱 九 石 資 七 六 料 年 文 五. 学 月
- 4 138 漱 石 と 禅 翰 林 書 房、 平 成 +九 九 九 年 + 月、
- 5 兀 5 +月 東 七 京 月 日 朝 + 日 五. 中 新 日 断 聞  $\mathcal{O}$ 後 大 正 大 元 正 九 九 Ξ 年 年 +九 月 月 六 +八 日 日 5
- 6 悟 ら は た 0 な 重 て れ  $\neg$ 払 松 対 る る 褝 拭 ょ 地 泰 す 門 る う 亚 雄 法 切 な 違 褝 語 漱 れ 和 お 集 な 感 う 石 لح か  $\mathcal{O}$ Š う、 老 0 違  $\mathcal{O}$ た 書 荘 和 を لح 感 き 亚 思 込 成 褝 け わ 九 4 0 れ き と に  $\widehat{\phantom{a}}$ る え ょ < 0 書 カゝ < 九 に V 5 九 漱 超 て で 七 石 論 あ は 理 漱 る 年 生 的 石 涯 な 五. に そ 303 K 褝 月  $\mathcal{O}$ 認  $\mathcal{O}$ 頁) わ た 開  $\otimes$ に 新

述べられている。

- 7 お 学 れ た け 出 例 ŧ る 版 え 0) ば 会 褝 瀬 241 的 沼 昭 理 和 茂 頁) 想 兀 樹 + لح 第 を Ŧī. 捉 え  $\mathcal{O}$ て  $\equiv$ 郎 九 い 部 七  $\mathcal{O}$ る。 自  $\bigcirc$ 作 \_ 我 の年 哲 七 夏 学 目 かは 漱 6 石 行 カン け 人 東 は 京 大 な
- 8 二月)、 集 た T に  $\overline{\phantom{a}}$ な 行 明 は 成 な 香 V 人 か か 厳  $\mathcal{O}$ に 第 0 初 撃 香 で に 逆 + た。 出 竹 厳 は お 向 巻 は  $\mathcal{O}$ な け き 例 は 放 1 る で 国 行 え か 下  $\neg$ 香 あ 人 |文学| ば、 <u>ک</u> — 行 る 厳 とさ 人 0) 鳥 桜 郎 ح 話 昭 居 はそ 論  $\mathcal{O}$ 楓 れ 指 和四 邦 に て 我 社 摘 朗 お 1 れ  $\mathcal{O}$ + さ る。 平 絶 1 ほ れ 行 成三 対 て ど 化 九 あ  $\mathcal{O}$  $\neg$ لح ま 積 私 六 極 見 は 五. ŋ に 九 漱 注 的 九 石 ょ 方 目 意 年 作 味 れ 向 さ 八 とし 月 ŧ ば 品 れ 年 持 論 7
- 9 吟 社 隻 手 昭 和 音 声 九  $\widehat{-}$  $\mathcal{O}$ 引 九三 用 は、 兀  $\neg$ 年 白 九月) 隠 和 尚 に 全 ょ る 第 兀 巻 龍
- 10 門 5 掲 L て 波 代 関 L な 載 麻三斤」 さ 表 て 4 あ り、 店 的 作 に お れ 品 最 な ŋ て 0 漱 新 公 に V V は 碧 版 案 石  $\neg$ 関 る。 7 巌 無 で は  $\neg$ 心 は 録 無 門 漱 あ が 門 柏 関 石 る 碧  $\neg$ 高 に 関 夢 巖 樹 全 カン は 集 趙 +録 子 0 関 夜 州 た 評  $\mathcal{O}$ 無 に わ は 碧 と 唱 字 る 注 関 巖 さ 0) 第二  $\neg$ する 表 に 録 中 れ 無 が 現 ょ で て 夜」 門 とも 紹 る 使 書 が 11 関 لح 作 わ 籍 介 る に 品 そ れ を さ に  $\mathcal{O}$ に 内 て 本 1 れ 無 は < に 他 11 則 て 方 門 る 本 見  $\mathcal{O}$ 0 1 と 11 他 カコ る 則 L  $\neg$ 7 < 無 所

るとされている。

- 11 西 年 村 六 恵 月 信 訳 に 注 ょ る 無 門 関 \_\_ 岩 波 書 店 平 成 六 九 九
- 12 が で 関 そ 考 連 0) 碧 巖 察 評 0) づ 破 録 頌 け 唱 人 た 情 でこの は 5 意 れ 見 第 義 て Ł + ح 頌が お と 近 人 り、 ŧ 則  $\mathcal{O}$ 掲 لح 観 ŧ 先 載 唐 洞 念、  $\mathcal{O}$ に さ 代 Щ で 考 れ  $\mathcal{O}$ 麻 あ 察 思 てい 三斤 洞 ると言 慮 L Щ る。 た 分  $\mathcal{O}$ 別 ŧ 0 え を そこ 隻 頌  $\mathcal{O}$ る。 手 打 と で で 破 音 さ ŧ 声 す は れ 触 る て れ  $\mathcal{O}$ 5 お 公 لح  $\mathcal{O}$ n れ 頌 案
- 13 訳  $\neg$ 注 無 **『無**門 門 関 関  $\mathcal{O}$ 漢 に 文、 ょ る。 書 き 下 L  $\mathcal{O}$ 引 用 は 前 出 西 村 恵 信
- 14 で 将 趙 は ここでの 示 境 州 示 さ 示  $\mathcal{O}$ L ない て 庭 V 柏 で 下 州 な 前  $\vec{\Xi}_{\circ}$ 柏 樹子」 さ 樹 老 と答えた。)」と 子 僧 は 不 と言うと、 لح 曾 V) 将境 無 う 門 答 示 関 え 人。 あ 趙  $\mathcal{O}$ 0) 州 後 (僧 ŧ に は  $\mathcal{O}$ は لح 僧 私 若 和 は 굸 干 尚 異 境」 和 な 尚 る。 境 で 莫
- 15 現 九 に 入 全 入 従 代 九 碧 に 六 矢義 った 三 語 巌 冊 訳 ょ 録 た定本」 高 る。 は 年 木 他 朝 岩 文  $\mathcal{O}$ 訳 漢 波 美 比 月 漢 (末 注 文 書 奈 士 文、  $\mathcal{O}$ 氏 店 木 لح 碧  $\mathcal{O}$ 返 現 文美士 書 さ 巌 昭 注 り 代 き れ 録 لح 点 和 語 下 る + 近 は 訳 \_ L 下 朝 省 年  $\mathcal{O}$ 比 碧  $\mathcal{O}$ 11 碧 引 巖 た。 奈 禅 岩 巌 用 宗 九 籍 録 波 録 は 源  $\equiv$ 引 研 書 究 用 七 訳 を 店 全 注  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 読 伝 三 成 後 年 平 統 む 冊 碧 果 七 成 た  $\mathcal{O}$ 的 巖 を 解 月 八 8 な 平 取 釈 5 録 に  $\widehat{\phantom{a}}$ 解 B 成 n 釈

- れ  $\mathcal{O}$ るところ で あ る。  $\bigcirc$ に  $\bigcirc$ 読 み と 年 P す 三 を さ 月 付 を 5 し 考 平 た 成 え + 書 五. 年 き 三 下 月)  $\mathcal{O}$ を 必 要 لح 照 思 L た わ
- 16 松 明 崎 治三十一 覚 本 参 訂 編 輯 八 九 天 八 桂 禅 年 師 六 提 月 唱 碧 巖 録 講 義 光
- 17 それ 問 和 則 を 問 で 言 為 は う 復 批  $\mathcal{O}$ 錯 結 は な 是 雲 判 言 且 認 他 葉に 局 全 与 門 す 5 得 定 どう 話 < 他 体 没 る 盤 露 外 酬 文 対 交 星 錯 なんだ。)」 金 れ 渉 唱 脈 L に 認 て 風 そ で 答 と 定 若  $\mathcal{O}$ V 既 用 えた 0) ١ را 盤 ま 道 る 不 V う言 本 星 答 ま 恁 6 カン 則 لح 他 言 麼。 れ  $\mathcal{O}$ 没 葉 あ 話 葉 て 評 唱 交 ŧ は る。 لح 畢 1 唱に 渉 和 し 錯 L \_ る。 竟 唱 し 碧 認 て 作 た 雪雲 和 巖 定 理 麼 例 カン そう L 録 盤 解 門 ż 生 た 星。 為 ば と ŧ で て に 復 言 雲 な L 若 答 散 是 う 答 門 第二 渞 え 見 1 答 な え は 与 る さ な 他 5 た 僧 他 + れ 話 لح 唱  $\mathcal{O}$
- 18 前 出 西 村 恵 信 訳 注  $\neg$ 無 門 関 に ょ る。
- 19 <del>二</del> 中 あ に 言 況 道 五. 此 は 本 則 捉 な な 因 事 無 え 雖 11 言 言、 5 が 不 蓮 顕 で れ 在 道 華 道 因 ŧ 言 峯 言 本 言 拈 P 葉 句 無 顕 中 拄 る が は 言 道  $\mathcal{O}$ ŋ な 杖 事 因 非 言 け と 葉 言  $\mathcal{O}$ れ 顕 窮 11 が 旬 ば 本 道 う 極 既 則 禅 弁 \_ と 言  $\mathcal{O}$ に 別 不  $\mathcal{O}$ 葉 と 能 で 評 お 言う は 弁。 き 唱 1 ろ ず て Ć に 両 不 ŧ は は、 碧 道 見 義 見 な 巖 渞 が 的 5 録 現 言 な れ カン れ 葉 道 る。 る  $\mathcal{O}$ 本

20 て に う 4 は 頁 句 ン 語 書 プ 1 0 ŧ 込 集 店 0 لح る 11 4 ン  $\prod$  $\mathcal{O}$ 11 特 力 7 え い 正 平 隆 で カン 質 う ン  $\mathcal{O}$ め 編 成 あ  $\neg$ な を  $\mathcal{O}$ 指 解 臨 る る 裏 囈 摘 説 + V  $\mathcal{O}$ 済 理 返 が 語 が わ 録 ま 漱 解 L あ あ ば た 石 に ŧ لح る  $\bigcirc$ ŋ 絶  $\mathcal{O}$ 受 言 1 書  $\bigcirc$ 待 褝 同 け 1 う 本 小 八 込  $\mathcal{O}$ 書 当 表 0 Ш 稿 無 4 語 に 現 7 け 氏 年 0 分 に 録 は た ず は 解  $\mathcal{O}$ +別 0 0 ŧ 釈 言  $\mathcal{O}$ 11 麻  $\mathcal{O}$ V に う 月 看 て と لح カン お 話 語 ば 言 斤 な い 活 に 禅 0 る て 句 に 思 7 とご 52 理 t お ょ 柏 頁 路  $\mathcal{O}$ 参 け V لح 樹 考 に 特 る < に 子 لح ŧ 質 門 岩 لح 81 活 チ 組 法 波

21 大 平 道 が لح V 死  $\mathcal{O}$ 平 常  $\mathcal{O}$ 巻 て 成 彦 注 広 元 見 t 0 正 渓 に 論 超 + で 0) 初 録  $\neg$ 6 行 声 永 じ 八 漱 年 典 は n 越 人 Ш 拠 る 石 る 香 に  $\neg$  $\overline{\phantom{a}}$ 色 広 中 لح 景 主 な 厳 発 葛 集 0 前 録 تلح で 褝 徳 要 見 撃 藤 لح 英  $\bigcirc$ 出  $\mathcal{O}$  $\neg$ 伝 な さ 竹 集  $\mathcal{O}$ 六) 五. 社 指  $\neg$ 灯 禅 れ 関 灯 葛 漱 摘 録 籍 た に  $\mathcal{O}$ 連 年 会 昭 藤 石 行 で لح ŧ 0 記 が 十二月) 元 集 لح 人 和 は が L V 0 述 考 禅』) 几 紹 な て で て は 察さ カン 等  $\mathcal{O}$ + 介 1 は あ 簡  $\neg$ 6 が 場 七 さ 祖 る 潔 引 で れ あ で そ 合 れ  $\widehat{\phantom{a}}$ 堂 で 用 て は る は 漱  $\mathcal{O}$ て 集 参 あ い 九 石 他 11 \_ 考  $\neg$ る。 道 ŋ て 香 七 文 に る 宋 0 V 元 厳 学 高  $\neg$ る。 た 宋 加  $\overline{\phantom{a}}$ 撃 祖 ま 全 僧 香 語 正 藤  $\Diamond$ 高 堂 竹 年 伝 厳 文 た た 法 僧 集 擊 兀 だ 眼 研 郎 伝 景 竹 に 究 松 月 第 蔵 生. 本 永 七 は 0

> 景 務 を 蔵 て 伝 施 印 徳 灯 L 書 伝 ょ 五. て 館 灯 ŋ 灯 11 録 لح 昭 会 る 行 和 人 元 正 巻 兀 法 第 +  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 眼 十 表 蔵 現 香 厳 が  $\mathcal{O}$ 九  $\widehat{\mathbb{T}}$ 擊 該 六 六 ) 景 竹 当 景 徳 部 徳 伝 لح 分 年 灯 伝 近 を + 録 灯 V 掲 月、 録 載 لح す 句 Þ が る 読 わ 点 台 正 カン 比 と 湾 る 法 較 商 眼

略 Щ 生 酬 有 請 対 弁 依 鄧 辞 中 益 東 州 潙 不 対 和 吾 為 娤 仍 学 平 沈 香 Ш 朌 西 不 Ш 除 而 吟 時 問 褝 厳 佛 乃 為 偈 草 会 智 去 久 汝 法 自 説 本 師 之、 閑 云、 木 抵 也 嘆 分 平 祐 遂 南 生 和 禅  $\Box$ 事 帰 祐 以 進 学 尚 師 陽 且. 瓦 堂  $\exists$ 睹 数 試 解 作 画 擊 擊 語 及 忠 道 知 青 個 餅 忘 竹 吾 徧 玉 陳 経 其 州 長 不 所 説 検 其 師 法 巻 人 行 可 句 知 声 得 所 所 器 遺 # 也 粥 充 来 是 集 跡、 解 子 飯 飢 後 俄 吾 諸 上 欲 厭 僧 \_\_ 吾 略 失 之 方 遂 祐 激 記 俗 要 笑 語 見 於 憩 皆 発 辞 免 記 者 間 句 解 是 止 不 智 親 役 汝 廓 焉 尽 許 汝 光 心 然 焚 無 於 観 未 神 省 之 汝 師 方 師 出 日 悟 日  $\Box$ 言 眼 懜 謂 慕  $\Box$ 胞 遂 可 目 然 胎 之 道 中 此 因 泣 将 何 却 無 未 日

平 正 成 法 + 眼 六 蔵 増  $\bigcirc$ 谷  $\bigcirc$ 文 兀 雄 全 年 訳 兀 注 月  $\neg$ 正 法 眼 蔵 講 談 社

た  $\mathcal{O}$ ま た な 香 に カン ょ 厳 大 ŋ 智 旬 閑 記 潙 を 禅 持 VI 道 せ は 師 取 ず < L カン き 0 父 た 7 母 る な 未 大 潙 生 W L 以 ぢ 大 聡 円 前 禅 に 明 香 あ 博 師 厳 た 解  $\mathcal{O}$ ŋ な 会 7 n に 11 は 学  $\lambda$ わ 章 道 疏 が せ

六 午 ょ L た ぐに 出 る て 武 辞 潙 に か 飯 飯 Þ な 五. 版 灯 ひ 当 カン  $\mathcal{O}$ < を L ぞ き う を S 浄 庵 せ L ほ 灯 台岩 社 会 び す す Щ < ず 11 て 0) 行 て ま た て 茫 ŧ 漢 会 ごと で 7 6 然 文 偈 き る は 益 11 元 に 道 年 元 波 ち あ を お く 大 は を 年 す 月 ず 竹 V 不 は な む 年 書 そ 台台 < 正 る 原 0 な ŋ 月 る を た な を 得 の 来 店 し 5 す な 五 文 4 う て、 を S だ わ な 引 湾 り。 な ŋ < に を に ゑ て る Š 行 れ ŋ 用 昭 商 お は、  $\equiv$ て き 句 て る わ 大 な 粥 ち 玉 S は は そ 務 和 < 潙 月 読 1 と 師 に ŋ に カコ n 飯 カン 画 和 ふるところ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 兀 0 印 は に 点 わ ŧ  $\mathcal{O}$ に 僧 Š に 火 す  $\neg$ 尚 < 際、 ち + 書 をも く た を 王 庵 大 まうす、 か 6 ح な 行 لح れ わ に に 豁 兀 だ 館 ī な 施 証 雲 ほ け تلح  $\mathcal{O}$  $\lambda$ 粥 此 が  $\mathcal{O}$ 鈴 な 年 然 ぢ ち L 五. ど 玉 L け あ 飯 5 生 る ŧ た 陪 木大 とし ý °  $\lambda$ 兀 た。 ば 発 に 主 と 師 が 僧 ん t て  $\neg$ 不 80 0 饌 ぢ に、 月 鈴 行 編 年 た 仏 得 L  $\mathcal{O}$ と ち に 書 拙 役 わ 擊 て 年 書 木 兀 ŋ  $\Diamond$ 法 あ 蹤 11  $\mathcal{O}$ 来 な V 送 籍 忘 れ 大 未 て、 所 大 き 庫 る <跡 に 智 ふ لح を は  $\mathcal{O}$ ŋ Š  $\mathcal{O}$ を 悟 をうらみ 所 収 拙 下 全 さ 閑 詳 を は あ ごと べ 披 0 知 す き、 0 書 竹 を た ひ せ う 全 L は は 0 L て、 尋 研 づ ŧ ょ 珍 む 衆 ゑ は に  $\lambda$ む カン 心 んこと き 究 後 本 ŋ ね を 中 あ 道 す 神 0 僧 な る 略 て、 本 引 七 た 路 び 昏 に 行 لح Š 書 略 用 集 ŋ 大 + を 7 昧 粥

> 23 月) 鈴 的 内 木 影 哲 響 に 雄 は 次 Ш 南  $\mathcal{O}$ 喜 宋 ょ 房 褝 う 仏 を に 書 تلح あ 林 う る。 لح 平 5 成 え る 十 兀 か  $\bigcirc$ 宋  $\bigcirc$ 代 宗 年  $\mathcal{O}$

で

紹

介

さ

れ

7

1

る

香

厳

擊

竹

0)

話

を

考

に

L

う す な 年 褝 褝 8 徳 三 0) 者 宗 て 伝 利 ところ る 0 た ょ て 仏 文 便 世 燈 用 中 ち さ う 教 献 利 紀 録 Þ ŧ 略 で、 に 辞 で ま れ は 0 と <u>-</u> な لح 典 あ で 7 他 0 P ま  $\mathcal{O}$ 敦 会 0 11 た。  $\mathcal{O}$  $\bigcirc$ 漢 ず た 禅 煌 元 五. た 文 世 語 0 僧 灯 文  $\neg$ 0 紀 会 で で 会 献 献 辞  $\mathcal{O}$ とい 0) に 典 代 あ 伝 元 が 元 類 る。  $\neg$ 発 記 発 表 会 に を さ と が え 見 見 説 元 さ 利 清 双 ば さ ま れ で 用 る。 朝 法 嬖 れ n 考 は お L が لح 宋 た る た。 代 ょ 証 網 1 以  $\neg$ 日 褝 祖 び 本 学 羅 に 前 堂 そ  $\mathcal{O}$ で さ 宗 て 成  $\mathcal{O}$ 集  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 使 れ ょ <u>\frac{1}{2}</u> 褝 江 利 戸 用 7 成 宗 い L 数 用 時 さ 立. で 史 が 登 年 は 代 れ 7 か あ 研  $\neg$ 景 場 に 極 ろ 近 た 究

南 宋 禅 を تلح う کے 5 え る カコ 134 5 135 頁))

24 褝  $\mathcal{O}$ 研 究 参 照

22

25 す え ŧ る 問 語 文 る と で لح + 有 ŧ あ は 答  $\neg$ 閣 五. 力 百 る 几 香 な 聡 灯 庫 厳 根 明 会 全 擊 拠 元 書 聡  $\mathcal{O}$ で 竹 明 点 あ  $\mathcal{O}$ 電 霊 霊 る は 当 0 子 利 利 話 該 版 が 笛 五. 方 所 0 紹 灯 意 意 で 語 介 L 会 解 解 前 旬 さ カン 元 識 検 れ 出 匕 索 鈴 て ツ を 識 で  $\vdash$ お 木 大 想 ŋ 大 0 問 拙 本 な 語 と <u>-</u> 句 0 本 V 典 を 節 褝 十  $\mathcal{O}$ 拠 語 た 検 で 研 だ 索 لح  $\mathcal{O}$ 

断 じ 察 念 ŧ す L る  $\mathcal{O}$ た が 後 行 あ に る 人 続 < 香 以 厳 あ 下 ŋ が  $\mathcal{O}$ 書  $\overline{\phantom{a}}$ ところ 物 五 を 灯 燃 会 で P 元 あ L に 仏 な 法 11 を 記 述 と Š ほ لح ぼ 同

思 我 に そ を を れ 量 L た。 せ 生 ŧ カン ま 5 ず せ ず、 ざ 坐 は る 褝 切 以 善 ŧ 何 を 前 Þ b ŧ 放  $\mathcal{O}$ 思 5 カン 下 量 な \$ L لح せ け 放 ず、 て 下 t れ ぼ 思 ば L カン て 量 悪 W せ ŧ 道 と ず 思 切 を し 思 量 関 T ま 量 せ せ を た ず す め 0 即 る لح 今 لح 父 云 底 母: 云 ふ を 未 Š だ

『禅の研究』(28頁))

 $\mathcal{O}$ 紹 恵 る は 師 に 引 た た Š L 用 だ  $\mathcal{O}$ 違 だ 介  $\mathcal{O}$ ち で け 香 た を  $\mathcal{O}$ 1 潙 な 7 で は 厳 Щ ŧ 行 は 点 سل は 墼 に な カン  $\mathcal{O}$ 2 大 t < 何 褝 拒 と て 6 る 竹 拙 考  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 絶 思 11 は は 間 るこ え 役 妙  $\mathcal{O}$ さ わ 他 に 五. 5 に 趣 漱 話 れ れ  $\mathcal{O}$ な 灯 ħ と ŧ を る を る 石 部 に 会 る 咬 カン 場 が <u>17.</u> 分 カコ 元 た 4 智 面 ま 6 直 に 別 た、 ぬ L 解 t 接 お  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\otimes$ と 直 分 存 に V 書 版 る 굸 別 在 本 接 て  $\neg$ 物  $\mathcal{O}$ ふ が す 節 に 五. b が と 違  $\sum_{}$ る。 灯 で  $\neg$ あ لح は 11 び 考 会 五  $\neg$ ると 相 に  $\mathcal{O}$ ŋ 5 察 灯 五. 元 \_ 称 灯 ょ 0 な す 会 考 る は 4 会 を 証 V る 元 えら め 元 文 て に 典 拁 B لح 香 を 11 れ カン 語 L る 大 厳 典 る。 を 拙 拠 て 智 が 句

目 能 性 漱 人 に 石 が た <u>つ</u>  $\mathcal{O}$ V 直 ŧ て 接  $\mathcal{O}$ 比 較 言 で に 及 は は  $\neg$ 五. な L 厳 た 灯 11 が 会 密 な 元 意 本 0 を 味 点 稿 で に 典 に 0  $\mathcal{O}$ 拠 お 11 典 لح け 拠 7 る L لح た  $\overline{\phantom{a}}$ 柳 作 五  $\mathcal{O}$ 品 灯 で 田 聖 会  $\mathcal{O}$ は Ш 比 元 な 較 لح を 柳 可

26

こと 徴 成 語 を る 多 ょ ŧ  $\neg$ ŋ を 通 比 的 V 0  $\mathcal{O}$ 五. + で 方 浮 L 較 て が 灯 な Ш 18 て、 あ か カコ  $\mathcal{O}$ 説 常 会 19 頁 る 6 び 作 話 司 に 元 頁) 上 業 を 前  $\bigcirc$ 第 行 が は、 香 が 1  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ な  $\bigcirc$ 六 人 لح 見 厳 5 カン 説 Ł تنط  $\bigcirc$ 巻 6 1 そ 撃 せ に 話  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ に う れ る 語 竹 れ に に 褝 年 初 指 お る た ぞ る ŧ 対  $\mathcal{O}$ 期 と け 摘  $\mathcal{O}$  $\otimes$ れ か 全 決 月 灯 褝 る 述 を に 話  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ < L 史 宗 ベ 参 別 が 補 記  $\mathcal{O}$ に 中 香 考 6 歴 持 助 述 個 新 読 書 あ 厳 線 を れ 史 に な た 0 4 る 0 擊 て 的 L 意 意 な で 方 研 た 竹 対 11 社 味 義 あ 姿  $\neg$ に 究 る 1 勢 景 を り 決 会 を <u>つ</u> 明  $\mathcal{O}$ 的 与 を 徳 V 目 語 さ 本 同 لح 法 5 な え 伝 て ŋ 稿 書 的 宗 る る 蔵 か せ 灯 方 る 12 教 で 録 館 に は لح す そ  $\mathcal{O}$ お 的 は لح 後 لح B 特 け に 平 る  $\mathcal{O}$ 本 宗 が  $\mathcal{O}$ 

- 27 T 為 ŧ 避 に 解  $\mathcal{O}$ け 結 は む 釈 で る び す  $\mathcal{O}$ さ あ が び 0 点 外 り、 れ < は る 可 で で 能 引  $\neg$ n لح 五. あ は 性 用 向 灯 ろ ょ 悟 す を う。 か 会 5 ŋ 内 る う な を 包 元  $\neg$ 意 文 す 臨 識 脈 外 る  $\mathcal{O}$ 済 を  $\mathcal{O}$ ŧ 録 香 振 中 に  $\mathcal{O}$ ŋ で 求 لح  $\mathcal{O}$ 厳 払 書  $\Diamond$ 捉 擊 う 物 る 竹 え 即 過 を 姿 b 心 程 焼 勢 れ 是 が  $\mathcal{O}$ き を る 仏 批 本 捨 0 紃  $\mathcal{O}$ て 詳 稿 لح る す 述 考 る え 五 は
- 九 八 て  $\neg$ 行 七 は 年 秋 後 十 期 に 山 作 お 公 月 男 け 品  $\mathcal{O}$ る に 方 行 的 法 香 人 確 لح 厳 に 構 擊  $\mathcal{O}$ ま 浩 竹 主 لح 桜  $\Diamond$ 題  $\mathcal{O}$ 楓 6 社 構 れ れ て 造 ま 昭 11 で 和 る  $\mathcal{O}$ 六 漱 解 + 釈 石 文 に 学

28

- 29 に 石 る  $\mathcal{O}$ 見 私 ŧ 開 5 論  $\mathcal{O}$ 0 化 れ で ょ あ う 角 明 る Ш な 治 لح 書 兀 V 店、 郎 +Š  $\mathcal{O}$ 指 兀 昭 抱 摘 和 え は る 兀 九 + 不 越 六 安 智 が 治 漱 雄 年 九 石 +七  $\mathcal{O}$ 講 郎 月 と <u>-</u> 演 年 لح 六 現 郎 · | (| 月 0 代 な 日 漱 等 が 本
- 30 る と 習 この 5 問 年 倩 な 1 + 女 月 と 公 ŋ 離 L 案 魂 て は 0 捉 題 中 倩 は え 名 女 0) 秋 る 離 に 月 ベ 魂」 ŧ 公 龍 き 案 あ 珉 ŧ ると を  $\neg$  $\mathcal{O}$ 参 + 公 と お 照 案 さ り、 則 L れ た。 て 自 1 筑 11 己 ま 摩 る。 た、 0) 仏 書 道 房 真 لح 同 書 は 昭 に 自 に 和 対 ょ 己 六 を + す る
- 31 0 ば に 関 す 前 る 連 出 郎 か 両 松 5 義  $\mathcal{O}$ 本 言 的 常 及 な 考 彦 さ 性  $\sim$ れ 格 る 漱 て こと 石 11 ح る。 と L 褝 て  $\mathcal{O}$ 両 正 義 法 性 行 眼 に 蔵 つ V  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ て 場 合 画 功 餅 罪 半 لح
- 32 案 褝 悟  $\neg$ 0) 僧 ŋ 碧 特 で 巖 性 導 あ 録 < と る は 歴 看 Þ 本 史 和 来 的 褝 無 無 な が 門 縁 実 形 関 で 在 成 あ لح さ など る し れ て た に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 見 香 は 宋 5 厳 代 れ は る、 で あ ŋ 公  $\mathcal{O}$ 案 ょ う に 唐 な 代 ょ  $\mathcal{O}$ ŋ 公
- 33 鳥 <u>ー</u>の 居 邦 朗 部 「 行 作 人 前 前 出 出)、 に ŧ ま 見 た 5 同 れ 様 る。  $\mathcal{O}$ 見 解 は 瀬 沼 茂 樹
- 34 月  $\mathcal{O}$ 褝 遂 籍 生 に は 死 L 未 を  $\neg$ ば 遂 \_ 超 碧 L 越 巌録』「 ば 見 文学」 す 5 ると れるも 第 七 平 11 + = 成 二 う 0) であ 表 + 則 現 五. る。 は 百 丈 類 野 間  $\bigcirc$ 似 網 雲  $\mathcal{O}$ 摩 厳 利 ŧ 子  $\mathcal{O}$ لح 年 を 0 +行 含 人

さ 限 吾 則 ŋ れ 6 漸 を 源 ず 雲 指 弔 門 摘 慰 却 禅 て 展 門 に 両 1 法 る 手 透 語 脱 集 L に 生 か 死 透 道 等 出 元 同 見 生  $\neg$ 様 6 死 正 れ、 0) 法 表 眼 ま 現 蔵 第 た は 五. 等 + 碧 に 五. 第 巖 則 五. ŧ 録 散 十

わ

35 百 丈 前 と 出 力 末 モ 木 文 に 美 ょ 士 る。  $\neg$ 現 代 語 訳 碧 巌 録 第 五. +  $\equiv$ 則

見に道四

36 臨 臨 済 済 録 録 (岩 0 波 漢 文、 書 店 書 き 昭 下 和 + L 年  $\mathcal{O}$ 七 引 月 用 は に 朝 ょ 比 る 奈 宗 現 源 代 訳 語 注

訳

は

同

書

を

参

照

た

藤

本

に

ょ

る

t

 $\mathcal{O}$ 

で

あ

る

37  $\mathcal{O}$ 殺 便 否 で 定 せ 殺 あ 0) す 内 る 言 لح 葉 0) に あ 向 4 は る な カン よう ۲ 6 0 ず て  $\mathcal{O}$ に 引 自 外 用 外 L 6 に 部 た 白  $\mathcal{O}$ に 前 内 カン あ 0  $\mathcal{O}$ 部 る 7 所 0 権 ŧ に 権 威 威 と 逢 を 向 さ t 0 裏 れ た 否 向 る 定 ŧ す ŧ  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ は 逢 を 皆 ŧ

### に お け 褝 エ 1 ム H ソ 交 わ n

実 行 的 な 僕 を め ぐ つ 7

### は じ め に

5 に う  $\mathcal{O}$ 出 話 لح 価 研 訴 来 れ で  $\neg$ 値 究 え 言 る る  $\mathcal{O}$ 行 え が 的 は だ ょ 人 然 う 置 な b う。 に か 僕 そ L  $\mathcal{O}$ 何 n  $\mathcal{O}$ と 端 う 7 تلح 不 郎 VI \_ 的 L う 77 ぞた る 実 な は 文 行 表 5 教 字 的 此 実 れ  $\sim$ と言  $\mathcal{O}$ な 研 行 て を よう 僕」 究 呉 唱 え を 的 れ え る。 な が な 求 る 考 対 僕  $\otimes$ ۲ 褝 え 立 が る 塵 は 的  $\mathcal{O}$ 人 労」  $\mathcal{O}$ で 香 言 に 実 関 厳 捉 葉 行 あ 兀 心 え に 的 る 十な に  $\mathcal{O}$ 5 お 繋 憧 れ 11 五. 僕 Н が て に n と は、 と る に 後 変  $\mathcal{O}$ 見 者 11 化 슾 ŧ

価 え 1 な とこ さ ば 値 兄 と 観 せ さ Н ろ 述  $\mathcal{O}$ が で で、 尊 は 後  $\mathcal{O}$ る 者 敬 あ 理 私 لح る を が 解 は ま 捉 高 0 力 兄 え 11 < ょ 12 さ う て 評  $\mathcal{O}$ 尊 ん ょ そ 価 に 敬  $\mathcal{O}$ 頭 す れ 1 を 頭 だろ 研 は る 払 を と 究 0 う。 信  $\mathcal{O}$ 行い 的 7 じ 人 信 う あ て 頼 他 ま あ か 郎 に は L ま 5  $\mathcal{O}$ 実 Ł た L ŧ あ 行 Η た は 郎 う ŋ 的 方  $\mathcal{O}$ カゝ 塵 私 が 兄 は  $\mathcal{O}$ 労 さ 研 ょ え ŋ 究 自 0 る W 鋭 明 は 的 兀 を + 例 鋭 な 敏  $\mathcal{O}$ 対

な

7 式  $\mathcal{O}$ そ

種

 $\mathcal{O}$ を

形

式

を

ょ

ŋ

前

に

備

形 演

丈

 $\mathcal{O}$ 旨 年

統 は 前

で 者 行

中  $\mathcal{O}$ わ

味 ょ れ

 $\mathcal{O}$ う た

統

に

ŧ

何

に

t

な

5

形

式

か

5 お

我 り

Þ

 $\mathcal{O}$ 

生

活

割

出

さ

う 事

لح 実

す

る

な

6

ば

あ

る

場

合

に

講 お

学 に

な

観

察

者

が

作り

出

講

演

中

味

形

ょ

に 価 ょ な < 遙 働 労 を な う 僕 に さ 頭 評 き お な 転 11 れ に 進 懸  $\equiv$  $\mathcal{O}$ を 価 人 て、 倒 で 問 て 有 に L W け 十  $\neg$ 題 7 だ す 1 根 る 八 0 行 ざ さ 周 る。 世 を て V ŧ 美 人 考 せ 井 L る  $\mathcal{O}$ لح あ 0 的 中 0) 言う る た で 述 え が 0 に 後 前 者 評 を る な べ カゝ 大 ŧ 上 者 な 価 ک け 想 分 部 倫 に に لح 像 で 5 か れれ 理 分 兄 注 価 価 言 L ば £ ば 5 的 に さ て 値 値 え 目 な な に お W を を る。 見 す ŋ 郎 1 ŧ, V 研  $\mathcal{O}$ 置 る お ま べ  $\mathcal{O}$ 兄」(「 て、 予 こうと 究 ٢, < き 智 せ 考 的 期 郎 ん な 頭 的 え そ 通 が  $\mathcal{O}$ に す に 郎 兄」二十) ŋ れ が t 同 る 0) 自 0 に 対 は 鋭  $\mathcal{O}$ 実 ま 兄 分 今 敏 と、 で 行 頭 ŋ さ ょ  $\mathcal{O}$ 過 あ 的 ŋ は 世  $\lambda$ ぎ と 郎 は 幾  $\mathcal{O}$ に 述 高 研 郎 向 は  $\mathcal{O}$ 中 倍 対 < ベ 究 そ <u>\f</u> を ょ 0 評 る 派 的 ŋ て <u>\f</u> 高 れ

其  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ で 処 ょ Š あ に 大 に る 変 述 ベ な て  $\mathcal{O}$ 無 ょ 理 11 る う が な 出 来 観 な 察 け 者 n ば  $\mathcal{O}$ な 問 5 題 な に 11 0 11 لح て を 漱 沭 べ 石 は る ŧ 次

料 常 る Š す 徹 対 لح 確 が 冷 る 頭 象 か 乎 人 あ 然  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 事 徹 を 5 斯 考 ょ る لح は た は 離 尾 う ŋ な は 何  $\sim$ る 殆 観 処 歩 る 判 b 全 n 云 傍 < 7 W 察 迄 退 S  $\mathcal{O}$ 明 私 観 趣 سلح だ 知 者 Ł V L は 者 لح が る 望 て か た 斯 で 自 0 違  $\mathcal{O}$ 8 あ 分 佇 に 5 頭 う 態 を 説 意 な 彼 る カコ 立 な 度 ふ で 5 ず ŋ 有 明 1 等 が 其 離 0 観 む ま L  $\mathcal{O}$ 何 て 物 相 察 L 癖 す 纏 た 故 手 者 が が に 7 8 11 に 普 た な を で 眼 あ 此 通 ŋ 研 あ る 彼 弊  $\mathcal{O}$ ŧ  $\mathcal{O}$ す 究 る 前 等 0) 4 を Ł 考 ま L 以 に 云 は に 醸  $\mathcal{O}$ 相 上 置 S 彼 間 す L ょ て 手 は カュ 換 等 違 る か n 之 を 相 う れ  $\mathcal{O}$ は と 根 を 知 丰 上 ば 取 な  $\mathcal{O}$ 気 彼 لح す 扱 る 研 御 体 11 強 と 得 同 る 究 Š 筈 等 質 く 11 化  $\mathcal{O}$ 材 だ 問 す は

中 味 لح 形 式

之 述 を て 漱 体 眼 石 得 る 0) は す 前 る に 観  $\mathcal{O}$ 置 察 لح カコ 者 は う 全 لح  $\mathcal{O}$ < す 問 趣 る 題 が  $\sqsubseteq$ を 違 た Š  $\otimes$ 対 に لح 象 す を 其 何 る 物 処 迄 そ に な L ŧ 7 n 自 次 す 分 ま  $\mathcal{O}$ カコ ょ L 5 5 て 離

に

L

上 で観 は 察 者 ょ <  $\mathcal{O}$ 纏 纏 ま  $\Diamond$ る た け Ł n  $\mathcal{O}$ Ŀ は Ł 中 藤 味 本 カュ 注 5 굸 換 ふ 言 と す れ 向 ば 纏 形 0 式 て  $\mathcal{O}$ 

> 捉 部 外 る か な 得 入 5 1 り な L لح い 认 て い 観 S W で 察 11 様 Š 其 を な 事 裏 場 L に 7 合 面 な  $\mathcal{O}$ 相 が る 活 丰 出  $\mathcal{O}$ 動 を 7 で カュ 離 来 す 5 る れ L 7 0 其 で 7 自 形 あ を ŋ か 極 ま 5 出  $\Diamond$ す る る 丈 が 形 で 式 詰 を 内 1)

と

中 味 形 式

で う 方 を 地わ り え 形 る カコ لح 式 る が 脚 跋 理  $\mathcal{O}$ せ す 5 観 لح لح 絆 が だ を 両 研 渉 て ま 出 全 が 者 11 は 究 を で す 調 L る 者  $\neg$ 5 < き て 形 述  $\mathcal{O}$ 的 着 る 査 行 之 ベ ₩. 共 行 趣 る。 実 す け 式 塵 人 は を 5 場 地 る を 通 人 が て な 労 ڪ れ に す 違 Щ 0  $\mathcal{O}$ 人 体 捉 姿 に 内 得 て だ お る 勢 Š 河  $\sim$  $\mathcal{O}$ ま 人 兀 お 部 得 11 け 問 で を ŋ と 0 す + け る る 題 研 跋 た る な  $\mathcal{O}$ あ 五. る 入 义  $\mathcal{O}$ 認 意 究 で 渉 同  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ VI る ŋ だ。 \_ で を لح 識 識 的 あ す ľ لح と 郎 込 あ る。 لح  $\mathcal{O}$ を る 披 経 は 考 1  $\mathcal{O}$ W る そ 全 あ 持 験 1 11 え う で n て う 0 を < れ 5 嘆 لح 要 其 方 実 地 趣 指 て  $\mathcal{O}$ L で ħ き す 裏 が 1 行 لح 理 Þ あ が 摘 る に る 決 る 観 は を う 違 は 面 的 7 通 に 察 لح 脚  $\mathcal{O}$ 定 لح 調 Š لح じ 僕 活 的 言 を 者 そ 查 焦 絆 先 か る す は と 動 え  $\mathcal{O}$ 慮 を  $\mathcal{O}$ に 対 5 る。 ŧ 異 は 認 り 着 义 カコ る な さ 識  $\mathcal{O}$ 抜 け を う 其 5 ک そ 中 郎 を 披 点 物 る せ  $\mathcal{O}$ い 7 L 見 لح  $\mathcal{O}$ て 味  $\mathcal{O}$ あ لح て Щ V لح に 7 上 考 لح لح 言 る ŋ る 河 7 あ な 自

て、  $\mathcal{O}$ 境 郎 地 が は 求 本  $\otimes$ 文 る に お 絶 11 対 7 即 Н 相 に 対 ょ 0 0) て 境 次 地  $\mathcal{O}$ に ょ 0 う 1 に て 語 見 6 7 れ 4

だ لح と 何 て < に Ł 6 を 対  $\mathcal{O}$ لح 置 即 云 لح ま 其 な 入 自 れ 兄 き 相 て  $\mathcal{O}$ Ł す 0 れ 然 さ る 掛 他 対 Š 半 ま 名  $\mathcal{O}$ て ば に W 偉 念 を に  $\mathcal{O}$ 鐘 す  $\mathcal{O}$ 自 天 此 は 大 唯 ŧ 作 な で 0 付 分 地 境 純 な 起 す 音 0 る さ け は 自 ŧ 地 粋 やう う 5 て 0 を 様 有 分 万 に に L な だ 言 聞 0) لح 丈 有 入 心 な لح 葉 ŧ 苦 < 7 な が Ł 11 n 0 又  $\mathcal{O}$ を と 其 存 落 L 11 V 無 る 微 だ 換 す 絶 凡 む Š ŧ 在 べ 5 11 細 と る 必  $\mathcal{O}$ 対  $\mathcal{O}$ لح す て き 付  $\sim$ な て 要 で を だ t る 0 だ き 云 P Š す 同 لح 片 対 لح が 経  $\mathcal{O}$ を う 云 だ  $\mathcal{O}$ じ 其 な 験  $\mathcal{O}$ 象 굸 得 な で < 従 意 半 L  $\mathcal{O}$ 付 لح لح S た ŧ す。 味 て ま 굸 な 鐘 ま 0 か 11 人 0) す。 て る を  $\mathcal{O}$ る S Š す は な だ 表 ま 自 音 る ŧ し と 分 は は 人 即 す 求 Ł  $\mathcal{O}$ \_\_ 云 す 又 以 即 が 5  $\mathcal{O}$ が 度 8 S لح 苦 外 5 絶 だ さ 悉 此 な ま 自 Š L に 俄 対 と < 境 11 す  $\Diamond$ 物 分 然 だ L な 界 で 絶 云

(「塵労」四十四

n 己 合 だ 7 わ 先 き せ 行 た。 て 論 塵 12 早 お 労 自 い 1 我 Ł て 兀  $\mathcal{O}$ + 自 ک لح 兀 己 L 0 境 7  $\mathcal{O}$ 地 僕 絶 尚 は は 対 崎 絶 化 義 そ 対 恵 0) だ لح 直 氏 L 前 は て 同 次 0 L  $\mathcal{O}$ ば と 郎 ょ う L 11 0 に ば う 捉 言 述 神 べ え 葉 は 6 لح て 自

> 藤 は で に 自 あ 帰 我 大 解 を る L 消 我 7 拡 す 他 充 لح る 人 相  $\mathcal{O}$ な t 対 7 で 0 皆 的 世 あ て 自 関 界 る。 分 係 が 唯 だ か す لح べ 5 思 絶 起 7 対 自 る ば 我  $\mathcal{O}$ 11 存 ょ P لح 在 な な V لح  $\mathcal{O}$ 葛 る な で 藤 0 n あ は で 5 消 う 滅 自 切 す 我  $\mathcal{O}$ 自 る 葛 我  $\mathcal{O}$ 元

(岡崎義恵「「行人」」(\*)

そ +的 な て  $\mathcal{O}$ لح す す 0 れ を を 11 郎 関 外 漱 る る か 言 自 尚 ょ 不 に 係 研 界 石 な え 崎 対 1 が 自 6 善 <u>5</u> 占 を 化 う 自 か 我 究 的 る る 6 を 氏 7 0 لح で な 執 5 研 人 ŧ な は 5 考 لح 標 不 す 自 す 究 物 起  $\mathcal{O}$ 0 絶 自 美 は え 潍 る ることと لح る L か 自 己 で 対 己 で た そ 5 を 同 細 我 今 11 は を 考 不  $\otimes$ れ 作 じ か 0) Þ に 日  $\mathcal{O}$ 先 真 に 絶  $\sim$ る < な 0 な 絶  $\mathcal{O}$ そ 0) 元 汔 る 対 高 た 葛 関 自 解 に 出 対  $\mathcal{O}$ L に 0 人 化 連 我 釈 い 藤 帰 化 崎 絶 上 同 養 自 ま で す 研 標 づ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 氏 げ L 対 S 分 ŋ る あ 究 に 準 け 人 違 て لح を  $\mathcal{O}$ 化 る 上 以 先 る な 的 ょ 5 す で 1 述 論 さ 外 げ 行 を な は カ <u>4</u> لح る あ る れ べ を n た  $\mathcal{O}$ لح 論 で 作 て 述 僕 る あ ŧ ょ る 見 る 高 意 さ に ŋ 11 る べ う 0) 0) る 自 志 V る。 れ お 出 0 とさ そ が 万 自 る な な は 標 る け 物 己 す あ 認  $\mathcal{O}$ 繰 が 6 我 潍 ょ る 塵 を  $\mathcal{O}$ ŋ れ 自 ŋ 識 ば う 周 包 郎 返 絶 研 方 労 る 我 同 か 白 自 に 开 摂 究 が が に さ 対 様 が 5  $\neg$ 己 我 塵 的 兀 لح <u>\\ \</u> れ 化 0 前 لح 労 郎 + そ ょ  $\mathcal{O}$ 0 籠 7 を 見 な 提 外 自 言 え ょ う れ 相 界 Ł は لح き 主 解 己 兀 Š 他 は لح は 対 た 張 0

で だ 経 空 ょ 前 11 な を 5 わ る 験 L 提 5 郎 あ ろ る に な ょ す 1 姿  $\mathcal{O}$ 自 絶 対 う う 考 勢 救 我 紙 る 郎 え に 中 カュ な 事  $\mathcal{O}$ 済 化 た 自  $\mathcal{O}$ 上 お 味 は  $\mathcal{O}$ لح لح す 絶 で  $\mathcal{O}$ け 達 己 あ 対 き る 形 成 る 1) き 数 方 そ 即 字 式 さ  $\mathcal{O}$ る لح 相 わ れ を 判 れ 絶 対 ざ ぞ で な لح 切 対 わ 示 V 化  $\mathcal{O}$ n L 塵 ょ  $\mathcal{O}$ ざ  $\mathcal{O}$ さ t え た 労 う 認 れの る 境 が 心 哲 識 لح で に 地 理 四 る さ 捉 学  $\mathcal{O}$ 実 あ 的 + そ あ 研 え 者 れ 行 る な 兀 る L  $\mathcal{O}$ n 究 る t て 方 的 で そ 頭 で  $\mathcal{O}$ لح そ か  $\mathcal{O}$ き L 0 は は  $\mathcal{O}$ 決 カゝ な ら 上 な 同 果 割 定 で  $\neg$ < ŋ 的 た 実 実 カゝ لح 出 な 行 先 そ L 行 5 て 断 親 さ 違 的 に 0 に 見 妥 0 L n V そ ょ 当 て < を た う た لح

 $\mathcal{O}$ 行 そ 対 境 的  $\mathcal{O}$ 化 本 地 間 稿 に を 題 で お 点 さ V は け を か n る に 考 る ま 姿 察 捉 考 ず 勢 え す え 以 0) る る に 上 背 べ 0  $\mathcal{O}$ 景 き そ 11 ょ を か  $\mathcal{O}$ て う 探 لح 上 な る V で、 点 こと 中 う カン 点 味 5 で、 に لح 郎 0 形  $\mathcal{O}$ 先 1 式 自  $\mathcal{O}$ て 研 我 言 لح 究 絶 及 的  $\mathcal{O}$ 自 対 す 関 己 即 る 連 相 カコ  $\mathcal{O}$ 対 実 6 絶

### 行 人 の 評 価 ح 日 本 に お け る オ イ ケ の 受

お題 方 否 を 定 に 先 11 的 T 0 行 は 作 論 語 7 者 で 先 で 述 5 れ に 中 あ ベ 見 5 7 味 る た いく 漱 れ た。 ょ 形 石 た う は 式 そ に تلح 自  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 我 カュ 観 ょ 5 観 う 自 察 考 察 者 察 に 己 者 考 す 0 え  $\mathcal{O}$ る 立 絶  $\mathcal{O}$ て 場 代 対 11 中 表 に た 化 味 的 お  $\mathcal{O}$ け と と な カュ 事 る 形 1 例 認 式 う と 識  $\mathcal{O}$ あ に 間 L が ŋ

> 取 ŋ 上 げ 5 れ 7 い た 0 が F イ ツ 0 哲 学 者 オ イ ケ ン

R.Eucken) の思想である。

7

洋 life)受 兀 B た な ン ン 軌 性 者 る  $\mathcal{O}$ ン る る 0 様 だ で と を て 容 + は  $\mathcal{O}$ 具  $\mathcal{O}$ 精 才 流 ŋ  $\mathcal{O}$ 漱 ころ さ そ 中 L 明 受  $\mathcal{O}$ 体 著 低 神 世 1 否 三 行 石 0 第 定 に 性 れ n 味 思 大 治 容 オ 作 1 生 0 ケ  $\mathcal{O}$ 4 的 才 で そ で  $\mathcal{O}$ 中 ン た 兀 لح 想 正 末 イ は L ŧ 活 で +そ な た に  $\mathcal{O}$ な 0 は + 形 で  $\mathcal{O}$ カュ ケ 0) 1  $\neg$ あ 七 ک さ £ 四 式 流 5 0 ン 人 ŧ 存 頭 か あ と が ケ ŋ 口 三 な  $\mathcal{O}$ オ 年 少 後 哲  $\mathcal{O}$ 生  $\mathcal{O}$ さ 在  $\mathcal{O}$ 行 ン 0 Ľ が 学 ょ  $\mathcal{O}$ 学 中 で 年 L  $\mathcal{O}$ لح イ に は に た n L そ と 多 う ケ あ お لح 長 に づ 流  $\mathcal{O}$ 意 言 て 者 得 で 対  $\mathcal{O}$ 述 ŋ け 続 はっ 行 隆 な 否 義 え  $\mathcal{O}$ 纏 11 ン る  $\mathcal{O}$ V す 書 る。 定 ベ 漱 B は る が 盛 لح  $\Diamond$ き る 言 る \_ き 的 価 漱 雑 背 頭 時 せ 種 石 否 上 及 点 言 思 込 オ 値 誌 景 な 期 ず  $\mathcal{O}$ そ  $\mathcal{O}$ ま Þ げ カン 石  $\mathcal{O}$ が は 及 15 4 1 Ł た た 的 流 な 才 中 に な  $\mathcal{O}$ に n あ 出 は (Theは ケ تلح  $\mathcal{O}$ 至 る に オ 大 あ を 1 漱 で 精 行 る す 少 が 中 ン で る 受 ケ 纏 0 神 は 1 正 لح 石 意 事 な オ  $\mathcal{O}$ ほ 味 兀 لح け ン  $\Diamond$ て 生 義 カコ ケ Ł 名  $\mathcal{O}$ < な meaning に لح イ لح 主 ン 年 前 考 7 上 は な 言 旧 活 0  $\neg$ تلح ケ 思 W 形 張 げ に え 対 自 n え が  $\mathcal{O}$ 蔵 が ŧ ン ど 中 式 た 0 لح 早  $\mathcal{O}$ S は る 見 6 日 す 書 か 0) で and 中 出 状 5 現 味 言 n 本 る に 6 日 に あ 主 及 す そ 況 る で 言 で ŧ 心 別 に لح 本 t れ あ お  $\mathcal{O}$ は 事 لح る 0 及 る 張 る 0) 0) لح 問 事 形 に れ value い に な 言 式 が な ょ 才 批 題 実 お لح オ は オ で 7 実 لح 11 言 明 る う 1 イ 対 1 判 え で に ケ ケ of 学 治 種 西 す لح 現 る あ な 同 え ケ

基 t 言 本 的 え る に は 形 で 才 イ 人 間 ケ ン  $\mathcal{O}$ は 理 自 想 然 を 主 訴 義 え  $\mathcal{O}$ る 隆 思 想 退 新 潮 理  $\mathcal{O}$ 想 後 主  $\mathcal{O}$ 義 反 動

 $\mathcal{O}$ لح 充 た 哲 実 が 学 通 لح 社 ŋ L 会 て  $\mathcal{O}$ 精 向 歓 神 上 迎 生 さ 活 لح れ 結 た で U あ 0 そ ŋ け  $\mathcal{O}$ 5 主 そ れ 要 て な いに ポ る お 1 V て 1 は は 自 先 我 に ŧ 述  $\mathcal{O}$ 

لح 家 に 0 真 致 徴 信 理 生 す す じ 其 想 活 ベ る た  $\mathcal{O}$ さ は 他 き に か Ł 達 究 5  $\mathcal{O}$ 真 般 せ 極 で と 正 あ 人 5 自 11  $\mathcal{O}$ 類 る 我 る ふ 個 生 n 0 精 人 活 ば た 中 神 主 は 8 略 が 義 真  $\mathcal{O}$ 際 お 実 生 は 立 オ  $\mathcal{O}$ な 活 0 遂 1 づ 意 に て に ツ カコ 義 L 見 ケ 真 6 に 7  $\sim$ 正 ン 実 於 る 現 け 真  $\mathcal{O}$ 寸 派 さ る に 体  $\mathcal{O}$ n 社 自 主 主 る 会 我 義 張 £ 充 等  $\mathcal{O}$ 玉 実 に

(金子筑水「個人主義の盛衰」 (18)

が お 見 義  $\mathcal{O}$ 言 0 は に 哲 社 5 け 早 え 11 6 於 学  $\mathcal{O}$ 会 て n 11 る れ る れ け が t は 稲 カコ 0 毛 発 て る  $\mathcal{O}$ 明 個 般 展 社 自 詛 日 11 で 治 人 本 12 的 る 会 あ 兀 風 我 主 る +に 0 な  $\mathcal{O}$ 義 お な 玉 が Ł  $\mathcal{O}$ け げ 年 大  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 家 哲 的 5 で 点 る 発 正 学 な あ 才 れ は 其 表 で で イ 7 る オ  $\mathcal{O}$ で 年 あ 自 ケ 1 イ 他 は あ 発 ŋ 我 そ ケ = ŋ る 行 般 ]  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ を れ ン  $\mathcal{O}$ 自 で 0) 人 チ オ 紹 は 中 我 類 介 は 解 エ 1 心 オ 者 تلح 釈 生 充 لح ケ لح イ لح 実  $\mathcal{O}$ オ と 活 ン  $\mathcal{O}$ L ケ 代 ょ 1 L t  $\sim$ た が 表 う ケ 7  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 的 な は 実 言 精 哲 認  $\mathcal{O}$ 後 現 真 才 及 な 神 学 実 لح 思 に 1 識 Þ 生 物 に 活 想 ま 結 な ケ L لح に 意 大 基 で 7 び

> 兀 年 発 行 0  $\neg$ オ イ ケ ン لح 現 代 思 潮 か 6 考 察 す る

正

才 1 ケ ン  $\mathcal{O}$ 眼 に 映 じ 1= る 現 代 は 精 神 生 活  $\mathcal{O}$ 不 安 に 充 ち

満

ち

て

居

る

皮

相

虚

偽

空

虚

 $\mathcal{O}$ 

文

明

に

過

ぎ

な

か

0

た

(稲毛詛風『オイケンの哲学』 (ユ)

り るな 5 象 由 な 然 然 即 ら 道 な 6 力 め る L に L 徳 ち 従 斯 L で て 理  $\otimes$ 対 5  $\mathcal{O}$ 彼 あ 7 < す L 8 彼 高 等 想 等 又 尚  $\mathcal{O}$ 且 る む る は 目 自 如 事 る 即 を な 自 的 然 間 5 個 き ょ ŧ 標 利 し を 自 生 意 を ŋ  $\mathcal{O}$ 人 て 潍 لح 追 活 味 ŧ 利 を ح を か L 求 لح は に て 若 L n 建 功 せ 低 寧 か 7 利 於 L を 設  $\neg$ L ろ < 低 7 劣 皮 感 な せ 上 む 真 相 覚 さ き 精 な ず は カ る 世 神 る 善 世 人  $\mathcal{O}$ L に ŧ 界 生 現 興 界 乃 美 間  $\otimes$ は  $\mathcal{O}$ 活 実 味 0 る 居 に を 至 は で は 対 لح 奴 t 快  $\mathcal{O}$ 6 L 即 す 7 隷 あ 境 カン  $\mathcal{O}$ n 楽 5 る 高 域 る 単 た 築 11 は な 精 لح き を 注 に Š る 精  $\mathcal{O}$ 11 神 世 脱 意 t 事 神 標 11 肉  $\mathcal{O}$ 生 は 界 体  $\mathcal{O}$ か 生 で 準 を L て 活 多 活 あ ね 的 カ 6 以 大 ば で で 高  $\mathcal{O}$ 5 自  $\mathcal{O}$ る あ 遠 な あ 事 自 由 本 な

(稲毛詛風『オイケンの哲学』(ヨ))

て は而 る 点 趣 に 寧 を て ろ 異 於 彼 7 に 等 高 其 貴  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 偉 個 特 大 単 人 色 な な 主 を る る 義 有 人 利 は す 格 己 社 る 会 に 心 ŧ 対 を 主  $\mathcal{O}$ 基 す 義 で る 礎 B あ 尊 功 لح る 崇 す 利 る 主 0 念 義 ŧ を  $\mathcal{O}$ 等 基 で  $\mathcal{O}$ そ 礎 は لح な n す لح

稲毛詛風『オイケンと現代思潮』⑴

む に き 活 づ 相 世 < お が る 低 虚 界 劣 偽 11 直 ŧ 自 な て 線 空  $\mathcal{O}$ る 的 我 虚 لح 活 で 現 に 自 さ で 実 な 社 あ 我 れ 0 あ  $\mathcal{O}$ 숲 現 る る 名 境 る 状 を  $\mathcal{O}$ 0) 0) ح 域 向 か に 評 で を Ł 5 対 上  $\mathcal{O}$ 価 あ ح لح 脱 に ょ L す そ、 る に う L 結 る 7 上 び に 道 そ 高 伸 で 0  $\mathcal{O}$ 徳  $\neg$ 遠 け  $\mathcal{O}$ 張  $\mathcal{O}$ ょ 高  $\mathcal{O}$ な さ 重 5 う 貴 自 高 る n 要 れ 12 偉 我 理 尚 な る 大 想 な 丰 オ 精 な を 目 標 自 神 中 る 的 準 イ ワ 我 ケ 世 心 人 を Ì 界 格 追 に K は  $\mathcal{O}$ 求 ょ は L が 思 た に せ ŋ  $\neg$ 想 生 基 人 高 L 皮

格

で

あ

つ

た

皆 不 に 見 的 な  $\mathcal{O}$ 対 L  $\mathcal{O}$ L 3 会 目 真 気 た さ < 姿 て で Ł る な 0) に 上 づ لح て 勢 て あ 女 ŧ 3 N る。 ے か 滑  $\mathcal{O}$ き る 実 だ を لح さ 郎 0 カュ ŋ 話 Η 塵 同 に を 郎 0 れ そ 0) 0 他 気 5 労 は る。 ょ  $\otimes$ 望 質 御 ょ は に 仕 れ 塵 j 上 ぐ む 自 0 が ŧ が 方 我 遙 労 兀 な 手 た る 先 ら 通 儘 な が に +  $\neg$ ŧ 5 に 当 ŋ  $\mathcal{O}$ 郎 父 1 な 進 カコ 三 行  $\mathcal{O}$ 西  $\mathcal{O}$ 時  $\mathcal{O}$ は W 5 V + 郎 高 丈 対 世 洋 に だ Η 来 と 七 同 界 が b 応 が お 11 に Ł る す  $\mathcal{O}$ に け が 標 存 左 0) 対 لح 帰 る لح 準 在 右 関 る 自 L 述 0 認 11 郎 美 5 L カ L オ 塵 て ベ 識 同 う 得 0 に 的 に て 1 4) 労 る。 自 か に 周 通 に 占 る 述 知 ケ 触 郎 5 分 ľ لح 執 Þ ベ 开 Ł れ ン  $\mathcal{O}$ れ る 述  $\mathcal{O}$ た 智 う  $\mathcal{O}$ す を な \_ +  $\mathcal{O}$ 言 た 的 周 に ベ る ŧ 思 11 八 ょ 开 葉 +て 出 今 不  $\mathcal{O}$ 想 に が け ۲ う 11 ŧ が لح 善 が 来  $\mathcal{O}$ n  $\mathcal{O}$ な る 乃 t そ 偽 繋 H. 日 れ で あ 捉 ど は 至  $\mathcal{O}$ 周 で が P が 本 不 る  $\mathcal{O}$ え Ł 开 美 オ 倫 で 成 る 0  $\mathcal{O}$ 方 に <u>\f</u> Ł 少 7 社 لح を 理 は 郎 盲 で イ

> 視 て る す 発 ケ  $\mathcal{O}$ あ え 相 لح さ る 方 展 る 語 0 対 れ た 言 ŧ は る が に 0 思 て 屢 え  $\mathcal{O}$ 0 繋 人 1 る で \_\_ げ 17 ۷ 境 想 格 16 郎 地 る لح あ あ 5 り、 を 5  $\mathcal{O}$ 解 述 n に は オ べ て 説 L 頭 自 イ れ る 1 L て ケ 郎 我 る た ょ Ł 人 ン を が ŧ う 自 لح 0) 格 才 生  $\mathcal{O}$ に 例  $\stackrel{ extstyle \square}{\circ}$ 4 を 1 を に え 尊 自 ケ 出 沭 お ば 行 重 我 す  $\mathcal{O}$ ベ ン 11 出 人 す 的 絶 た て 崎 る を 高 対 が な 氏  $\mathcal{O}$ 思 評 意 自 V 化 が 評 想 標 価 義 我 価 が す 上 0 準 郎 此  $\mathcal{O}$ 全 る す  $\mathcal{O}$ Ł 0 作 篇 上 上 と を る 望 充 に で に 理 先 実 で む は 同 充 解 絶 行 が 0 様 ち 鍵 L 対 論 絶 社 人 に 満 格 語 て 化  $\mathcal{O}$ 対 会 捉 5 即 重 で 11

た 的 で そ 部 L 分 あ て、 に 0 た。 は 次 先  $\mathcal{O}$ に 人 ょ Ł 生 う 述  $\mathcal{O}$ に べ 意 書 た き 義 لح لح 込 お ま 価 n 値 れ 漱 7 石  $\mathcal{O}$ 1 は る オ 精 1 神 ケ 生 活 に 対 を L 説 7 明 批 判

IJ absolutely  $\vdash$ = 此 19 ノ 帰 両 着 meaning 者 ス ス ル ガ ル コ ド = 1 1 云 似  $\vdash$ (2)タ フ 点 此 云 IJ 意 迄 0 will フ ナ コ ラ 行 是 1 バ ガ ケ ハ fact 当 宇 ハ ル 然 (1)宙 力 自 = ヲ テ 建 分 neg ア 陳 築 ノ IJ 腐 = will lect ナ 与 セ IJ ツ 著 テ ヲ ル 者 七 只 力 七 間 ル ナ 題 コ

金 オ で 子 1 0 0 ケ ン 評 自 は 論 分  $\mathcal{O}$ 自 ノ will 自 我 我 充  $\mathcal{O}$ ヲ 実 freely 実 現 لح  $\mathcal{O}$ た 11 exerci う 8 意 に ise 味 لح ス 自 同 ル 由 様 コ な  $\vdash$ を Ł 強 لح 調  $\mathcal{O}$ لح は す 捉 え 先

 $\mathcal{O}$ 

そ ま す 批 L 現 る 7 て が 精 判 n が 完 良 0 る が 社 神 己 T ょ は ŧ 全 11 例 会 う 生 に ŧ 11 オ る す に 漱 え な 1 活 個 0 中 と تلح سلح で る 石 ケ  $\mathcal{O}$ 味 11 あ は  $\lambda$  $\mathcal{O}$ Ł ン が 意 観 لح う ろ 否 な 外 0 0 志 察 形 う 定 に 的 応 と で 者 式 と 的 世 が 精 用 自 L を で 高 界 7 神  $\mathcal{O}$ 由 漱 で 基  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ あ 1 生. 範 に 批 1 石 オ に 0 標 発 活 并 営 判 致 は 場 1 L 準 展 た む L  $\mathcal{O}$ す そ に ケ た と  $\sim$ 生 て 狭 る n ょ ン 0 Ł 言 を کے 活 11 V لح が  $\mathcal{O}$ る を ま え 持 結 ŧ る 考 そ で 認 ŋ る 0 てバ 0 え 0 あ 識 実 0 る ま が 際 自 + 思 0 自 け そ ま た 現 に 我 同 七 V L 我 5 لح 実 は て 口 出 れ を 字 لح 疎  $\mathcal{O}$ لح す で る 宙 さ 事 離 V  $\mathcal{O}$ あ 自 لح 人 لح 由 な ょ 0 L れ れ 建 に う تلح て て た な 7 ヲ لح な لح 0  $\Box$ 発 11 L

対 論 境 え 対 対 対 絶 す で 地 6 即 観 対 以 求 化  $\mathcal{O}$ L て 上  $\otimes$ 希 述 はれ 相 る 察 化 求 批  $\mathcal{O}$ す 対 者 漱 る て 5 そ 判 لح 境 る لح 11 石 لح が は  $\mathcal{O}$ な は L 地 れ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ لح 1 あ 否 て カュ た ょ 境 立 は لح ょ 5 地 0 場 定 捉 5 高 た。 う 的 求 な ŧ が え い 哲  $\neg$ で  $\Diamond$ な 考 観 る £ 否 標 学 研 ŧ る オ 定 え 念 あ  $\mathcal{O}$ L 準 者 究 ち で 的 0 ŧ 的 5 イ 的 0 ろ た ケ 郎  $\mathcal{O}$ な れ な あ に ん、 頭 ン る。 と لح 意  $\mathcal{O}$ ŧ n 古 な か 的 言 望 言 義  $\mathcal{O}$ ば 執 否 姿 5 え な に え に L む す 定 勢 割 る。 0 そ ŧ る カ 止 る 自 的 に ŋ き ま L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ そ 我 で 基 出 る ŋ を し ょ 研 L あ づ さ 郎 か で う 究 自 て る V れ L あ が な 自 的 そ 己 カュ た そ 郎 た ろ 切 我 な 0 空 ŧ う 望 に 郎 僕  $\mathcal{O}$ 根 そ す 救 自 自 カコ  $\mathcal{O}$ 絶 そ、 底 我 ŧ る 姿 己 済 11 を 対 に 勢 紙 先 が 化 は、 に 郎 絶 行  $\mathcal{O}$ 与 絶  $\mathcal{O}$ に

> 景 う で  $\sim$ 行 た ば 界 対  $\mathcal{O}$ る 破  $\mathcal{O}$ 心 上  $\widehat{\phantom{a}}$ 人 司 問 入 相  $\mathcal{O}$ 観 が 的 が 人 る す 理  $\mathcal{O}$ 塵 じ ŋ ے 違 希 的 数 あ 題 な 0 る が 労」 求 る 問 に 込 僕 て と と 明 な 字 ||題 で  $\mathcal{O}$ な W を あ は Ł 5 兀 を か 求 郎 る で 求 わ  $\mathcal{O}$ で 脚 カ 実 に + 研 と Ł 最 0 0 絆  $\otimes$ 8 せ は に な 五. 行 究 11 て、 初 と 0 は を 5 る な な 的 る 的 う に 僕 さ 着 中 れ Ł  $\langle$ れ لح な  $\mathcal{O}$ な 点 中  $\neg$ 検 は れ け 7 0 味 ば 僕 で 研 11 行 で 味 僕 討 絶 لح 7 لح て 1 な 人 う は 究 親 あ لح L V 対 Щ る 言 形 る な 的 嘆 L る。 形 た  $\mathcal{O}$ る 0) え に 河 式 で 程  $\mathcal{O}$ < き < 式  $\mathcal{O}$ 境 を は る な あ な だ。 経 研 0 地 るこ 跋 絶 る そ 姿 研 そ 験  $\mathcal{O}$ 行  $\neg$ 究 を 渉 対 勢 究 <  $\mathcal{O}$ 义 行 L す 的 認 そ 漱 と、 す ے 郎 は 的 を か て る 人  $\Diamond$ 石 L る が 僕 لح そ 披 b 事 义 て 7  $\mathcal{O}$ そ 実 と で 生 0 考 11  $\mathcal{O}$ 0 い れ 地 を そ ľ 離 て 言 実 前 で え は る  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$ 実  $\mathcal{O}$ 地 葉 る れ な 捨 後 き に 行 ょ ょ 人 理 認 T 行 11 7 で 的  $\mathcal{O}$ 然 Š る ŋ 的 か て 义 を 言 識 仕 な 判 か う を 舞 切 調 実 僕 境 な 0 内 Š る と 実 に 査 な 打 認 行  $\mathcal{O}$ 地 L 実 部 地 す 5 識 世 た L 6

### 漱石の文学観とW・ジェイムズ

三

ŧ 重 لح  $\mathcal{O}$ 視 中 を と す 味 ベ 批 言 判 え き 形 لح る し 式 い 作 漱 う に 考 品 石 お 0 は え け 具 は る 体 L ば 漱 的 形 な L 石 式 ば 内  $\mathcal{O}$ 容 文 で 主 学 に は 観 ょ 義 な n に < で 判 お 作 断 11 中 品 7 す を は 味 裁 基 き لح 断 本 を 11 す 的 う る な

n L 合 主 を 義 を 崩 Ł き L L ŧ 合 に < 去 た が 義 つ 0) 本 L 0) た う 7 け 居 る 方 لح 陥 て t ŋ あ を 位 7 7 習 憚 其 る 説 ŋ 含 る に لح 掛 見 لح 0 る 作 لح 訳 カ 主 慣 明 得 ŧ L 6 ま 思 歴 W す で 5 物 義 を L る で 云 0 て W S 史 あ で 改 た 居 لح 動 لح ま  $\lambda$ 0  $\mathcal{O}$ Š と 的 ŋ 様 あ t 8 ŋ で る لح 融 か 不 す 研 ま に る 構 て す す 場 通 す 都 前 究 す L る 合 べ 部 は カコ を 合 申 主 12 5 な 際 0 か が 義 分 な 歴 が 0 L 就 け を 史 多 け 6 生 た 11 に  $\mathcal{O}$ を て 説 的 作 ざ ず か は 斯 11 な 通 本  $\mathcal{O}$ れ <u>ک</u> 明 ば に 様 物 け る る ŋ 位 危 す は 少 如 な 0) れ Ł 作 に 険 う る 之 作 な < 矛 主 ば  $\mathcal{O}$ 家 L を 矢 張 に を 盾 義 物 < ち な と 7 لح す 即 足 併 す ŋ 作 0 に 動 言 り を Ł 前 る <u>\f\</u> る ŧ 批 は ま る 家 5 か 単 と、 以 如 と 評 含 同 す 作 す 段 せ 卯 簡 同 上 L  $\langle$ に L  $\lambda$ 時 ま 物 べ に 今 ち 様 は 8 12 窮 た で に カ 沭 之 て 見 ء ŋ 居 色 度 作 5 べ 0 を 傚 る を は ざ て 不 に 分 Þ 融 物 取 都 列 さ 律 解 場 な 通 主 n る 置 苟

(「創作家の態度」)

認 は め 去 矛 る る 盾 べ 習 で が き 慣 は が だ 述 作 を 出 لح 品 改 7 5 11 を  $\Diamond$ ŧ, う 評 れ て 7 主 価 そ 1 張 れ す る。 は が る 作 現 上 物 そ 実 で 中 0) に  $\mathcal{O}$ 味 ょ 適 内 と う 合 な 容 主 形 す 式 を 義 と る 本 0 き Ł で 位 ŧ 0 主 に لح で に 形 義 し あ 式 て 窮 る と 判 ء カゝ 以 断 ら L に 上 て す 律 굸

の二人

は

漱

石

 $\mathcal{O}$ 

晚

年

に

お

1

て、

極

 $\Diamond$ 

7

強

い

影

響

を

与

え

た

夫 漱 考 る え ば 石 矛 0) 21 لح 盾 矛 で 文 同 盾 学 主 様 で 観 張 あ لح な 0 さ さ る ŧ 核 れ な  $\mathcal{O}$ れ 心 る る ら لح  $\mathcal{O}$ 言 ば ŧ 無 0) え つ 性 る。 そ で لح 格 れ t ŧ 論 は そ 捉 生 L え 本 活 て ること と 来 この  $\mathcal{O}$ 繋 性  $\mathcal{O}$ が 質 調 ょ が る か 和 う で ŧ 6 な  $\mathcal{O}$ で 出 考 で あ る え ŧ る 已 は を あ す 得

Timepluralistic るこ ウ を そ に と 悩 で لح 介 た 語 向 な 縁 な れ 考 L ょ 直 る 性 は 形 む  $\mathcal{O}$ イ j 接 は ح 上 0 と に え t な 式 郎 て IJ た が 繋 な 的 0) 郎 が < 0) で  $\mathcal{O}$ 0 ア 0 freeで 具 ば 時 ŧ が 0) で な ア  $\Delta$ 問 き 実 体 原 期 る 救 文 は 中 universe) L  $\mathcal{O}$ 修 題 will)学 味」 因 る ŧ 性 ば  $\mathcal{O}$ は 済 あ 行 IJ 善 意 ジ لح を لح 漱 何  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 作 る 語 寺 識 思  $\sim$ 考 لح 品 ま を 重 石 な あ エ 5 べ 0) 0) に に 0 視 え れ  $\mathcal{O}$ わ な ŋ 0) 1 重 1 受 ル 0) 関 大 す る 変 カゝ れ 0 方 捉 視 希 る  $\Delta$ 容 受 わ ク 患 化 る。 て る よう と だ す ŧ え 求 ズ 容 を ソ る 文 L 方 が が べ 0) L 11 は 学 ŧ が て、 ン で ば そ る に き あ \_ な 飛 そ  $\mathcal{O}$ 多 指 とど 観 と L れ 点 最 は 0 行  $\neg$ 躍 で L 摘 元 لح  $\neg$ た ば で に 人 初 時 な 近 1 あ て 大 さ ま  $\mathcal{O}$ Ł は 代 う に 的 11 間 り、 0 そ 患 れ b に 類  $\mathcal{O}$ 漱 に 漱 検 宇 と 契 と見 0 7 ک 似 筆 石 0 抗 ず お 石 討 自 宙 機 後 に き 者 0  $\mathcal{O}$ 0) 0 カコ す 1 L 由 0 た。 0 た ょ た ら、 は 思 る 近 て 持 よう 考 ジ る よう 1 想 代 は 飛 飛 0 W.James, (H.Bergson え 0 エ 心 筆 文 修 先 的 躍 躍 思 化 る ② ③ 。 な 1 学 に 善 に 情 L 者 な 想 0 そ 22 A 変 間 0) 観 寺 指 か ŧ  $\mathcal{O}$ 形 ズ 変 化 契 題 ょ لح 中 で 摘 L 同 を  $\mathcal{O}$ 式 j を 化 機 見 方 に 無 味 0 様 を

思 n 想 る 家 0 と は L 7 思 L S ば 出 す ば 事 取 な ŋ ど 上 げ 0) 5 次 れ  $\mathcal{O}$ る 部 分 そ で  $\mathcal{O}$ あ 根 る 拠 لح L 7 S か

を た 気 見 を あ 学 授 読 多  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 位 は 紹 0 脈 لح 厭 な  $\mathcal{O}$ が 4 元 で が 領 何 了 的 嬉 介 を S ま す あ 教 ち 分 事 字 L 0 通 ŧ か だ る ľ 授 に に に た る L 宙 0 Ш. 7 な 弁 切 ょ 辺  $\mathcal{O}$ は た 液 哲 り 1) 彼 1 証 6 約 と لح か を 此 学 法 込 ず 半  $\mathcal{O}$ に に 分 充 相 に た を W 具 分 で 6 分 教 就 嫌 体 文 倚 程 坂 な に 授 的 学 に る 11 自 Š 行 残 運 様 7 者 が < 車 分 ŧ 0 0  $\mathcal{O}$ 仏 な 主  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 所 事 た 7 を 平 蘭 張 で を 実 る ŧ 転 心 あ せ 西 持 す 生 は を 自 た 面 が  $\mathcal{O}$ が る 白 +: め す 文 な 分  $\mathcal{O}$ 余 学 L 所 学 < 台 11  $\mathcal{O}$ を 様 た 読 と  $\mathcal{O}$ 者  $\mathcal{O}$ 立 な 勢 三 頭 ベ  $\mathcal{O}$ 考 に 又 4 L 場 で ル لح 妄 了 て か に を 抱 日 馳 グ が に 0 5 許 取 愉 1 0 け ソ 快 理 た 類 見 で 7 抜 ン 親 知 推 て て に あ 面 け  $\mathcal{O}$ 思 L る 主 余 で 白 تلح た 説 意 義 は 哲 教 V < 2

(『思ひ出す事など』第三回

に 的 相 的 漱 倚 宇 通 で 石 は 事 宙 が U る る 実 様 な 平 を な に Ł < 生 心 述  $\mathcal{O}$ 土 文 لح 持 作 台 べ 学 言 が 5 物 لح 上 え L L れ に る  $\mathcal{O}$ 7 た た 抱 内 哲 容 لح て لح 学 に 11 が る う ょ る 述 点 が 0 意 ベ て は 5 親 評 れ 先 価 L と 7 す に ジ 11 る 見 気 工 る。 た 脈 ベ 1 き ょ を ム 特 と う 通 ズ に な ľ 11  $\mathcal{O}$ う 7 姿 主 具 彼

此

元

義体

で は ま ず  $\neg$ 多 元 的 宇 宙 が 漱 石 に 与 え た 影 響 を 論

U

る 学 的 す え る 考 る 原 6 前 え 理 れ に 元 が 論 る 多 Ł The 平 元 لح と 意 的 生 に Principles L 識 字 文 な 7 学 宙 0 退  $\mathcal{O}$ 上 て 問 け に of に 11 5 題 お 抱 る れ に 11 11 と る 0 考 7 て が V る え は 7 る 5 ۲ 意 れ ジ れ 見 る で は エ た ゲ 説 ジ イ 8 ル 0 < 工 A で  $\mathcal{O}$ 根 1 ズ あ 哲  $\mathcal{O}$ 底 意 A る 学 識 ズ 影 に が が あ る に を لح 心 観 確 対 念 考 理 認 す

態 切 に 申 +釈 に 1 度 な す て 先 0 0 創 人 L 1 t 作 迄 に 1 7 引 置 て が  $\mathcal{O}$  $\mathcal{T}$ 家 ŧ +漱 が 色 用 必 な 11 石 要 如 7 L 漱 で 主 V 様 は で あ 何 下 た 石 観 Þ と は あ る な  $\mathcal{O}$ さ 態 以 لح 度 創 る 説 世 れ る と 下 と L 77 明 界 ば لح 作  $\mathcal{O}$ 結 た 場 す が 宜 云 家 客 る。 ょ 上 出 Š  $\mathcal{O}$ 論 カコ L 観 で、 う ら、 態 付 来 V  $\mathcal{O}$ 0 に そ け 又 は 度  $\mathcal{O}$ 説 F, 5 現  $\mathcal{O}$ 様 此 心 両 明 で れ 在 W 上  $\mathcal{O}$ Þ 方 を  $\mathcal{O}$ 持 主 る  $\mathcal{O}$ で 心 な 面 行 社 世 5 題 風  $\mathcal{O}$ カン う。 そ ۲ 界 持 方 لح 会 に b 状 観 ち な 0) 世  $\mathcal{O}$ 説 況 0 評 が 方 る 物 き 中 態 か 論 成  $\mathcal{O}$ 5 物 観 態 度 を に ŋ 双 見 お <u>\</u>  $\mathcal{O}$ 方 度 方 る 客 見 位 0 11 0 共 問 観 カゝ 7  $\mathcal{O}$ 方 に に 大 的 は 解 題 は で 0

述 5 Ł 伴 さ はた 浅 Š う 0 0) 井 ま لح < て L 先 思 決 町 せ は 7 生 向 せ W 此 75 لح 出 け 6 取 ま て 市 具 私 れ 捨 す 合 ŧ 中 が る は を 先 が 0) 我 注 歩 即 年 で 0) 意 1 倫 5 あ  $\mathcal{O}$ 建 そ た 敦 態 n 注 物 事  $\mathcal{O}$ 度 ま に 意 を が 居 ₽ で す 見 あ  $\mathcal{O}$ か 0 あ 故 て ۷ た る 5 ŋ 意 Ł ま 時 性 لح ŧ 質 申 す 此 L あ Þ 此 L 注 < れ 其 間 発 て 意 は は 時 亡 達 t 0 自 好 < は 差 向 然 浅 11 茲 支 な き 井 0 色 に な 先 6 案 だ、 は 排 れ カコ

あ 観 で て て だ ま は 子 る る 悟 生 な 講 ŧ あ لح を 世 演 ŋ が 0 来 す あ 0) 老 ŋ は に る。 申 拾 ま 事 た ŋ 器 人 界 0) 余 色 な は 事 が を 冒 す 子 に 程 L 下 ま 0 械 L で ŋ 好 て た。 頭 感 が ま 居 世 任 カコ  $\mathcal{O}$ さ 宿 せ  $\mathcal{O}$ ま い ん。 意 5 数 う あ す 来 界 色 に 心 0) 様 ŋ L 婆 だ、 述 れ 出 に ŋ る な ま す が た L て、 作 男 る ベ は 来 た な ま 然 さ 小 L 出 上 訳 供 0 た た 0 せ L  $\lambda$ 尤 で た لح 来 流 と て 如 ゞ つ で 7 私 に ŧ L 又  $\lambda$ 0 F. 石 て 居 居 に た < ŧ れ が 聞 玩 日 私 が 画 毎 を う る + る ŋ 然 散 1 具 本 が あ 日  $\mathcal{O}$ 0 伯 ま 様 例 叮 ŋ る 歩 て に 0) 下 て 人 0 同 丈 + に ま L 嚀 見 す る あ で で に L 飯 此 ľ 宿 た。 あ 色 あ 尠 せ に 爺 た る る 杓 時 と 家 老 に 0 で、 ŋ 室 と 子 間 ŋ な 0 ブ 人 退 考 て W さ で て、 ま IJ ま 帰 か が 0)  $\lambda$ 往  $\mathcal{O}$ が に 職 私 す。 す。 5 中 丈 ツ て る 来 様 外 同 軍 V 違 は ず 此 は キ る 迄 < 未 に な じ 人 0 感 だ 感 並 不思 大 5 爺 落 製 出 で  $\lambda$ た 詳 所 色 心 に で L 心 さ べ ち  $\mathcal{O}$ き る を 八 尽 L < ま 嘗 匙 لح 散 + ŧ L W 議 て な な L ま す。 云 た て る 屹 لح 不 0 に で Ł 歩 許 だ で L る 大 Š 思  $\mathcal{O}$ 世 拾 落 あ 度 を に  $\mathcal{O}$ た。 杓 議 で 界 何 5 W ŋ で す な に 仕 0 先

(「創作家の態度」)

験 て そ が 浅 漱 れ 石 先 ぞ は + 生 n 人十  $\mathcal{O}$ 0) B 経 ょ 色 下 験 う で、 が 宿 に 0 全 同 11 退 < じ < 異 ょ 職 5 な 軍 う で ること な 人 ŧ 0) と 不 老 を 思 人 を 述べ لح 議 L な V て る。 世 0 Ł 界 た この を 漱 態 度」 任 石 部 自 意 分 身 に に で 作 0) ょ は 0 体 0

> る。 居 L る た Ł لح  $\mathcal{O}$ 0) す と ょ 考 う る え 人 な 5 間 見 れ 方  $\mathcal{O}$ る 認 は 識  $\neg$  $\mathcal{O}$ 心 あ 理 ŋ 学 方 原 を 理 説 \_\_ 明  $\mathcal{O}$ す 次 る  $\mathcal{O}$ 上 部 で 分 語 を b ŧ れ て

にいて

present fails interest and has made his experience thereby experience. determined presented objects, to t o notice empirical thought depends him byhis but what these 2 it, Each habits thousand times, but it has selected, out cannot besaid those ofshall attention. which bе 0 n ı. suited to if the of $\triangleright$ to enter into he the thing may a large things his persistently same he mass his

(The Principles of Psychology (R))

択 現 た 現 0 ど る لح れ て 0) れ 人 は 決 ょ 0) た て う 膨 ŧ そ 言 ま 経 大 る な 0) え 験 な 終 な 0 ŧ 的 لح Ł 始 で  $\mathcal{O}$ な 11 に あ 考 に  $\mathcal{O}$ る。 ょ 0) れ な え 中 ŋ 中 を る は 略) そ 気 か あ 0) 経 ら、 れ に る 験 か そ ぞ لح ŧ は L れ め た物 自 れ 0 ぞ 0) 5 な が ほ 事 れ لح 経 0) カコ 百 0) 興 によるが、 0 遍 W 験 た 味 者 繰 ど を 5, 注 に が 形 ŋ 同 意 合 返 成 す ľ う 経 L 0 そ る Ł < 験 て 習 目 れ 目 に 慣 0 0 で を 入 前 に 5 前 選 0 ょ が あ に に

ŧ ここで 終 始 語 5 れ を れ 気 る に あ と め る な ŧ カゝ  $\mathcal{O}$ 0 が た 百 遍 ら 繰 経 ŋ 返 験 に L て 入 目 0 た 前 لح に 現 は 言 れ え 7

ジ Þ 人 彫 旅 学 な 自 漱 識 出 る < 発  $\mathcal{O}$ 異 刻 石 工 Þ П 行 原 見 老 ら L V 1 た な 玾  $\mathcal{O}$ は な ス な を で 人 体 そ 例 1 الملح تلح L き が لح  $\Delta$ 験 ŋ n ズ た が 主 ラ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ す 験  $\mathcal{O}$ لح は  $\mathcal{O}$ 12 簡 を ジ  $\mathcal{O}$ 観 実 印 際 引 る 単 そ 象 語 的 用 エ ほ 用 لح に あ 意 浅 れ ぼ を 0 1 に 娯 的 拾 n  $\mathcal{O}$ い ぞ 識 井 人 て 同 ば 楽 持 中 な 0 方  $\Delta$ う れ 先 は ズ U 5 11 カュ 場 統 略 話 T は  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 生 服 る 0) t n  $\mathcal{O}$ 計 帰 0 < を 間 装  $\mathcal{O}$ 考 印 に る 部 先  $\mathcal{O}$ 説 る 題 態 が Þ で 意 が で え 象 ょ 分 匙 に 眀 を 度 色 色 て ば あ 0 に 引 識 あ す を 考 他 彩  $\mathcal{O}$ る。 7 る 1 か 用 は に る え 0 話 に る ŋ 占 漱 L る ょ Ł 公 ۲ L لح で  $\otimes$ 兀 た 対 石 上 0  $\mathcal{O}$ 人 遠 カン す あ b て  $\mathcal{O}$ 11 人 が 漱 で で 0 L う ŋ る ょ れ تلح 石  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 異 あ 印 風 な 考 例 う  $\mathcal{O}$ 人 n 核 な る 象 景 え な 11 が 最 他 間 だ 体 لح る は そ と を 述 後  $\mathcal{O}$ が け 験 な لح 建 ま 距 骨 11 べ  $\mathcal{O}$ れ 注 日 い 0 物 離 た 子 ぞ Š 5 人 Ì 意 退 う 7 Þ と 漱 は 職 れ 人 口  $\mathcal{O}$ れ 絵  $\neg$ L お 物 L  $\mathcal{O}$ 石 7 は 劇 ツ 心 て 軍 が 画 り 価 全 パ 認  $\mathcal{O}$ 場 理 人 7 1

例 え に ば 0 は ょ ほ 創 Š と 作 な W 家 تلح 0 意 引 態 識 用 度 لح を Ł 0  $\Diamond$ 言 次 ぐ え 0) る る 部 問 ょ 分 題 う で に な あ 関 事 る L 例 て が 散 見 創 さ 作 れ 家 る 0 27 態

凡 で 起 В Α لح て あ 0  $\mathcal{O}$ た 価 云  $\mathcal{O}$ ま Š 心 Α 値 す لح は 現 的 В 象 現 云 象 腹  $\mathcal{O}$ に Š 次 は が 現 性 減 象 質 11 過 程 で  $\mathcal{O}$ る  $\mathcal{O}$ で 為 4 起 に る あ V  $\otimes$ る に ょ  $\mathcal{O}$ Š 現 支 カゝ 0 は 5 象 配 7 勿 L が せ 定 論 て、 ま で 心 5 に れ 5 あ В 起 7 な ŋ لح ま n 居 11 云 す ば る ふ 事 В 現 そ ŧ  $\mathcal{O}$ 従 象 飯 勿 前 0 は が 論 に て

象の

為

めは

に

支あ

配る

せ

5

れい

て

居

る

لح

L

て

あ

る

لح

き

受

け

る

認

識

れ

В

لح

理 < 現て 仰の な 歩  $\mathcal{O}$ め 条 で そ は れ し あ れ 旨 在 居 だ 件 た た 感 山 で 訳 起 れ W る  $\mathcal{O}$ ぜ が る に か 趨 前 に る で な 女 な で だ b لح 言 5 あ ベ 吾 カ 然  $\mathcal{O}$ を 気 人 勢  $\mathcal{O}$ 0 云 か 番 7, き に れ S 間 に n 0 か + Þ か Š で 云 決 6 る。 た な 年 な 価 0 と  $\mathcal{O}$ 応 歩 ま 7 В は 現 L 明 値 て 歴 ず は す 象 0 実 77 れ 出 に Α あ て 日 で 時 る と た 現 が ŧ 史 後 来 就 لح が 切 に あ 自 感 か 在 あ 不 間 は 様  $\mathcal{O}$ 丁 得 굸 許 次 7 7 n な 然 لح る 度 は ŋ 考 が 条  $\mathcal{O}$ な る Š ŋ 心 カン 放 る 思 ま す 全 様 理 意 Š 調 歩 車 限 現 は で لح す る る に で 識 子 を を 其 Š て 云 n 象 断 起 て 何 事 思 支 引 性 絶  $\mathcal{O}$ は は で  $\mathcal{O}$ を が لح Š 言 る 見 だ が 標 は あ 其 連 出 配 撰 質 対 11 心 出 0 て 馬 当 ょ 準 れ 鎖 て す 択 B 裡 な ŋ 人 て 来 で に ŧ 鹿 時 る ぜ < لح る ま  $\mathcal{O}$ で 行 坂 を 6 に に 価 其 せ 生 結 す ま あ L カコ を 認 値 は 価  $\angle$ 其 1) て 涯 な 強 ず  $\mathcal{O}$ あ  $\lambda$ び 後 下 る 8 値 L ŋ 逆 ま 適 番  $\mathcal{O}$ 付 け  $\mathcal{O}$ 度 る 0 あ は 11 す。 当 意 掛 B る 上 従 意 け れ 又 ŧ あ 分 事 だ 味 ば 歩 け せ あ が れ 0 識 5 ŋ 尤 昔 لح が て を 旨 は た ね 之 理 程 れ う ま ま ば に あ < 前 様 が 逆 信 人 包 7 色 L せ に カ 上 恋 じ る 含 居 行  $\mathcal{O}$ な な Þ 次 す 上 て ん 等 5 如 は \$ な L る か 6

(「創作家の態度」

う 現 象 が В  $\mathcal{O}$ 前 に 起 0 た Α لح 굸 S 現

る。 きく تلح が た は 明 で お ŧ 感 白 ŧ 感  $\mathcal{O}$ 覚 で れ 全 時 L じ で が が あ あ < が < 方 異 経 感 は そ る  $\neg$ 心 な ち じ 変 0 る 5 わ 理 同 前 学 ŧ そ る れ じ 後 こと る 原  $\mathcal{O}$ 0) Ł 0) 理 لح 認 0) 意 ے ک ī を を 識 識 0) て 説 認 0) 0) 感 明 前 ま 識 影 次 ľ す 響 0) 後 た す 5 部 0) か る る を 受 分 れ 状 0 例 لح る け を て 況 لح L ことが ると もとに が 恋 L て て、 変 を ŧ わ 1 L 前 う L 述 れ た 空 後 て べ ば 女 腹 0) 5 لح V 性 時 影 るこ を لح 響 れ 同 12 て じ 食 述 1 で 女 え 事 大 1

apprehend it successive views identical awake, distinguishable last appeared. feel ourselves thought the brought hungry things consciousness fact recurs, we of 'n struck And the thought by which we cognize it is an it existences  $^{10}$ differently according as different relations from it-in-those-relations, of the same under full, aura at ofofthe fresh all must think of infinity, somewhat thing. strange that dim context. Often or tired а differences at those in which it we thought suffused different the [...] When the present 1; are in young sleepy а in hardly angle fresh girls our we 0 r

The Principles of Psychology ( ??)

カ 私 た れ 5 V は る 眠 か た に ょ か 醒 0 7  $\otimes$ 7 物 1 事 る を か 違う 空 ように 腹 か 感 腹 じ か る。 元 中 気

> は、 う。 見 え で 係 で 略 る へで あ 解 考 0 0 り、 あ そ 中 え カン لح 同 中 る。 れ で 1 後 略 全 理  $\mathcal{O}$ な が 11  $\mathcal{O}$ て そ 事 1 私 解 < 見 無  $\mathcal{O}$ た 0) 0) せ 5 実 解 限 5 カン ょ ざ が 漠 か が 0 Ł は 然 う る 違 不 輝 を わ لح な う 度 思 き ば 関 得 か L 角 起 議 を 5 た 係 な 度 0 な 感 なく ば、 前 カコ た  $\mathcal{O}$ 11 ほ ľ 中 後 5 時 ど な て 同 関 に そ 捉 違 0 1 じ 係 あ れ え 私 うこ てし た ŧ 0 る を た 少 5 認 0) 意 b 以 ま と 女 に 識 0) 識 前 は う <u>。</u> に が 0 に لح す لح 驚 1 覆 る は 新 11 現 7 わ て 異 L て 在 0) な n  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 11 L 前 た 考 考 る は 方 ま 考 え え 関 0

と と あ 事 限 す て 腹 態 密 た て 絶 云 度 考 る。 る 考 接 0)  $\mathcal{O}$  $\sum_{i}$ か Š 対 え」 輝 に が 同 満 現 な 考 認 れ きを る 関 え 腹 象  $\mathcal{O}$ そ 価 ľ 識 は と、 で 0) ŧ) か が 連 と 値 当 が \_ 腹 感 に L あ 中 そ 意 時 次  $\mathcal{O}$ 0 て、 に じ が あ ŋ で 0) あ は な لح 識 1 時 て 其 ぜ ょ 減 る 「そ る 言 で こと 逆 ま 0 る あ 全 0) 事 が え 起 と て、 る 上 て た لح あ る。 る れ 環 絶 少 L が V が 0) が 境 え 意 そ ず 女 説 漠 尤 あ そ と Š に か ま 現 が ŧ 然  $\mathcal{O}$ 変 れ た、 0) か 識 ょ 思 1 で、 象 لح ŋ 程 認 れ ょ 化 う は う 逆 が て 変 を 現 識 が L 例 n 昔 理 上 0) 心 11 前 た な 化 す 在 な は L 0 5 あ に る 後 前 関 す ること は カュ 恋 当 る れ ŋ 起 0) 後 係 1  $\neg$ 0 を 心 た 然 た 方 れ 関 る ま 0 L 理 で、 が を 0 ŧ ば た 意 中 係 た 学  $\subseteq$ 変 先 に を 0) 識  $\mathcal{O}$ 示 か لح 女 わ 原 そ 0) 意 述 す 11 実 か あ V を る 理 な に な 飯 0) 識 る た う + 自 あ لح が 創 あ t た 8 ŧ 年 然 と 旨 ŧ 1  $\mathcal{O}$ 作 ŋ 覆 0 うこ とし 立 家 カコ で 感 7 方 わ 0 無 心 空 لح で 0 0) n

ころ とし が、 と そ う  $\Delta$ わ 所 生 主 絶 漱 1 真 な 0 文 L 創 ズ 義 対 態 石 ム カコ 理 学 う 考 で て が 視 度 作 Ł て ŧ 0 ズ  $\mathcal{O}$ 5 共 と 上 説 家 同 絶 工 5 に ょ な L 観 が 知 < に 0) ろ 感 な で  $\mathcal{O}$ 様 対 1 意 は j き  $\mathcal{O}$ もま であ 化 抱 よう l,  $\mathcal{O}$ 態  $\lambda$ 識 強 に な 続 ム 親 に 相 度」 考 ズ け 姿 L ŧ ょ 対 た、 る。 勢 な な 0) え て て て  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 親 意 V る 化 姿 に あ で  $\mathcal{O}$ ļ, 5 見 L 和 識 真」 気 で ے 、勢を ことをジ る る。 あ 見 解 ま お そ 意 れ 性 脈 あ う 意 0) る 方 1 0 識 る を が に を る。 点 見  $\neg$ 漱 て ŧ 関 を 前 見 0) 通 思ひ لح と、 共 を土台とし 石 認 す 具 0) を L لح 5 4 あ じ 工 V は 体 め、 通 に る  $\Diamond$ カゝ れ を  $\neg$ て る 出す その う 教 的 L 文 1 ぐ L 考 絶 漱 る 彼 そ 例 授 芸 に て ム る 石 え 対 あ 定 此 事 0) 0) ズ 問 ح と 生 は る 11 れ が 方 化  $\mathcal{O}$ 相 など た 哲学に 涯 同 に る 哲 は 題 だ 語  $\mathcal{O}$ す ŧ 倚 ŧ 様 に る 0  $\mathcal{O}$ 学 説 け 理 0 漱 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ る わ 0) て 0) は 的 き 由 11 0) 傾 石 根 で 0) 様 で たっ て、 と考 就 続 ŧ は 見 基 幹 は 1 لح 向 見 な 語 方 0 両 礎 け る L 様 に な を 方 心 えら る。 て、 で て ら て 評 Þ Þ と 漱 批 あ 1 を 持 主 29 あ れ 様 論 考 な る V 石 判 が る。 ح ک ت ح う ジ 張 た で え 観 0) لح れ 々 す 真 方 る。 る。 点 ジ が エ す な 自 れ 理  $\mathcal{O}$ た 平 る لح 然 を B 0) は ょ と 1

# 四 「中味と形式」の背景と『行人』

性 0 を 11 す Ł 7 で は と に に 様 先 Þ 多 行 な 元 論 論 的 0) が 宇 驥 述 宙 尾 べ 5 に 付 れ 時 て 間 て 1 と 考 る 自 え 30 0 を 由 述 先 と べ ほ る。 漱 ど 考 石 察  $\mathcal{O}$ 文 L 学 た 観 共 通 に

> 目 ン そ さ  $\mathcal{O}$ れ 多 れ 哲 が 元 学 る 的 0) ] を 宇 紹 は ゲ 宙 介 ル 第 L  $\mathcal{O}$ に 六 た 哲 0 学 講 第 0) 六 を て、 講 次 批 0 に 判 漱 部 多 L 石 分 V た こと 0 で 第 蔵 あ る。 書 が 講 0) わ 線 そ か 引 る。 L て、 き を そ 0 べ 見 る ル 中 ク で ソ 注

practical proceed. experience being the Instead if you wish inadequate, if Dive back into the flux itself, then, one of absolutely. Bergson and profounder, 1s not being to to clear already, thereby reveal enabling knowthe and Instead reality he only the to inverts sucalls its save nature adequate to of will only ij make the time. intellectual ofthe become traditional thing superiority short The knowledge, more superficial. Bergson tells one thing clearer cuts which through ij it

 $(A pluralistic universe^{(\pi)})$ 

倹 は ょ な カュ Š. 認 べ 0 教 我 非 識 ル るこ え を グ ょ を ソ が に  $\mathcal{O}$ لح そ 不 認 ŋ 完 が 適 識 深 全  $\mathcal{O}$ 教 切 に で お は 11 授 きる か な ŧ  $\mathcal{O}$ は げ ŧ た 0 0 こう لح だ < で 0) لح 経 で は ŋ 11 ょ う、 あ 0 71 験 カコ ば  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ え う わけ て、 実 中 妥 ず す 当 0) 用 で で、 的 近 そ な ょ で あ 0 ŋ 道 知 な る。 た 表 伝 ŧ を 識 لح だ で 面 統  $\mathcal{O}$ 的 で ŋ あ 的 彼 あ 0 る な は な どこ る。 プ ŧ 時 0 ラ 間 長  $\mathcal{O}$ 知  $\vdash$ を ろ لح 的 所

Ś で L  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ あ れ 意 認 ろ な 識 流 う 11 は れ は 事  $\mathcal{O}$ が 今 実 中 ベ 0 に ル 私 ま グ 0 で 本 ŧ 5 ソ 話  $\mathcal{O}$ 性 لح が 度 は 進 示 ろ す む び ま う に と だ 0 め実 は は れ で 在 7 0 次 き き を な ŋ 知 第 11 1) に L 明 た T V 5 1 ک カコ な 思 に 0 V う な か な る ŧ لح

る。 ے ح 1 在 す な うこ を る 認 知 ک そ は 識 لح لح に ŋ で を が た が て き 見 主 な ょ 6 で 知 張 と き れ 的 1 ŋ 思 さ る る な 表 う れ لح لح  $\mathcal{O}$ 認 面 な る す は V 識 的 5 る う な  $\mathcal{O}$ ジ 従 ŧ 長 流 工 来 所 実  $\mathcal{O}$ 高 れ イ 用 は 11 0) ム لح 的 中 ズ 価 な L 近 値 に ŧ 7 道 ŧ ベ を  $\mathcal{O}$ j を ル 与 \_ لح 事 え ク  $\mathcal{O}$ 度とびこめ ŋ ソ 実 5 4 ン  $\mathcal{O}$ れ とさ 時 0) 本 て 立 性 間 き れ 場 を を た 倹 で 示 知 لح 実 約 あ す 的

味 う な t 述 御 察 で  $\mathcal{O}$ 者 者 あ な  $\mathcal{O}$ べ 陰 活 5 形 で る  $\mathcal{O}$ 6 と 式 لح 我 に ょ カコ ŧ れ 中 う は 5 流 0) L て 々 ょ な に て る は れ لح 1 味 考 お て 0) さ る 日 評 認 لح 知 え 自 け 常 中 価 ょ n 識 的 形 る。 う تلح は カゝ る に さ は 式 な に 6 Ł れ 0 認 出 観 う — 位 中 そ に 0 識 学 便 る 察 そ 味 L 0 お 者 宜 形 者 度 لح て れ で け を  $\mathcal{O}$ 式 形 ح が る 何 あ 中 やる 得 が 式 び 学 ょ ると言 味 て 者 を 便 ŋ 内 カュ あ 統 捉 0) 8 宜 に 5 え 部 る <u>\( \frac{1}{2} \)</u> え 代 実 云 ること か 場 る 表 لح 在 Š 0 概 入 分 لح さ V ま と ŋ を 括 か 極 れ う ŋ لح が 知 り 込  $\otimes$ 0 る 言 で ŋ 向 ま 云  $\lambda$ ょ て ょ 葉 き で 纏 た 実 せ Š う 近 う は な 其 11 用 0  $\lambda$ Ł な 11 な 的 て 裏 と 11  $\mathcal{O}$ Ł لح 面 中 思 な لح 観 観 11  $\mathcal{O}$ 

> 1 に す 的  $\mathcal{O}$ を 人 0 う < お る な t L ŋ 11 認 認 B 0 言  $\mathcal{O}$ て、 う 識 カゝ 識 を 葉 え لح 脚 0 を 見 に す ょ 焦 絆 前 あ る 繋 者 ŋ ŋ を 慮 が Ł を 方 深 لح り 着 る 高 は  $\mathcal{O}$ 抜 1 が け ŧ な < Ł で 11 て 0 0 評 ま 0) 7 Щ き で で さ 価 لح る。 ゐ 河 あ あ す に は る を る。 る る ょ  $\mathcal{O}$ 跋 多 だ 研 ば 渉 元 般 究 ず す n 的 لح 的 的 る は 宇 な ょ 11 実 先 宙 価 ŋ う 地 に 値 表  $\mathcal{O}$ 見 実 で 観 面 郎 人 た 語 と 行 的 を  $\mathcal{O}$ ょ 的 な 5 嘆 j 完 ŧ れ き 同 る に 全. 0 ľ 0 対 同 に 経  $\neg$ 立 لح 様 S 験 知

を ŧ と 0) に \_ 多 L た 元 的 ŧ  $\mathcal{O}$ 宇 で 宙 あ  $\Box$ る 0) 考 え は そ 0) 少 L 前 に あ る 次  $\mathcal{O}$ 指

摘

theoretic knowledge, which is knowledge about things, as distinguished from living or sympathetic acquaintance with them, touches only the outer surface of reality.

(A pluralistic universe)

と に 生 事 は き 別 物 のこと る に 関 と、 す で る あ な 知 0 1 識 て L で は あ 実 共 る 在 感 理 0 を 論 外 ŧ 的 側 つ な に て 知 Š 事 識 れ は、 物 る を 0) 事 知 みで る 物 ととも あ

る 後 あ な る 者 11 لح L が 中 で は 説 味 流 共 は 明 と 感 さ ħ 形 を 0 れ 理 式 中 て Ł 論 0 に 1 的 で る。 て な 説 事 知 飛 カゝ 物 前 識 びこ れ を 者 た 知 が と ること」 先 相 む 事 0) ことに 手 物 引 を ح 用 研 لح とも 0 究 対 が 応 L 全 に 知 相 L < 生 的 手 た き な Ł を  $\mathcal{O}$ ること、 認  $\mathcal{O}$ 知 認 識 る で 識 あ で

す え う る لح 0 0 ほ لح は لح は 離  $\lambda$ 全 れ ど < て 同 趣 知 じ る が 内 違 0) 容 う 意 0) で その ŧ と  $\mathcal{O}$ 11 で う 物 あ 認 に る。 識 な りす は ま L 0) てこ ジ エ 1 れ を ム ズ 体 0 得

ク ソ は  $\mathcal{O}$ 0 ょ う 思 石 0 想 な 考 線 に 引 依 え き は 拠 L L た た 先 部 0) ŧ 分 (T) 引 を引 用 であ に 用する る。 名 前 が 時 見 間 5 と れ 自 る よう 由 \_\_ カコ に 5 べ ル

qualities, perhaps also to latter, clearly conceived by the human intellect, enables us kinds use of we clean-cut distinctions, reality, the must say is that we have to do theother speak one heterogeneous, that of sensible homogeneous, to count, to abstract, and namelywith two different space.

(Time and free will $^{\binom{2}{2}}$ )

間 れ あ で 私 に 0 が あ た 知 ŋ L 抽 る。 て 象 私 性 ち た L は 1 に 他 5 た ょ る 方 次 0 り に 0 方 は 元 で は 截 て 等 0 異 あ 然 は 質 異 そ る。 L لح 的 質 なる二つ 0 的 て L き で お た ŋ で そ 区 と 5 別 理 そ 0) れ < を 解 が 現 れ さ は 実を認 は 空 おこな ま れ 間 感 た る 覚 で 話 0 ŧ あ 的 識すると 0 た すことを る。 な り、 で 性 後 質 数 者 V) 0 0) えた ŧ て、 うこ は ŧ 可 人  $\mathcal{O}$ 

あ ŋ 時 方 間 が 説 自 カコ 由 れ る。 に お 11 0 7 は は 感 認 覚 的 識 さ な 性 れ 質」 る とさ 現 実」 ħ る 0) <u>-</u>つ 「 異 質 0)

> こそ高 及で 実」 な 極 間 を に を 行  $\mathcal{O}$ 間 ŧ 状 的 現実」 ح 求 う 一 経 お  $\Diamond$ 的 態 記 きる に 自 では 述 て 由 け  $\Diamond$ な が を な 僕」 お る る 介 つ 強 由 が 11 L け なく、 が とす て 価 入 ル 現 あ \_ 1 は 行 実」 る を 分 し る。 共 に 研 値 ク \_ け 人 れ 多 感 が 0 究 た ソ 分 郎 ば、 5 知 置 で を V 元 的 前 ン カゝ 0) れ、 て、 0) 性 カュ 者 等 は あ 示 的 ち ジ ý, 希 れ 質 0 L 宇 後 エイ 郎の嘆きに 求 に る。 た 書 漱 宙 的 純 「実行 者 を 研 こ の 感 ょ 石 粋持 ムズ の「知性」に こ の 捉 · き 込 覚的 究 が な 0 そして 的 え て 的 よう 続 直す 考えは、「研 な 性 4 現 理 余 べ 通じるものである。 (pure なあ 実」 な 0) ハ 解 0) ル 必 常  $\neg$ 質」とされる「 さ 残 問 要が クソンの 時 で る 現 = ŋ れ 題 よって duration) | 間と自 実」 ~ シ あ 方 を る、 が、 あ ] 力 究 る 「 時 を 考 中 ジ 理解 退 的 哲学 曲 に 認 け、 な 例 間 味 は 居 識 さ 僕 から、 え と に لح 現 0) 次 タ \_ と 「 す れ ば、 \_ 実行 IJ ま 形 実」に に る 0 呼 行 る 「ニつ 人 ょ で 式 Š 時 j 実 空 لح 行 遡 現

but perceive penetrating and altering them. duration external world, 私 we duration lived by consciousness, たち are は which 自 not ourselves 分自身を accustomed to observe ourselves we glides are 直 through led over 接 に to 観察する習 (Time and free will (p.154)) the believe formsinert is the same borrowed from the that [慣が atoms without real duration. なく as

ŧ 性 か 世 与 的 5 界 え ように な カ な 諸 現 b 11 原 実 借 で 的 子 ŋ 滑  $\mathcal{O}$ 持 7 ŋ 上 続 き を、 過 た ぎ 諸 意 そ て 識 形 れ に 式 L ま に ょ を う 浸 0 通 持 透 て L 続 す 生 7 ること と き 自 同 5 分 を じ れ な 捉 Ł た 0) < え だ 何 続 る لح 0) が Ł 思 変 0 化 惰 だ

込

む

なる。」

うこと 捉 念 世 で 捉 5 え 界 て え を 7 時 る る 借 意 問 0) 通 か 間 こと 識 ŋ 6 な 題 意 試 と 7 に 識 論) 再 借  $\mathcal{O}$ に て 自 きた だ。 び が 認 直 す 状 ŋ 由 漱 接 る 態 で 識 て laき 諸 与 石 先  $\mathcal{O}$ が す き conscience 0) 0 形 な Ż で る た に は Ł 線 式 5 1 見 純 た 諸 あ لح ことと言 **9**, 引 め た れ 我 粋 形 0 0) L 持 た 々 式 ょ 題 た 代 続 ŧ 0 5 (意 名 表的 意 意 部 認 0) な は 分 識 0 とさ 識 え 識 識 に を る。 な ま に が に に 知  $\lceil Essai$ 引 Ł 直 ŋ 直 れ 直 11 性 用  $\mathcal{O}$  $\sum_{}$ 接 意 空 る。 接 一接与 カゝ が 与 与 す 識 0) に 間  $\mathcal{O}$ る。 えら えら 言言 ような え に 屈 べ sur間 5 とっ ル 折 が 題 語 ž れ ク れ れ 介 les 点 外 た て れ 入 ソ た た は す ŧ 外 ŧ ŧ る données 言 るこ 的 0 的 が か 0) 0 葉」) に 世 外 لح な 界 を 観 的 لح 貫 を 11

the requirements of social life in reality only Consciousness, the through the symbol. broken symbol to bу pieces, for an the insatiable ıs. As the self thus refracted reality, general and language in much desire better  $^{10}$ perceives to the to

> sight of the fundamental self. consciousness prefers it, and gradually

(Time and free

を 合 5 号 11 般に れ 見 するの て、 を 意 失 通 識 ま · 社 会 0 現 は た で、 て 7 実 ま 生 *(* ) 0) 区 さにそ < 意識 活 か 代 别 の、 0) 現 わ L で は 実 り ょ のこ ある。〕 そ 特 に う を とす 0) に 知 記 と 号 方 言 覚 に を 置 を L る 語 ょ な 好 0 飽 って細 . き 換 諸要 4 1 < なき欲 こ の えた 求 少 分化 に L よう り、 望に は ず さ る 0 れ に か あ 根 悩 た 底 屈 る ま 自 さ ょ 折 的 1 我 < さ は 自 れ は 我 適 せ 記 て

と 断 判 た 自 5 同 見 基 界 と 7 る ż き 人 己 借 さ 1 様 す づ か < 物 を ŋ う と ること れ 5 れ た  $\mathcal{O}$ 0) لح る。 嘆 いうこと 行 借 7 問 た 諸 ょ りて 郎 為 < き 題 作 形 う た な 7 ŧ べ  $\mathcal{O}$ 意 は 式 な 物 0 き ル 0) 諸 自 識 に た  $\neg$ だ 郎 で 形 己 ク に が 記 外 繋が ソン を 36 0 諸 が あ 式 認 見 ょ 뭉 的 内 強 る 識 形 5 る は、 るも 世界 を 容 先 式 0) れ 認 「 で 評 憧 る。 に そ 通 識 言 か まさ 0) 見 か 自 れ L L は 語 と言 て 5 を て た 6 価 由 図 借 そ に す 示 L 解 と Iえる。 を ŋ 根 す  $\mathcal{O}$ カコ る 創 放 と 1 てきた 底 図 披 は 0) ょ 認 0 作 さ う 的 う 1 が 識 で 家 れ そして て 自 香 と は な す  $\mathcal{O}$ た 諸 外 厳 地 我 態 る 1 な 0 的 な 理 形 根 义 う < 度 ょ を 式 0) 世 う を لح 底 郎 だ。 界 を 調 見 0 外 主 に 的 な を 查 失 カ 捨 で 的 義 お 自 ŧ す 通 う き 世 1 我 6 7 ま る 界 ŧ な で て 的 借 去 L た、 か て 裁 批 世 n 0

聞 え Ł 識 諸 る L 平 姿 た 形 そ 今 生 に V 尽 行 と 式 迄 生 に れ 直 れ た L 読 ま 集 な L 接 7 な を 4 て 与 で لح  $\Diamond$ V 仕 0 で 破  $\mathcal{O}$ た 大 先 を 舞 え 放 悟 0 認 出  $\mathcal{O}$ 契 書 5 0 下 た L 姿 機 て 識 た 物 れ L n 書 来 た  $\mathcal{O}$ لح を た 尽」 る 物  $\mathcal{O}$ 11 基 ŧ L す べ 香 同 上 で 盤 て 0  $\mathcal{O}$ す ル 厳 あ  $\mathcal{O}$ か <u>こ</u>と 悟 ク 後 知 は る。 塵 0 ŋ لح ŋ ソ 識 労」 ま L 焼 が で 投 ン を 潙 ŋ て 開 き 残  $\mathcal{O}$ げ Щ 五 棄 聞 石 カン 言 外 た 5  $\mathcal{O}$ + て が ħ V 石 ず う 的 竹 た る 点 が لح 父 世 か に 同 根 竹 検 ŧ 界 当 5 書 L に 母 底 カ う た た 的 物 当 言 ŧ 5 そ 0 揚 自 借 た 葉 生 た 句 切 我 n が 0 に 音 た 父 て 代 を な 対 を を £ き 表 音 放 同 L 捉 母 意 た す を 先 下

囈 化 T あ 繋 て ク る ジ 親 げ ソ 語 重  $\mathcal{O}$ る 7 思 エ 6 き 視  $\mathcal{O}$ L 絶 想 境 < た لح に 1 れ  $\mathcal{O}$ す 対 郎 て 可 思 否 ベ لح う 地 経  $\Delta$ 即 ズ 能 想 定  $\mathcal{O}$ 解 験 VI 明 き を  $\mathcal{O}$ 相 す 性 を 的 治 関 釈 る 対 لح 先 ベ ょ を 経 に 兀 連 で る 実 う 書 +は  $\mathcal{O}$ は に 事 ル 感 由 行  $\mathcal{O}$ に 中 な 見  $\mathcal{O}$ ク じ き 年 L 境 か < た で ソ る 7 込 頃 を 地 オ き 褝 に 郎 5 新 W 求 ŧ ジ 0) لح だ 0 考 イ る と た 8  $\neg$ ま 判 思 救 察  $\mathcal{O}$ は な 褝 禅 エ ケ る た 想 門 1 ン 切 結 で 意  $\mathcal{O}$ 済 す 姿 的 き 思  $\mathcal{O}$ ベ  $\Delta$ L に 勢 び 義 法 生 き ズ た ま な付 想 方 な 9 語 が 死 で 向 で 心 き V け が 集 ベ 自 理 遡 を で  $\mathcal{O}$ 性 あ  $\mathcal{O}$ 中 超 我 的 n 極 ジ ろ ル あ ŧ> 0 L 5 ク な る 味 8 越 ろ と 工 屝 لح ソ 自 て t  $\mathcal{O}$ 7 う 漱 1 に ジ そ で 形 強 す 己  $\mathcal{O}$ か石  $\Delta$ 37 0  $\mathcal{O}$ あ 式 る  $\mathcal{O}$ ズ 珍 い て 中 分 1 哲 لح n ŧ  $\mathcal{O}$ さ と  $\Delta$ 何 学 絶 ば を  $\mathcal{O}$ そ で ベ 漢 ズ 経 で に ょ 対 れ 蘇 ル L  $\mathcal{O}$ 

> 漱 関 る を 的 る 漱 な ベ ŧ 石 心  $\mathcal{O}$ は ジ  $\mathcal{O}$ 石 批 ル で 近 が 判 工 ク は そ で ソ 代 持 1  $\mathcal{O}$ な 化 0 あ  $\Delta$ 批 ょ て 0 ズ  $\mathcal{O}$ い  $\mathcal{O}$ 判 う た P 哲 V で 学  $\mathcal{O}$ な た ベ あ 射 西 ま ル を る 程 洋 لح た ク 背 は 思 は 日 ソ 景 決 想 ょ 本 ン に  $\mathcal{O}$ <  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 褝 L 知 近 動 思 が て 向 5 代 想 志 لح れ化 は 向 日 対 さ 本 7 に 近 応 代 V 対 れ 0 開 L る す 哲 る た る 学 化 لح ŧ 漱 強 に 対  $\mathcal{O}$ 石 11 0 で  $\mathcal{O}$ 批 す 意 限 褝 判 る 定 あ 義 さ ŋ 意 で  $\mathcal{O}$ 識 n 本

### 注記

- 1 同 六 初 年 時 日 出 +休 5 は 載 大 月 を 正 + 挟  $\overline{\phantom{a}}$ 東 五. W 京 日 で、 朝 九 日 大 新  $\equiv$ 正 聞 大 年 兀 正 九 月 元 七  $\equiv$ 日 九 で 年 連 九 載 さ 月 + れ 年 六 た + 後 日 月
- 2 に 日 依 収 大 に 頼 中 阪 録 堺 に 味 さ 朝 で ょ と れ 日 ŋ 講 形 た 行 新 演 式 聞 さ わ れ 社 れ は た た 明 明 連 治 続 治 ま 兀 兀 講 た 十 +演 文 兀 兀 章  $\mathcal{O}$ 年 三 لح 夏 口 L に 九 目 て 大 で 阪  $\neg$ あ 朝 ŋ 朝 日 日 年 講 + 八 新 月 聞 演 集 + 社 月 七  $\mathcal{O}$
- 3 天 去 尚 和 崎 私 +ょ 義 八 る。 恵 宝 文 九 行 館 兀 人 出 版 年 昭 漱 + 和 石 兀 月 لح 十 則 三 天 去 引 私 用 九 六 は 八 岩  $\neg$ 漱 波 年 石 書 十 لح 店 則
- 4 漱 江 石 淳 東 京 行 ラ 人 イ フ 社 昭 我 和 執 + لح 自 己 九 抹 五. 殺 六  $\widehat{\,} \,$ 年 夏

+ 兀 九 引 七 用 九 は 年 決 七 定 月 版 に 夏 ょ 目 る 漱 石 新 潮 社 昭 和 五.

- 5 楓 (月)。 社 鳥 居邦 引 成 朗 用 は  $\widehat{\phantom{a}}$ 行 人  $\neg$ 九 漱 九 石 作 玉 品 文 年二 学」 論 集 月 昭 成 和 に 兀 第 ょ +巻 九 行 六 人 五. 年
- 6 イ プ 清 水孝 ス 的 純 世 界 此 輸輸 岸 に 林 L 書 て 房、 彼 平 岸 ^ \_ 成 五. 漱 九 石 九 そ  $\mathcal{O}$ 年 反 +·月))。 才 イ デ
- 7 が と け が が 成 1 لح ۲ 生 5 始 + は V ま 0 う 異 れ ま 筆 三 そ  $\neg$ 見 る れ な 者  $\stackrel{\frown}{=}$ 行 な の 絶 کے る 解 る は 人 1 中 対 以 考 は 世 解 で 即 釈、 前 父と え 界  $\bigcirc$ 私 ŧ 相 で て が 本 論 田 対 あ *\*\ 特 論 名 母 中 り、 0) る 付 年 が 実 0 禅 主 が け 生 兀  $\sqsubseteq$ 文 境 張 5 月) (『漱 لح ま 化 地 そうだ لح 関 れ れ 整 以 を 連 ることに  $\mathcal{O}$ る 前 石 0 の 関 さ 以  $\mathcal{O}$ を た 自 とす 係 せて解 状 前 読 我 頭 個 に  $\mathcal{O}$ 態 む れ ょ 人 お 世 自 ح ば、 的 つ 釈 1 界 己 言  $\neg$ て な 笠 L て 0 乱 人 考 間 た 注  $\mathcal{O}$ て 類 れ 目 え 書 ŧ れ 絶 ŧ だろ لح  $\mathcal{O}$ た す 院 は  $\mathcal{O}$ 対 ょ べ ば 名 文 心 ŧ 化 き 付 化 う 亚
- 8 ま 月二 出 三 +は + 九 日 東 口 カン 京 に 5 朝 わ 明 日 た 治 新 0 兀 聞 て +断 兀 明 続 的 治 に 兀 九 掲 十 三 載 年 九 月二十 0 年 日

ŧ

0)

で

9 九  $\mathcal{O}$ 稲 オ イ 詛 風 年  $\mathcal{O}$  $\neg$ オ 月 流 1 行 ケ に 状  $\mathcal{O}$ 況 我 哲 に 思 学 0 想 V 大 界 て が は 同 オ 館 1 大 書 ケン 正 店 を 年 大 伝 + 正 月 て  $\widehat{\phantom{a}}$ 発 行

> り、 P, に オ ま 6 思 あ 双 た に 0 学 言 イ た た 我 潮 る 大 オ れ 才 及 ケ 習 漱 事 が 壁 て が 1 イ L ン 院 V 種 を 玉 لح 石 に ケ 天 て で る。 に 及 で 悲 大 L ŧ  $\mathcal{O}$ 弦 t 11 於 と 正 7 行 を る。 堂 け 5 兀 天 わ 私 思 Š む 紹 書 لح れ な る 年 下 ル  $\mathcal{O}$ 想  $\mathcal{O}$ 介 房、 た み オ 七 を グ 個 界 で と i 二分 1 ベ 講 月 人 0 あ が た単 大 ンに ル 主 同 ケ 発 演 流 る 沭 正 ン ク 時 行 義」 行 L 行 で ソ 兀 熱 期 0  $\mathcal{O}$ て 5 本 ( 大 正 に、  $\widehat{-}$ 居 ン 同 0) 稲 V) 「 近 が は と 消 毛 7 る 数 L で 九 一 頃 オ 詛 並 長 観 多く が 三 流 ベ 1 0) 風 自 が き 年 あ 五 甚 て 行 ケ 者 序  $\neg$ あ 出 + 0 だ オ る オ る は 1 版 たこと 年 イ べ 0) L イ 現 さ 1 月二 ケ ル 著 < 七 ケ 代 頁 れ 頁 ン グ 書 月 思 53 激 て + ソ が 烈 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 頁 想 7 述 に 流 五. 訳 لح で 現 界 る B は 代 لح 日 あ あ 書

- 10 摩 水 九 書  $\bigcirc$ 金 八 子 房 田 筑 中 昭 年 水 王 和 堂 九 兀 個 月 +人 片 九 主 Щ 引 義  $\widehat{\phantom{a}}$ 孤 用  $\mathcal{O}$ 村 九 は 盛 衰」 七  $\neg$ 中 明 兀 沢 ( 」太 治 臨 年 文 Ш +学 陽 · 月 ) 全 魚 集 明 住 に 治 折 ょ 50 兀 蘆 + 集 金 子 筑 筑
- 11 稲 介 倫 雑 て 稲 さ 毛 理  $\mathcal{O}$ ħ 詛 大 て 風 演 冊 オ 11 集  $\mathcal{O}$ 正二 る。 1 単 オ 大 ケ イ 行 ま  $\widehat{\phantom{a}}$ ン ケ 本 正二 た、 ح لح 九 現 0 L 序」 一 三 ) 哲 代 て 学 S 思 は 九 潮 を 先 一 三 ) 年 は 金 駆 + -日 は、 子 的 本 筑 な 月) 年 で 天 水 ŧ + = 0) 弦 が 0 オ Þ 堂 書 で 月) 丁 イ 書 あ ケ 房 て り、 な ン ょ 1 る。 に ŋ 哲 0

さ n 近 代 思 潮 叢 0) ₩ で

- 12 稲 毛 詛 風 才 イ ケ 哲 前 出
- 13 稲 毛 詛 風  $\neg$ 才 1 ケ ン  $\mathcal{O}$ 哲 学 前 出
- 14 稲 毛 詛 風  $\neg$ 才 イ ケ ン لح 現 代 思 潮 前 出 233139 頁 頁 96 頁
- 造 励 格 哲 的 学  $\check{\underline{\ }}$ ば < る 実 生 触 れ 必 験 活 れ 5 要 以 は 5 醒 が 外 養 斬 れ 社 あ 成 新 で て る に ŧ, な 大 ょ る る 正 オ ŋ 世 295 根 界 1 頁) 本  $\mathcal{O}$ 例 ケ 真 光 لح と 九 0 景 理 L あ て、 لح を 人 る。 兀 生 発 三 展 格 活 年 並  $\mathcal{O}$ せ 七 真 良 重 L 月 理 8 視  $\neg$ لح オ  $\mathcal{O}$ に 自 1  $\mathcal{O}$ 点 は 王 己 ケ は 玉  $\mathcal{O}$ L 激 人  $\mathcal{O}$ を

16

- 共 摘 論 対 指 に て ま 備 通 郎 が に 即 す オ 一中 た で 0 な お 相 積 1 性 オ て 伊 لح 姿 さ 対 極 益 年 11 イ 味 置 勢 て ン 郎 的 達 L れ 九 ケ  $\mathcal{O}$ に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ S て は な 複 月 源 て 形 訴 境 て 最 は 11 思 雑 が 式 る。 自 え 様 地 想 郎 な に ŧ 受 る 其 郎 我 Þ を 重 で る は  $\overline{\phantom{a}}$ 容 問 形 そ 0) な 器 オ لح 要 あ さ 式  $\mathcal{O}$ 題 考 自 な 違  $\mathcal{O}$ る 械 イ 漱 れ 拡 近 に カュ 1 他 え 我 ケ 点 لح 石 る が 大 代 は 6 が 化 ン が は 背 自 共 観 方、 は  $\mathcal{O}$ 我 見 信 述 せ 景  $\frac{\mathbb{Z}}{\mathcal{Z}}$ 通 5 念 文 仰 Þ べ L 民 に 性 れ  $\mathcal{O}$ 的 現 明  $\mathcal{O}$  $\neg$ る 8 あ 友 種 る。 行 が 問  $\mathcal{O}$ 実 生 な た ょ る 人 社 見  $\mathcal{O}$ 題 拡 世 活 ŧ う る 問 130 لعلع 大 6 を 形 界 な  $\mathcal{O}$ な 題 頁 大 式  $\mathcal{O}$ れ 割 تلح で で 姿 意 同 正 を で と る 勢 出 オ あ  $\mathcal{O}$ 識 =事 す 郎 さ  $\mathcal{O}$ る 1 実 と る j 実 لح  $\mathcal{O}$ 現 結 あ 両 ケ 社 例 لح  $\mathcal{O}$ 者  $\mathcal{O}$ 先 を る。  $\neg$ لح لح 九 す 前 指 行 絶 行  $\mathcal{O}$ 目
- 通 11 え な 間 لح + る。 じ ŋ に 間 11 · 六 と 三 \_ き て は Š 相 実 不 あ + 寂 互 131郎 漠 可 て、  $\mathcal{O}$ 問 頁 が 牢 思 関  $\mathcal{O}$ j を 近 固 議 係 感 何 て と 代 と 述 な が を 処 V 1 L 化 る ベ 起 か ること う 0 7 現 内 さ 5 間 状 象 部 L 抜 離 君 題 況 < を 12 む に れ 0 点 可 呈 は る لح 通 T 心 と な 却 5 L じ る لح L 同 ざ 居 0 0 る る 僕 て る 7 た る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 障 な 分 た  $\mathcal{O}$ だ 科 心 壁 離 8 り で 6 لح 学 لح が に あ う は  $\mathcal{O}$ が 設 個 る 発 述 \_ け 互 人 展 体 べ 6 لح に 言 塵 何 6 種 れ 個 相 え 労 処 れ  $\mathcal{O}$ あ 競 人 迄 塵 堪 て る 0
- 17 出 崎 義 恵 行 人 前 出
- 18 芳 て 学 カン 5 + 注  $\mathcal{O}$ 正  $\mathcal{O}$ 作 漱 死 明 目 1 教 は 思 5 オ 0) ま す る 養 想 品 で 石 自 で べ 主 状 あ 漱 ょ  $\mathcal{O}$ 1 新 う 然 き 義」 評  $\bigcirc$ 石 況 0 ケ た 哲 主 人 た 評 は لح な 価  $\bigcirc$ な 学 義 無 格 に 価 漱 0  $\bigcirc$ 評 的 関 指 転 郎 0 石 価 思 な 竹 芸 換 作 係  $\mathcal{O}$ 摘 年 文 軸 想 事 思 捉 さ 期 田 術 て 品 生 で +学 想 乃 自  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 純 論 え れ は が 者 典  $\mathcal{O}$ 方 至 て 然 月 分 評 郎 的 な 生 は 衰 主 は 人 11 ま 析 価 な 11 作 退 る。 岩 格 思 لح 義 軸  $\mathcal{O}$ れ 6 に に 思わ 的 想 主 لح 項 波 才 れ 伴 ょ 張 例  $\mathcal{O}$ 書 な  $\mathcal{O}$ イ そ 目 る 1 る え 評 彼 関 れ 0 店 核 に  $\mathcal{O}$ <u>ځ</u> る。 芸 岸 ば わ 変 価 ょ 勃 術 軸 未 過 り 平 と を 化 る 興 赤 に 大 発 迄 で 成 な オ 受  $\mathcal{O}$ L 正 選 + 基 あ 0 容 لح 木 契 1 て  $\equiv$ る。 年三 カン 桁 づ 書 た ケ L 機 き 平 < 年 6 と た が た t 頃 平 漱 点 月 さ  $\mathcal{O}$ 日 は Щ  $\overline{\phantom{a}}$ 大 で 哲 成 石 本

容 た 行 ス لح され な評 論 によ う 大 るような日本 正 言 価 る 一 軸〉  $\equiv$ 年 で 郎 が 評 あ 0 月))。 価 捉え り、 L 0) 7 思想状況があったと考えら それ 方 V 0 る 根底に れ を (「夏 生み 以 上 は  $\mathcal{O}$ 目 出し 詳 漱 Щ 述 石 た、 本 は 氏 避 オ が ける イケン 述べる れる。  $\vdash$ が へ新 受 先 ギ

<u>19</u> Euchen, 訳 と Þ を 80 ここで であ 考えら 今 で 閲覧させてい W.R.Gibson. London:Black. 1909. € > 薄 口 0) < The meaning and れる。 なって 東 漱 北 石 大学 0) おり ただい 引 書 付 用 き 属図書館 込 + は たが、 同 4 分 書 は な value of life. に 次 確 で漱 よる。 の部 認できな 漱石の 石 分に 0 書き込 訳 蔵 文 対 カゝ Translated 書 は す つ イクロ である Rudolf みの た。 る 藤 本 ŧ に 写 フ L  $\mathcal{O}$ であ ŋ 1 by LJ. か ょ L る が ル 拙 る 所 A

spiritual freedom, particular point can make no further co-operate in and graded. It becomes all-important to shift upward and development of the whole of reality? man's participation The universe presents itself in man variously sundered than bе of better calculated gravity this the itself, possibility construction in his life, to and decision, the movement at allows him to life to which, in of give of the universe. Without thereby rising his life meaning share the enabling to progress. 'n very act of the а level him to What and of the

## The meaning and value of life

る と 体 ま 由 開 さ 設 を 0 字 さに とし 上 高  $\mathcal{O}$ が 良 に わ 一で適 ま さ 結 解 L  $\mathcal{O}$ V 宙 人 5 て る 実 放 共 方 は 人間 L لح 生 さ 現 可 な 同 向 たも そ 発 る 人 能 れ れ を ح 性 展 れ た 進 間 る に 可  $\mathcal{O}$ 自 歩 変 様 ょ を レ  $\mathcal{O}$ 能 とも を え とは何だろうか。」 ŋ 体 べ 々に 参 と 人 以 を ル 生 加 す て 生 上に、 と決 に 強 へ と 上 4 ること 1 に 切り離 出 することを 固 くこと、 お 断 に すこと け 人生に なし は、 0 さ し る てい て れ 深 に、 最 そ V は 刻 く 可 意義 可 さ 級 るときに、 な ŧ れ に分 0 能 あ 重 に لح ح 能 る 要 ょ 中 性、 価 す 精 地 ŋ 心 け な á 点 神 宇 6 的 値 ŧ 現 的 を 人 そ で 0 宙 な 生 して たも 与 実 ŧ に 0) に 0) え 全 自 Š 建 展

and value] construction of the universe」に共同することと 味であると考えられるが、これらが、「life」に「meaning 0 意 味 結 が 実 取 と を与えるも ŋ 発 にくい 展 をともにすること、 が、「spiritual 0) とされ てい freedomj る。 後 者 ٢, は 少 現 同 前 実 様 0) 全 0

- 20 ギ で もとは 行 ス わ に れ た講 明 発 治四 表された。 演 でで + あ 年二月 ŋ 文章とし + 五. 日 0) ては 第 同 口 年 兀 朝 月 日 「ホ 講 演  $\vdash$ 会 F
- 21 六 初 日 出 は 東 京 朝 日 新 聞 明 治 兀 + 年 月 日 5 兀

月

22 ŧ 0 後 で と考えられる。 述 るように . こ の ۲ 0) 飛 郎 躍  $\mathcal{O}$ 認 と 識 1 は う 言 禅 葉 لح は 関 係 加 0 藤二 深

て、 が お と 郎 認 け 褝 8 る 漱 禅 5 石 翰  $\mathcal{O}$ れ 漱 体 ね 林 石 褝 得 書 ば لح 褝 房 な 体 5  $\mathcal{O}$ 現 な 平 関 明  $\mathcal{O}$ 11 係 成 暗 過 に + لح 程 0 0 1 と V 語 j で て に 見解 ŧ 明 九 即 言 治 九 から うべ 末 九 7 カン 借 き 6 年 用 晚 + 0 年 月 た。  $\mathcal{O}$ に 飛 カン 漱 15 躍 け 石

- 23 形 を 月 ル 自 本  $\mathcal{O}$ 明 す え る 式 ょ グ 由 を 講 治 事 漱 日 ソ 読 兀 な 石 む 義 تخ 0) 0) は を + W 読 日 ょ を だ 同 に 書 記 明 年 近 読 心 む 時 九 ŧ 1 に 治 地 4 لح 月二 期 時 (略) 兀 あ 出 す あ べ に 期 + る L る。 十三 0 に ル 兀 لح て」(「  $\widehat{\phantom{a}}$ 午 グ 年 1 お  $\neg$ て、 同 前 時 ソ 六 日 日 ŋ ジ 年 間 ン 月二十 0 記 日  $\neg$ 八  $\mathcal{O}$ エ 日 修 لح 記 月 ] 自 記 善 「時 七 元的 +  $\Delta$ 寺 八 に 由  $\bigcup_{i=1}^{n}$ 九 ズ 日 七 間  $\mathcal{O}$ 宇 を 日 午 を 大 0) لح 宙 と 読 患」 読  $\mathcal{O}$ と 日 前 あ 講 あ み W 記 に る は で 演 空 ŋ に 了 ジ 後 間 で る 1 エ  $\neg$ 中 同 時 る ] あ 思 昨 年 間 لح 味  $\mathcal{O}$ 日 好  $\Delta$ ŋ 11 べ لح ズ 出 言 لح 論 七 き
- 24 York:cosimo. 七 理 月 学 に 心 漱 理学 今 を 石 参 旧 原 田 照 0 2007. い 理 蔵 恵 L 簡 80 書 訳 た 略 Co.  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 拙 版 ょ 引 1901. や ŧ 岩 訳 る。 用 Psychology, 波 で 0) は 書 は あ 頁 る 店 あ 数は Theる。 Thebriefer course や Principles of 昭 同書の ま 和 Principles た + 訳 兀 ものである。 文は  $\widehat{-}$ Psychology. of 九 訳 The Principles Psychology いした  $\equiv$ 九 ち 年
- 25 す で に 小 倉 脩三 氏 が 漱 石 に お け る ウ イ IJ ア A ジ

るウ 指 原 が 頁 目 頁 小  $\neg$ L 作 摘 漱 倉 理 心 て 家 A 創 ジ لح ズ す  $\mathcal{O}$ 氏 玾 主  $\mathcal{O}$ 石 イ エ 創 作 本 る لح エ IJ 間 が 学 要 0) 態 1 作 家  $\mathcal{O}$ 章 題 強 ] ゥ T 受 原 な 度  $\neg$ A 家  $\mathcal{O}$ は、 と 調 を 軸 A 坑 ズ 容 A イ 理  $\mathcal{O}$ 態 同 夫』 す ズ IJ 中 を  $\mathcal{O}$ 受 に 度」 態 次 様  $\mathcal{O}$ ジ 心 る な 時 ア で 容 0 度」  $\mathcal{O}$ と 0  $\mathcal{O}$ L 点 エ  $\mathcal{O}$ A あ 全 ょ し 指 意 ] は 関 た を て 周 0 う 体 全 摘 た 連 識 ジ  $\Delta$ たし ŧ 含 辺 な 体 を を ズ 関 を  $\mathcal{O}$ む Ι  $\mathcal{O}$ エ 人 を 意 通 行 連 述 40 は 選 0) Ì 有 間 じて 味 通 受容 漱 0 で べ 択」  $\neg$ ム 精  $\mathcal{O}$ じ に て て 宗 あ 頁) 石 堂 、 ズ 意 お て  $\mathcal{O}$ l, る。 夏 1 教  $\mathcal{O}$ 説 に 受 識 11 問 0) る。 る。 的 目 لح 作 に 容 0 平 0 てで 問 題 ま 漱 経 発す 1 指 家  $\mathcal{O}$ 1 不 た 題 た 意 て 摘 験 的 唐 明 あ 意 カュ るも 識 だ  $\mathcal{O}$ 歩  $\widehat{\mathbb{I}}$ L 2 辺 は、 な る 漱石 識 諸 4 ウ L 部 に、 相  $\neg$ 1 0 分 ŧ で ここで で لح に 小 心 IJ  $\widehat{\mathbb{Q}}$ ŧ, L 倉 49 と お 32 理 ょ ア 氏 夏 け 学 ŋ 貫 創 7 A

で 理 点 لح 2 は は 全 対 ま 題 か り 的 性 比 0 な b こここで で き 格  $\mathcal{O}$ さ W 0) せ n 0 表 0 認 選、 描 れ 7 面 漱 た 写 V 8 لح 択、 的 と 5 石 て L を *o* 選 て が な 11 世 択 述 え 肯 5 る 界、性 0) る ベ 格 定 ば \_ 否 て V  $\mathcal{O}$ に 定 で 11 描 カン 全 お 中 ること 部 あ 写 V 略 · に す が 基 て て、 礎」 お れ 悉 は、 < ば け 可 意 観 で る 能 識 察 面 あ 哲 は  $\mathcal{O}$ さ る 的 か 学 選 な 特 n 的 択 る 5 作 定 と 基 ざ わ 者  $\mathcal{O}$ 1 礎 う け る 視

ま ŋ 創 作 家  $\mathcal{O}$ 態 度 に お け る 漱 石 0 立. は

と カン 意 V  $\mathcal{O}$ うべ لح 説 0) き 選 う 0 択 き で 0 作 あ と わ 用 る。  $\Diamond$ 0 て た 説 新 積 0 極 た 的 な 煮 客 な え ジ 観 切 エ 世 5 1 界 ぬ ム を ズ 1 認 受 カン 容 15 創 で あ ŋ ろ 0 出 か た す

漱石におけるウィリアム・ジェームズの

姿 度 石 \_ 多 勢  $\mathcal{O}$ 1 面 小 う点 元 を 説 と 文 的 倉 に 批 学 氏 的 そ で ょ  $\neg$ で 宇 判 的 は は れ つ 心 あ 宙 す 事 て 理 な な ジ Ś 態 課 認 学 11 エ と に に 題 客 識 原 イ 対 11 観 が 理  $\Delta$ う L 的 す あ 様 ズ る 極 る て 世 Þ  $\mathcal{O}$ 0 考え 界 漱  $\Diamond$ 特 に 共 意 を 容 石 て 定 異 通 識 に 積  $\mathcal{O}$ て V  $\mathcal{O}$ な 性 0 見 つ 共 極 ると 1 か カン 選 方、 る。 的 感 に 5 択 て に な 創 V 主 作 意 本 章 0 考 る う、 張 ÎI ) (47 用 な 義 え カュ L 説 と 方 が が で た を を あ る 意 いうことを 認 ŋ 絶 識 創 t  $\mathcal{O}$ 8 対  $\mathcal{O}$ 5 0 作 は た 家 で そ 化 選 49 上 あ れ す 択  $\mathcal{O}$ 頁 で、 が る 作 態 漱 る 態

- (2) The Principles of Psychology p.286 287
- 27 識 実 0) 際 選 に漱 択 に 石 . 関 は 論 L て 0 冒頭 月 0) 見え方 でジ エ 1 0) 事  $\Delta$ ズ 例 0 を 名 出 前 し を て 出 1 る L 意
- $(\stackrel{\sim}{\alpha})$  The Principles of Psychology p.232 233
- 29 日 た に 講 ŧ とは 演 け で て 明 あ 治 東 兀 京 + 文 章 朝 年 日 兀 と 新 月 L 聞 て + は に 日 同 発 に 年 表 年 東 さ 京 五. れ 月 美 た 兀 術 日 学 校 カン で 5 行 六 月 わ 兀 れ
- 30 倉 脩 元 的 宇 彼 岸 宙 過 迄 لح 漱 論 石 0  $\mathcal{O}$ 手 作 が 品 カン と ŋ 0) と 関 L 連 て に つ (『夏 1 て 目 は 漱 小 石

ベ り わ Š な る 項 T 方 ル に 面 所 は は 0 ゥ B ク て 法 に 年 0) 1 意 ソ そ ジ 漱 V 七 に IJ 夏 0) 識 ン エ 月 石 た 個  $\neg$ ア 目 と に  $\mathcal{O}$ 特 イ 多 0 Þ A 色 漱 関 受 0) A べ 0 元  $\mathcal{O}$ 容 わ が 石 ズ ル 指 的 短 る あ と グ ベ 事 に 摘 宇 編 エ 響き 問 る」とある。 典 ソ が 0 ル 宙 が 1 題 11 ン あ 相 グ A が て 享 る。 合う心 0 合 ソ ズ 勉 · 受 は 中 0) L 受 誠 心であっ 研 ま 意 て 容 出 究 理 た これ 識 ア 0) 版 に 学 そ 長  $\neg$ 周 お  $\mathcal{O}$ IJ 時 に 篇 的 ヹ たと言 平 *\* \ 哲 側 間 関 を 学 成 て لح す 面 構 の + = 荒 は に 全 自 る 成 ジ に え 般 井 由 見 集 す エ لح 敏  $\widehat{\underline{\phantom{a}}}$ 解 心 中 る イ 弘 に V が 彼 理 L A j  $\bigcirc$ 学 ズ、 て 0 カコ لح 岸 的 Ĵ 0 0

31 London:Long-年 は 旧  $\mathcal{O}$ 蔵 五. 本 引 月) 論 多 吉 書と同 用 に 元 田 的宇 か 夏 お は け 5 彦 じ 宙 る b  $\mathcal{O}$ 訳 mans, Green, and William ŧ 0 日 多 のであ であることを確 ウ 元 イリア 本 的 教文 る。 James, 宇 宙 ム 社、 邦 題 (A pluralistic universe) ジ Co. 昭 Aも同書によ 認済であ エ 和三 pluralistic 1909. イ  $\Delta$ ズ 六 る。 著 に 作 ょ よる。 universe 集 ま 九 た 六 第六 訳 漱 文 石

Bergson thing 漱 白 石 部 0) 分 cannot do to thus に 線 save 数行 引 inverts き まと に つい 以 め 0 降 ま 7 部 て に 線 が で 分 は、 0  $\mathcal{O}$ カコ V 部 引 5 7 分に か は  $\mathcal{O}$ through れ 線 部 か か て 引 分 き るように は る experience 「Professor

(32) 本論における『時間と自由』(Time and free will)の

た 書 0) 書 語 異 ltd 引 7 Translation by F.L.Porgson. London: George Allen & Unwin 店、 ŧ なるが 用 線 部 に 版 ょ 分 0 0) Immediate 2全体に る。 平 に ŧ 内 Henri Bergson, あ 成  $\mathcal{O}$ れ 容 漱 わ 十 を に カン 石 せ は 翻 ょ カゝ  $\mathcal{O}$ て 同 る。 訳 Dataる 線 藤 じ L ょ  $\bigcirc$ ものである。 引 本 漱 た き う が  $\bigcirc$ 中 石 ofTime and free will. に I 旧 蔵 に 修 . 村 つ 正 文郎 consciousness. した 年 五 い 書の 横 て 0) 訳 月 は、 もの ŧ 余 また訳文は、  $\neg$ 白 0 時 と、 を 部 ۲ で 間 0 あ 基 分 本に、 る。 に 部 出 É An essay Authorised 数 分 版 由 フラン 地 行 は 邦 引用 題 ま 英 (岩 لح 語 は 版 め L 同 版 波 ス

# (33)『時間と自由』に次のようにある。

Pure conscious states assumes when our ego lets itself live. possible conceptions of time, the one free from all alloy when it refrains from separating its present state from the other surreptitiously bringing in There its former states duration are, indeed, is the form as we shall show a little which the the idea of space succession of our later, two

### (Time and free will p.100)

な 事 は 0 空間 だ。 実、 は、  $\mathcal{O}$ 後 観 0 で 自 我 念 は 示 が 混 が 生きることに身 密 合 通 り、 物 カン に 0 全く 介 時 間 入 L な に には二つ て V を 1 時 ま る 間 か 時 で  $\mathcal{O}$ 考え せ 間 あ て、 り、 で あ 方 る。 ŧ が 現 う 一 可 在 純 能

> 控 状 態 え と先 る 時 行 ける 意 識 状 状 態 態  $\mathcal{O}$ لح 継 0) 起 間 がと に 分 る 離 形 を 態 設 で けることを あ 差 L

- 34 照 試 論 前 出 ち という 中 な 村 み 文 に 邦 郎 訳 訳 意 は 識 同 時 に 書 間 に 直 لح よる 接 自 与. 由 え 6  $\mathcal{O}$ れ 一訳 た b 者 あ  $\mathcal{O}$ とが に つ き て 参 0
- 35 体に カゝ れ てい カゝ 0) カン 部 る 分 ょ 0) う 漱 に、 石 0 線 横 引 0 きについ 余 白部 分に ては、 数 行 引 ま と 用 め L た部 て が 分 引 全
- (36) 『時間と自由』に次のようにある。

fundamental self. series the act with will which bе SO much ij. s the connected freer the tends more the to dynamic the

(Time and free will p.167)

化 な 〔 行 も の す る 為 とな 傾 は、 向 るで そ を 増 れ あ が せ ろう。」 結 ば 増 び す つく動 ほ ど、 的 そ 系 列 れ だ が 根 け 1 底 0 的 そう 自 我 自 と 同 由

37 波 ま 目 び 木 た 英 比 つけ 漱 昭 わ 較 石 石 文学 ているという指 事 0) 前 け 認 て 褝  $\mathcal{O}$ 典 出 事 識 0) 清 0 項 (学 書 思 に 水 に 典 お 簡 孝 想 燈 ジ 純 が 7) 0) 大 社、 てジ あ エ 摘 正 此 0 1 ゥ 平 エ たら は 二(一九一三) 岸 ム イ 成 ズ V に 1 IJ ・ムズ、 兀 くつか を L L ア て 読 V) A 彼 む 九九二) 見られる。例えば『夏 岸 لح べ 漱 ジ ^ ル 指 石 エ 年 ク 摘  $\mathcal{O}$ 1  $\hat{\mathcal{Y}}$ に、 七月 さ 念 A 年四月) れ 頭 ン ズ」(佐 十二 に、 を て 漱 褝 石 日) る。 0) 仏 の 沼 教 K

こえる。 の 哲 て と 世 学 い 禅 なるものと思う」 界は、の لح 観  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ しへ恐とのら で間ル た。 あ グ  $\mathcal{O}$ < 反 措 ソ 述 ろ 措定と、、沈め、 な ン ベ のら と  $\lambda$ 清れ ら 並 ら述か L 水て ベ 氏のる。 氏い てれべ  $\mathcal{O}$ て 置かれ、 共通す ある」こと 見 解本れるかま るも 延は、たち、ものな \_ ŧ でっを 5 線 上郎のあべ漱 に  $\mathcal{O}$ でるル石 ベ あれていかがソカものが、ファものが、ファものが、ファもののである。

言がか郎のみンに

を  $\mathcal{O}$ 近 加 内 本 え 容 代 論 る。 を 文 ま  $\mathcal{O}$ で لح 交 は 8 わ た ŋ 漱 と 石 上 V  $\mathcal{O}$ で う 作 観 品 論 文 点 Þ 全 か 評 体 5 論 考  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 意 思 察 想 義 L た。 的 を 背 述 ベ 景 を で 最 後 は 伝 に 統 補 各 章 لح 足

社 民 う 石 L 我 る L 会 0)  $\mathcal{O}$ て な が 0 第 ょ が て 全 敵 そ 確 受 主 1 11 そ 体 張 < れ 立 部 Ž 容 プ す そ n セ 5 で な  $\mathcal{O}$ を か An $\mathcal{O}$ 先 る ン لح が لح ゆ は 土 Enemyに 背 導 儒 儒 え 11 台 に 自 学 景 す 対 5 学 0 漱 لح 生 る た に に 己 L 点 を 石 な あ ま 意 ofT 中 問  $\mathcal{O}$ お 0 を け る n 義 を 感 問 心 題 Society)た 単 じ 題 لح 自 る  $\mathcal{O}$ に る  $\mathcal{O}$ لح て 孤 あ に لح L 0 己 が た 狂 を 独 る 利 11 L 1 本 た 明 を ŧ 己 を た 漢 位 て 維 学 6 自 的 親  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 取 新 和 精 ら لح な ŋ ま 西 P か  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 上 性 に ŧ ず 影 洋 神  $\mathcal{O}$ L で 志 L 状 て げ を 第 響 的 0) 作 士 た。 捉 あ 況 لح て  $\mathcal{O}$ な 品 主 る لح え L 検 章 中 思 内 に と そ 討 想 重 7 て に で に 1 لح 11 L ね を 11 で お 11 お プ を う 7 合 る か 受 け は 11 セ 言 そ に 容 指 わ な 1 7 る ン と、 く 変 摘 葉  $\mathcal{O}$ せ L に ょ た セ 人 漱 容 自 L 0

> 指 門

摘

L

た  $\mathcal{O}$ 

第

書」

لح

さ

れ

る

 $\neg$ 

碧

巌

録

に

まで

さ

か

0

ぼ

れ

る

第 章 で は そ れ カ ら を 取 ŋ 上 げ 従 来  $\mathcal{O}$ 研 究 に お て

> 響 が た る  $\mathcal{O}$ で  $\sim$ 千 世 え 旧 を 誠 漱 な 西 禅 き  $\mathcal{O}$ 儒 代 次  $\mathcal{O}$ 時 与 意 洋 認 に る 告 学 中 代 石 え 思 識 第  $\mathcal{O}$ 義 を Ð 白 思  $\mathcal{O}$ 心 0 て 褝 を 想  $\mathcal{O}$ 中  $\mathcal{O}$ 想 に は 告 日 に 考 内 部 心 で 0 11  $\mathcal{O}$ 白 お 本 لح 関 文 実 で 儒 伝 < る あ 0 察 を す 脈 を は L る 学 統 儒 L と た 明 学 る 的 か 近 た 自 を لح 記 ま 6 睌 倫 な 6 代 的 己 明 述 た か 年 理 を 捉 的 価 ま  $\mathcal{O}$ 5 そ に 構 明  $\mathcal{O}$ 誠 え 知 値 ず 誠 カン 特 造 6  $\mathcal{O}$ L 漱 直 識 観 第 に が に 交 た 石 か  $\mathcal{O}$ を L =と た。 L 上 見  $\mathcal{O}$ に 現 否 悟 章 わ 11 ŋ で 褝 ら لح 定 ŋ L n に そ 5 に に れ لح そ さ L な  $\mathcal{O}$ 言 る 関 ょ  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ れ 漱 代 11 認 葉 ŋ 石 関 助 て 結 て 西 わ て 識 لح き に 心 ŧ る 発  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 果 洋 が 描 を 注 た 見 関 を 根 解 思 褝 褝 指 写 さ  $\Diamond$ 釈 代 目 長 心 底 想 に 門 摘 に ħ  $\mathcal{O}$ ぐ に す 助 井 を お 大 法 た 背 0 L 伝 る  $\mathcal{O}$ 代 自 11 た 語 禅 景 て 統 助 き 日 6 て「 لح 千 な 集  $\mathcal{O}$ に 的 本  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ あ が 代 宗 影 新 そ 近 な

と 擊 人 を 言 竹 第 明 葉 兀 塵 5  $\mathcal{O}$ 章 労 B に か 挿 お に 話 篇 思 L が 11 0 て、 た。 考 長 白 野 ま に 漱 隠 関 P, 石 た 郎 す  $\mathcal{O}$ 0 る \_ 褝 公 禅 行 考 認 案 的 え 識 集 世 に  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 界 沿 転 碧 褝 う 換 巌 に 0 形 点 録 関 希 で لح 求 考 わ 語 る 5  $\neg$ え 無 文 れ 特 5 門 脈 7 に れ 関 か 11 る ら る 香 厳 行

褝 読 4 を 取 近 る 諸 が 問 で 題 き に る 抗 لح す 考 る え 思 لح 7 期 待 す る 漱 石  $\mathcal{O}$ 姿 勢 を

た で 求 洋 義 が 時 思 第 付 ル あ は 間 ク 想 五. け 流 具 ル る 章 لح 体 ソ 0 れ ク 漱 لح で 自 ŧ 的 ン لح ソ 石  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ は لح を 由 を  $\mathcal{O}$ 関 な 漱 捉 例 思 講 指 わ  $\mathcal{O}$ ( Time そ え 石 と 想 摘 演 n 哲 が れ  $\mathcal{O}$ 5 か 学 中 n て 中 ら あ 6 か and で な 味 を る 検 6 こと 中 受 再 11 褝 لح 計 捉 free味 評 と 0 形 け L え と す 思 式 価 カコ た 直 形 will)さ る 想 ら、 漱 す 主 式 で れ が 石 必 0 実 0 た 張 で 要 可  $\mathcal{O}$ لح 問 行 褝 特 郎 展 が 背 能 結 に  $\mathcal{O}$ 題 開 あ 後 性 び べ 希 を  $\mathcal{O}$ 意 さ る に 求 を 9 ル 求 識 接 ħ 論 き、 ジ  $\otimes$ ク を لح 近 た لح U ソ ジ 工 同 る  $\mathcal{O}$ を た 新 ン 工 1 型 背 言 0) 主 た 1  $\Delta$  $\mathcal{O}$ 郎 景 張 な 葉 主 L ズ ŧ  $\mathcal{O}$ を 著 L ズ 意 希 西

自

のな

意 意

義

がを思き

じつを知

て

いの心人

生 持

t

でとの

あし

そ近

れ

に

ょ

り受

西

洋 入

と

は

異 上

な

る積

独

的は

義洋

西

想

中識

た

代

を

け

れ

る

で

極

明

治に

生

た

 $\mathcal{O}$ 

底

る

伝れ

統る

底

伝

的

な

「精を」

神中

根と

た

に倫

あ理

漢 造

学が

の見

6

2 話 更 L 形 な 見 ク れ 否 出 ソ T 定 新 た 成 関 漱 き 的 す 褝 さ 係 ン 香 石 た 哲 た に る  $\mathcal{O}$ 厳 n が  $\mathcal{O}$ 学 語 力 ŧ 公 あ 褝 T 0) 知 0  $\mathcal{O}$ に 案 n 認  $\mathcal{O}$ 11 لح 流 性 て 憧 注 集 識 る 考 で 自 れ れ 目 P 11 え  $\mathcal{O}$ P た を L 語 そ 6 褝 5 中 禅 語 5  $\mathcal{O}$ 描  $\mathcal{O}$ れ に 論  $\mathcal{O}$ そ れ 体 写 る 中 る 位 理 悟 n る 験 は で 置 n 郎 が  $\mathcal{O}$ 書 漱 付 公 を を に  $\neg$ 4 物 石 案 け 批 活 行 で が は る 判 西 か 人  $\mathcal{O}$ な 伝 ш す 洋 さ <  $\neg$ え 碧 لح 哲 言 書 る n る  $\mathcal{O}$ で、 巖 葉」 ジ 学 物 褝 7 に 香 11 録 t  $\mathcal{O}$ エ P 新 1 お 厳 ŧ あ る た 擊 を لح ŋ  $\Delta$ 11 な ズ 7 漱 竹 認 は لح 方 U 重 識 な لح 意 石 ベ 義 視 は  $\mathcal{O}$ 8 0 密 ル さ 挿 لح 7 接

3 て 的 ŧ 的 必 た  $\mathcal{O}$ ず に な な 精 自 思 獲 文 再 神 我 伝 ŧ 得 脈 発 想 لح 統 さ 見 対 を が  $\mathcal{O}$ と 立 さ 共 あ れ 11 と そ う す た n ジ 通 う L エ  $\mathcal{O}$ る 性 ŧ る 知 新 て 背 1  $\mathcal{O}$ ŧ 識  $\mathcal{O}$ た で  $\mathcal{O}$ B  $\mathcal{O}$ 景  $\Delta$ 中 な 教 ズ で Ł で 価 と  $\mathcal{O}$ 価 ょ B 活 あ は 値 養 な 値 る う べ な 観 B る カコ 観 ル 資 さ <  $\mathcal{O}$ 価 が 交 料 ク n 値 と 互 わ 観 漱 ソ る 儒 ŋ ン 11 لح 照 石 学 応 لح ま に を  $\mathcal{O}$ た、  $\mathcal{O}$ さ 評 交 確 11 近 わ 認 せ 論 う 代 B 褝 狂 ŋ L る 新 た 作 た لح لح لح 品 な P 活 V 両 L を 思 う カン  $\mathcal{O}$ て 具 伝 者 通 想 誠 は 新 体 統  $\mathcal{O}$ 

問 題 以 に 上 2 0 V 内 て 容 を 次  $\mathcal{O}$ 点 を 明 漱 6 石 カン 12 に お し け た る 伝 統 لح 近 代  $\mathcal{O}$ 

(1)

代 教 意 8 道 的  $\mathcal{O}$ 徳 養 義 従 لح لح に 来 が 儒 0 識 説  $\mathcal{O}$ L  $\mathcal{O}$ 学 か て لح 11 研 れ Þ 7 11 究 お る う は に 0 典 け ょ 近 お 型 る と う 代 西 11 と は に 化 洋 て 狂 少 的 さ  $\mathcal{O}$ な 中 れ 西 な 漱 に 個 カ 洋  $\mathcal{O}$ 7 石 0 思 き は 価 人  $\mathcal{O}$ た た 想 値 中 中 共 を 観 通 心  $\mathcal{O}$ L そ 受 性  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 儒 か れ が 容 変 倫 学 見 化 か す 理 的 5 5 る カ に な 1 上 b 対 思 れ プ で 逃 す 0) 想 セ 代 ま 積 避 る B す た 極 封 漢 助  $\mathcal{O}$ 0 的 る 建 学 た 的 根 近 自 な

代  $\mathcal{O}$ で 5 性 L 漱 ょ に 日 あ な あ 石 最 本 う る 研 自 近 う 0 後 0) な ۲ 究 6 代 1 Ł に 開 認 لح 0  $\mathcal{O}$ 7  $\mathcal{O}$ 識 を ま 化 上 背  $\mathcal{O}$ 沭 を 指 で 景 問 لح لح べ 1 持 摘 に 題 た 8 11 で 0 す う  $\mathcal{O}$ 漱 で 0 11 あ 7 る 漱 点 石 あ ろ 11 Ł 石 自 る を  $\mathcal{O}$ 漱 う た 身 が  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 補 石 を 問 が 足 互.  $\mathcal{O}$ そ 見 最 す 題 極 作  $\mathcal{O}$ が  $\otimes$ 初 た る に 品 中 明 と が T に 交 B で 治 意 ŧ لح わ 評 ŧ B 識 述 ŧ n 論 最 大 的 ベ は に £ た 活 n 正 で お 有 漱 期 あ ょ そ か け 名 う 0 石 0  $\mathcal{O}$ L る な 日 た に 探 ŧ あ ŧ 司 本 求  $\mathcal{O}$ ま 様  $\mathcal{O}$ 伝  $\mathcal{O}$ が た、 問 統 に  $\mathcal{O}$ 可 変 そ 題 ょ 能 容 現

ょ

Š

に

説

明

す

る

て あ る 田  $\mathcal{O}$ 勝 講 لح 指 演 氏 で 摘 が 漱 す 次 石 る  $\mathcal{O}$ は ょ 最 うに 現 新 代 解  $\mathcal{O}$ 日 説  $\neg$ 本 L 漱  $\mathcal{O}$ て 石 開 11 辞 る 化 典 は 皮 で 相 は 上 滑 ŋ 0  $\mathcal{O}$ 点 開 に 0 化 で

質 活 た 的 外 様 維 す 式 発 新 な な 近 的 に 以 わ 代 + 降 5 化 で 分 0 西 内 物  $\mathcal{O}$ あ 洋 中 ŋ 在 質 で 化 的  $\mathcal{O}$ そ 日 さ な 追 本  $\mathcal{O}$ れ 近 従 人 代 な を が 内 化 専 V 疲 発 ま が 6 弊 的 ま と L に そ L て な 進 て n L 自 8 ま 性 ま 然 5 で 急 0 さ れ  $\mathcal{O}$ に て を 進 て 日 11 欠 本 W る 11 0 で 人 た た  $\mathcal{O}$ 点 生 物

田 氏 が 述 べ る ょ う に 現 代 日 本 0 開 化 は 日 本 0 近 代

5

込 漱

む

石

現

代

日

本

 $\mathcal{O}$ 

開

化

 $\bigcup_{i=1}^{2}$ 

柴

作 W 値 学 だ ま Ł 化 に لح で 活 L 小 観 が 説 に を 進 1 動 <u>-</u> <u>=</u> そ 確 た 日  $\mathcal{O}$ 8 本 初の 認 5 れ に す に 期 ょ ま n 取 就 る  $\mathcal{O}$ か う で て 点 ŋ 5 な 0 V 漱 入 を 見 漱 0 日 で 石 れ る 石 た 本 は 第 る 0) 人 泣 لح 沂 لح  $\mathcal{O}$ イ 章 لح プ が け 代 11 生 に で な セ で う 活 化 問 ン 対 き 点 11 に  $\mathcal{O}$ 題 し る 対 を 式 لح 作 に て す に 批 品 L 漱 る + 語 判 た ま に 厳 石 分 ŋ L た 対 1 はな 内 L ざ そ プ 11 西 在 L Ł セ ま  $\mathcal{O}$ て 洋 L  $\mathcal{O}$ 化 理 な  $\mathcal{O}$ は で さ 談  $\mathcal{O}$ ざ 思 あ 由 れ そ 話 扱 想 る を L な で 次 11 B 0 文 近 を 臨 価 た

11 或 す T に が 哲 多 け 1 居 出 学 る あ 加 る ブ 主 5 て る セ は 意  $\mathcal{O}$ 義な 居 0 L 味 具 中 て 合 道 る ま 体  $\mathcal{O}$ で 1 略) た 来 理 徳 的 物 は め が が 尤 Ł 表 社 或 中 現 合 未 11 Ł 会 略 る 理 だ は で に 総 的 過 解 あ 12 れ 体 に 其 釈 般 る。 る な 止 は 1 泣 か ま に 見 つ け 5 然 或 0 情 な て な て 操 n は 而 1 合 11 化 ど 流 L が 理 ば 種  $\mathcal{O}$ さ Ł 俗 7 的 は 0 れ 其 ょ 其 で 篇 渠 セ 7 哲 ŋ 哲 ま あ 居 中 理  $\mathcal{O}$ ン 理 ア る 歩 チ 5  $\mathcal{O}$ が は 作 泣 カゝ メ な 人 情 t 中 は け Ł V 物 操 Þ 其 な 知  $\mathcal{O}$ 1 化 歩 12 社 が ħ 尤 実 さ t 意 会 物 行 な £ 先 味 的 れ

### 談話「近作小説二三に就て」(3)

ょ は う な  $\mathcal{O}$ ょ لح う は な な カゝ 1 ブ 0 た。ここで セ と 11 漱 Š 石 流 が 行 問 思 題 想 に す 性 る 急  $\mathcal{O}$ に は

う あ え 種 を に り  $\mathcal{O}$ 社 持 セ 会 的 ン 0 人 ま チ 々 た 哲 0 メ 学 11 抜 た 感 ン き 情 1 0 W を が で 附 情 動 た か け 操 思 加 す 想 化 Ł は で  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ ŧ で 7 問 な 来 題 合 < め で 理 て あ はと が る 合 な V 理 5 う F, 言 に な n 葉 止 11 ほ ま لح に J. 1 0 意 あ て う る 義 考 ょ が

> Š لح 々

る

7

が  $\mathcal{O}$ ょ 西 は カュ 目 に 精 れ に 発 う 重 神 さ 洋 恋 で L た L 思 は 揮 に た 要 で  $\mathcal{O}$ て 愛 あ لح さ な あ が 想 0 1 第 た  $\mathcal{O}$ に 西 11 れ 儒 役 る 学 割 لح ょ 洋 う る は 本 0 章 る 的 極 ŧ ょ  $\mathcal{O}$ に を 論 で 儒 考 な 8 お そ 果 文 う は れ 見 学 た え で な て は  $\mathcal{O}$ 11 た 思 自 私 基 7 両 6 考 L ょ 想 己 的 本 狂 自 者 た れ 察 情 う る。  $\mathcal{O}$ な 的 己  $\mathcal{O}$ L 操 に 変 を 世 と 7 に Ł を 違 化 容 لح 儒 界 貫 は き 公 11  $\neg$ Ł 学 的 と で そ < で 見 Ł た 誠 見 思 あ 7 儒 活 れ な に 11 る 学 想 世 ŧ と き う か る カュ た 界 は 的 間 が さ 5 同 漱 と 変 に 様 常 第 れ 通 な 題 石 が 容 る お で に ŋ  $\mathcal{O}$ に 0 で だ さ あ 社 章 狂 11 上 お き と 自 せ T り 会 で が で V る る に で B 性 t 己 カコ て な あ そ を 確 え る。 共 る  $\mathcal{O}$ 認 誠 ŋ 伴  $\mathcal{O}$ に 誠 精 で 間 4 う L 神 題 ŧ た 注  $\mathcal{O}$ 6 L

兀

7 化 ŧ 性  $\mathcal{O}$ 先 لح 急 ほ 0 تبلح 述 に 4 進 で ベ 7 W 柴 は で 田 な V 氏 る 11 い 0 が  $\mathcal{O}$ を た 漱 ほ 維 石 見 ぼ 新  $\mathcal{O}$ 同 た 批 以 時 が 降 判 期  $\mathcal{O}$ を 漱 0 物 石 質 西 中 が 的 洋 味 批 な لح 判  $\mathcal{O}$ 近 形 す 代 追 式 る 化 従  $\mathcal{O}$ を で は に 専 は 対 ら 近 す と  $\neg$ 代 る L 我

> な 今 が 批 日 自 判 لح 分 は を 0) 展 سلح 娘 開  $\mathcal{O}$ ŧ す < L < 6 11 は 違 妻 に う カコ 対 لح す 云 る う 関 係 لح  $\mathcal{O}$ 上 を に Ł お لح い 7 に 御 次 維  $\mathcal{O}$ 新 ょ 前

が 者 内 又 て た 其 触 容 る 型 れ 0 さ を 学 る 変 う 自 者 化 لح  $\mathcal{O}$ 分 に 7 な 様 が 注 其 好 L な 意 0) に 態 11 ŧ 型 推 度 7 な は 居 L を 唯 7 以 る 頓 だ لح 行 て、 着 在 0 云 来あ た 相 Š だ な 手 る 5 0) け カゝ ば で、 生 5 危 定 活 な さ  $\mathcal{O}$ 不 云 11 内 う 変 容 し  $\mathcal{O}$ 意味 型 12 7 自 傍 を で 観 分 立

中 味 لح 形 式 <u>4</u>

に ぞ 代 な  $\sum_{i}$ る 品 え 5 あ る 外 る 変 れ 日 自  $\mathcal{O}$ n 従 لح 在 評 化 本 然 漱 は 前 لح 外 さ 的 石 価 を  $\mathcal{O}$ 0 う が  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 行 発 開 を 伝 人 理 批 的 間 0 化 欠 統 由 現 合 判 て V 関 で た 内 代 理 さ P と 11 係 を 押 が は 日 < 在 れ  $\mathcal{O}$ 無 L ŧ 型 べ 的 本 合 て あ 理 0  $\mathcal{O}$ 理 1 لح ク ŋ 0 に け る に لح  $\vdash$ لح 開 に Þ 方 維 る な ル 止 11 を 11 化 持 る そ  $\mathcal{O}$ Š ま 同 う L لح た 言 型 様  $\mathcal{O}$ 向 認 に 0 ょ  $\mathcal{O}$  $\otimes$ 7 ょ 葉 きこそ  $\mathcal{O}$ 識 お う 危 で け う で 0 کے 険 あ る と لح な 間 性 す ろ 批 11 は \$ 外 逆 題 て う。 る が で 5 に 判  $\mathcal{O}$ 在 述 لح 点 先 と 的 は 唯 直 は べ  $\mathcal{O}$ あ だ 結 に L な 5 ŧ 1 て る す ŧ 在 れ で 内  $\mathcal{O}$ 指 プ 変  $\mathcal{O}$ が 来 る て は 発 を 摘 セ 化 Ł ょ あ 11 そ 的  $\mathcal{O}$ う で ン を Ł る る 作 現 な き 捉 لح で れ か

内 在 的 に 物 事 を 捉 え る 事 を 重 視 す る う 点 に 関 7

る。 代 る け  $\mathcal{O}$ え 序 第 義 を 流  $\mathcal{O}$ て 褝 五. で 哲 超 以 俗 章  $\mathcal{O}$ を 内 次 学 ょ 内 越 下 で で で ŧ う 0) 者 在  $\neg$ す に 云 見 語 的 行 ょ で な 的 る 堕 S た 5 人 漱 う あ 発 に ょ 5 第 ょ な れ 石 に Š う る 想 物 7 る 認 に に 述 事 な 義 に 西  $\mathcal{O}$ 仕 ょ お 識 お ベ 田 あ を 位 舞  $\mathcal{O}$ う  $\mathcal{O}$ て V 幾 ŋ 捉 11 置 Š 問 行 に 思 て 7 VI 多 方 え 題 に 想 る。 る 郎 は は <u>\</u> لح ŧ 立 褝 と 思 で 漱 あ 此 は 0 ち 想」 L 見 る は 石 知 退  $\mathcal{O}$ لح T だ ベ ょ 地 べ 性 意 き لح لح う ル け に ル 場 義 褝 に ク L L 住 ク  $\mathcal{O}$ Þ は ソ ŧ て て す ソ で が 捉 語 る ン  $\mathcal{O}$ あ ン 言 え あ  $\mathcal{O}$ で 5 5 人 捉 لح 虚 直 葉 0 は ゆ か え 哲 れ 0 子 学 な て る 5 た 返 共 L 著 を を 7 V 価 굸 さ 诵 11 0 払 た。 そ 紹 11 値 Š れ 性 鶏 る。 B 介 同 11 لح れ 頭 て 0 時  $\mathcal{O}$ そ 考 第 中 す は

け あ を 変 様 さ 絶 化 る る な て 0) 所 L は 斯 で べ が 不 < あ ル 禅 赤 断 種 ク 裸 家 連 别 ソ 0) 続 的 Þ た 所 的 で ン る 謂 進 は あ 経 之 心 行 0 を 験 随 で て 純  $\mathcal{O}$ 万 な t 境 真 け 粋 何 持 相 転 n 時 続 で ば で 又 あ 転 な Ł る 処 5 は 内 実 X 0 で 自 能 面 己 赵 あ 的 此 持 0 لح 言 る 続 本 語 1 意 لح 体 0 思 識 た 慮 名 で  $\mathcal{O}$ 

(「ベルグソンの純粋持続」 ⓒ)

月

を れ る 西 自 田 己 元 は 論 的  $\mathcal{O}$ 世 発 意 想 識 に  $\mathcal{O}$ を 基 側 づ か 自 < 5 己 考 見 え て  $\mathcal{O}$ 1 を 外 < に 対 ょ あ う 象 な る 論 対 理 象 西 と と 洋 呼 哲 L び 学 7 に そ そ 見 6 れ n

> لح 統 ŋ と な ソ 態 粋 果 لح 遍 L  $\Delta$ 広 課 ズ た 異 は 7 ŧ 哲 が 持 性 を と 11 行 に 題 学 B 続 な L 考 文 褝 ベ た 漱 わ Ł 0 西 る 脈 え 近 れ 浮 関 ル に  $\mathcal{O}$ 思 石  $\sim$ 田 る 作 カコ て  $\mathcal{O}$ 幾 ク 共 で 代 カュ わ 想 品 5 1 評 び ŋ 多 ソ 通 あ 的 لح  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 捉 る 価 上 を 郎 ン す る 立 に え لح が に 哲 が 場 ŧ 交 が 主 る わ Ł 0 な 1 る 題 ŧ 学 £ を 西 0 独 ŋ お う 西 لح 想 と 求  $\mathcal{O}$ 田 لح な す だ L 自 洋 定  $\mathcal{O}$ を 8 は と 契 が 性 思 が た さ 見 V 共 そ る 機 で 漱 を う 想 れ 鳴 る 0) ) | | る。 Ł 視 لح そ 見 あ  $\mathcal{O}$ 石 に 禅  $\mathcal{O}$ る な り 展 لح 漱 点 あ 0) で ŋ 開 で 西 中 カン 0 石 認 う あ لح 5 そ لح 強 田 た  $\mathcal{O}$ で 識 る る で 作 れ 歩 調  $\mathcal{O}$ か لح 褝 と あ ゆ 比 品 を L 6 1  $\sim$ うこ 11 え た る 較  $\mathcal{O}$ が  $\mathcal{O}$ は ル うこ そ に と لح 意 V 接 大 ク لح 義  $\mathcal{O}$ L 0 1 禅 近 き لح を 意 た は Š لح لح が な ŧ だ べ 似 ジ 探 味 t 0) ル る を  $\mathcal{O}$ 両 新 た エ 者 伝 لح た ク 事 1 ょ

### 【注記】

- $\widehat{\underline{1}}$ 治 n 兀 た ŧ + 講 と 兀 は 演 明 文 治 九 章 兀 لح + L 兀 7 年 年三 は + $\overline{\phantom{a}}$ 月 月 朝 八 日 に 月 講 集 + 演 録 五. 集 日 に 朝 和 歌 日 Ш 新 聞 で 行 明 わ
- 2 漱 石 辞 典 翰 林 書 房 平 成 二 十 九  $\bigcirc$ 七 年 五.
- 3 初 出 は 新 小 説 明 治 兀 + 九  $\bigcirc$ 八 年 六 月
- 4 ŧ لح は 明 治 兀 + 兀 年 八 月 + 七 日 に 堺 で 行 わ れ た 講 演
- 文 章 と L 年 て 三 は 月) 朝 に 日 集 講 録 演 集 朝 日 新 聞 眀 治 兀 + 兀

(6) 初出は、「教育学術界」明治四十四(一九一一)年十日 日 「東京朝日新聞」明治四十(一九〇七)年二月二十三

昭和二十二(一九四七)年七月)による。一月。引用は『西田幾多郎全集 第一巻』(岩波書店、) 初出は、「教育学術界」明治四十四(一九一一)年十